

養老町  
男女共同参画に関する基礎調査  
結果報告書

令和3年3月

養 老 町



# 目次

|            |                       |           |
|------------|-----------------------|-----------|
| <b>I</b>   | <b>調査の概要</b> .....    | <b>1</b>  |
| 1          | 調査の目的 .....           | 1         |
| 2          | 調査対象 .....            | 1         |
| 3          | 調査期間 .....            | 1         |
| 4          | 調査方法 .....            | 1         |
| 5          | 回収状況 .....            | 1         |
| 6          | 調査結果の表示方法 .....       | 1         |
| <br>       |                       |           |
| <b>II</b>  | <b>プランの評価</b> .....   | <b>2</b>  |
| <br>       |                       |           |
| <b>III</b> | <b>調査結果まとめ</b> .....  | <b>4</b>  |
| 1          | 性別役割分担について .....      | 4         |
| 2          | 子育てについて .....         | 5         |
| 3          | 就労について .....          | 5         |
| 4          | 社会生活について .....        | 8         |
| 5          | DV・ハラスメント行為について ..... | 8         |
| 6          | 男女共同参画社会づくりについて ..... | 10        |
| <br>       |                       |           |
| <b>IV</b>  | <b>調査結果</b> .....     | <b>12</b> |
| 1          | 一般町民 .....            | 12        |
| (1)        | 回答者属性 .....           | 12        |
| (2)        | 性別役割分担について .....      | 18        |
| (3)        | 子育てについて .....         | 43        |
| (4)        | 就労について .....          | 49        |
| (5)        | 社会生活について .....        | 71        |
| (6)        | DV・ハラスメント行為について ..... | 83        |
| (7)        | 男女共同参画社会づくりについて ..... | 100       |

|          |                     |            |
|----------|---------------------|------------|
| 2        | 企業従業員               | 122        |
|          | (1) 回答者属性           | 122        |
|          | (2) 性別役割分担について      | 138        |
|          | (3) 子育てについて         | 152        |
|          | (4) 就労について          | 158        |
|          | (5) DV・ハラスメント行為について | 189        |
|          | (6) 男女共同参画社会づくりについて | 207        |
| 3        | 高校生                 | 229        |
|          | (1) 回答者属性           | 229        |
|          | (2) 性別役割分担について      | 231        |
|          | (3) 子育てについて         | 245        |
|          | (4) 就労について          | 248        |
|          | (5) 人権について          | 254        |
|          | (6) 男女共同参画社会づくりについて | 257        |
| <b>V</b> | <b>自由意見</b>         | <b>265</b> |
| 1        | 一般町民                | 265        |
| 2        | 企業従業員               | 267        |
| 3        | 高校生                 | 268        |

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、「養老町第二次男女共同参画プラン」の見直しにあたり、町民の男女共同参画に関する意識や意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

一般町民：養老町在住の20歳以上の町民から無作為抽出

企業従業員：養老町内の企業に勤務する従業員から無作為抽出

高校生：岐阜県立大垣養老高校の令和2年度の高校3年生

## 3 調査期間

令和2年10月15日から令和2年11月10日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

|       | 配布数   | 有効回答数 | 有効回答率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 一般町民  | 2050通 | 767通  | 37.4% |
| 企業従業員 | 610通  | 589通  | 96.6% |
| 高校生   | 237通  | 234通  | 98.7% |

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II プランの評価

本調査結果に基づく、「養老町第二次男女共同参画プラン」の評価結果は以下のとおりです。

### 重点目標 I 男女がともに参画できる社会をめざして

| 目標指標          |      |       | 調査結果（実績） |       |
|---------------|------|-------|----------|-------|
| 指標名           | 計画目標 |       | H23      | R2    |
| ジェンダー認識度（総合）  | 全体   | 45.0% | 33.2%    | 67.1% |
|               | 男性   | 40.0% | 27.1%    | 58.9% |
|               | 女性   | 50.0% | 38.1%    | 72.7% |
| ジェンダー認識度（子育て） | 全体   | 35.0% | 25.3%    | —     |
| 生涯学習実践度       | 全体   | 55.0% | 47.7%    | 34.2% |

### 重点目標 II 男女の人権が守られる社会をめざして

| 目標指標     |      |      | 調査結果（実績） |    |
|----------|------|------|----------|----|
| 指標名      | 計画目標 |      | H23      | R2 |
| 暴力被害経験者率 | 全体   | 0.0% | 3.2%     | —  |

### 重点目標 III 男女が協力して働ける職場づくりをめざして

| 目標指標                         |      |       | 調査結果（実績） |       |
|------------------------------|------|-------|----------|-------|
| 指標名                          | 計画目標 |       | H23      | R2    |
| ①「職場における男女平等実現度（賃金・待遇）」      | 全体   | 45.0% | 21.1%    | 28.8% |
| ②「職場における男女平等実現度（教育・訓練）」      | 全体   | 65.0% | 42.7%    | 46.3% |
| ③「職場における男女平等実現度（昇進・昇格）」      | 全体   | 45.0% | 20.9%    | 28.0% |
| ④「職場における男女平等実現度（女性登用度）」      | 全体   | 45.0% | 22.6%    | 33.4% |
| 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の認知度 | 全体   | 40.0% | 20.9%    | 21.6% |

重点目標 IV 男女がともに担う地域社会をめざして

| 目標指標             |      |              | 調査結果（実績）     |       |
|------------------|------|--------------|--------------|-------|
| 指標名              | 計画目標 |              | H23          | R2    |
| 若年層の地域活動参加率      | 全体   | 45.0%        | 30.2%        | 24.7% |
|                  | 男性   | 50.0%        | 25.0%        | —     |
|                  | 女性   | 40.0%        | 33.9%        | —     |
| 参画意欲率            | 全体   | 25.0%        | 15.5%        | 21.5% |
|                  | 男性   | 28.0%        | 19.9%        | 22.9% |
|                  | 女性   | 23.0%        | 12.2%        | 20.7% |
| 男女の家事分担平等ポイント    | 全体   | -0.6<br>ポイント | -3.0<br>ポイント | —     |
| 男女平等実現度（しきたりや慣習） | 全体   | 40.0%        | 21.1%        | 16.4% |

重点目標 V 男女が健康で、安心できる社会をめざして

| 目標指標                   |      |       | 調査結果（実績） |       |
|------------------------|------|-------|----------|-------|
| 指標名                    | 計画目標 |       | H23      | R2    |
| 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の認知度 | 全体   | 20.0% | 2.2%     | 1.3%  |
| 老後の不安度                 | 全体   | 80.0% | 93.6%    | 93.7% |

### Ⅲ 調査結果まとめ

#### 1 性別役割分担について

【一般調査】では、男女の地位の平等について、『①家庭生活』『②雇用状況や働く分野全般』『③地域活動の場』『⑤社会の慣習やしきたり』『⑥法律や制度』『⑦社会全体』で「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」をあわせた“男性が優遇”の割合が高くなっています。一方、『④学校・教育の場』で「平等になっている」の割合が高く、約5割となっています。平成22年度調査と比較すると、『①家庭生活』『⑤社会の慣習やしきたり』以外の項目で「平等になっている」の割合が減少しています。また、性別でみると、女性に比べ、男性ですべての項目で「平等である」の割合が高くなっており、男女のギャップがみられます。(一般：問6)

【企業従業員調査】では、『①家庭生活』『②雇用状況や働く分野全般』『⑤社会の慣習やしきたり』『⑦社会全体』で「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」をあわせた“男性が優遇”の割合が高くなっています。平成22年度調査と比較すると、『⑤社会の慣習やしきたり』『⑦社会全体』以外の項目で「平等になっている」の割合が減少しています。また、性別でみると、女性に比べ、男性ですべての項目で「平等である」の割合が高くなっており、男女のギャップがみられます。(企業従業員：問12)

【高校生調査】では、すべての項目で「平等である」の割合が高くなっています。平成22年度調査と比較すると、すべての項目で「平等になっている」の割合が増加しています。(高校生：問4)

男性の「平等である」の割合が高いものの、当事者の女性は“男性優遇”と答えており、同じ現実を見ているものの、とらえ方が異なっています。男性が女性の置かれた状況を正しく認識するため、意識の向上を図ることが必要です。

【一般調査】では、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方について、「間違った考え方だと思う」と「どちらかといえば違うと思う」をあわせた“間違った考え方だと思う”の割合が67.1%、「どちらかといえばそう思う」と「そのとおりだと思う」をあわせた“そのとおりだと思う”の割合が25.0%となっています。平成22年度調査と比較すると、“間違った考え方だと思う”の割合が増加し、“そのとおりだと思う”の割合が減少しています。性別でみると、女性に比べ、男性で“そのとおりだと思う”の割合が高くなっています。(一般：問7)

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問13)

固定的な性別役割分担意識を持つ人は少なくなっている状況がうかがえます。女性に比べて男性で固定的な性別役割分担意識を持つ人が多いことから、男性への意識づけが必要です。

【一般調査】では、家事・育児・介護に携わる時間について、『①平日』『②休日』ともに女性に比べ、男性で時間が多くなっています。(一般：問8)

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問15)

【一般調査】では、家庭内の仕事の担当について、『①生活費を得る』『⑧地域活動(町内会・PTA等)』で「主に夫(父親)」と「どちらかといえば夫(父親)」をあわせた“夫(父親)”の割合が高く、『②掃除・洗濯』『③食事の用意・片付け』『④子どもの教育』『⑤乳幼児の世話』『⑥介護や看病』『⑦近所付き合い』で「どちらかといえば妻(母親)」と「主に妻(母親)」をあわせた“妻(母親)”

の割合が高くなっています。(一般：問9)

【高校生調査】では、将来家庭を持った場合の家庭内の担当について、すべての項目で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高くなっています。(高校生：問9)

家事についての考え方で男女にとらわれないで協力しあうのがよいという意見が約7割を占める一方で、現実では男性に比べ、女性で家事・育児・介護に携わる時間が多く、依然として家庭での役割の多くを女性が担っている現状がうかがえます。

【一般調査】では、今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域での活動に積極的に参加していくために必要なことについて、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が59.8%と最も高く、次いで「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が57.9%、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が57.5%となっています。(一般：問10)

男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域での活動に積極的に参加していくためには、各家庭でのコミュニケーションを充実していくことが基本となるものの、仕事と家庭を両立する環境づくりや男性の家事の抵抗感をなくす取り組みが必要となります。

## 2 子育てについて

【一般調査】では、子育てに対する考え方について、『①性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をするほうがよい』『②個性は尊重するが、男らしさ・女らしさも身につけてほしい』『⑤子どもが小学校就学前から、父親も積極的に育児に関わった方がよい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、『③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい』『④子どもが小学校就学前は、母親が育児に専念した方がよい』で「あまりそう思わない」と「そうは思わない」をあわせた“そうは思わない”の割合が高くなっています。(一般：問11)

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問16)

【高校生調査】では、子育てに対する考え方について、すべての項目で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、すべての項目で男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。(高校生：問8)

子どもの育て方における固定的性別役割分担意識の解消は進んでいることがうかがえます。

## 3 就労について

【企業従業員調査】では、現在の職場の満足度について、「満足している」と「まあまあ満足している」をあわせた“満足している”の割合が54.5%、「どちらともいえない」の割合が26.1%、「やや不満である」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が18.8%となっています。平成22年度調査と比較すると、“満足している”の割合が増加しています。(企業従業員：問17)

【一般調査】では、女性が職業を持つことについて、「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が36.4%と最も高く、次いで「女性本人の思うとおりにするのが

よい」の割合が 36.2%、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」の割合が 18.1%となっています。

「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」か「女性は職業を持たないほうがよい」と答えた理由について、「仕事と家庭の両立は難しいと思うから」の割合が 46.7%と最も高くなっています。(一般：問 12)

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問 18)

【高校生調査】では、女性が職業を持つことについて、「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が 35.0%、「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」の割合が 12.0%となっています。(高校生：問 9)

女性が職業を続けるために、子育て後の再就職に向けた支援や子育てと仕事の両立支援策が必要です。

【一般調査】では、生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望は『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」の割合が 37.9%と最も高く、次いで『家庭生活』を優先したい」の割合が 20.3%、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」の割合が 18.1%となっています。平成 22 年度調査と比較すると、『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」の割合が増加しています。一方、現状は『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が 28.9%と最も高く、次いで『家庭生活』を優先している」の割合が 22.4%、『仕事』を優先している」の割合が 22.0%となっています。平成 22 年度調査と比較すると、『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が増加しています。(一般：問 13)

【高校生調査】では、理想に思う将来の働き方について、「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活ができる働き方をしたい」の割合が 39.7%と最も高くなっています。(高校生：問 10)

夫婦共働きをすることについて、「賛成」の割合が 85.5%と最も高くなっています。また、将来子どもを持ったときの子育てについて、「どちらかが育児休業を取得して子どもを育てる(夫・妻)」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」の割合が 29.0%となっています。(高校生：問 11)

「仕事」、「家庭生活」の調和のとれたワーク・ライフ・バランスの確立が求められています。

【一般調査】では、仕事をしている方で、職場(会社全体)の男女をとりまく状況について、『④教育・訓練の機会は、男女にかたよりなく与えられている』で「そう思う」の割合が高く、『②育児・介護休暇などが男女ともに活用されている』で「思わない」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で『①賃金や待遇などに男女格差がなく、ともに対等に仕事ができている』『②育児・介護休暇などが男女ともに活用されている』『③お茶汲みや掃除などは、男女にかかわりなく行われている』『④教育・訓練の機会は、男女にかたよりなく与えられている』『⑤昇進・昇格の機会は、男女にかたよりなく与えられている』で「そう思う」の割合が高く、男女の意識の差がみられます。(一般：問 14)

職場においては、仕事の内容や賃金、待遇、昇進・昇格の機会などの男女差別をなくすとともに、性別に関わらず多様で柔軟な働き方を選択できる職場づくりと働き続けられる職場づくりを進める必要があります。

現在何か役職に就いている男性が 37.6%、女性が 11.6%となっています。そのうち、「課長相当職」以上の役職については、男性が 66.6%、女性が 30.5%となっています。一方、役職に就いていない人の役職に就くことを望まない人は、男性で 59.1%、女性で 69.8%となっています。望まない理由について、女性で「家庭・育児等との両立が難しい」の割合が高くなっています。（一般：問 15）

【企業従業員調査】では、役職に就くことを望んでいない（望んでいなかった）人は、男性で 32.7%、女性で 60.5%となっています。望まない理由について、女性で「家庭・育児等との両立が難しい」の割合が高くなっています。（企業従業員：問 19）

働きながら子育てのできる柔軟な働き方や、保育サービスの充実が求められています。

【企業従業員調査】では、役職に就く女性が増えることについて、「大切だと思う」の割合が 66.9%と最も高くなっています。平成 22 年度調査と比較すると、「大切だと思う」の割合が増加しています。男性に比べ、女性で「大切だと思う」の割合が高くなっています。「大切だと思う」理由について、「女性が働きやすい環境を作ることは、男性にとっても働きやすいことにつながるから」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「経済が低迷する中、新しい商品やサービスを開発するためには、女性の考え方も取り入れることが必要だから」の割合が 29.9%、「少子高齢化が進む中で、女性の労働力を積極的に活用すべきだから」の割合が 27.7%となっています。（企業従業員：問 20）

性別による役割分担意識にとらわれることなく個人が能力を発揮できるように、男女双方がバランスよく意思決定過程に参画できるような仕組みづくりが必要です。

結婚・出産・育児・介護を機に働き先の仕事をやめた経験について、「ある」の割合が男性で 1.7%、女性で 41.5%となっています。やめた理由について、「家事や育児との両立が難しかったから」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「いずれかの機会に辞めるつもりだったから」の割合が 11.8%、「育児休業や介護休業などの制度が不十分だったから」の割合が 10.2%となっています。一方、やめた経験がない人で、仕事先で働き続けるためや、出産・子育て・介護などの理由で一旦仕事を辞めた後に再就職するために必要なことについて、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入」の割合が 51.6%、「女性が働くことに対する家族の理解と、家事・育児・介護などへの男性の積極的な参加」の割合が 37.8%となっています。特に、男性に比べ、女性で「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入」「女性が働くことに対する家族の理解と、家事・育児・介護などへの男性の積極的な参加」の割合が高くなっています。（企業従業員：問 21）

女性のキャリア形成を支援することや、継続就労に役立つ子育て支援施策や働く上で必要な労働法等の情報提供を行うことはとても重要です。また就労に向けての情報・知識や働き方について考える機会の提供を行うことが必要です。

「育児休業制度」を利用したことがある女性が 27.9%、各制度を利用したことがない人は、男性で 92.5%、女性で 66.0%となっています。（企業従業員：問 22）

『①育児休業制度』で「容易に利用できる」と「何とか利用できる」をあわせた“利用できる”の割合が39.3%、「やや利用しづらい」と「非常に利用しづらい」をあわせた“利用しづらい”の割合が38.2%となっています。『②介護休業制度』では、“利用できる”の割合が22.0%、“利用しづらい”の割合が48.3%となっています。『①育児休業制度』『②介護休業制度』ともに、平成22年度調査と比較すると、“利用できる”の割合が増加し、男性に比べ、女性で“利用できる”の割合が高くなっています。利用しづらい理由について、『①育児休業制度』で「代替要員の確保が困難」の割合が32.4%と最も高く、次いで「職場の同僚や上司への気兼ね」の割合が22.7%、「職場の理解が足りない」の割合が12.4%となっています。『②介護休業制度』では、「職場の同僚や上司への気兼ね」の割合が27.7%と最も高く、次いで「代替要員の確保が困難」の割合が25.3%、「職場の理解が足りない」の割合が13.0%となっています。（企業従業員：問23）

育児休業制度や介護休業制度のさらなる周知と利用できる職場環境づくりを促進し、働き方改革につなげていくことが必要です。

## 4 社会生活について

【一般調査】では、過去1年間に地域活動に参加したことない人は、男性で33.0%、女性で38.5%となっています。また、地域活動に参加したことがある人で活動の中で何かの役職に就いたことがある人は、男性で62.2%、女性で54.3%となっています。一方、何かの役職に就いたことがない人で今後何らかの役職に就くことについて、「就きたくない」の割合が57.6%と最も高く、次いで「頼まれれば就いてもよい」の割合が21.5%となっています。（一般：問16）

過去1年間に生涯学習を行なったことのない人は、60.6%と平成22年度調査と比較すると、増加しています。40歳～49歳で7割台半ばと高くなっています。（一般：問17）

防災・災害復興活動において性別に配慮した対応で必要な取組について、「避難所の設備は、男女別のトイレや更衣室など性別に配慮した避難所運営をすること」の割合が60.9%と最も高く、次いで「男女のニーズに配慮して、物資を備蓄するとともに、子育て家庭、介護者、障がい者等の視点も取り入れること」の割合が47.1%、「男女の性別にかかわらず、日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にすること」の割合が31.4%となっています。（一般：問18）

自分の老後の不安について、「自分や配偶者が寝たきりや病気になったときのこと」の割合が53.6%と最も高く、次いで「生活費のこと」の割合が41.2%、「自分の健康のこと」の割合が31.3%となっています。（一般：問19）

様々な地域活動の中で、男女双方がバランスよく意思決定過程に参画できるような仕組みづくりを、一層促進することが必要です。被災時の避難所における男女のニーズの違いなどに配慮した災害対応を推進することが求められています。

## 5 DV・ハラスメント行為について

【一般調査】では、経験したり、身近で見聞きしたことがあるDV・ハラスメント行為について、『①セクシャルハラスメント（セクハラ）』で23.3%、『②パワーハラスメント（パワハラ）』で41.6%、『③マタニティハラスメント（マタハラ）』で7.9%、『④モラルハラスメント（モラハ

ラ』で25.4%、『⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）』で16.6%となっています。また、被害を受けたことがあるDV・ハラスメント行為について、『①セクシャルハラスメント（セクハラ）』で男性が0.6%、女性が11.0%、『②パワーハラスメント（パワハラ）』で男性が17.3%、女性が17.4%、『③マタニティハラスメント（マタハラ）』で男性が0.0%、女性が3.2%、『④モラルハラスメント（モラハラ）』で男性が8.0%、女性が12.2%、『⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）』で男性が1.2%、女性が6.9%となっています。（一般：問20）

【企業従業員調査】では、経験したり、身近で見聞きしたことがあるDV・ハラスメント行為について、『①セクシャルハラスメント（セクハラ）』で33.6%、『②パワーハラスメント（パワハラ）』で56.7%、『③マタニティハラスメント（マタハラ）』で8.0%、『④モラルハラスメント（モラハラ）』で32.2%、『⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）』で15.3%となっています。また、被害を受けたことがあるDV・ハラスメント行為について、『①セクシャルハラスメント（セクハラ）』で男性が1.0%、女性が17.3%、『②パワーハラスメント（パワハラ）』で男性が17.3%、女性が24.8%、『③マタニティハラスメント（マタハラ）』で男性が0.7%、女性が4.8%、『④モラルハラスメント（モラハラ）』で男性が10.2%、女性が15.3%、『⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）』で男性が1.0%、女性が5.8%となっています。（企業従業員：問24）

【高校生調査】では、今までに何らかの被害を受けたことがある人が7.2%となっています。「相談した」の割合が47.1%となっています。（高校生：問12）

【一般調査】では、DV・ハラスメント行為について経験がある人の相談状況について、「相談した」の割合が男性で23.3%、女性で29.5%となっています。また、相談先については、「友人、知人、先生など」の割合が52.0%と最も高く、次いで「親、兄弟姉妹などの親族」の割合が47.0%、「医療関係者（医師・カウンセラーなど）」の割合が14.0%となっています。一方、相談していない理由について、「誰（どこ）に相談しても無駄だと思った」の割合が52.3%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思った」の割合が30.3%、「相談するほどたいしたことではないと思った」の割合が19.3%となっています。（一般：問21）

【企業従業員調査】では、DV・ハラスメント行為について経験がある人の相談状況について、「相談した」の割合が男性で39.4%、女性で48.2%となっています。（企業従業員：問24）

被害を受けた場合は、自分の被害を過小に評価することなく相談できるよう、相談窓口の周知啓発が必要です。事業所に対して、セクハラ等の発生予防に取り組む支援を実施するとともに、女性が相談しやすい環境を整えるよう啓発していくことが必要です。

【一般調査】では、暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいことについて、「匿名で相談ができる」の割合が45.9%と最も高く、次いで「24時間相談ができる」の割合が41.3%、「弁護士など、法的知識のある相談員がいる」の割合が40.8%となっています。（一般：問22）

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。（企業従業員：問25）

被害経験者が悩みを抱え込まず、安全に安心して相談できる体制の充実を図ることが必要です。

【一般調査】では、DV、セクハラ等の行為をなくすために必要なことについて、「法律・制度の制定や見直しを行う（罰則の強化等）」の割合が53.5%と最も高く、次いで「被害者のための

相談窓口、保護施設を整備する」の割合が47.7%、「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が40.4%となっています。(一般：問23)

【高校生調査】では、DV、セクハラ等の行為をなくすために必要なことについて、「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が66.2%と最も高くなっています。(高校生：問13)

DV、セクハラ等の行為が絶対に許されない行為であることを広く周知し、あらゆる暴力の根絶に向けて取り組むことが必要です。

## 6 男女共同参画社会づくりについて

【一般調査】では、『③男女雇用機会均等法』『④育児・介護休業法』で「どんなものかを知っている」の割合が高く、3割以上となっています。また、『①男女共同参画社会基本法』『③男女雇用機会均等法』『④育児・介護休業法』『⑦ジェンダー』『⑧ワーク・ライフ・バランス』『⑨DV防止法』で「どんなものかを知っている」「聞いたことがある」を合わせた割合が5割以上となっています。一方、『⑤ポジティブ・アクション』『⑥リプロダクティブヘルス/ライツ』『⑩養老町男女共同参画プラン』で「知らない」の割合が高く、6割以上となっています。(一般：問24)

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問26)

【高校生調査】では、『①男女共同参画社会基本法』『③男女雇用機会均等法』『④育児・介護休業法』『⑦ジェンダー』『⑧ワーク・ライフ・バランス』で「どんなものかを知っている」の割合が高く、4割以上となっています。一方、『②女性活躍推進法』『⑥リプロダクティブヘルス/ライツ』『⑩養老町男女共同参画プラン』で「知らない」の割合が高く、5割以上となっています。(高校生：問14)

条約、法律についての意義や内容について、広く周知していくことが必要です。

【一般調査】では、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要なことについて、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること」の割合が57.4%と最も高く、次いで「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が47.8%、「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」の割合が36.2%となっています。(一般：問25)

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問27)

【高校生調査】では、「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が38.0%と最も高く、次いで「職場における男女平等について企業等に働きかける」の割合が32.9%、「学校において男女平等教育を浸透させる」の割合が28.2%となっています。(高校生：問16)

男女平等社会の実現ために、固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、広報・啓発活動を行なうことが重要です。

【一般調査】では、一般住民・各種団体・企業などを対象とした男女共同参画に関する講演会(セミナー形式)の認知度について、「知らない」の割合が70.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が22.2%となっています。今後、この講演会に取り入れるとよいと思われる内容について、「女性の仕事と家庭に関すること」の割合が28.8%と最も高く、次いで「男性の仕事と家庭に関すること」の割合が27.8%、「女性活躍推進と新しい働き方に関すること」の割合

が 27.2%となっています。(一般：問 26 (1))

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問 28 (1))

男女共同参画に関する講演会の周知に努めるとともに、ニーズに合った内容の充実が必要です。

【一般調査】では、地元の子育て支援団体と連携し、子育て世代を応援する「ようろうっこ応援事業（講座）」の認知度について、「知らない」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 17.5%となっています。今後、この事業に取り入れるとよいと思われる内容について、「親と子のふれあい（一緒に遊ぶ）に関するもの」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「子どもの発育・発達に関するもの」の割合が 38.5%、「自然とのふれあいに関するもの」の割合が 38.2%となっています。(一般：問 26 (2))

【企業従業員調査】においても同様の傾向がみられます。(企業従業員：問 28 (2))

「ようろうっこ応援事業（講座）」の周知に努めるとともに、ニーズに合った内容の充実が必要です。

【一般調査】では、今後、男女共同参画を進めていくうえで、養老町が力を入れていくことについて、「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「学校において男女平等教育を浸透させる」の割合が 30.0%、「職場における男女平等について企業等に働きかける」の割合が 25.2%となっています。(一般：問 27)

【企業従業員調査】では、今後、男女共同参画を進めていくうえで、養老町が力を入れていくことについて、「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」の割合が 29.7%、「職場における男女平等について企業等に働きかける」の割合が 28.0%となっています。(企業従業員：問 29)

男女共同参画を進めていくうえで、養老町が力を入れていくことについては、育児や介護への支援、男性の家庭参加促進、企業への働きかけが上位にあがっている。

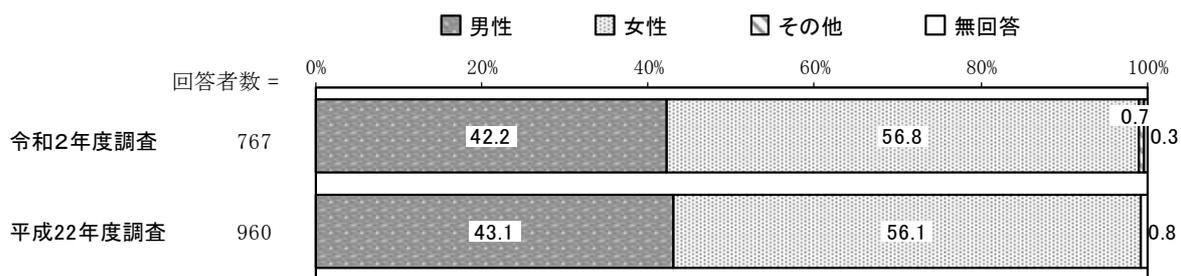
## IV 調査結果

### 1 一般町民

#### (1) 回答者属性

##### 問1 あなたの性別はどれですか。(○は1つ)

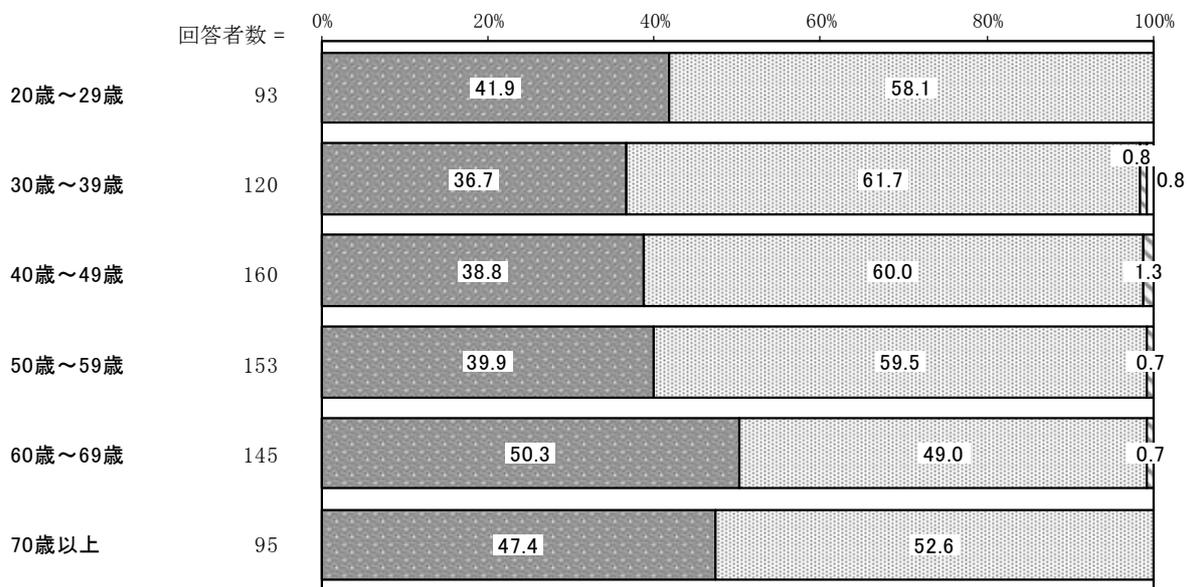
「男性」の割合が42.2%、「女性」の割合が56.8%となっています。  
平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成22年度調査には「その他」の選択肢はありません。

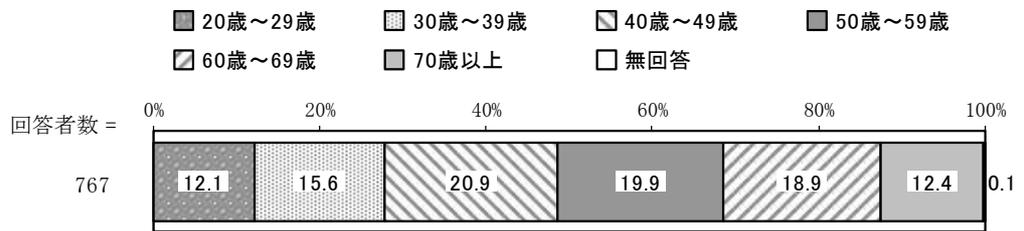
#### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳、70歳以上で「男性」の割合が高く、約5割となっています。



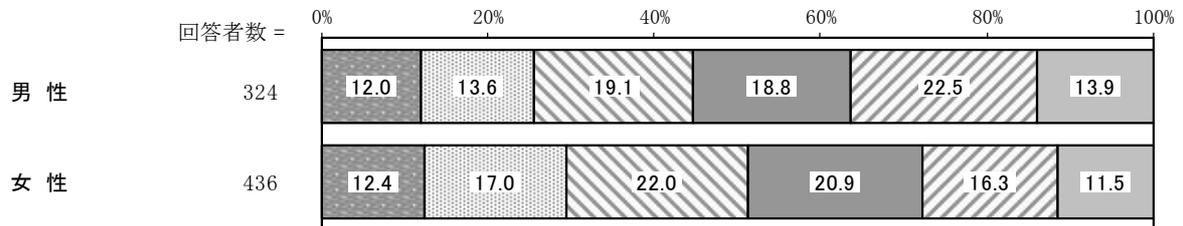
**問2 あなたの年齢はどれですか。(○は1つ)**

「40歳～49歳」の割合が20.9%と最も高く、次いで「50歳～59歳」の割合が19.9%、「60歳～69歳」の割合が18.9%となっています。



**【性別】**

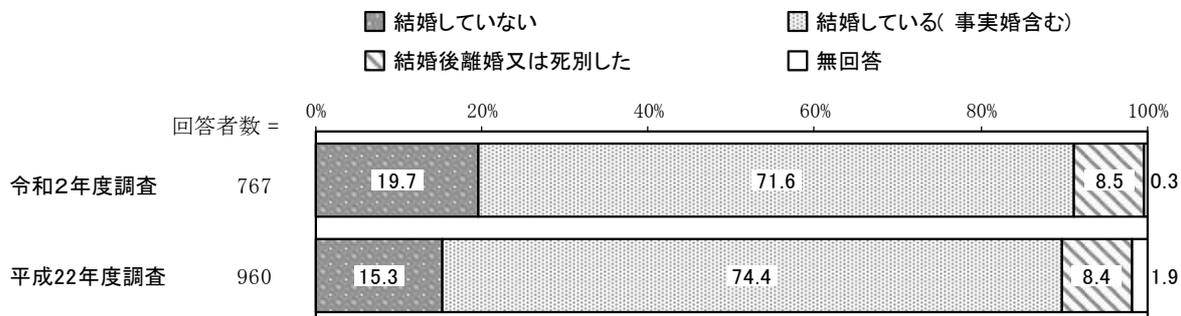
性別で見ると、女性に比べ、男性で「60歳～69歳」の割合が高く、約2割となっています。



### 問3 あなたは現在結婚していますか。(○は1つ)

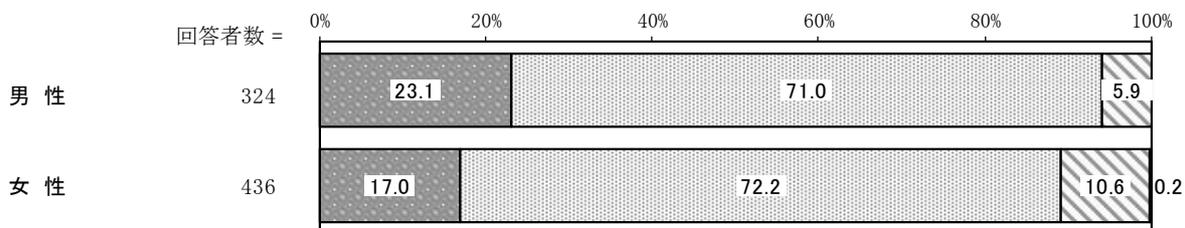
「結婚している(事実婚含む)」の割合が71.6%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が19.7%となっています。

平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



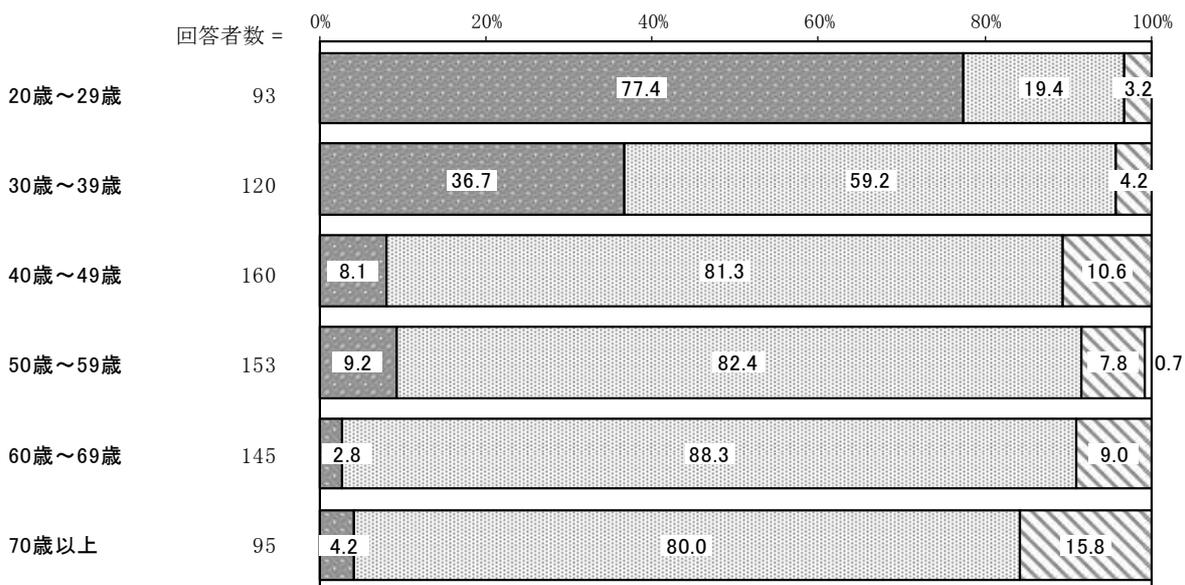
#### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「結婚していない」の割合が高く、2割を超えています。



#### 【年齢別】

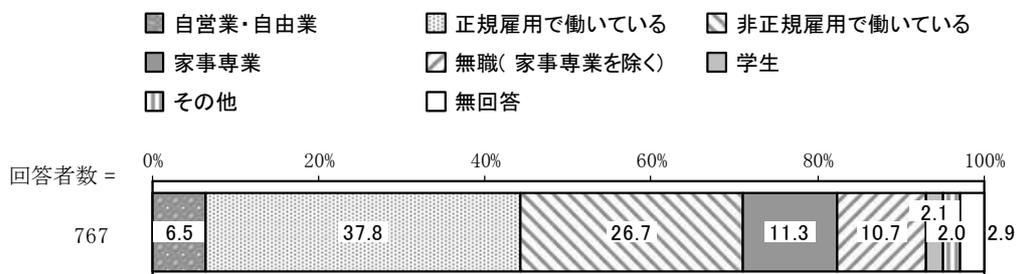
年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「結婚している(事実婚含む)」の割合が高くなる傾向が見られ、60歳～69歳で約9割となっています。



**問4 あなたの現在のお仕事は何ですか。結婚している（事実婚含む）方は配偶者についてもご記入ください。（○は各項目1つずつ）**

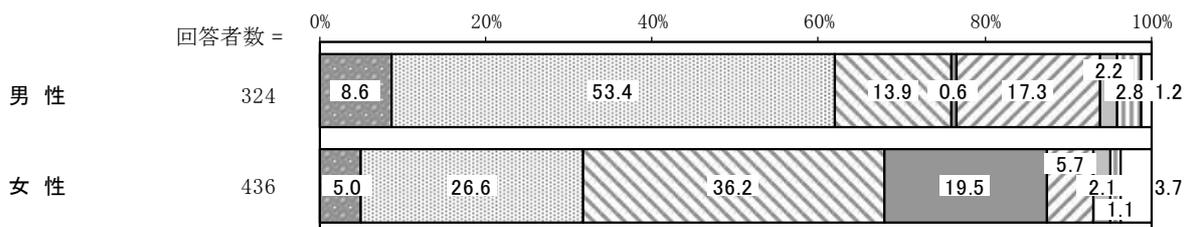
**（1）あなたの仕事はどれですか。**

「正規雇用で働いている」の割合が37.8%と最も高く、次いで「非正規雇用で働いている」の割合が26.7%、「家事専業」の割合が11.3%となっています。



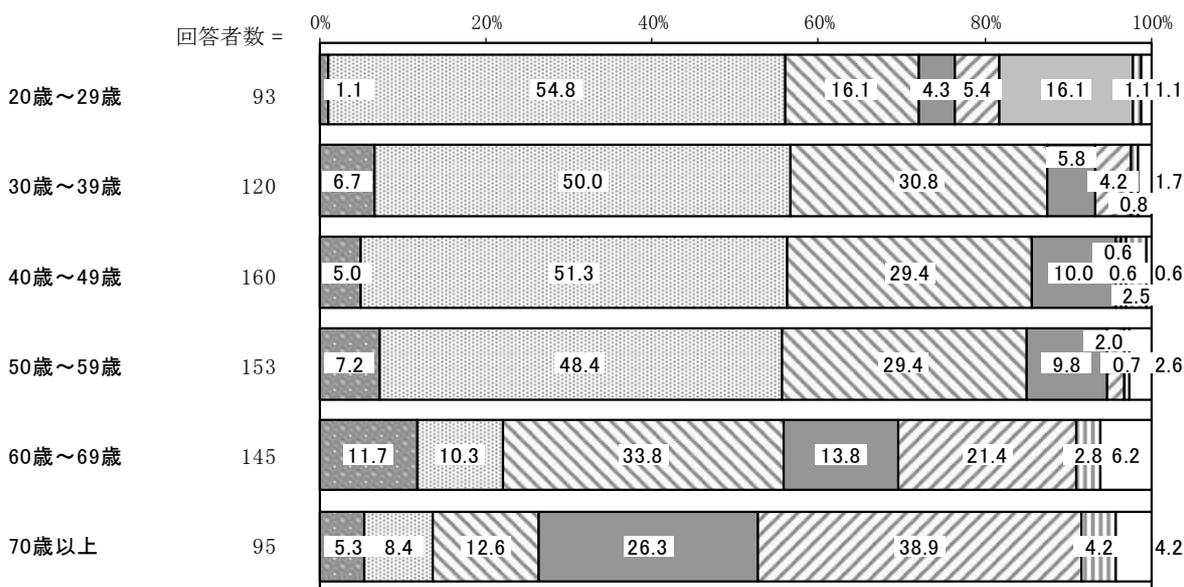
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「正規雇用で働いている」「無職(家事専業を除く)」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「非正規雇用で働いている」「家事専業」の割合が高くなっています。



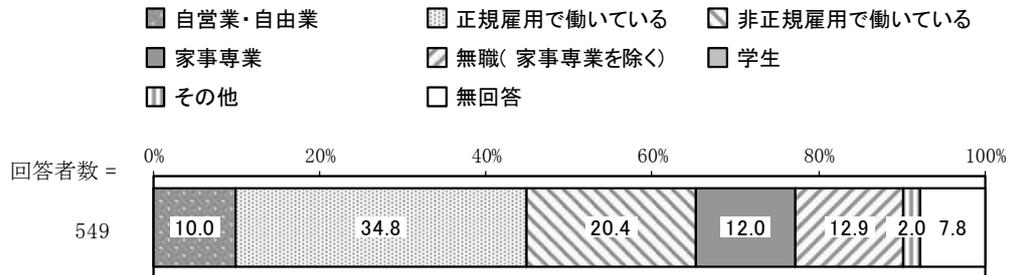
**【年齢別】**

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「正規雇用で働いている」の割合が、年齢が高くなるにつれ「無職(家事専業を除く)」の割合が高くなる傾向がみられます。



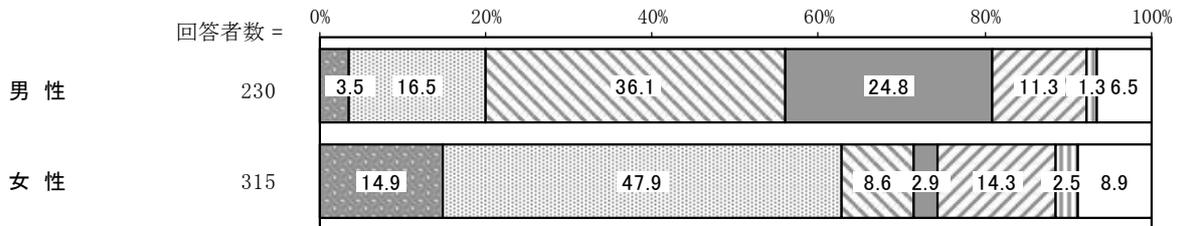
(2) 配偶者の仕事はどれですか。

「正規雇用で働いている」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「非正規雇用で働いている」の割合が 20.4%、「無職(家事専業を除く)」の割合が 12.9%となっています。



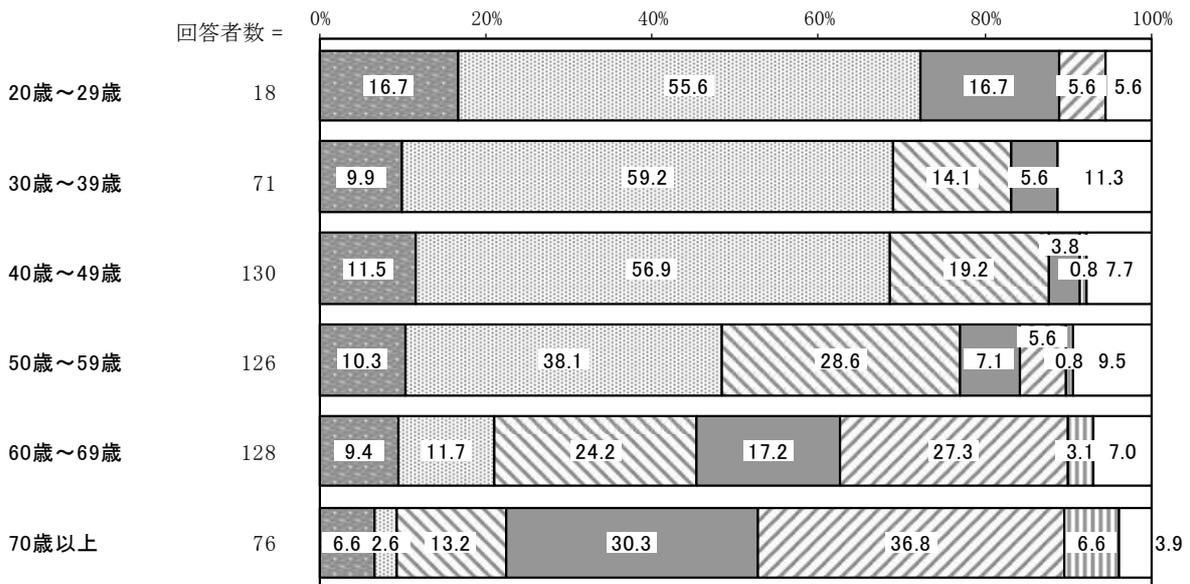
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「非正規雇用で働いている」「家事専業」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「自営業・自由業」「正規雇用で働いている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

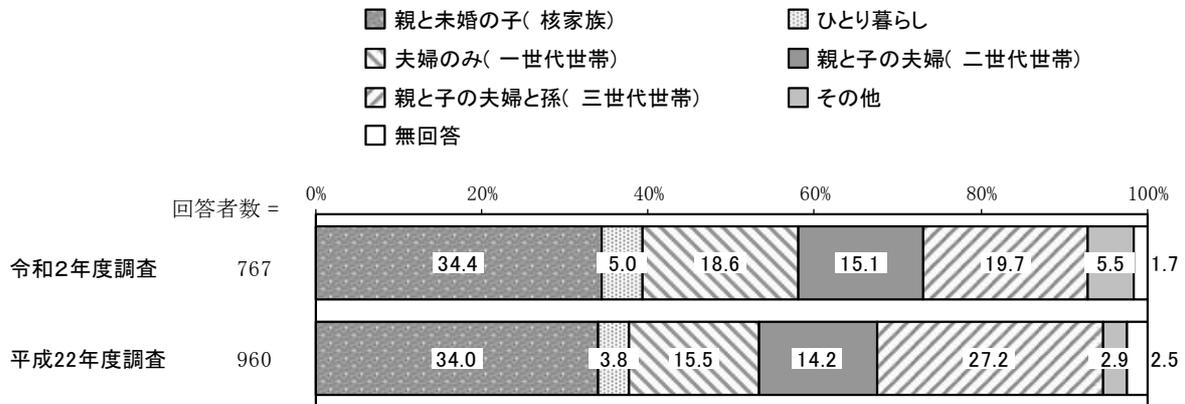
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳で「正規雇用で働いている」の割合が高く、5割を超えています。また、50歳～59歳で「非正規雇用で働いている」の割合が高く、約3割となっています。



## 問5 家族構成は次のどれですか。(○は1つ)

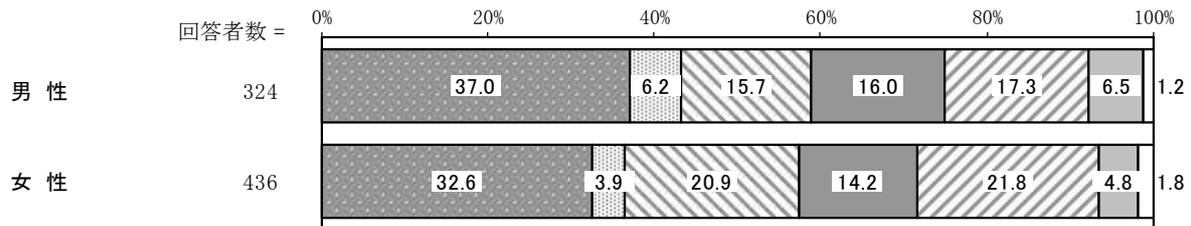
「親と未婚の子(核家族)」の割合が34.4%と最も高く、次いで「親と子の夫婦と孫(三世代世帯)」の割合が19.7%、「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が18.6%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「親と子の夫婦と孫(三世代世帯)」の割合が減少しています。



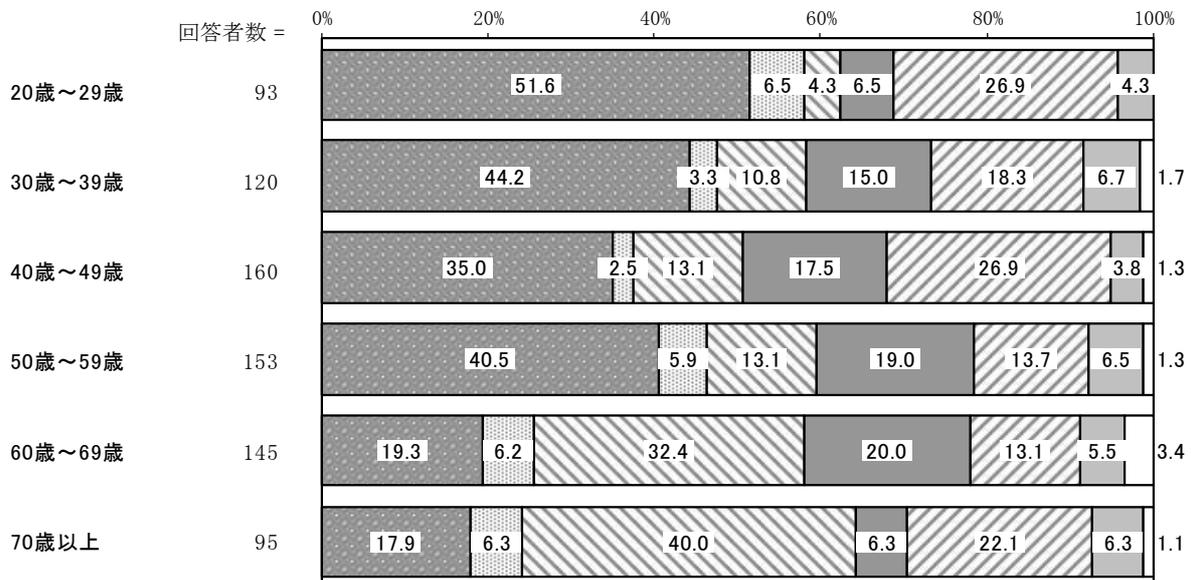
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が高く、約2割となっています。



### 【年齢別】

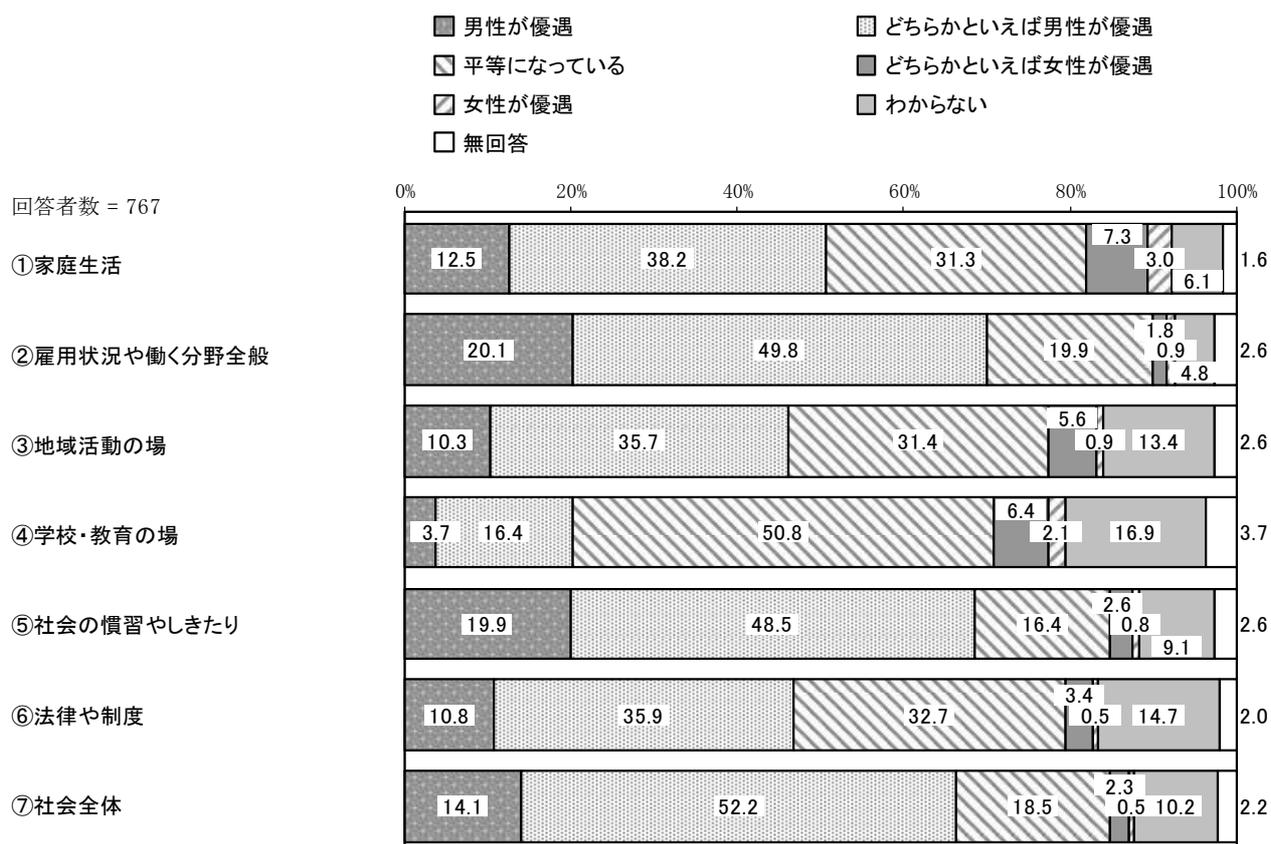
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「親と未婚の子(核家族)」の割合が、年齢が高くなるにつれ「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が高くなる傾向がみられます。



## (2) 性別役割分担について

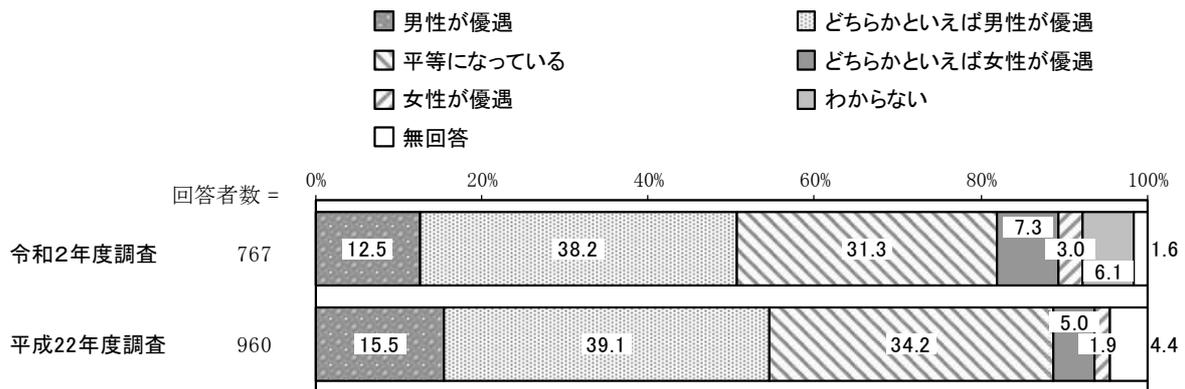
問6 次の各分野における男女の地位について、男女がどの程度平等になっていると思われますか。(〇は各項目1つずつ)

『②雇用状況や働く分野全般』『⑤社会の慣習やしきたり』『⑦社会全体』で「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」をあわせた“男性が優遇”の割合が高く、6割を超えています。また、『④学校・教育の場』で「平等になっている」の割合が高く、約5割となっています。



## ①家庭生活

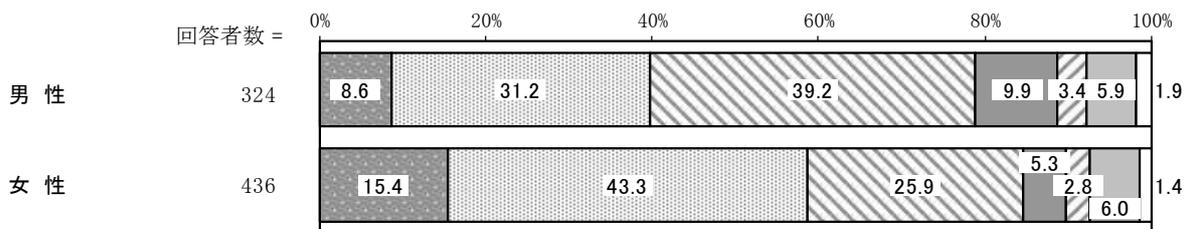
平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

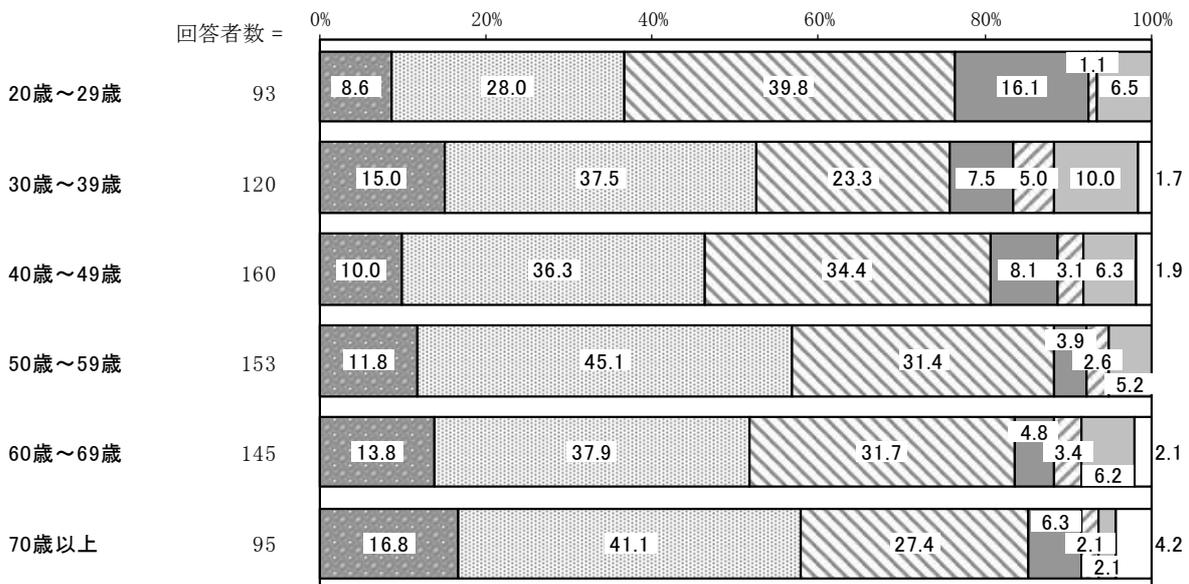
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」「女性が優遇」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「男性が優遇」の割合が高く、約6割となっています。



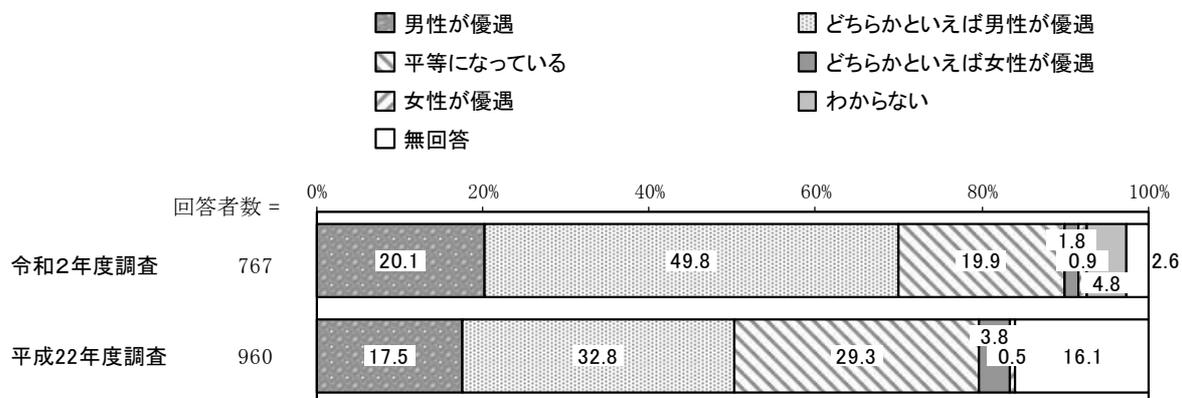
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「平等になっている」「女性が優遇」の割合が高く、なっています。また、50歳～59歳、70歳以上で「男性が優遇」の割合が高く、約6割となっています。



## ②雇用状況や働く分野全般

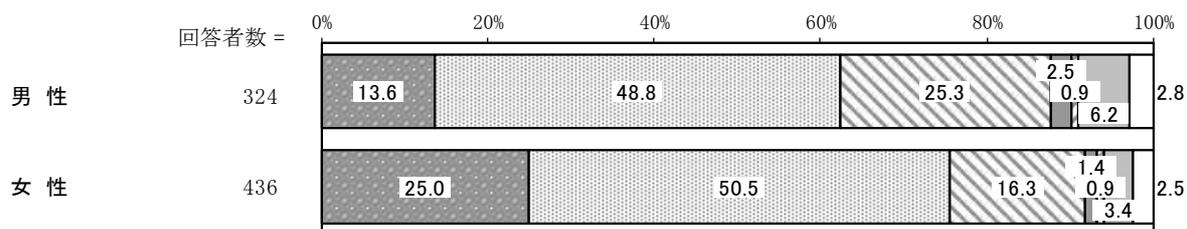
平成22年度調査と比較すると、「男性が優遇」の割合が増加し、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

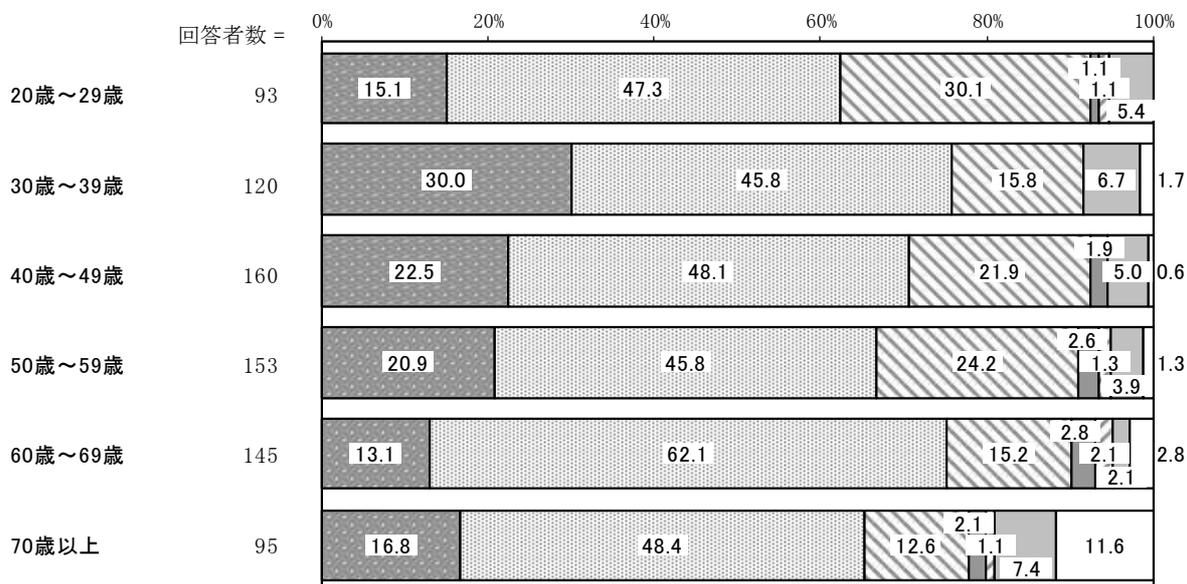
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



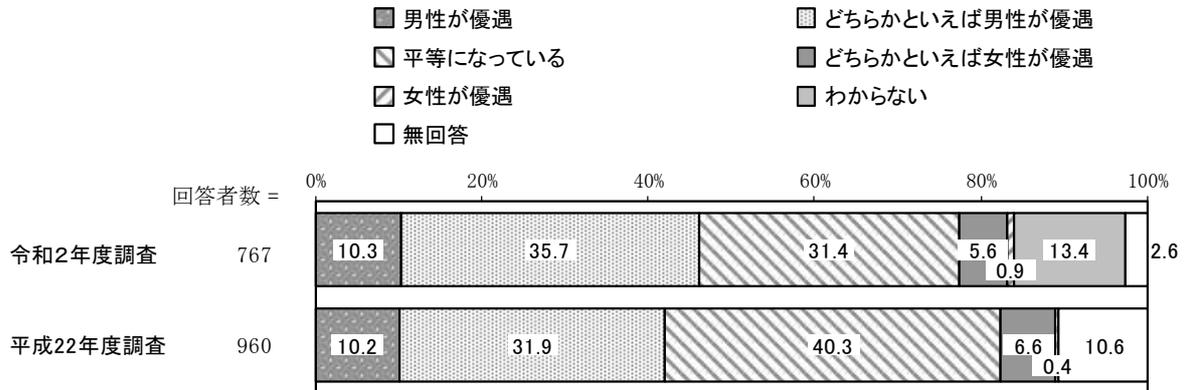
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、60歳～69歳で“男性が優遇”の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、20歳～29歳で「平等になっている」の割合が高く、約3割となっています。



### ③地域活動の場

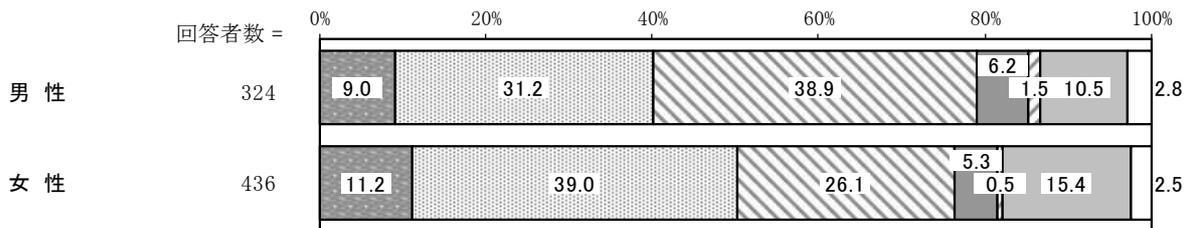
平成 22 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成 22 年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

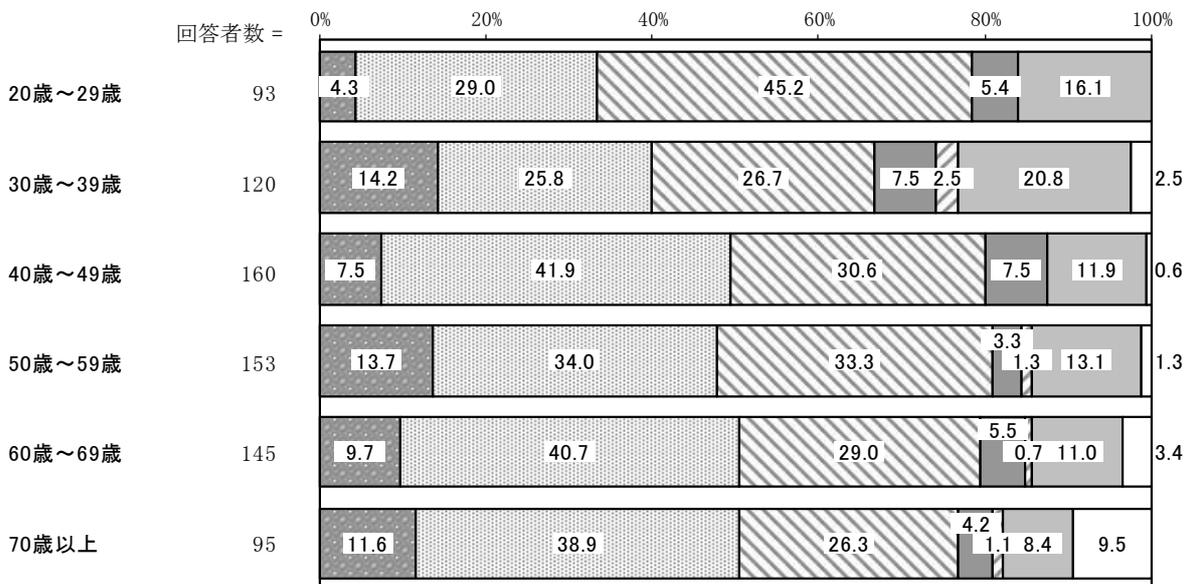
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約 4 割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約 5 割となっています。



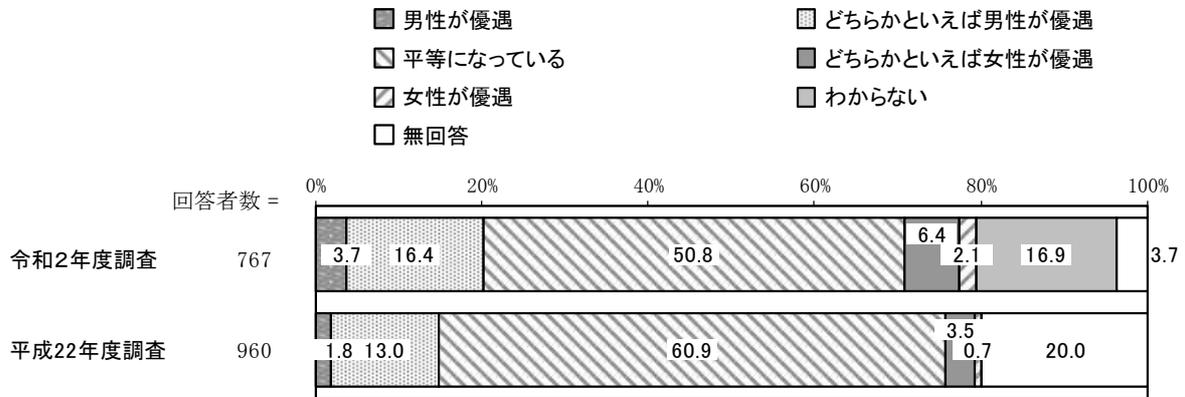
### 【年齢別】

年齢別で見ると、39 歳以下に比べ、40 歳以上で“男性が優遇”の割合が高く、約 5 割となっています。また、20 歳～29 歳で「平等になっている」の割合が高く、4 割台半ばとなっています。



#### ④学校・教育の場

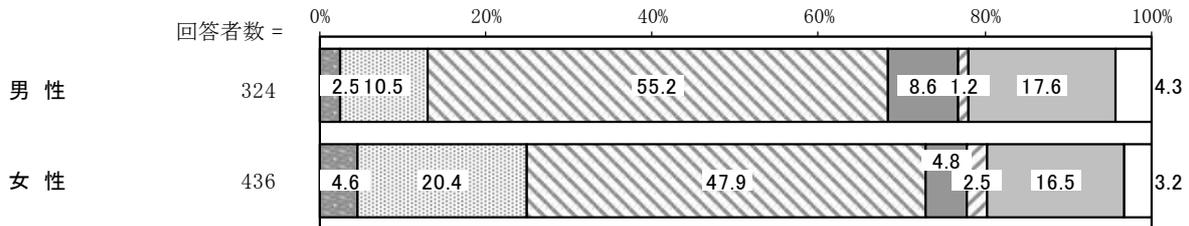
平成 22 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」の割合が増加し、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成 22 年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

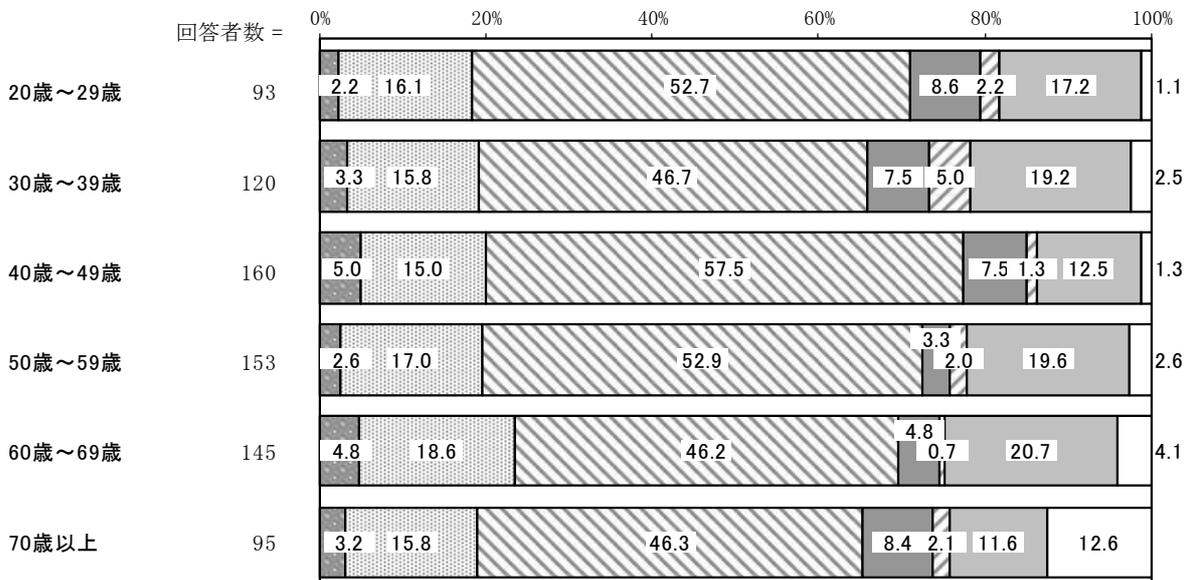
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



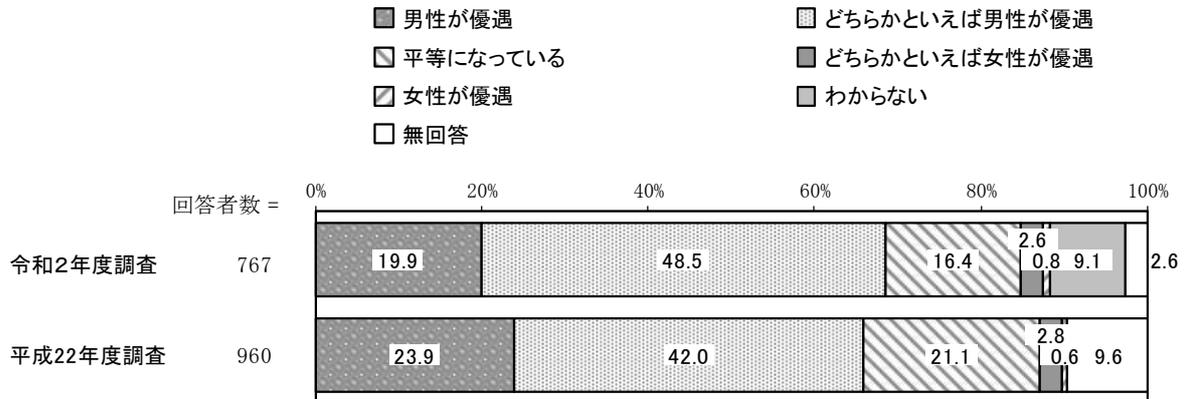
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で「平等になっている」の割合が高く、約6割となっています。



### ⑤ 社会の慣習やしきたり

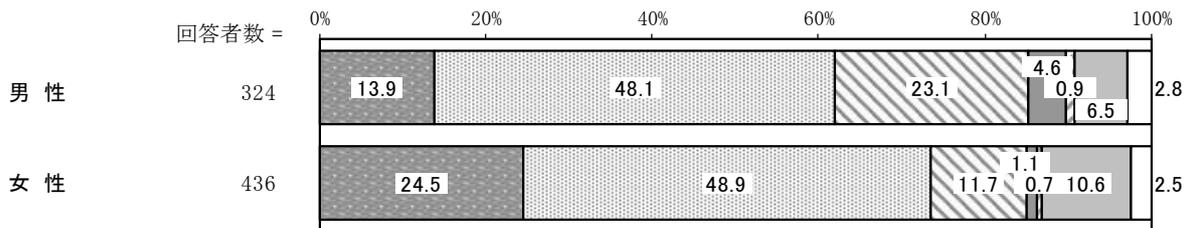
平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成 22 年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

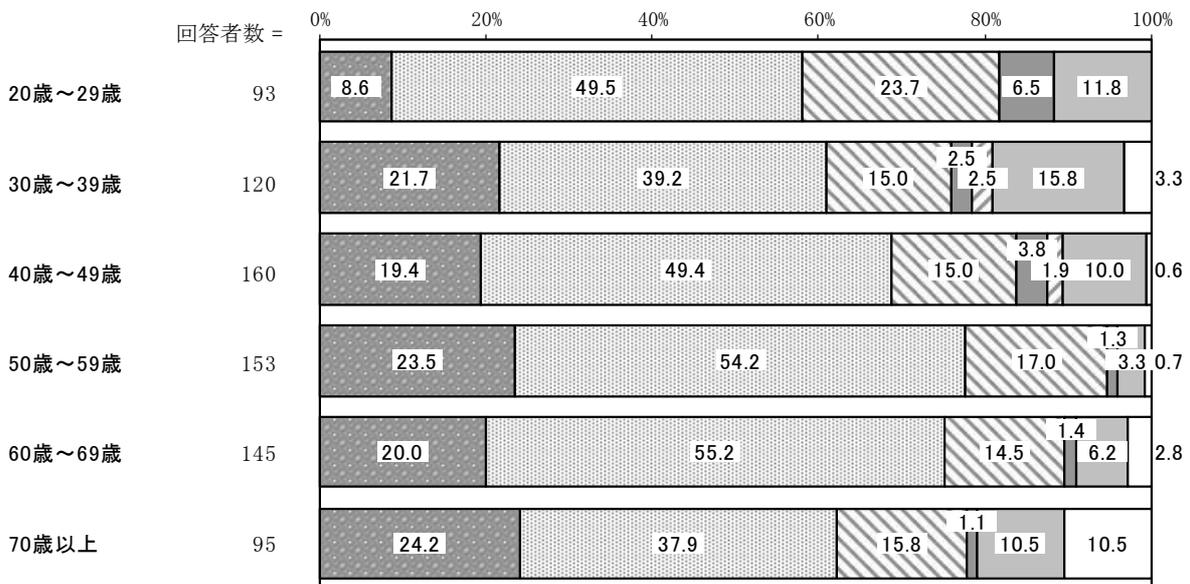
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約 2 割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約 7 割となっています。



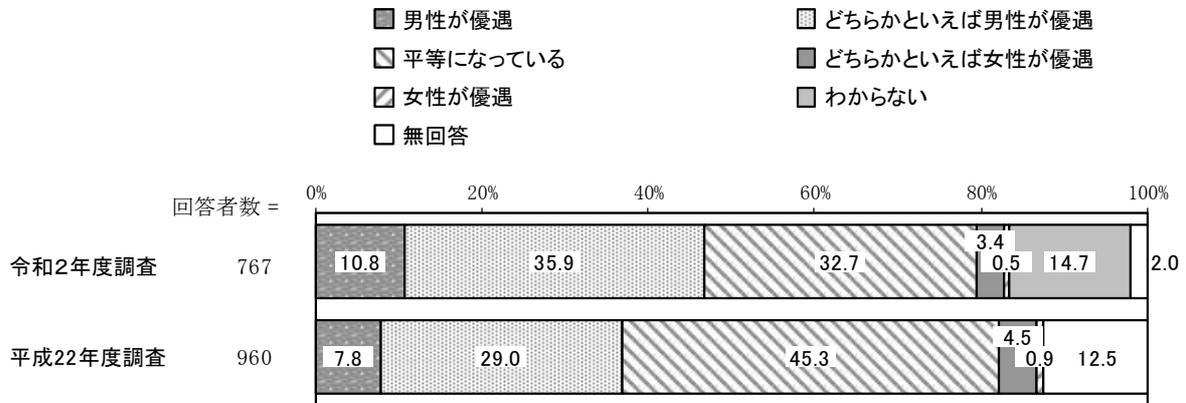
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、50 歳～59 歳で“男性が優遇”の割合が高く、約 8 割となっています。また、20 歳～29 歳で「平等になっている」の割合が高く、約 2 割となっています。



## ⑥法律や制度

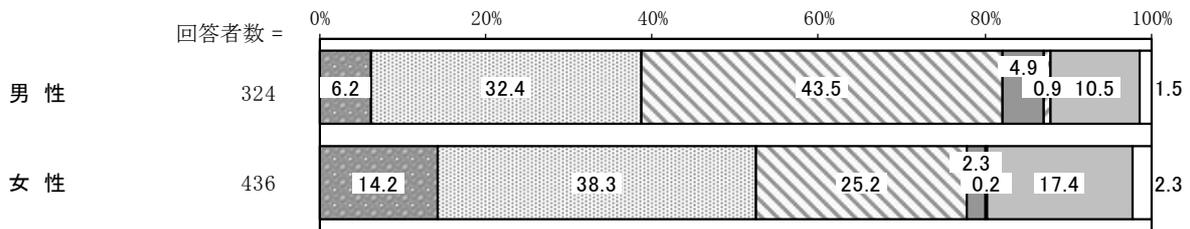
平成22年度調査と比較すると、「男性が優遇」の割合が増加し、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

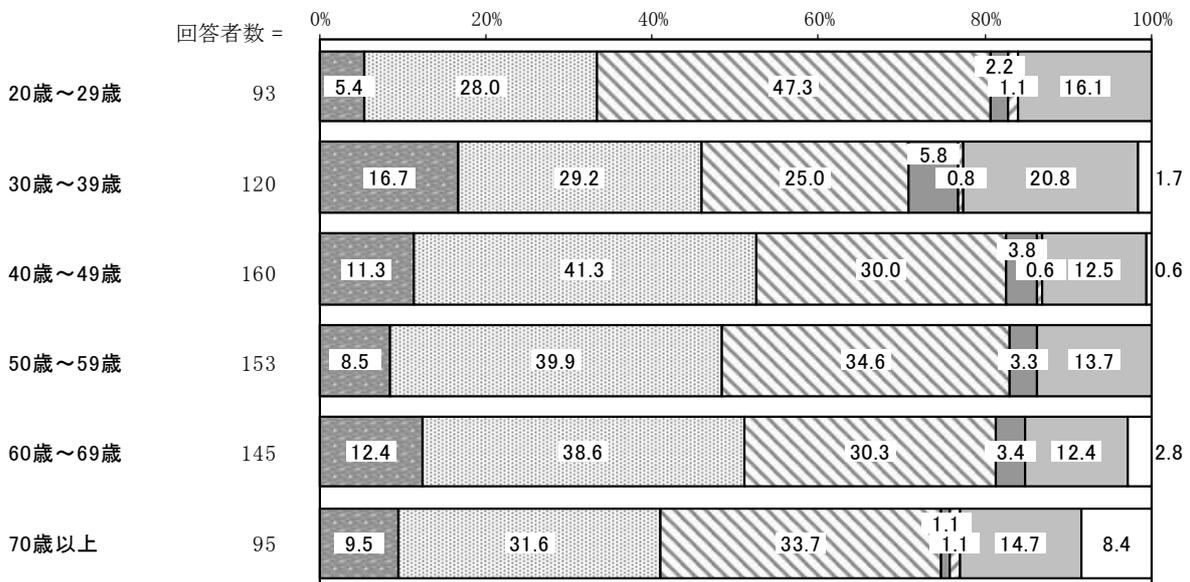
## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約5割となっています。



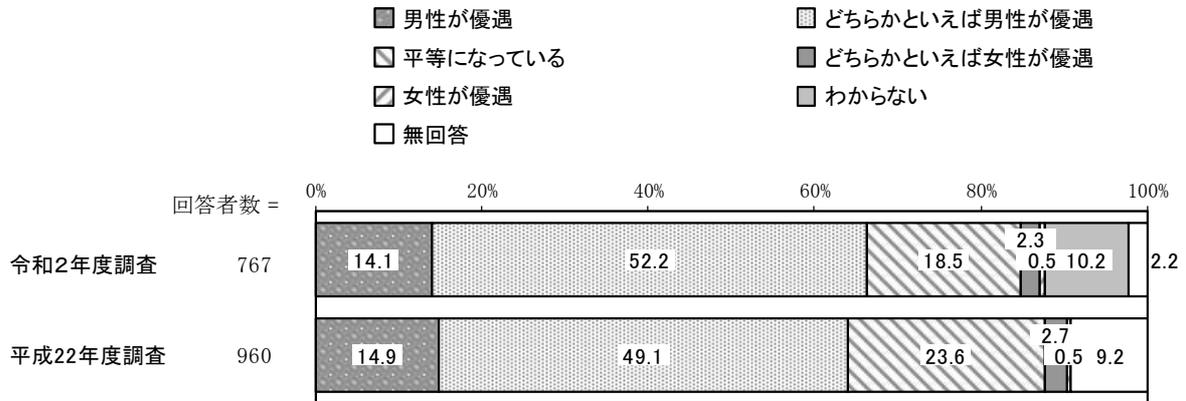
## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳から60歳～69歳で“男性が優遇”の割合が高く、約5割となっています。また、20歳～29歳で「平等になっている」の割合が高く、約5割となっています。



## ⑦社会全体

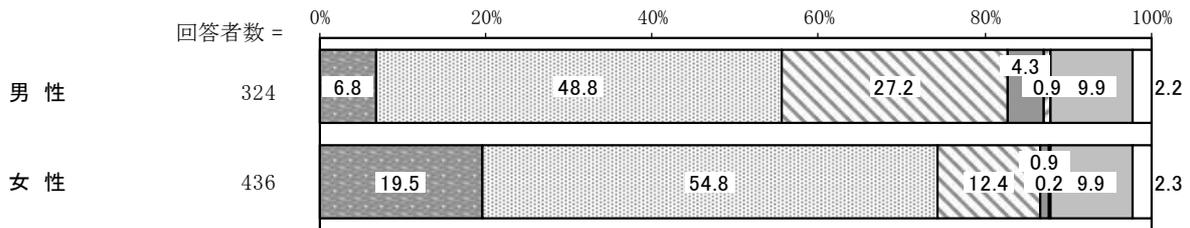
平成 22 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成 22 年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

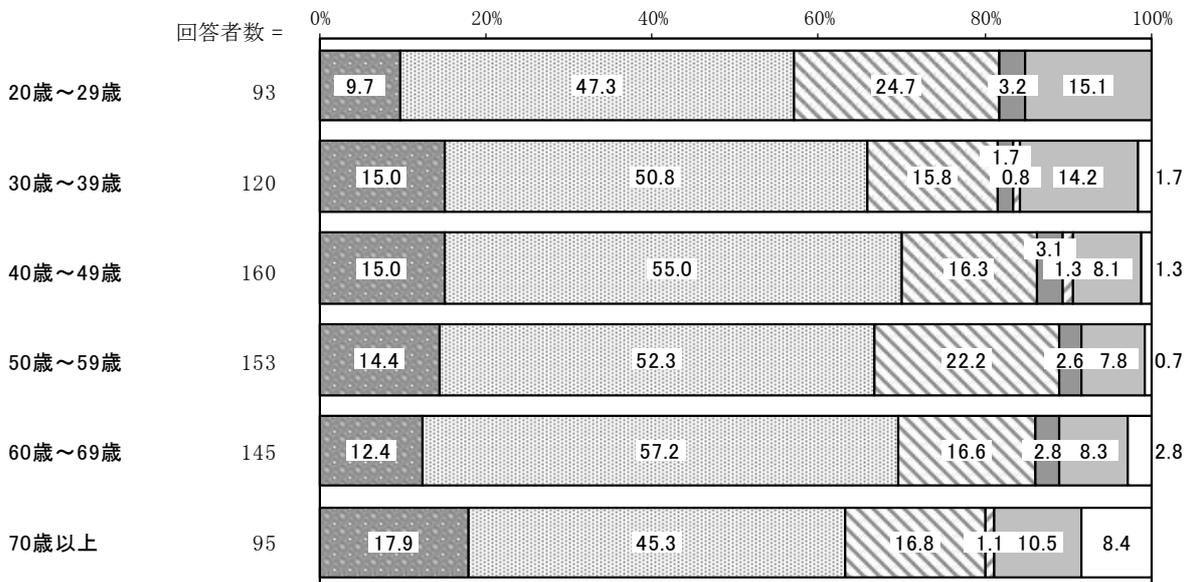
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約 3 割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、7 割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

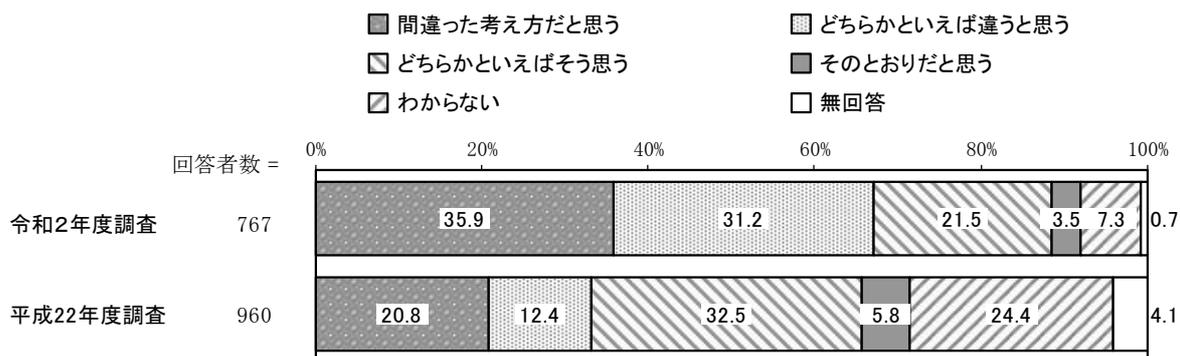
年齢別で見ると、他に比べ、40 歳～49 歳、60 歳～69 歳で“男性が優遇”の割合が高く、約 7 割となっています。また、20 歳～29 歳で「平等になっている」の割合が高く、2 割台半ばとなっています。



**問7 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)**

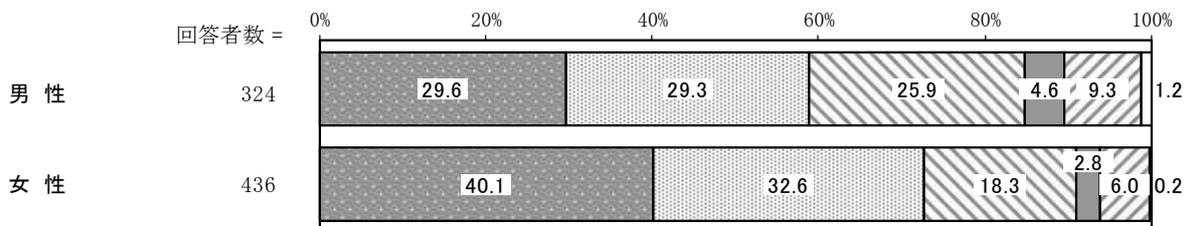
「間違った考え方だと思う」と「どちらかといえば違うと思う」をあわせた“間違った考え方だと思う”の割合が67.1%、「どちらかといえばそう思う」と「そのとおりだと思う」をあわせた“そのとおりだと思う”の割合が25.0%となっています。

平成22年度調査と比較すると、“間違った考え方だと思う”の割合が増加し、“そのとおりだと思う”の割合が減少しています。



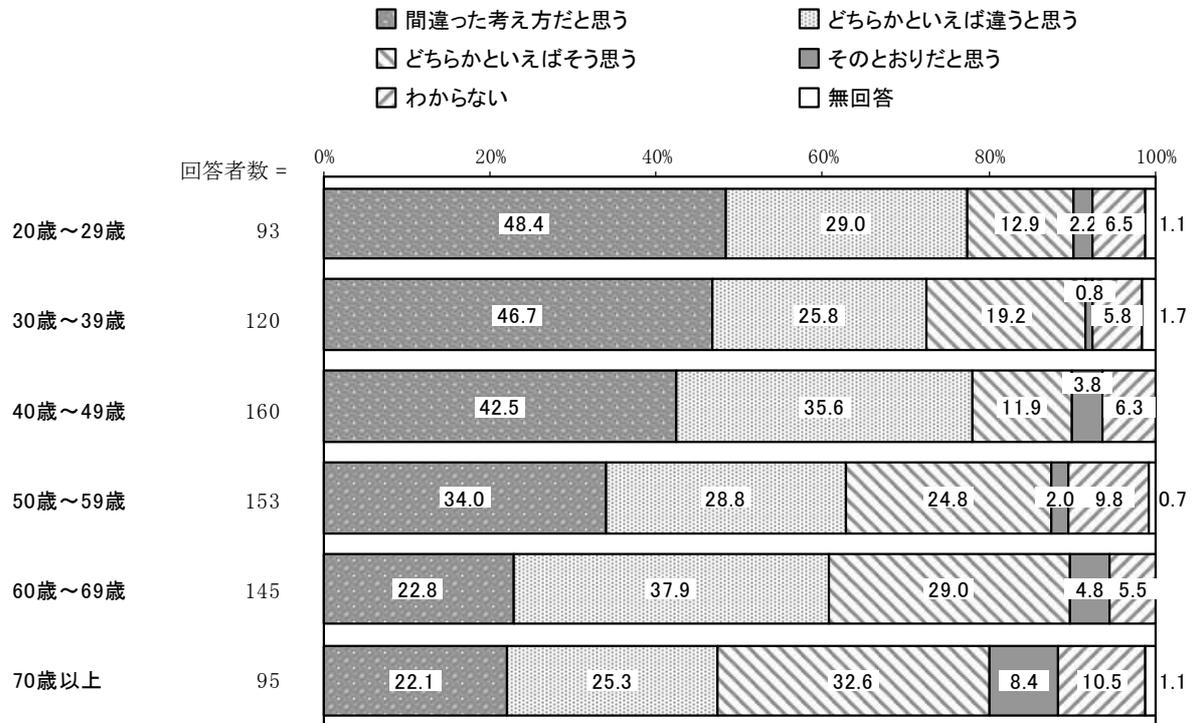
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で“そのとおりだと思う”の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で“間違った考え方だと思う”の割合が高く、約7割となっています。



### 【年齢別】

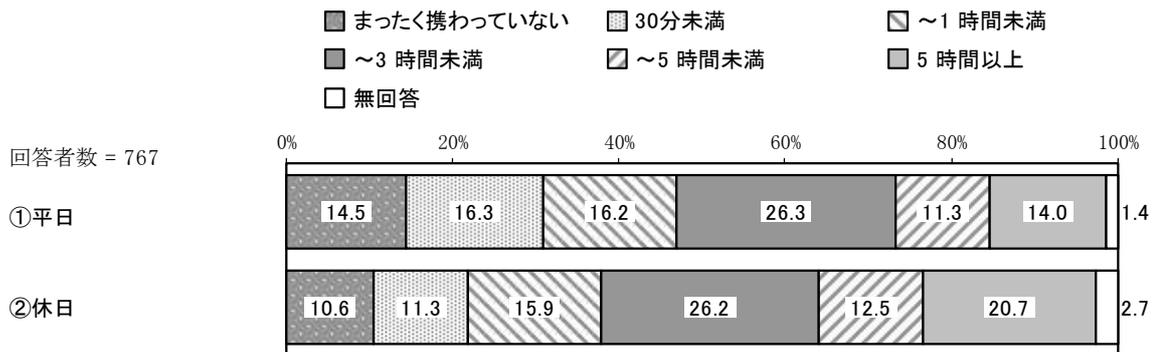
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、40歳～49歳で“間違っただけだと思ふ”の割合が高く、約8割となっています。また、70歳以上で“そのとおりだと思ふ”の割合が高く、約4割となっています。



**問8 あなたが家事・育児・介護に携わる時間は、1日あたりどれくらいですか。**  
**(○は各項目1つずつ)**

『①平日』では、「～3時間未満」の割合が26.3%と最も高く、次いで「30分未満」の割合が16.3%、「～1時間未満」の割合が16.2%となっています。

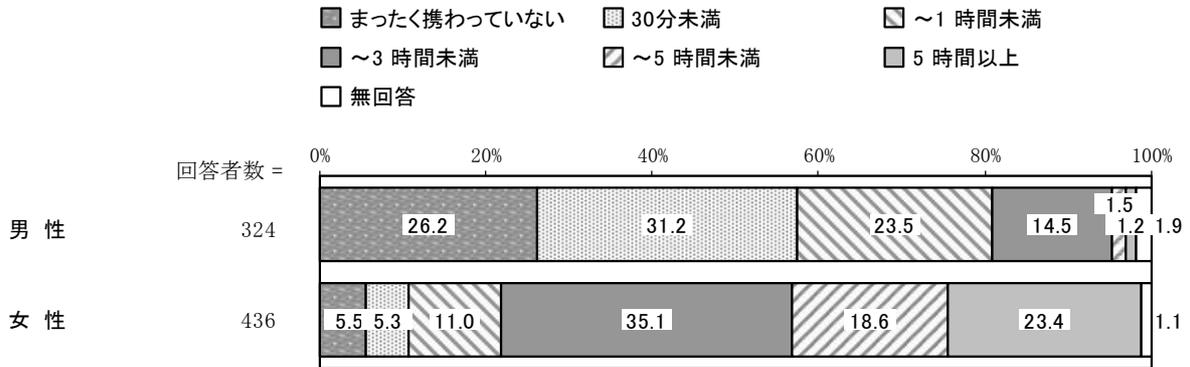
『②休日』では、「～3時間未満」の割合が26.2%と最も高く、次いで「5時間以上」の割合が20.7%、「～1時間未満」の割合が15.9%となっています。



①平日

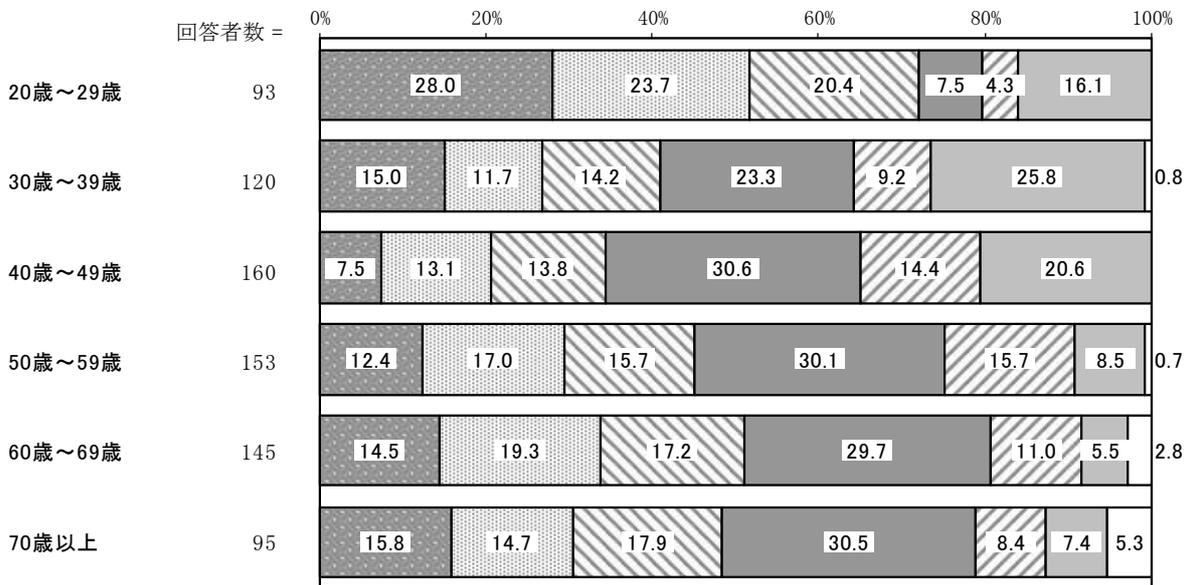
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「まったく携わっていない」「30分未満」「～1時間未満」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「～3時間未満」「～5時間未満」「5時間以上」の割合が高くなっています。



【年齢別】

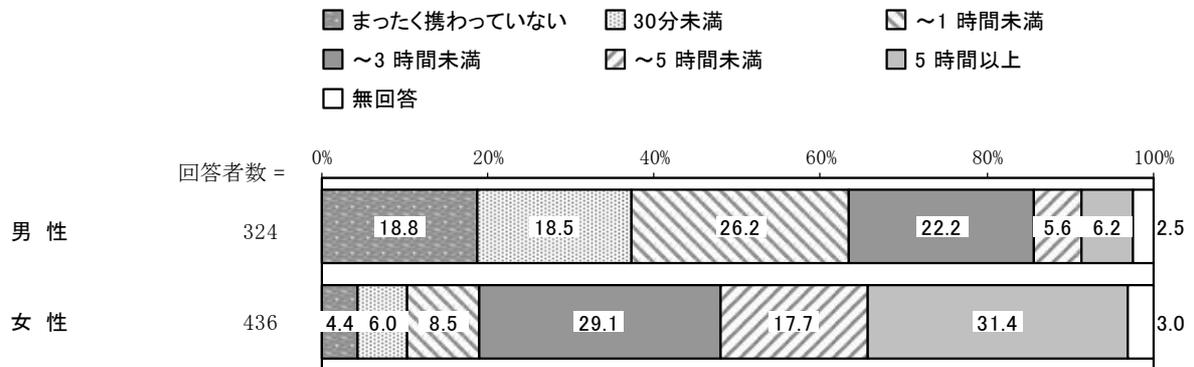
年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で「まったく携わっていない」「30分未満」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「5時間以上」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



## ②休日

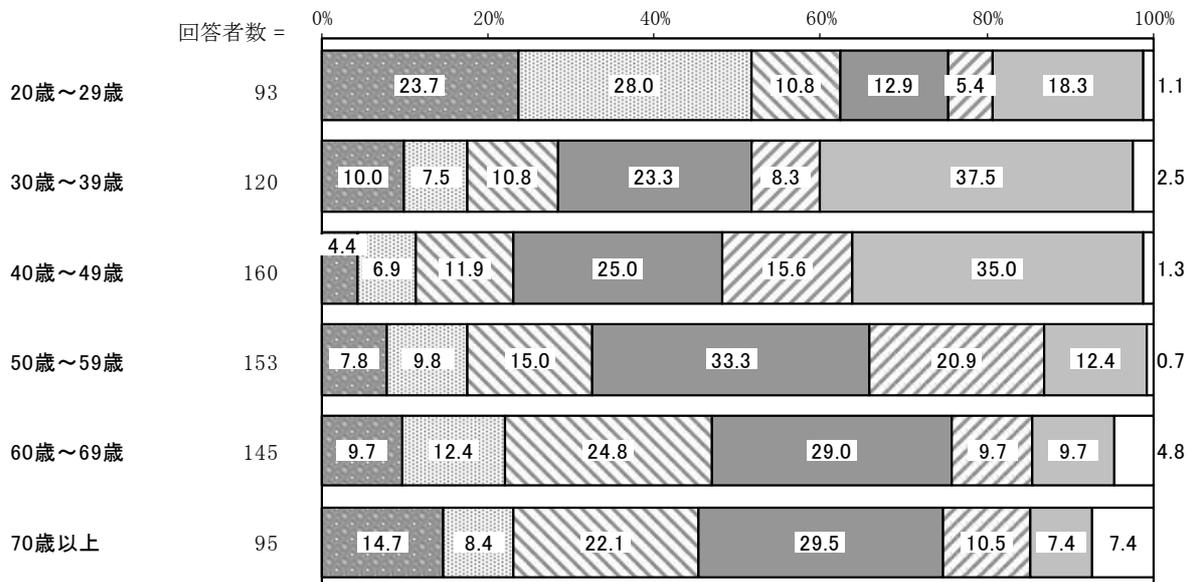
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「まったく携わっていない」「30分未満」「～1時間未満」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「～3時間未満」「～5時間未満」「5時間以上」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で「まったく携わっていない」「30分未満」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「5時間以上」の割合が高く、約4割となっています。

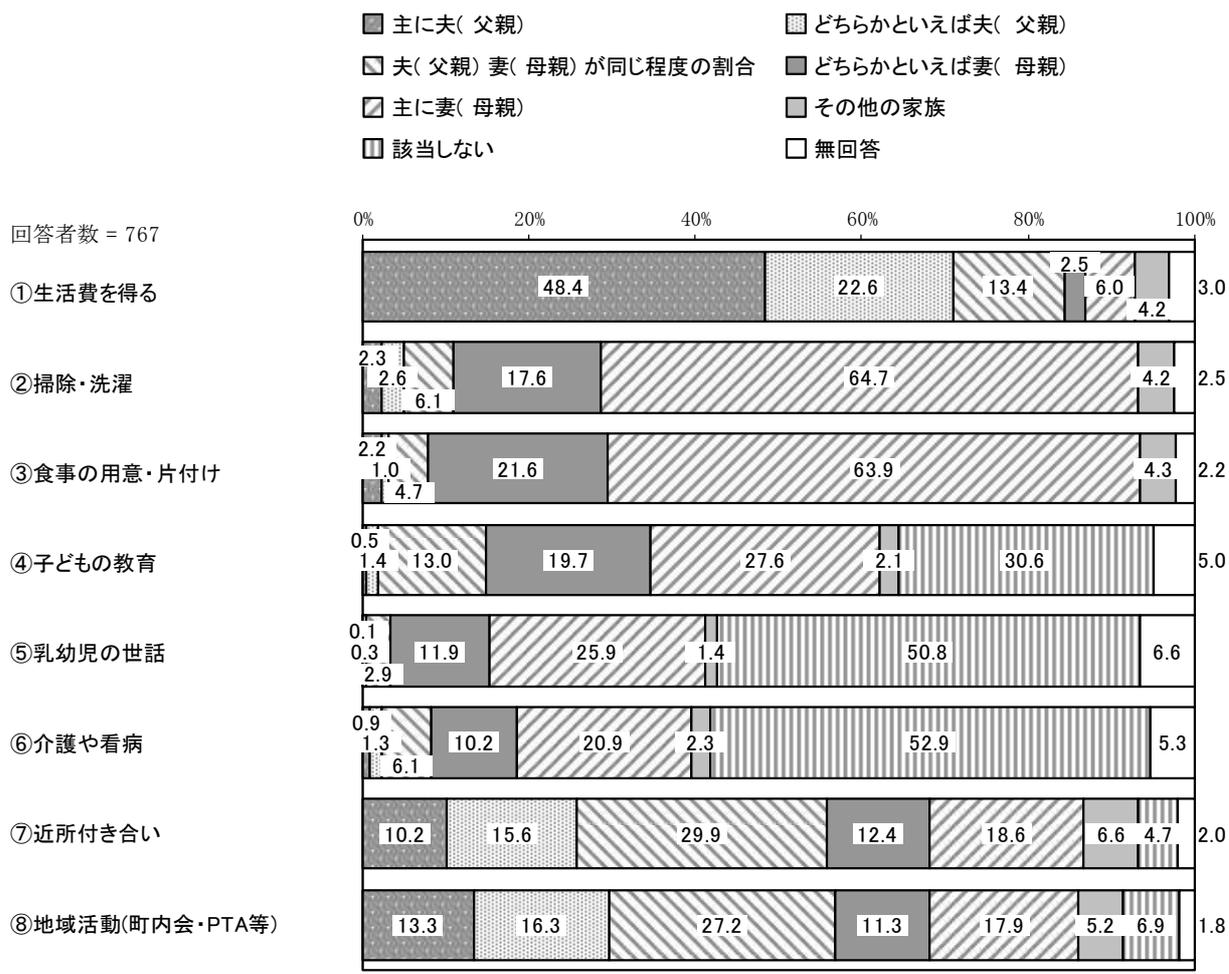


**問9 次のような家庭内の仕事について、あなたのご家庭では、主にどなたが担当されていますか。(〇は各項目1つずつ)**

『①生活費を得る』で「主に夫(父親)」と「どちらかといえば夫(父親)」をあわせた“夫(父親)”の割合が高く、約7割となっています。

一方、『②掃除・洗濯』『③食事の用意・片付け』で「どちらかといえば妻(母親)」と「主に妻(母親)」をあわせた“妻(母親)”の割合が高く、8割を超えています。

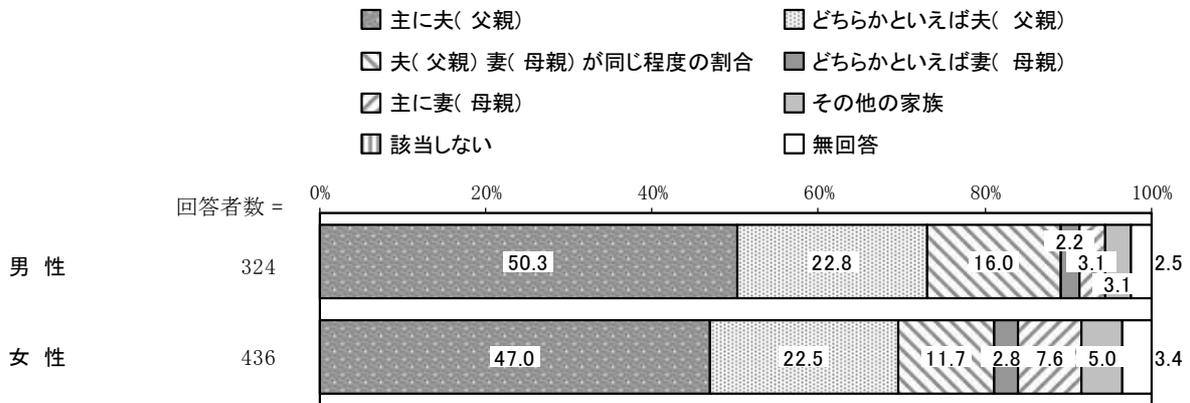
また、『⑦近所付き合い』『⑧地域活動(町内会・PTA等)』で「夫(父親)妻(母親)が同じ程度の割合」の割合が高く、約3割となっています。



## ①生活費を得る

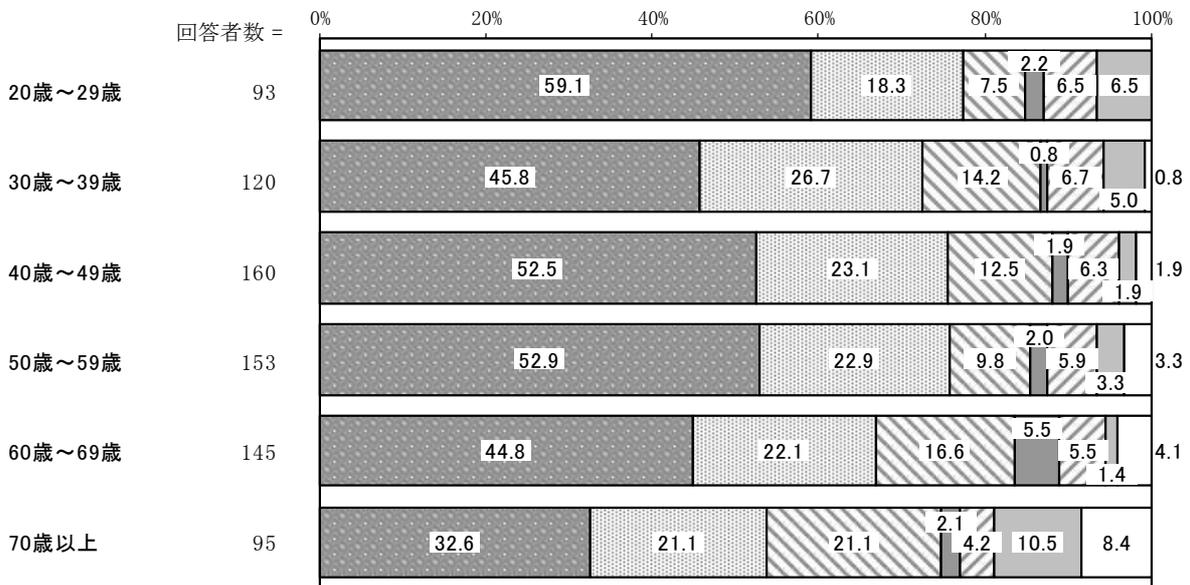
### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、約1割となっています。



### 【年齢別】

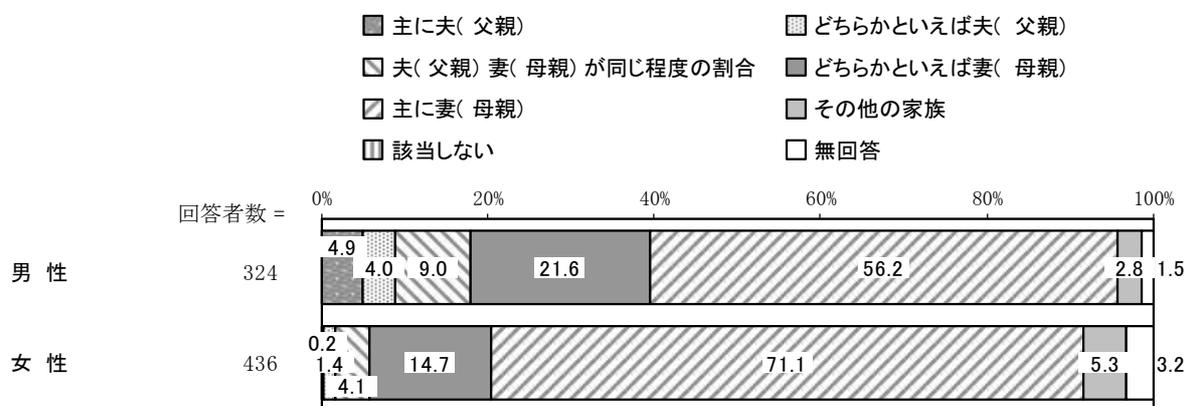
年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で“夫（父親）”の割合が高く、約8割となっています。また、70歳以上で「夫(父親)妻(母親)が同じ程度の割合」の割合が高く、約2割となっています。



## ②掃除・洗濯

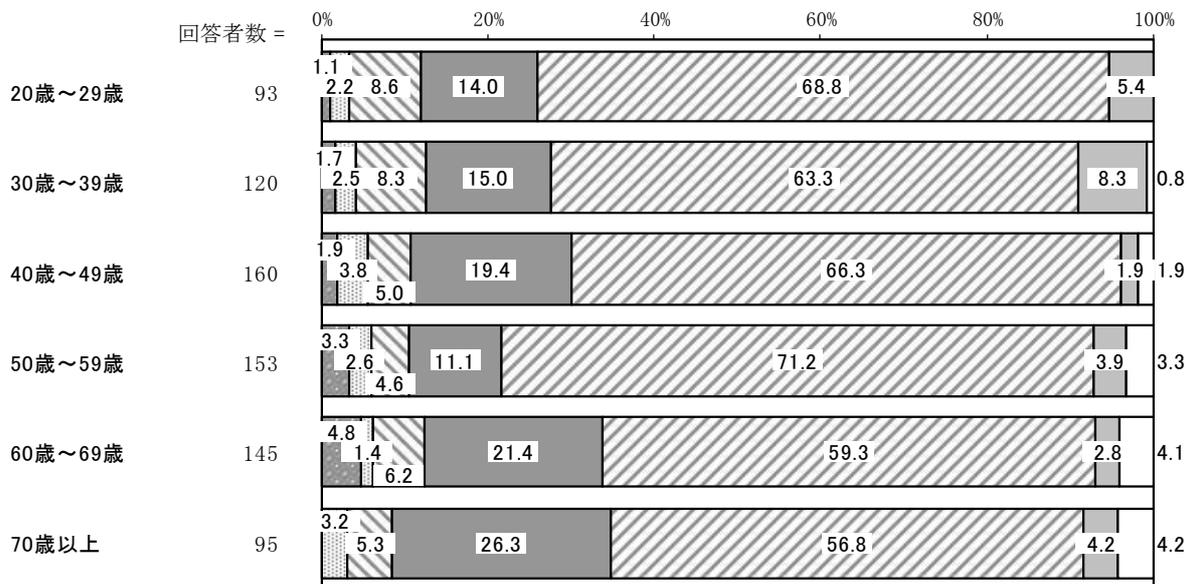
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫（父親）”の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

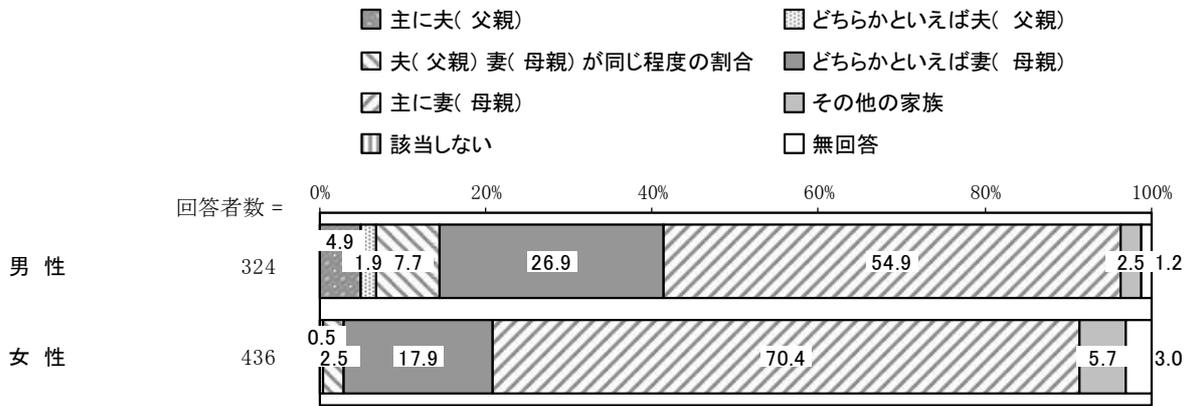
年齢別で見ると、他に比べ、40歳～49歳で“妻（母親）”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



### ③食事の用意・片付け

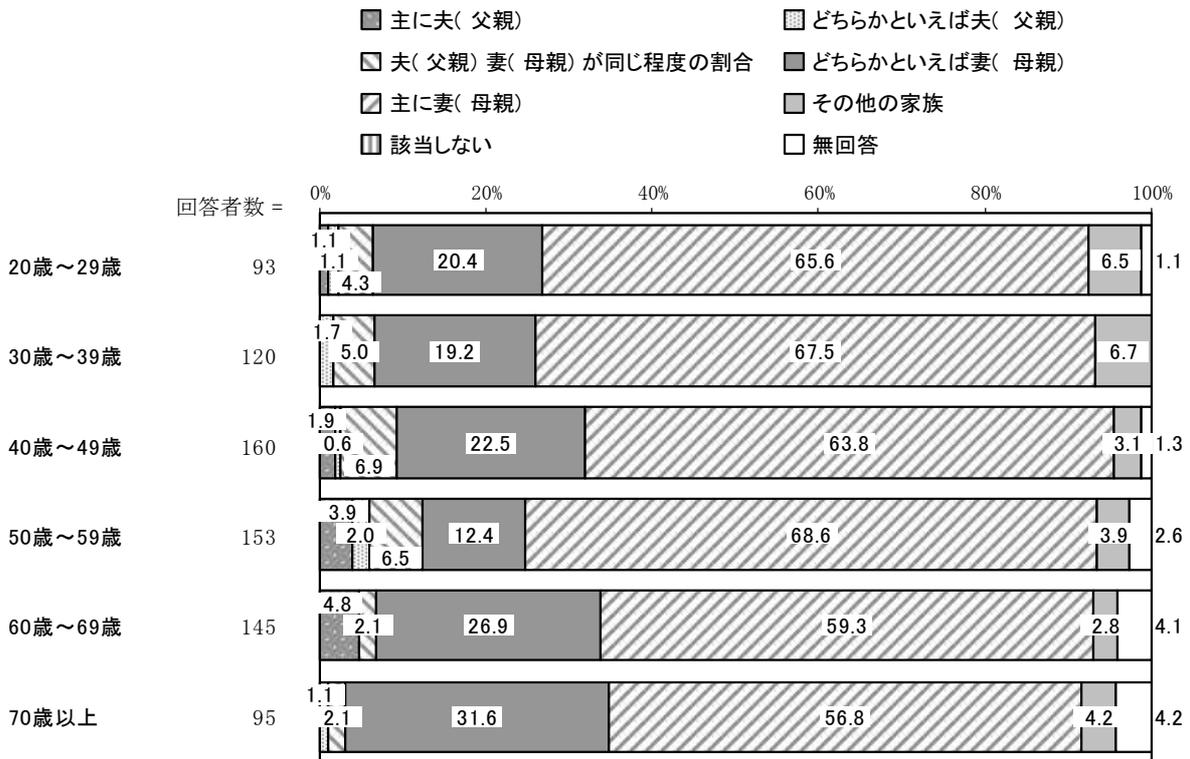
#### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫（父親）”「夫(父親)妻(母親)が同じ程度の割合」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、約9割となっています。



#### 【年齢別】

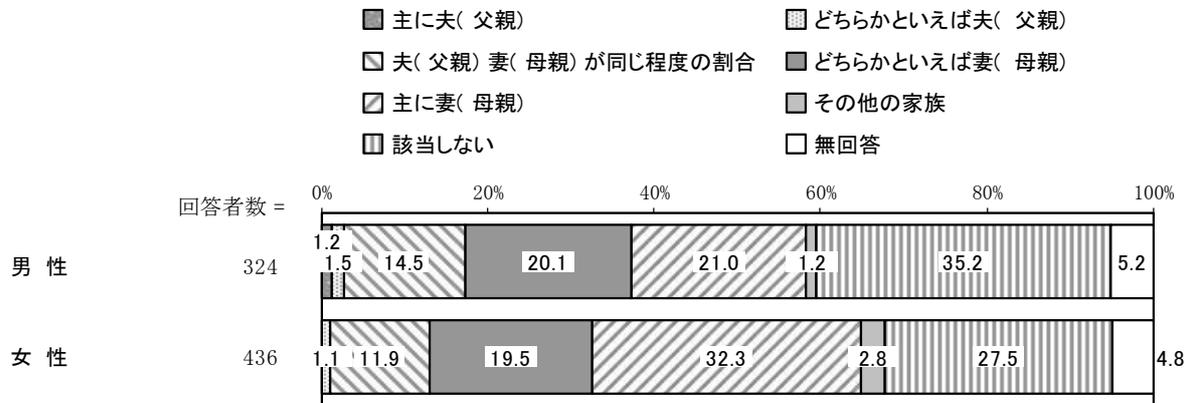
年齢別で見ると、大きな差異はみられません。



#### ④子どもの教育

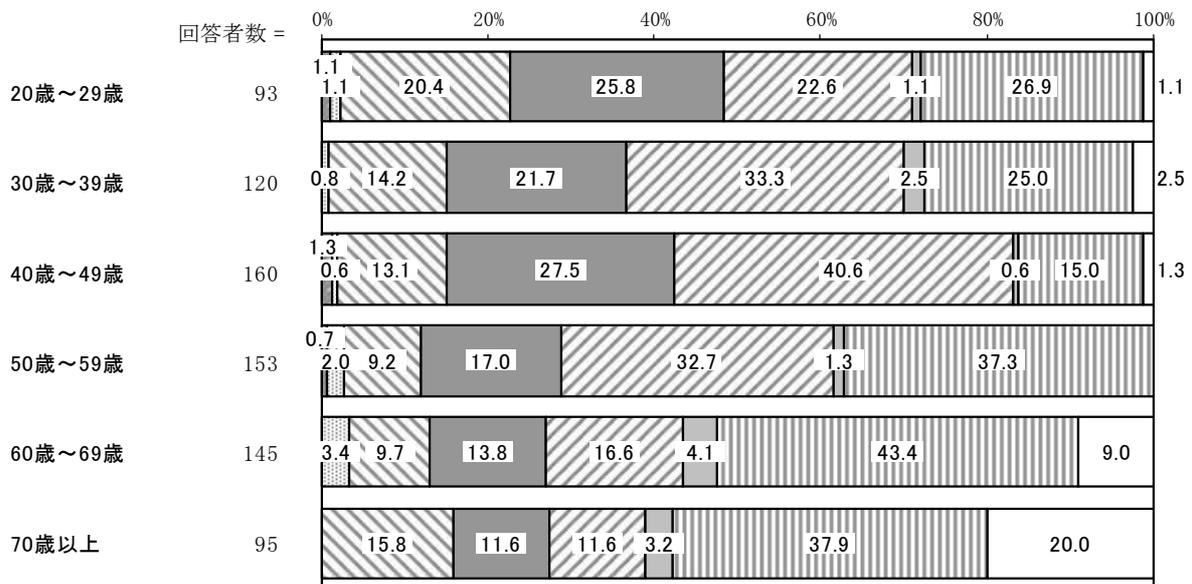
##### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、約5割となっています。



##### 【年齢別】

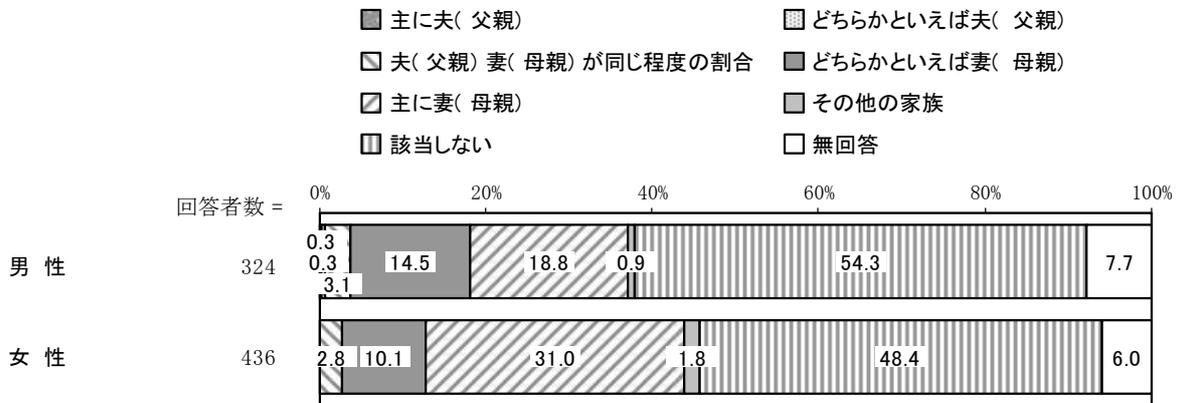
年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で“妻（母親）”の割合が高く、約7割となっています。20歳～29歳で「夫(父親)妻(母親)が同じ程度の割合」の割合が高く、約2割となっています。



## ⑤乳幼児の世話

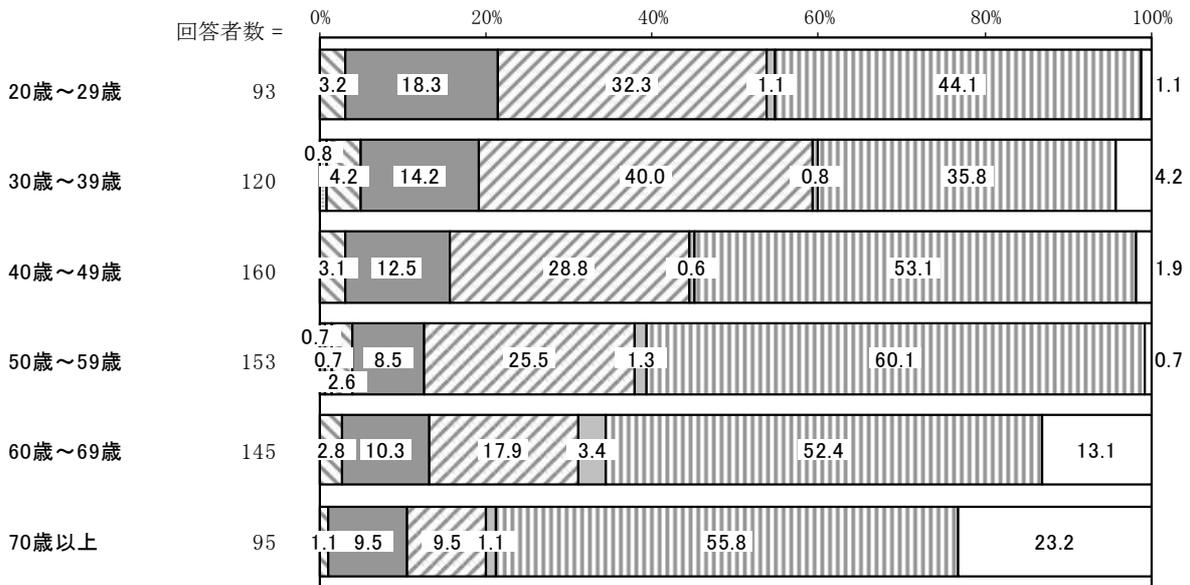
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、約4割となっています。



### 【年齢別】

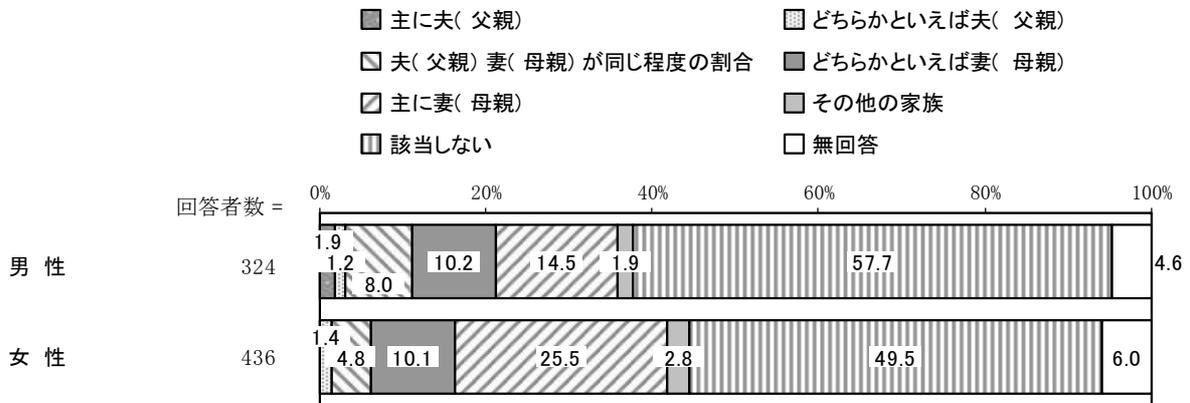
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で“妻（母親）”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



## ⑥介護や看病

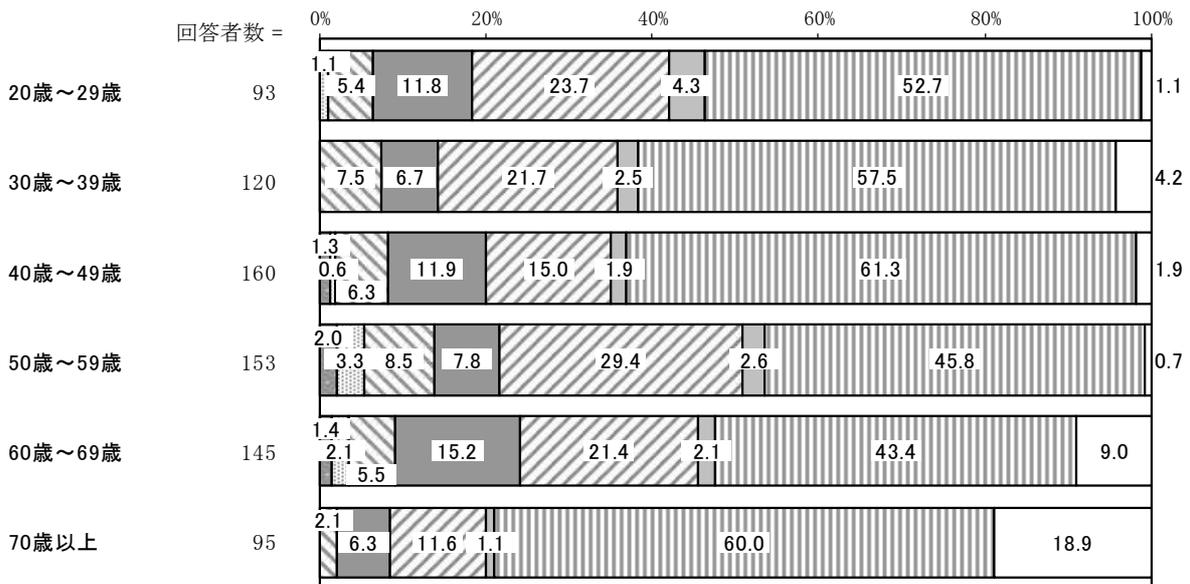
### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

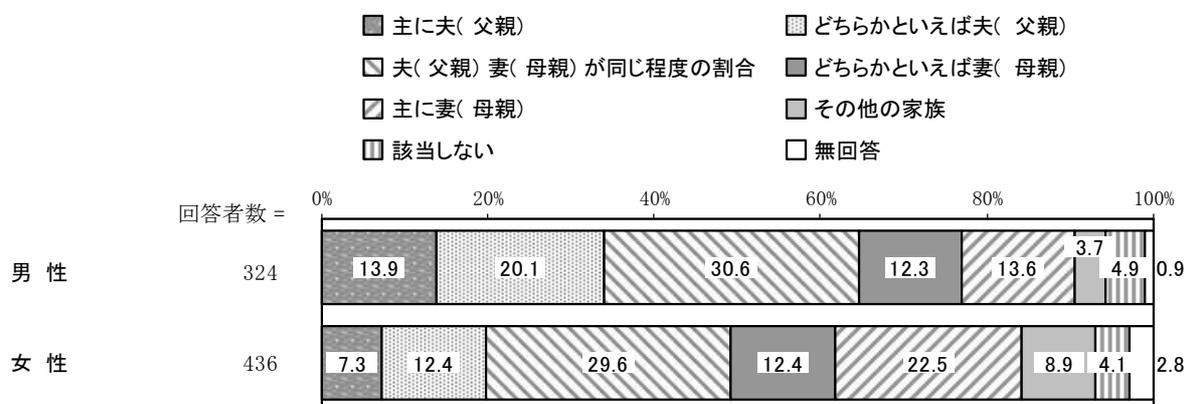
年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳、50歳～59歳、60歳～69歳で“妻（母親）”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



## ⑦近所付き合い

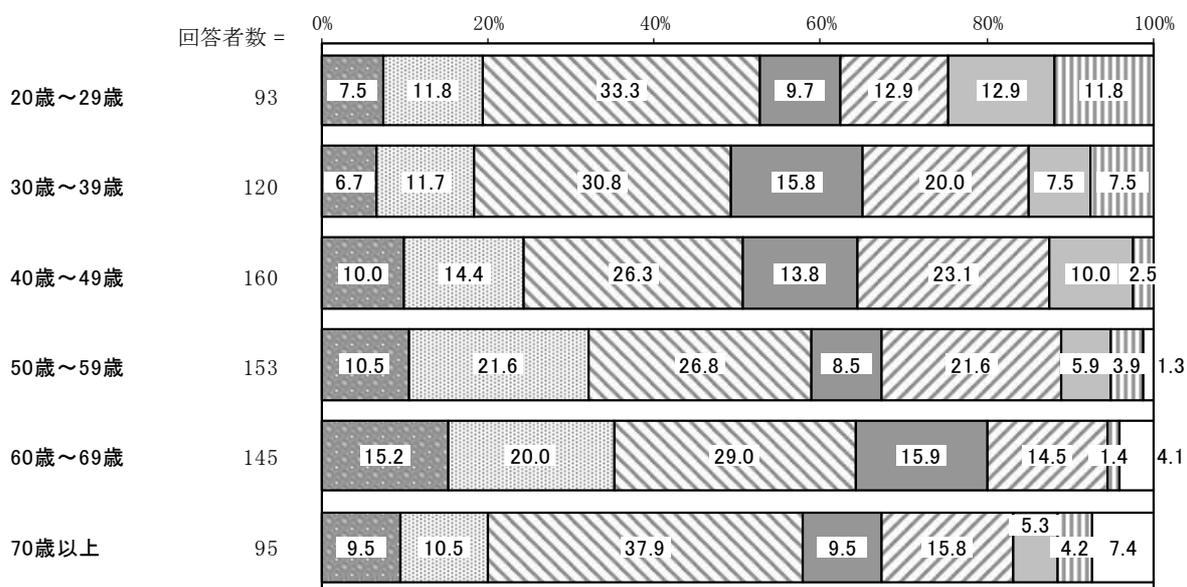
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫（父親）”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“妻（母親）”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

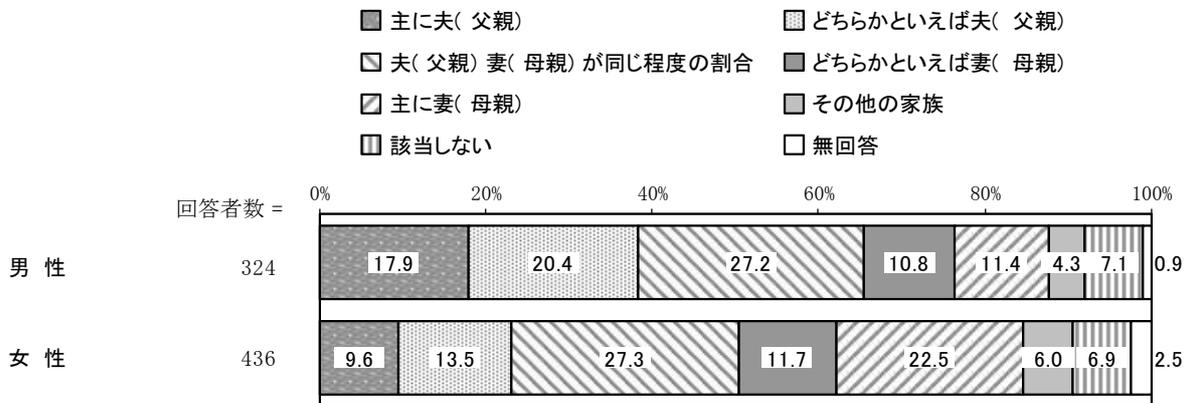
年齢別で見ると、他に比べ、50歳～59歳、60歳～69歳で“夫（父親）”の割合が高く、3割を超えています。また、30歳～39歳、40歳～49歳で“妻（母親）”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



⑧地域活動(町内会・PTA等)

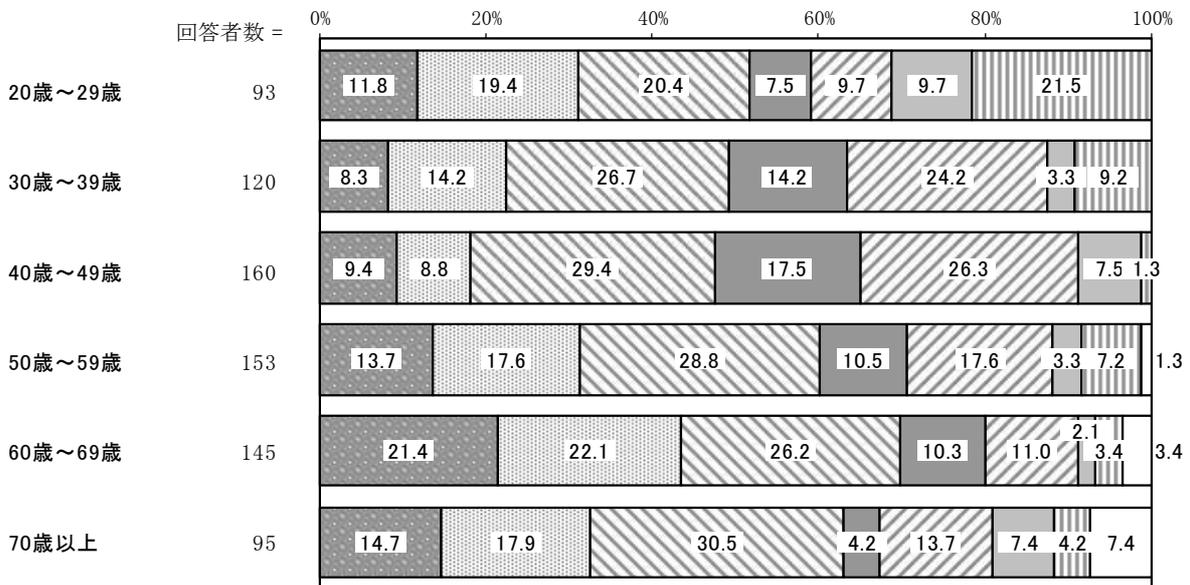
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫(父親)”の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で“妻(母親)”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【年齢別】

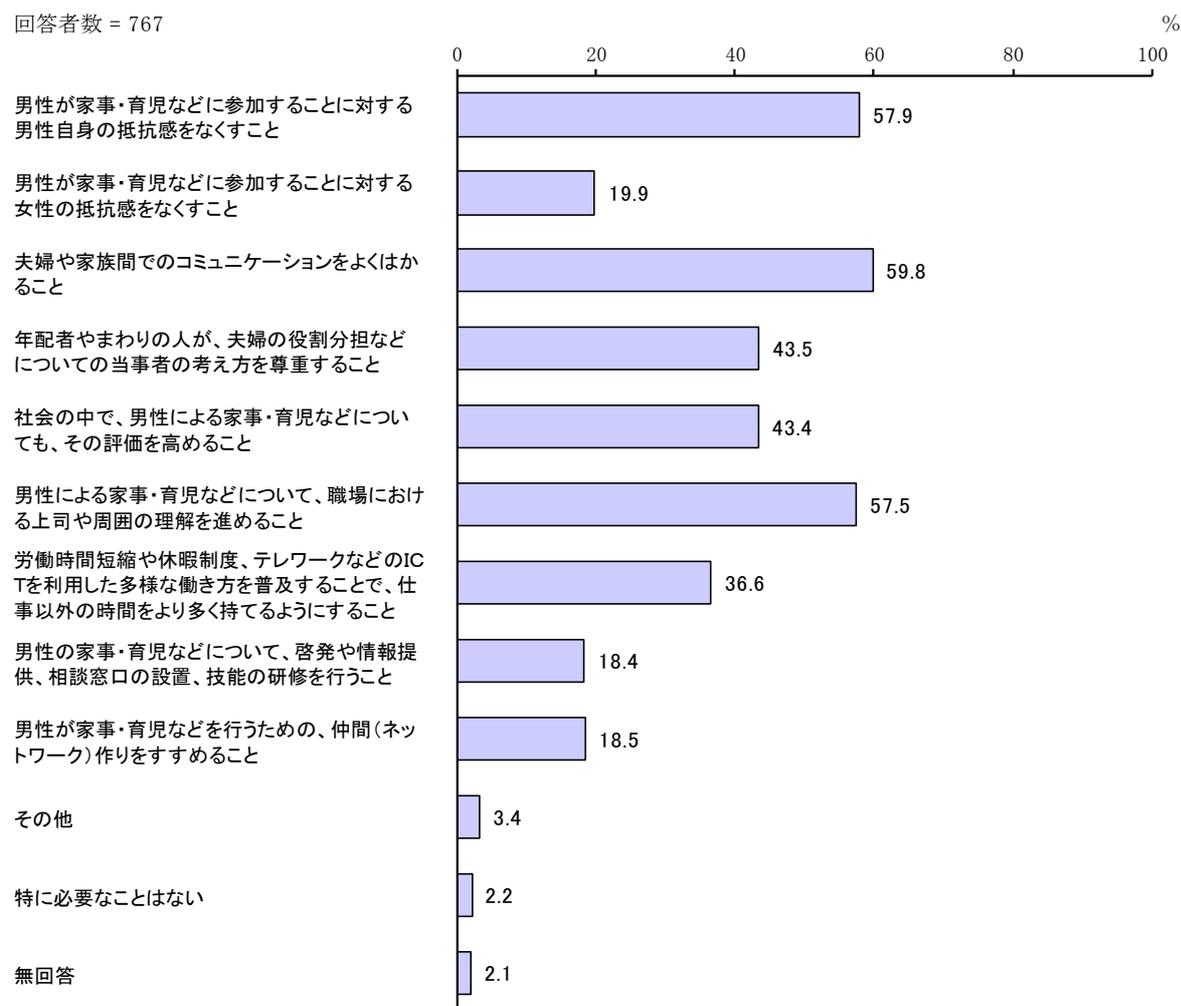
年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳で“夫(父親)”の割合が高く、約4割となっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳で“妻(母親)”の割合が高く、約4割となっています。



**問 10 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域での活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
(〇はあてはまるもの全て)**

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が 57.9%、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が 57.5%となっています。

回答者数 = 767



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」「男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと」「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと | 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと | 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること | 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること | 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること | 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること |
|----|---------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 男性 | 324     | 51.2                                | 16.7                              | 59.0                      | 33.0                                    | 40.7                               | 51.2                                  |
| 女性 | 436     | 62.8                                | 22.5                              | 60.6                      | 51.1                                    | 45.4                               | 61.7                                  |

| 区分 | 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること | 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと | 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること | その他 | 特に必要なことはない | 無回答 |
|----|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-----|------------|-----|
| 男性 | 37.0                                                              | 18.5                                      | 16.4                                 | 4.3 | 4.3        | 1.9 |
| 女性 | 36.2                                                              | 18.1                                      | 20.0                                 | 2.8 | 0.7        | 2.1 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が、20歳～29歳、30歳～39歳で「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が、70歳以上で「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が高く、約7割となっています。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと | 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと | 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること | 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること | 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること | 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること |
|---------|---------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 20歳～29歳 | 93      | 67.7                                | 23.7                              | 65.6                      | 39.8                                    | 48.4                               | 67.7                                  |
| 30歳～39歳 | 120     | 60.8                                | 19.2                              | 62.5                      | 45.8                                    | 45.0                               | 70.0                                  |
| 40歳～49歳 | 160     | 51.9                                | 16.3                              | 50.6                      | 45.6                                    | 53.1                               | 61.9                                  |
| 50歳～59歳 | 153     | 55.6                                | 19.6                              | 54.2                      | 45.8                                    | 39.9                               | 53.6                                  |
| 60歳～69歳 | 145     | 61.4                                | 17.9                              | 63.4                      | 37.9                                    | 39.3                               | 46.2                                  |
| 70歳以上   | 95      | 52.6                                | 27.4                              | 70.5                      | 45.3                                    | 31.6                               | 47.4                                  |

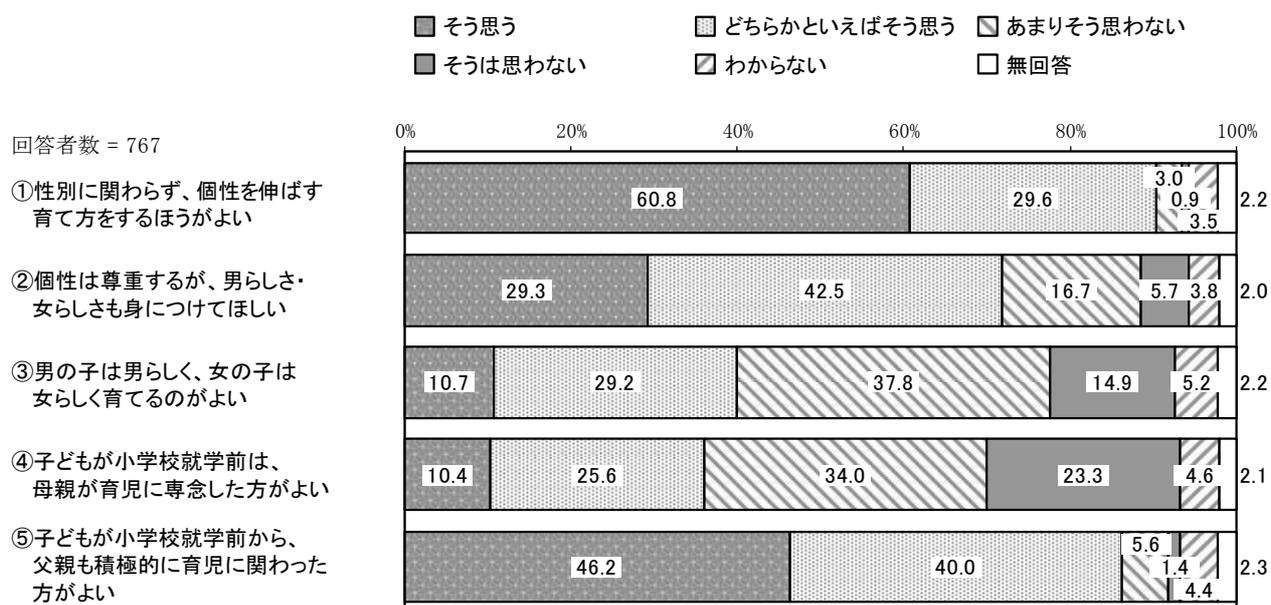
| 区分      | 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること | 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと | 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること | その他 | 特に必要なことはない | 無回答 |
|---------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-----|------------|-----|
| 20歳～29歳 | 49.5                                                              | 22.6                                      | 32.3                                 | 2.2 | 4.3        | —   |
| 30歳～39歳 | 48.3                                                              | 20.0                                      | 18.3                                 | 3.3 | —          | —   |
| 40歳～49歳 | 31.9                                                              | 16.3                                      | 15.6                                 | 4.4 | 1.3        | 1.3 |
| 50歳～59歳 | 33.3                                                              | 15.0                                      | 15.7                                 | 4.6 | 2.0        | 3.3 |
| 60歳～69歳 | 29.7                                                              | 16.6                                      | 19.3                                 | 2.1 | 2.1        | 2.8 |
| 70歳以上   | 32.6                                                              | 23.2                                      | 12.6                                 | 3.2 | 5.3        | 5.3 |

### (3) 子育てについて

#### 問 11 子育てに対する考え方についてどう思いますか。(〇は各項目1つずつ)

『①性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をするほうがよい』『⑤子どもが小学校就学前から、父親も積極的に育児に関わった方がよい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、特に『①性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をするほうがよい』で約9割となっています。

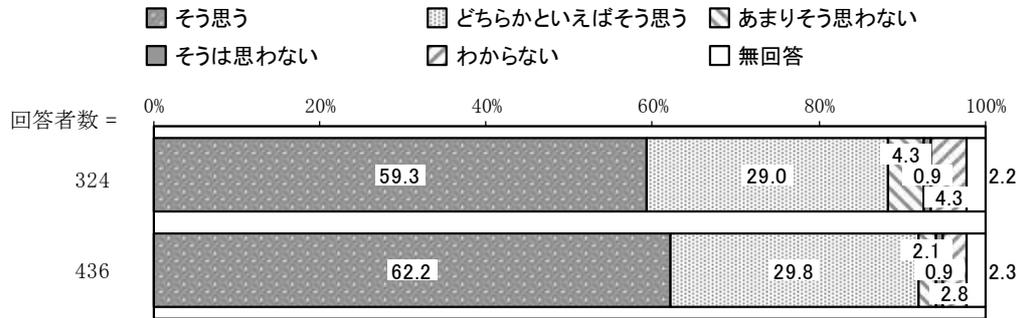
また、『③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい』『④子どもが小学校就学前は、母親が育児に専念した方がよい』で「あまりそう思わない」と「そうは思わない」をあわせた“そうは思わない”の割合が高く、5割を超えています。



① 性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をするほうがよい

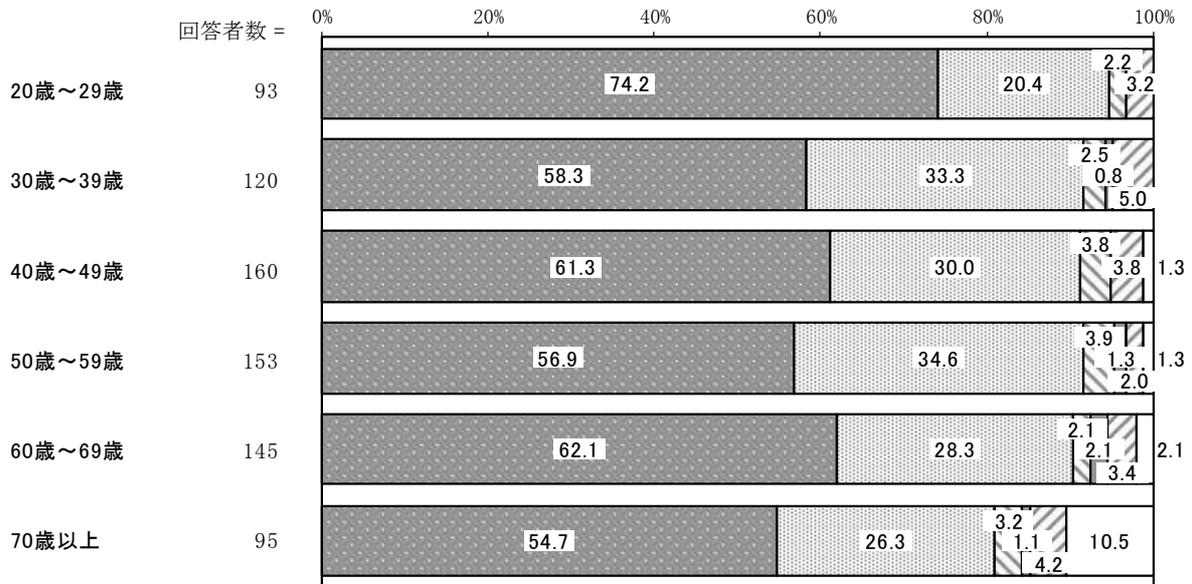
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

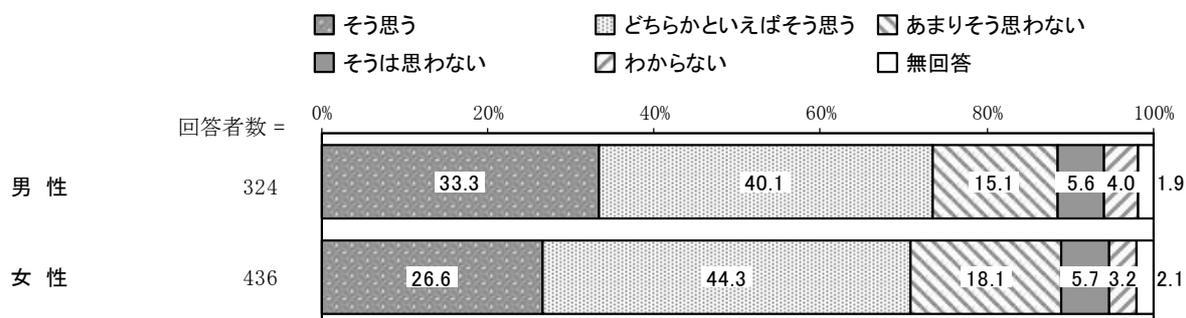
年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で“そう思う”の割合が高く、9割台半ばとなっています。



## ②個性は尊重するが、男らしさ・女らしさも身につけてほしい

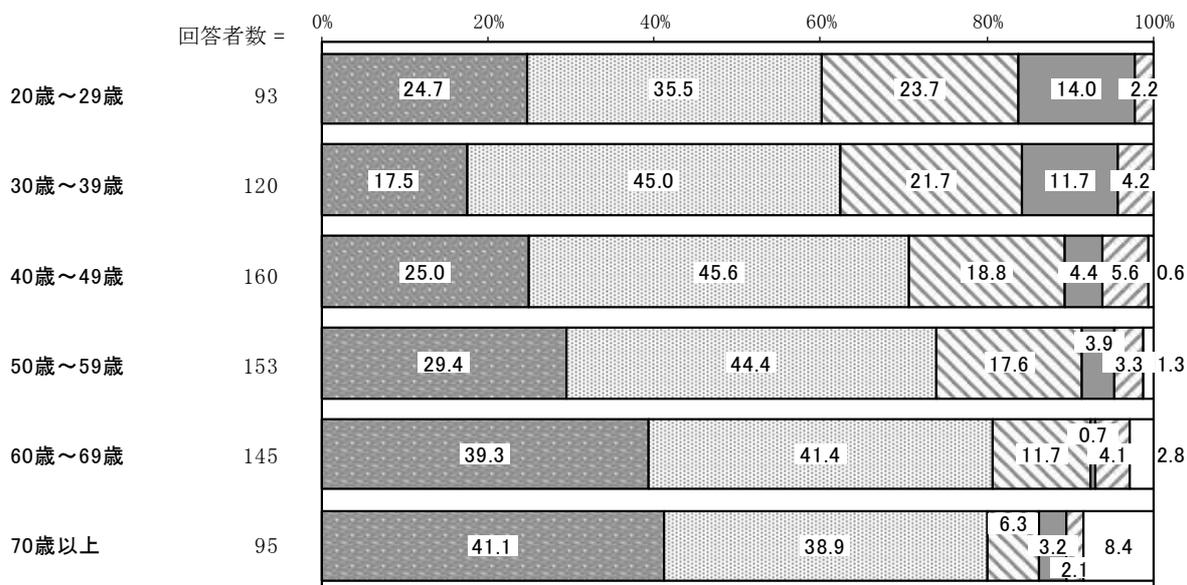
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、約3割となっています。



### 【年齢別】

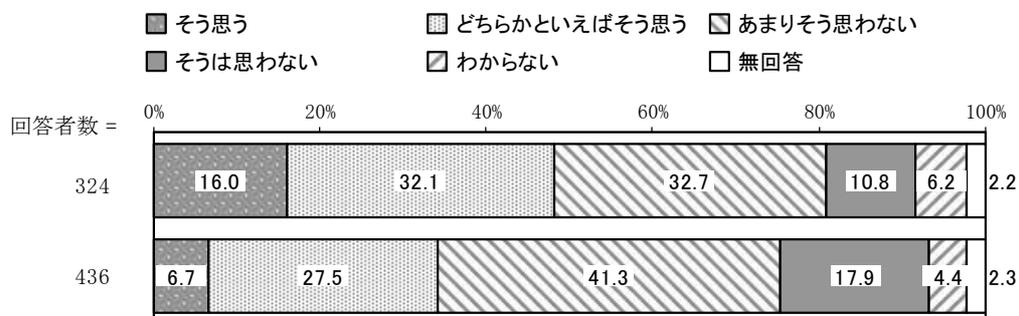
年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳、70歳以上で約8割となっています。



### ③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい

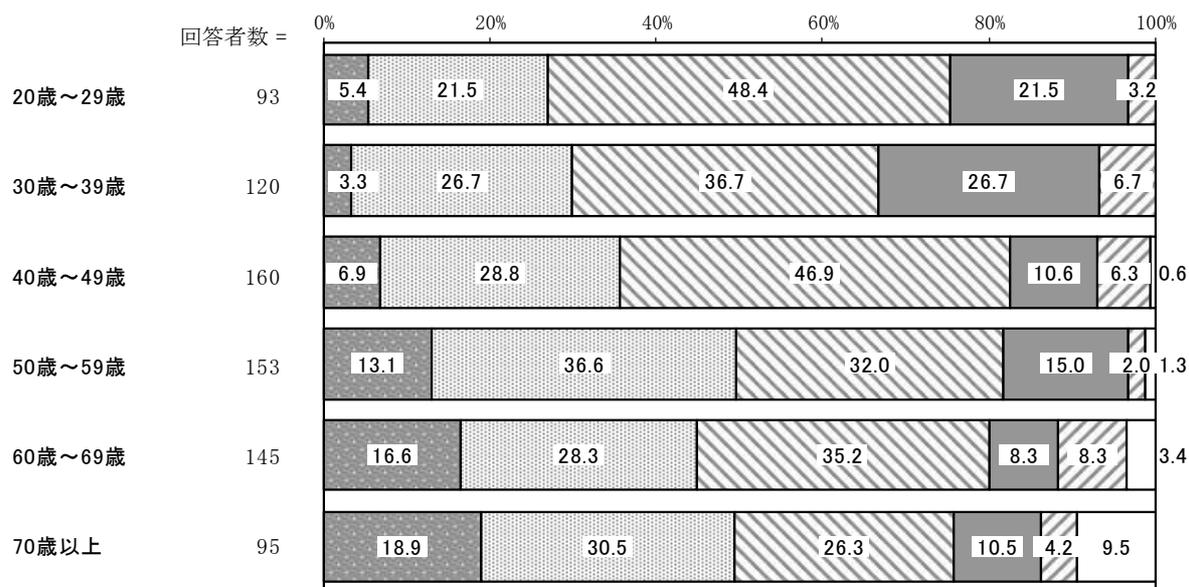
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で“そうは思わない”の割合が高く、約6割となっています。



#### 【年齢別】

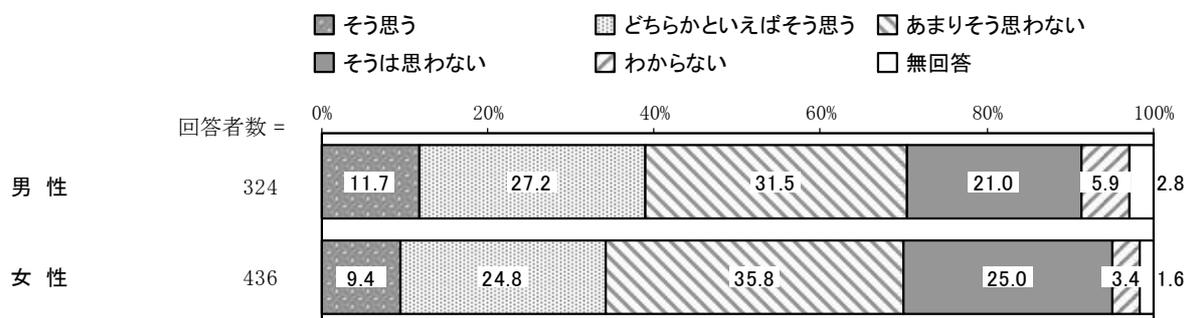
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ“そうは思わない”の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で約7割となっています。



④子どもが小学校就学前は、母親が育児に専念した方がよい

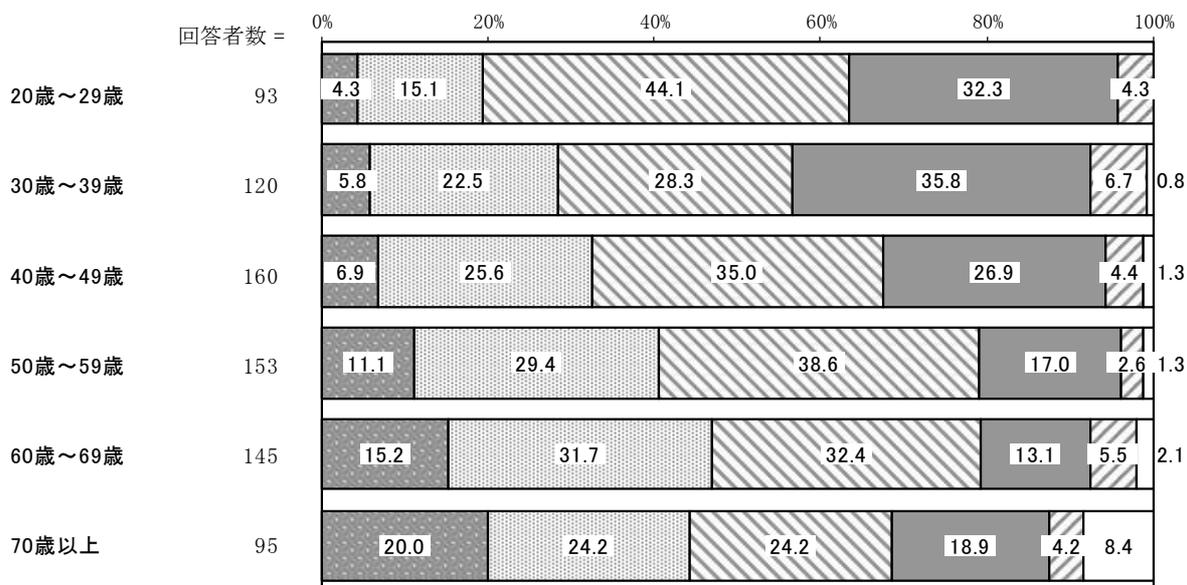
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“そうは思わない”の割合が高く、約6割となっています。



【年齢別】

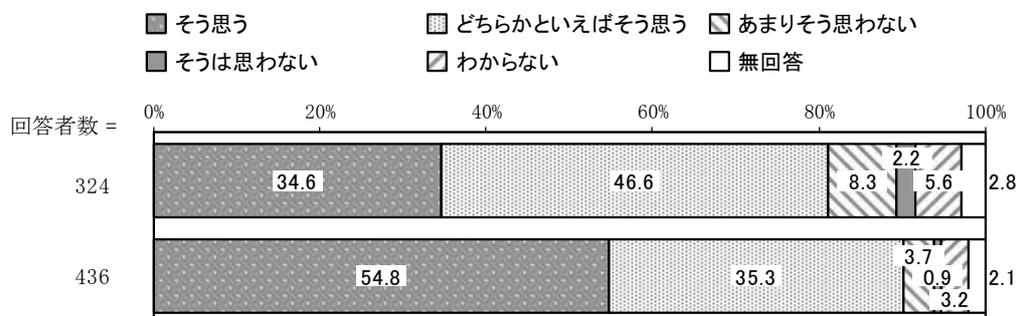
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳、70歳以上で4割台半ばとなっています。



⑤子どもが小学校就学前から、父親も積極的に育児に関わった方がよい

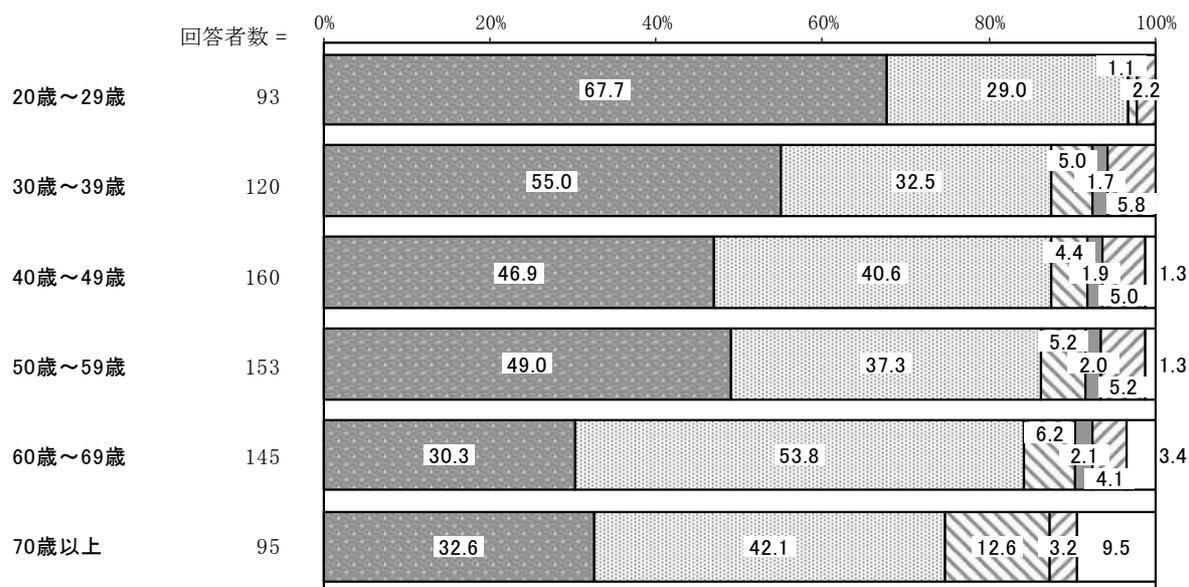
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“そうは思わない”の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、約9割となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で9割台半ばとなっています。

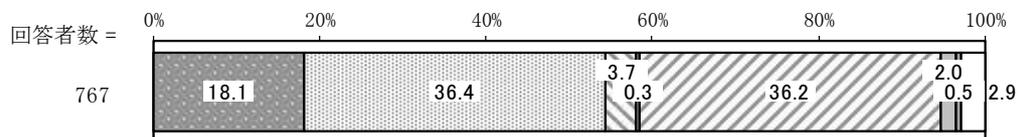


## (4) 就労について

### 問 12 女性が職業を持つことについて、どのように思いますか。(○は1つ)

「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が 36.2%、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」の割合が 18.1%となっています。

- ずっと職業を持ち続けるほうがよい
- ▨ 結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい
- ▧ 結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい
- 女性は職業を持たないほうがよい
- ▩ 女性本人の思うとおりにするのがよい
- わからない
- ▨ その他
- 無回答



### 【性別】

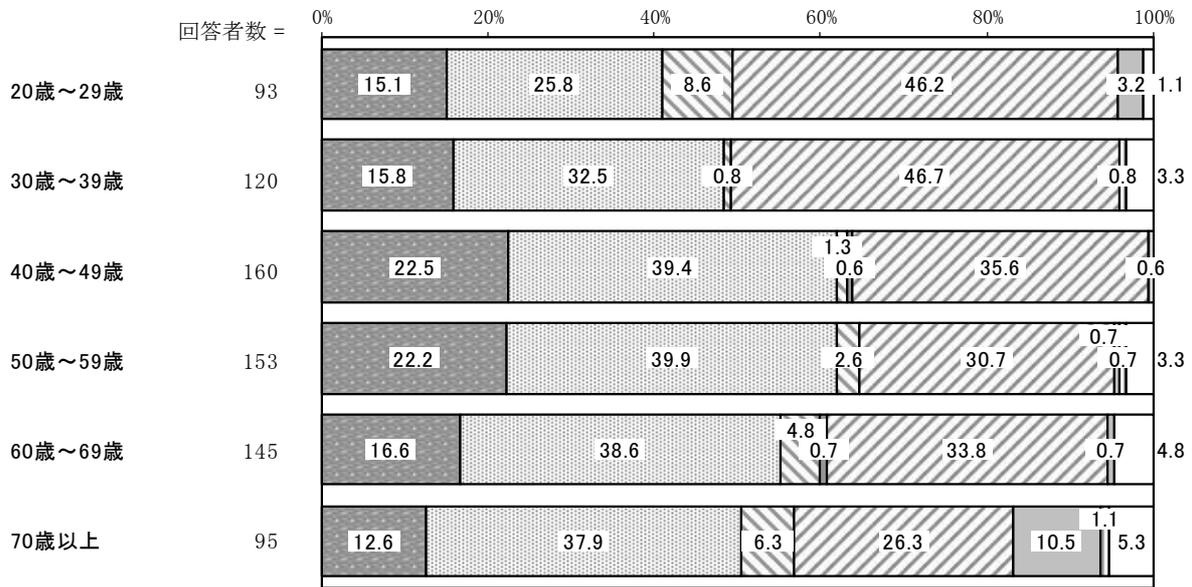
性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳、30歳～39歳で4割台半ばとなっています。

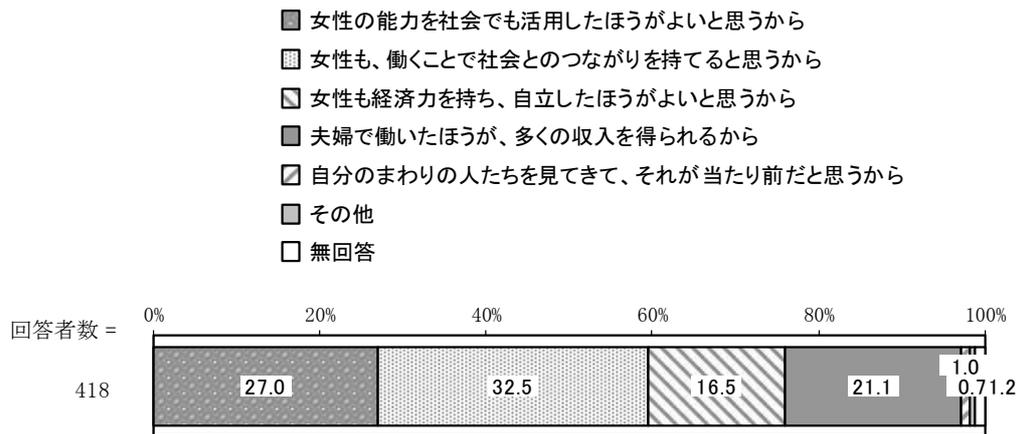
- ずっと職業を持ち続けるほうがよい
- ▨ 結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい
- ▩ 結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい
- 女性は職業を持たないほうがよい
- ▨ 女性本人の思うとおりにするのがよい
- わからない
- ▨ その他
- 無回答



《問 12 で「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」か「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」と答えられた方にお聞きします。》

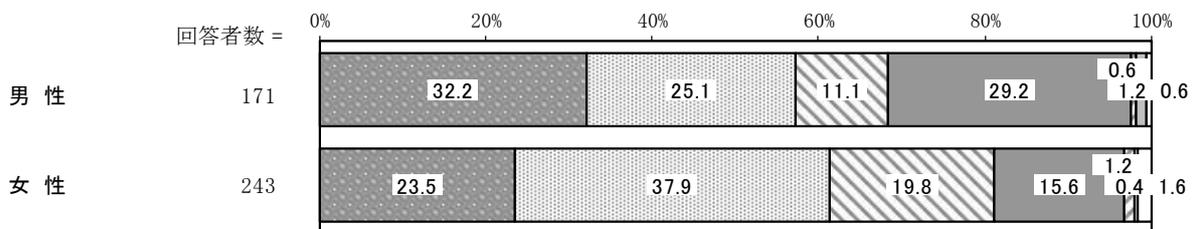
問 12-① それほどのような理由からですか。(○は1つ)

「女性も、働くことで社会とのつながりを持てると思うから」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が 27.0%、「夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから」の割合が 21.1%となっています。



【性別】

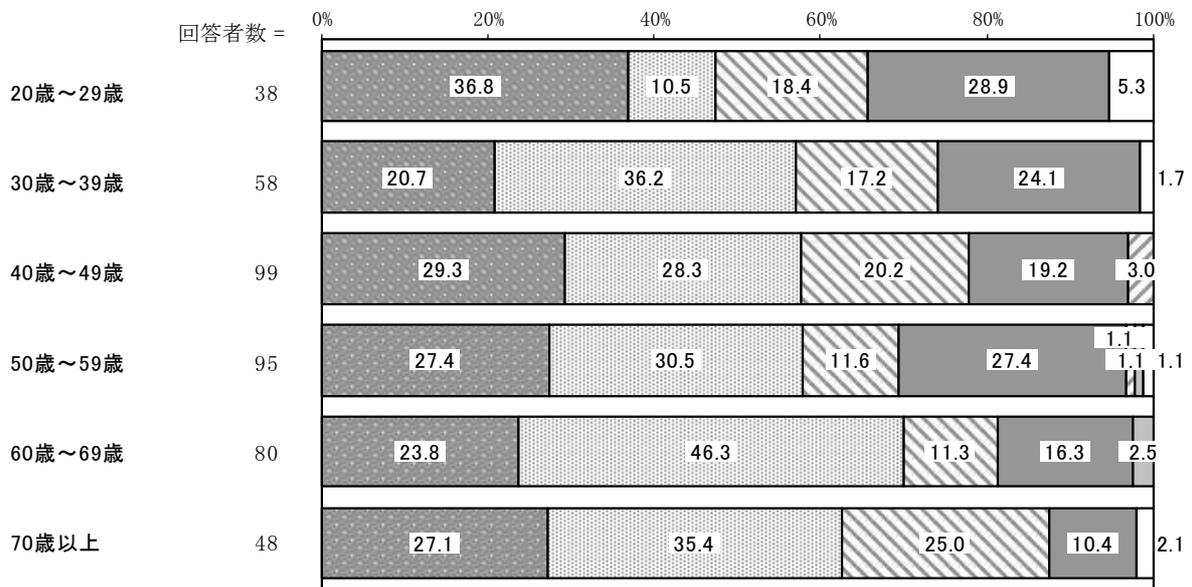
性別でみると、女性に比べ、男性で「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」「夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「女性も、働くことで社会とのつながりを持てると思うから」「女性も経済力を持ち、自立したほうがよいと思うから」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で「女性も、働くことで社会とのつながりを持てると思うから」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、20歳～29歳で「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

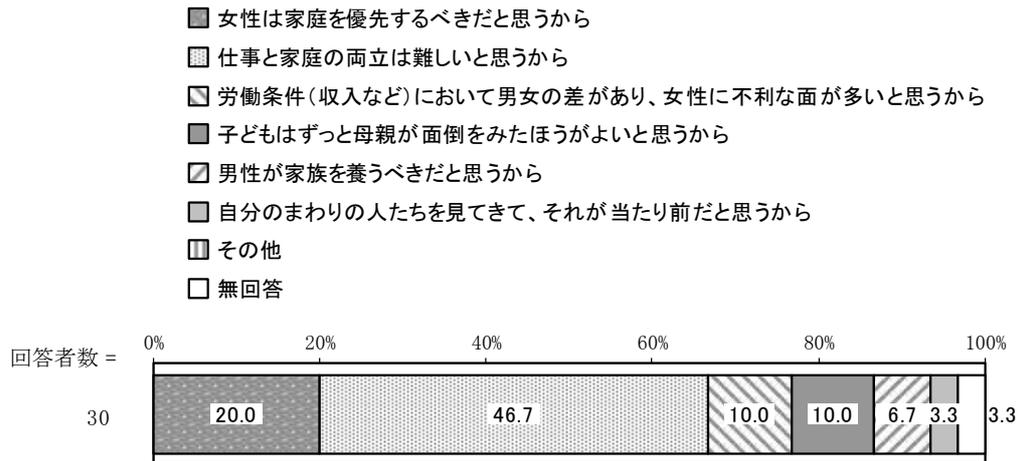
- 女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから
- ▨ 女性も、働くことで社会とのつながりを持てると思うから
- ▩ 女性も経済力を持ち、自立したほうがよいと思うから
- 夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから
- ▨ 自分のまわりの人たちを見てきて、それが当たり前だと思うから
- その他
- 無回答



《問 12 で「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」か「女性は職業を持たないほうがよい」と答えられた方にお聞きします。》

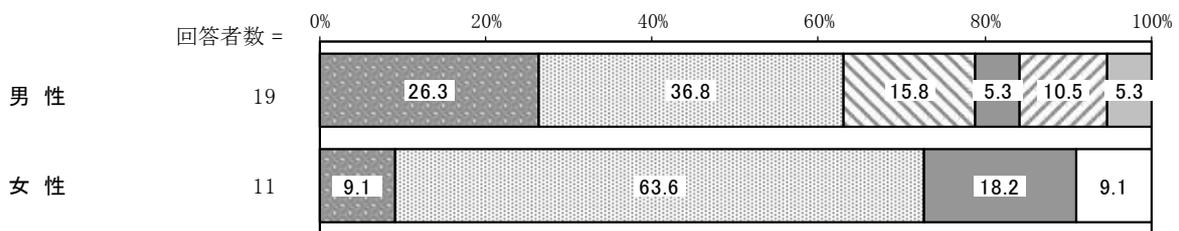
問 12-②それはどのような理由からですか。(○は1つ)

「仕事と家庭の両立は難しいと思うから」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「女性は家庭を優先するべきだと思うから」の割合が 20.0%、「労働条件(収入など)において男女の差があり、女性に不利な面が多いと思うから」、女性に不利な面が多いと思うから、「子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから」の割合が 10.0%となっています。



【性別】

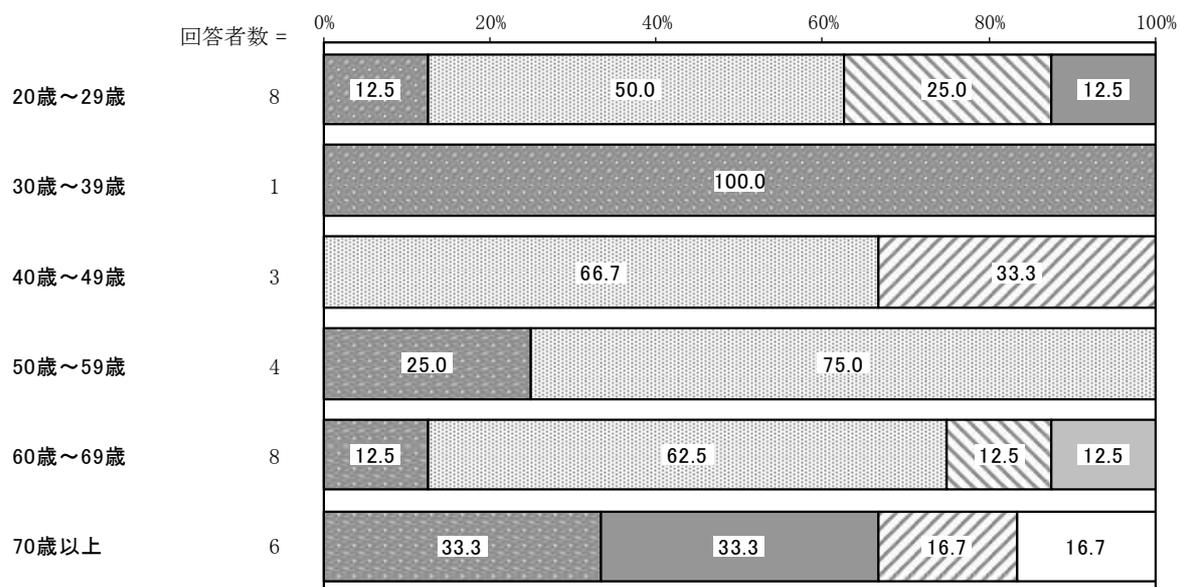
性別でみると、女性に比べ、男性で「女性に家庭を優先するべきだと思うから」「労働条件(収入など)において男女の差があり、女性に不利な面が多いと思うから」「男性が家族を養うべきだと思うから」「自分のまわりの人たちを見てきて、それが当たり前だと思うから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「仕事と家庭の両立は難しいと思うから」「子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから」の割合が高くなっています。



## 【年齢別】

年齢別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

- 女性は家庭を優先すべきだと思うから
- 仕事と家庭の両立は難しいと思うから
- 労働条件(収入など)において男女の差があり、女性に不利な面が多いと思うから
- 子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから
- 男性が家族を養うべきだと思うから
- 自分のまわりの人たちを見てきて、それが当たり前だと思うから
- その他
- 無回答

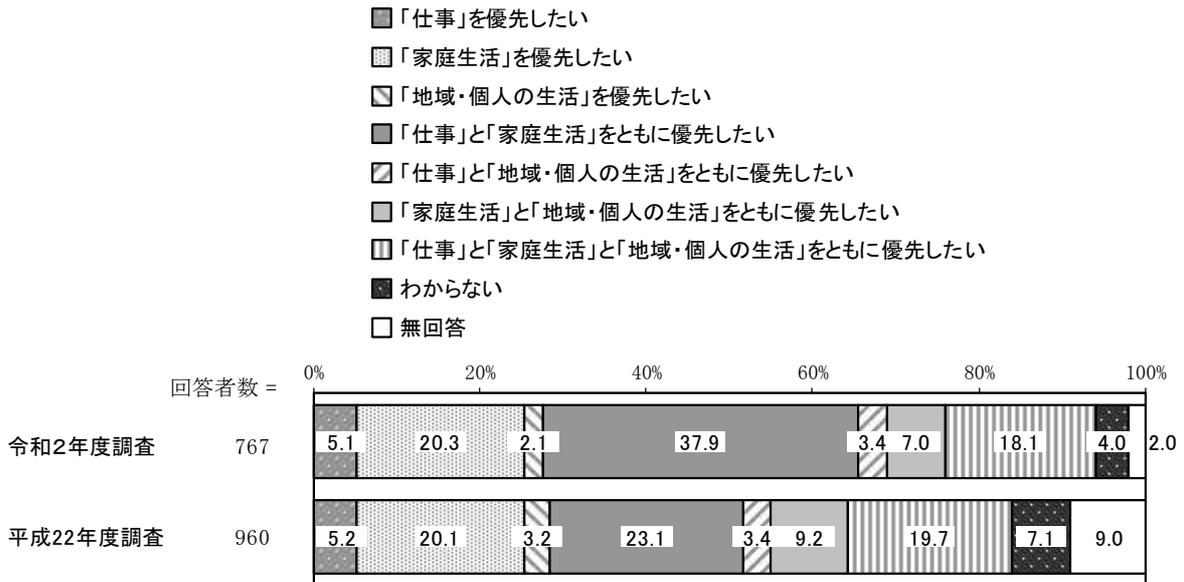


問 13 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお聞きします。

(1) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

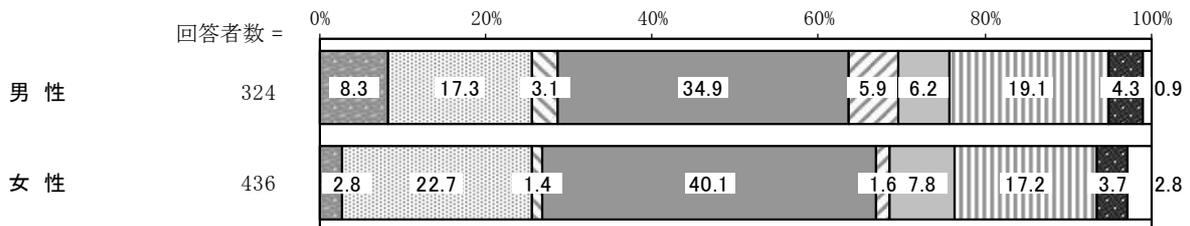
『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」の割合が37.9%と最も高く、次いで『家庭生活』を優先したい」の割合が20.3%、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」の割合が18.1%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」の割合が増加しています。



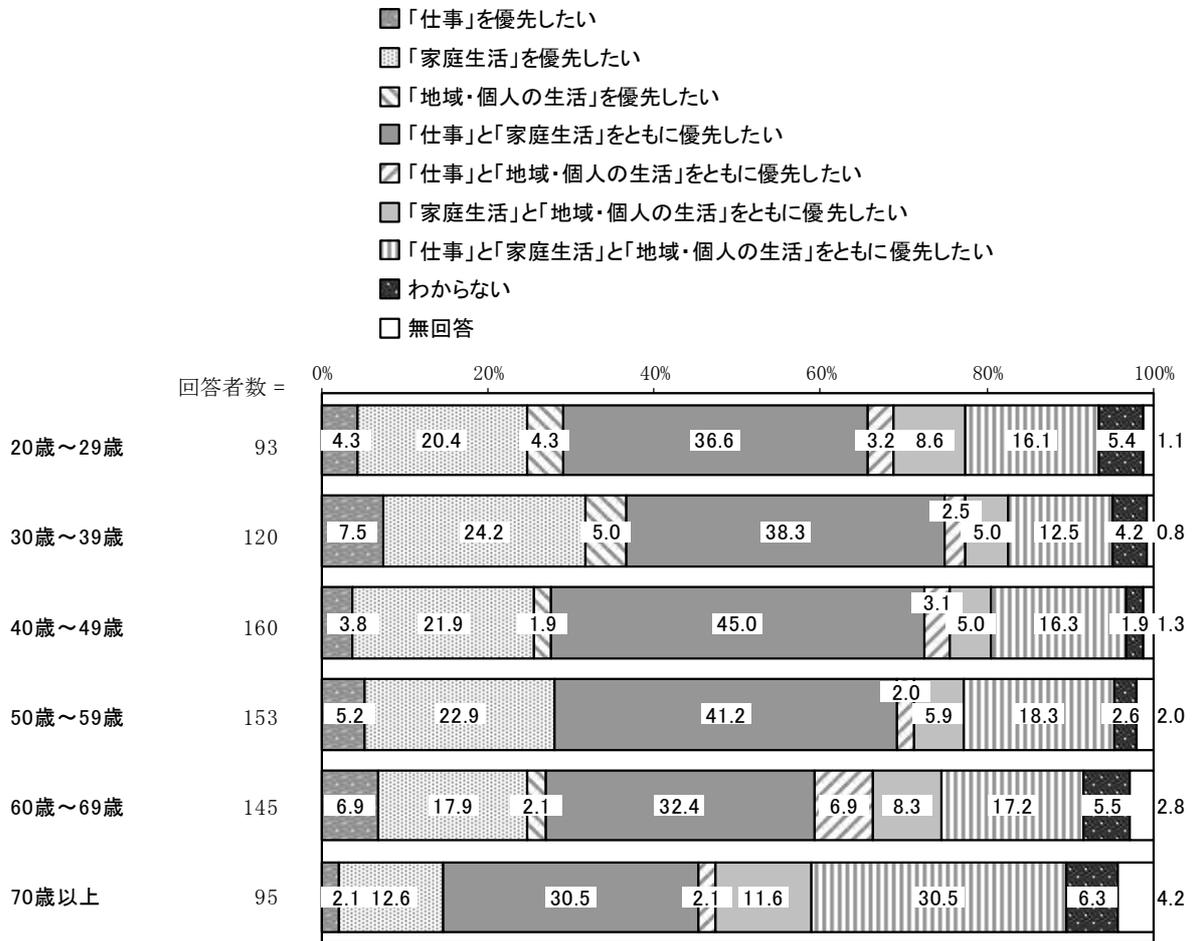
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「『仕事』を優先したい」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「『家庭生活』を優先したい」「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

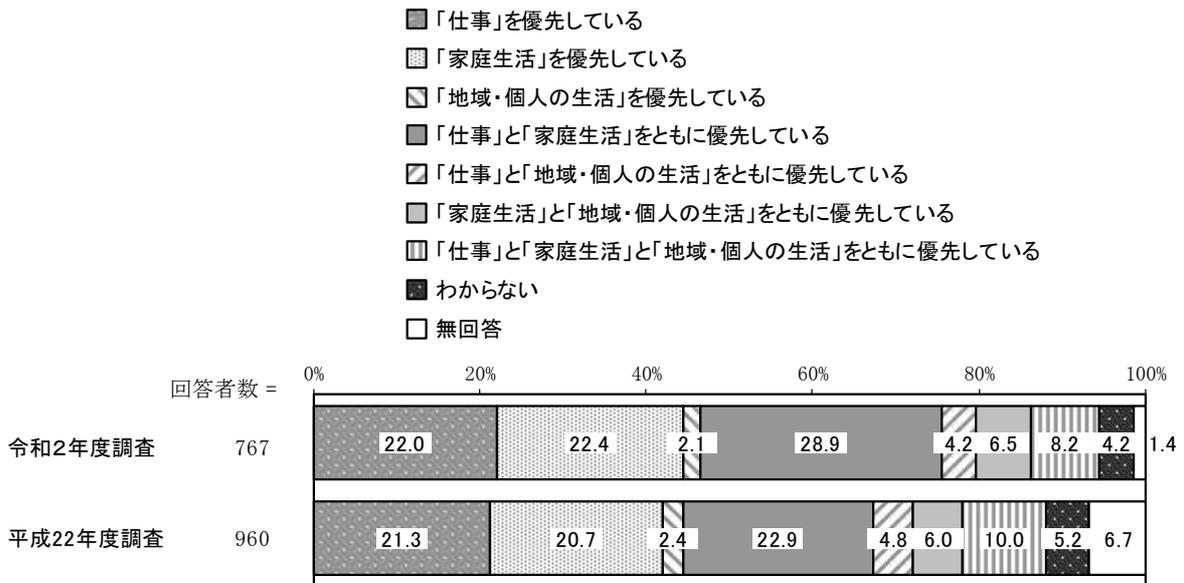
年齢別で見ると、他に比べ、40歳～49歳で『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいの割合が高く、4割台半ばとなっています。また、70歳以上で『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したいの割合が高く、約3割となっています。



(2) あなたの現状に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

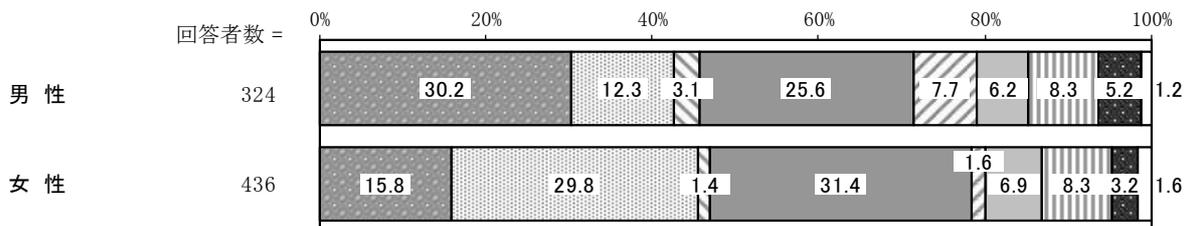
『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が28.9%と最も高く、次いで『家庭生活』を優先している」の割合が22.4%、『仕事』を優先している」の割合が22.0%となっています。

平成22年度調査と比較すると、『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が増加しています。



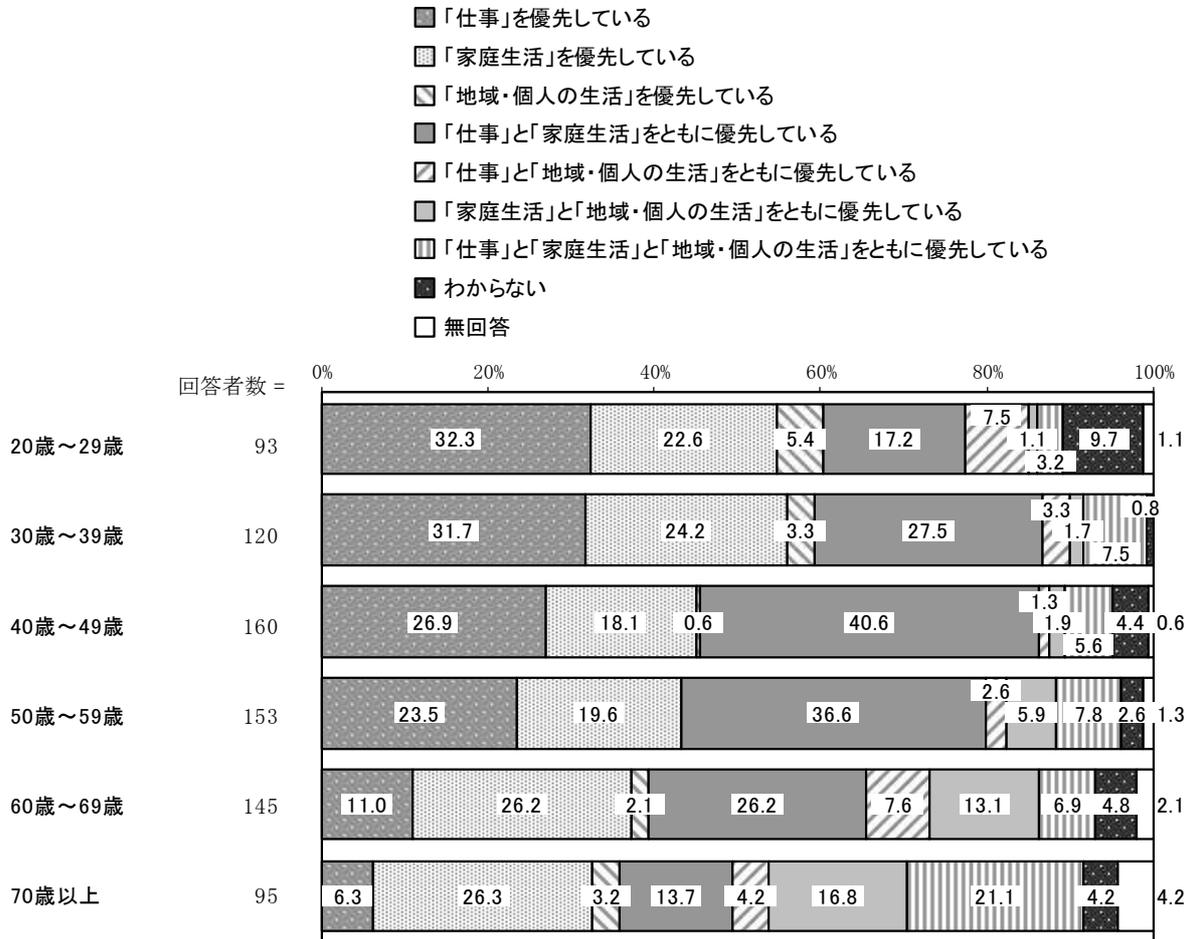
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で『仕事』を優先している』『仕事』と『地域・個人の生活』をともに優先している」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で『家庭生活』を優先している』『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ『仕事』を優先している」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳、30歳～39歳で約3割となっています。また、他に比べ、40歳～49歳で『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が高く、約4割となっています。

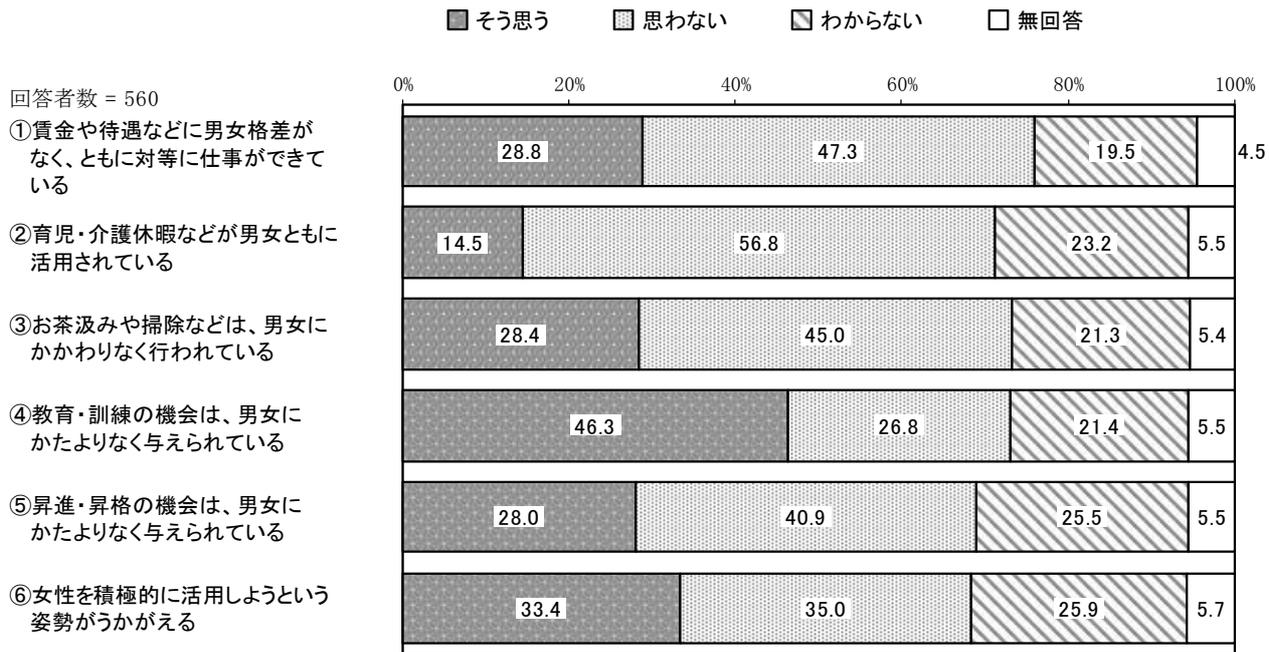


《仕事をしている方にお聞きします。》

問 14 あなたは、次にあげる職場（会社全体）の男女をとりまく状況についてどのよう  
に思いますか。（○は各項目1つずつ）

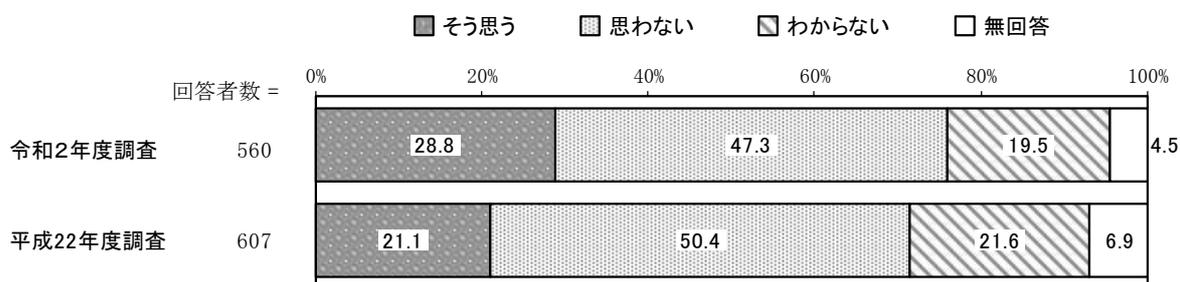
『④教育・訓練の機会は、男女にかたよりなく与えられている』で「そう思う」の割合が高く、  
4割台半ばとなっています。

また、『②育児・介護休暇などが男女ともに活用されている』で「思わない」の割合が高く、5  
割台半ばとなっています。



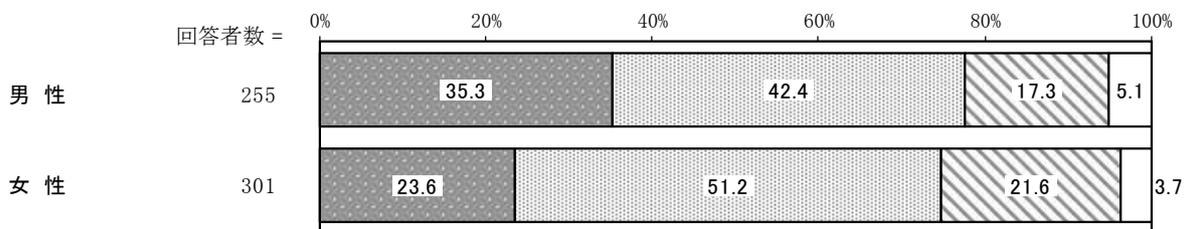
①賃金や待遇などに男女格差がなく、ともに対等に仕事ができている

平成22年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。



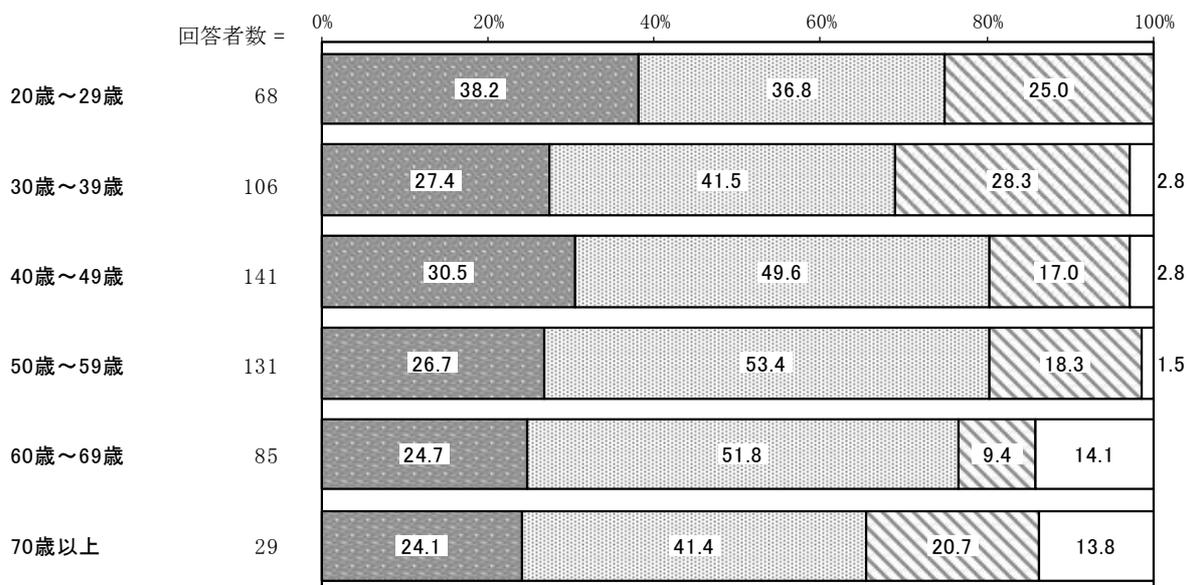
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「思わない」の割合が高く、約5割となっています。



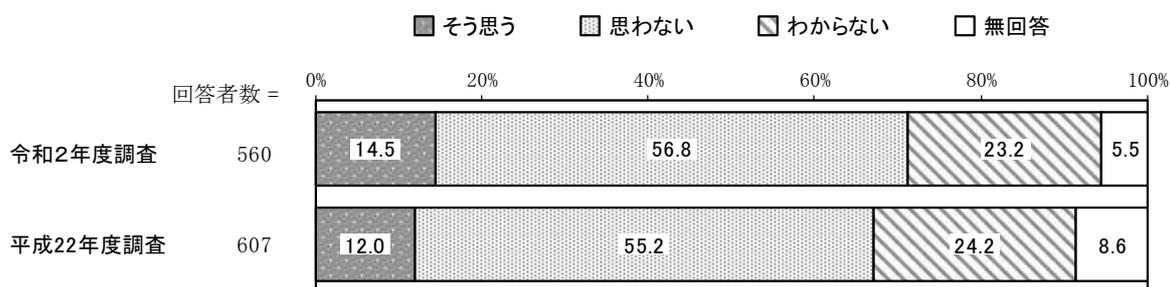
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「そう思う」の割合が高く、約4割となっています。また、40歳～49歳から60歳～69歳で「思わない」の割合が高く、約5割となっています。



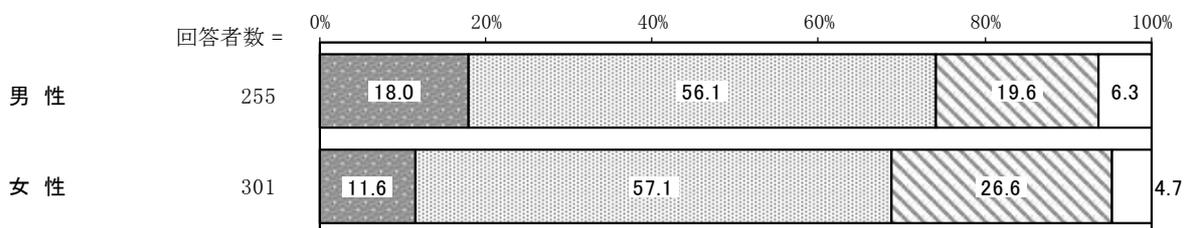
## ②育児・介護休暇などが男女ともに活用されている

平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



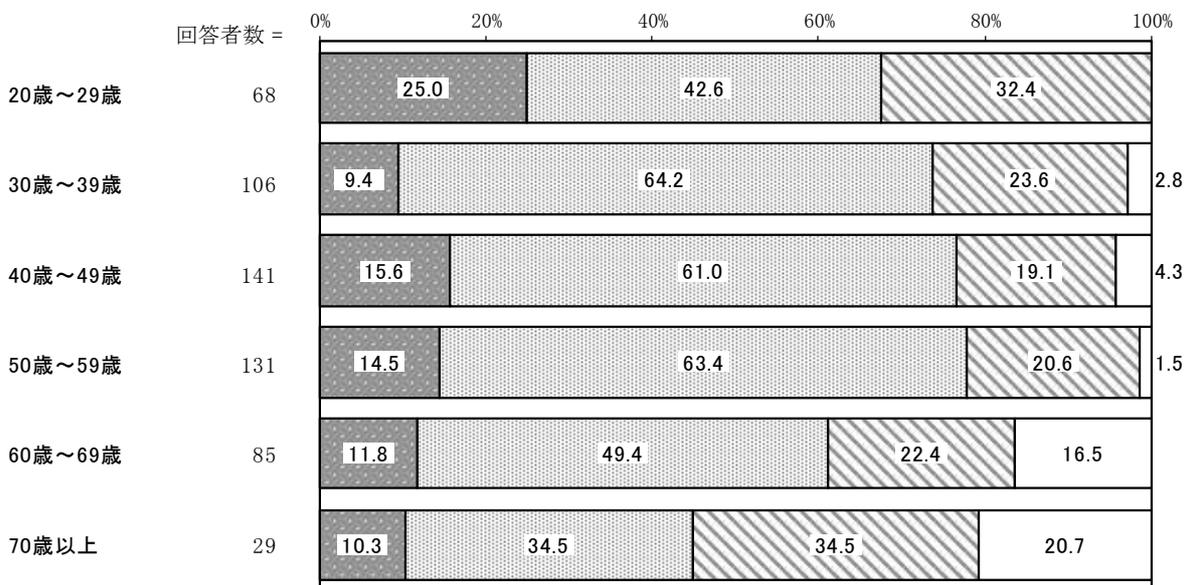
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、約2割となっています。



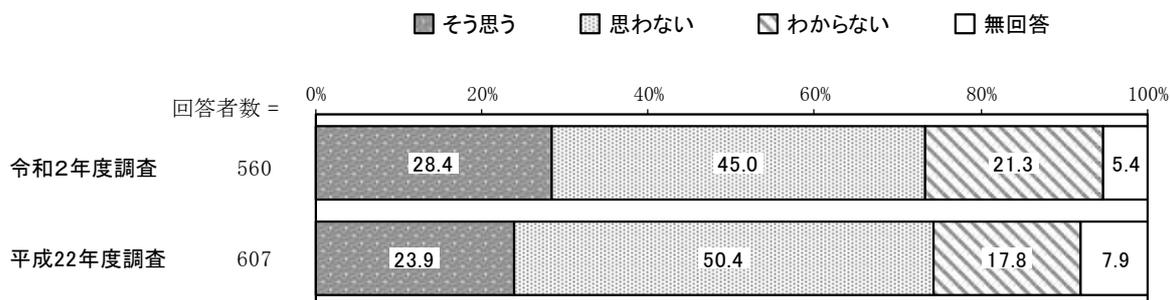
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「そう思う」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、30歳～39歳から50歳～59歳で「思わない」の割合が高く、6割を超えています。



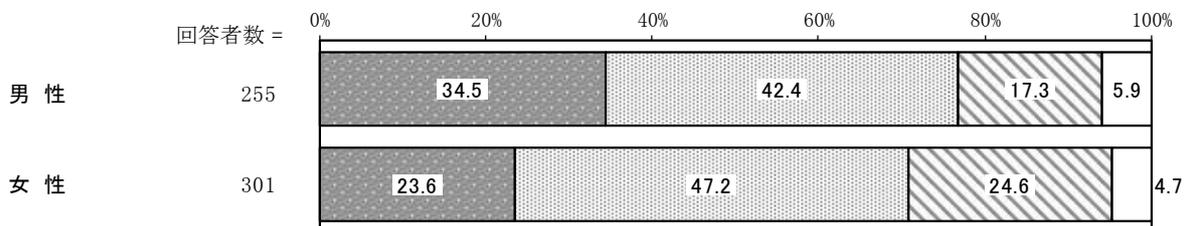
### ③お茶汲みや掃除などは、男女にかかわらず行われている

平成22年度調査と比較すると、「思わない」の割合が減少しています。



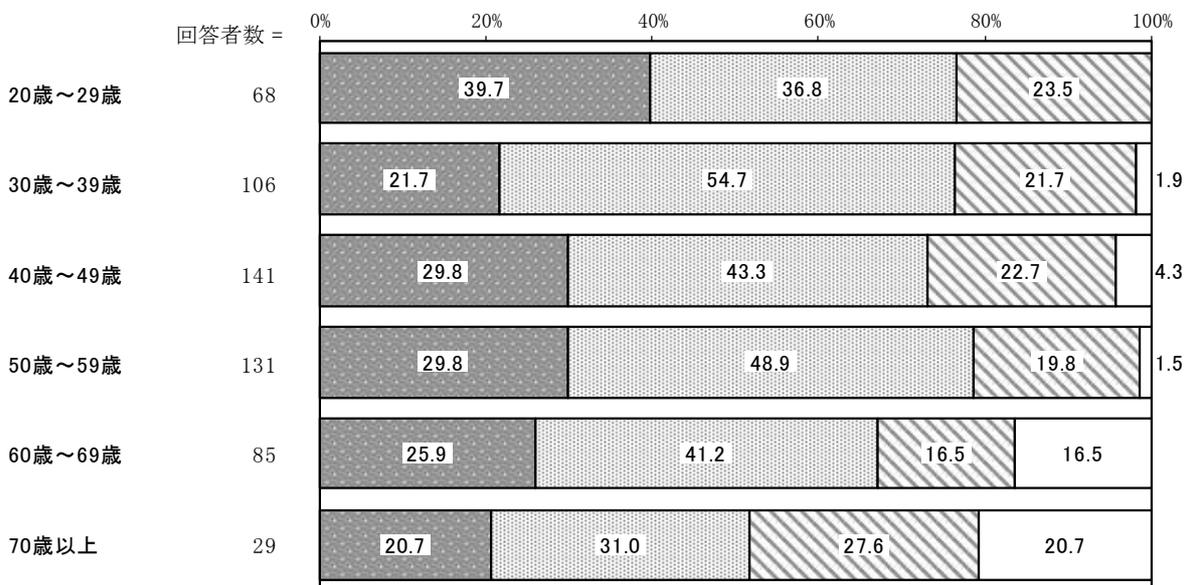
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



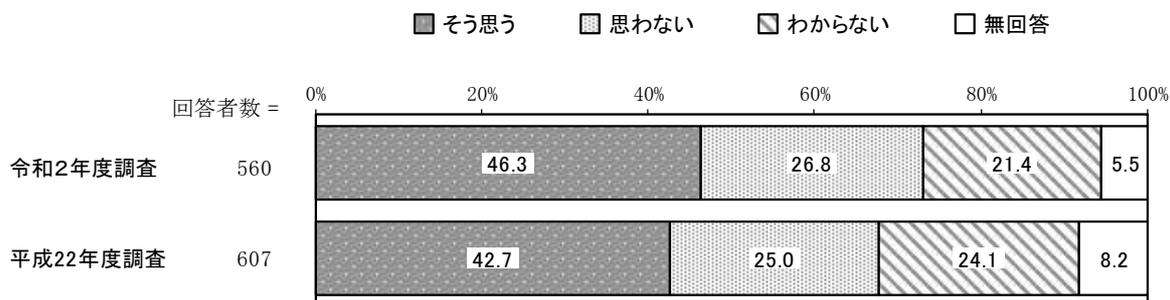
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「そう思う」の割合が高く、約4割となっています。また、30歳～39歳で「思わない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



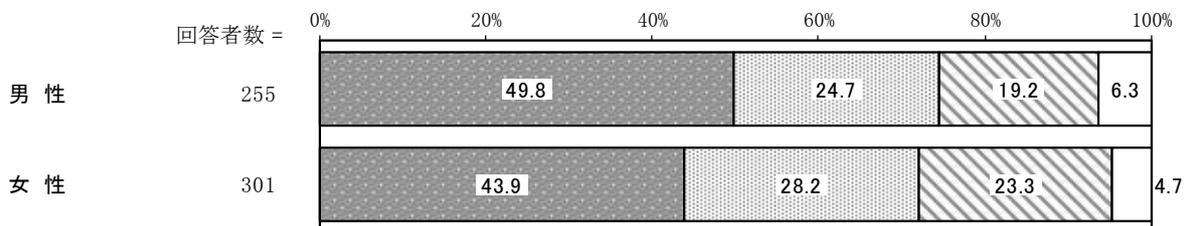
#### ④教育・訓練の機会は、男女にかたよりなく与えられている

平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



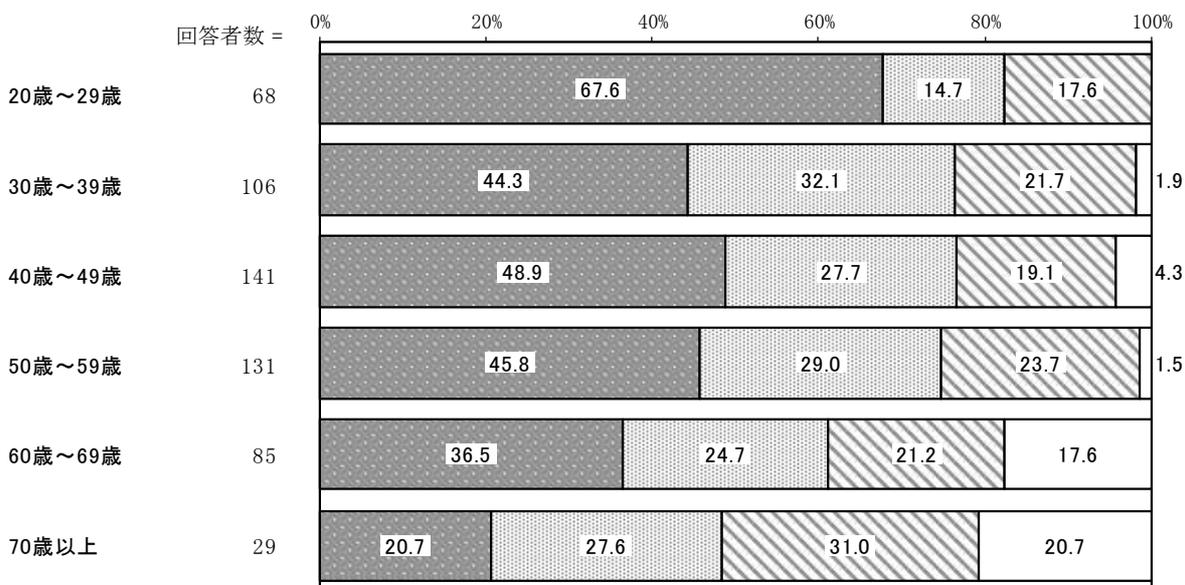
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、約5割となっています。



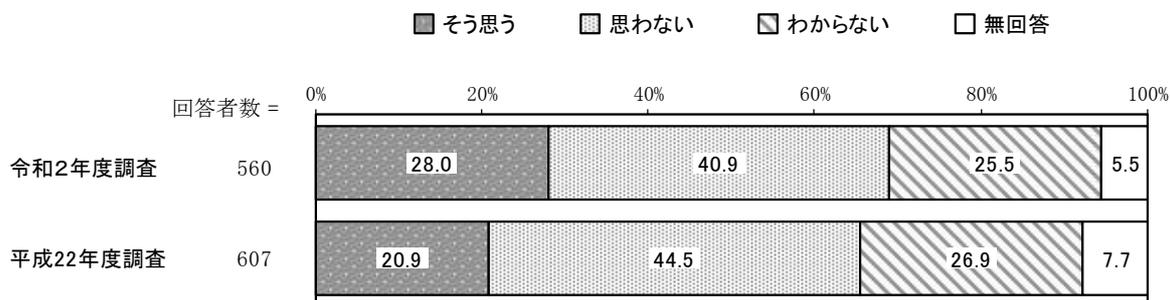
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「そう思う」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳～39歳から50歳～59歳で「思わない」の割合が高く、約3割となっています。



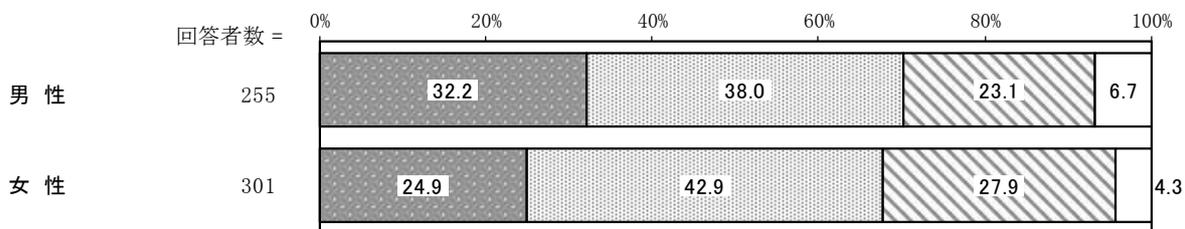
⑤昇進・昇格の機会は、男女にかたよりなく与えられている

平成22年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。



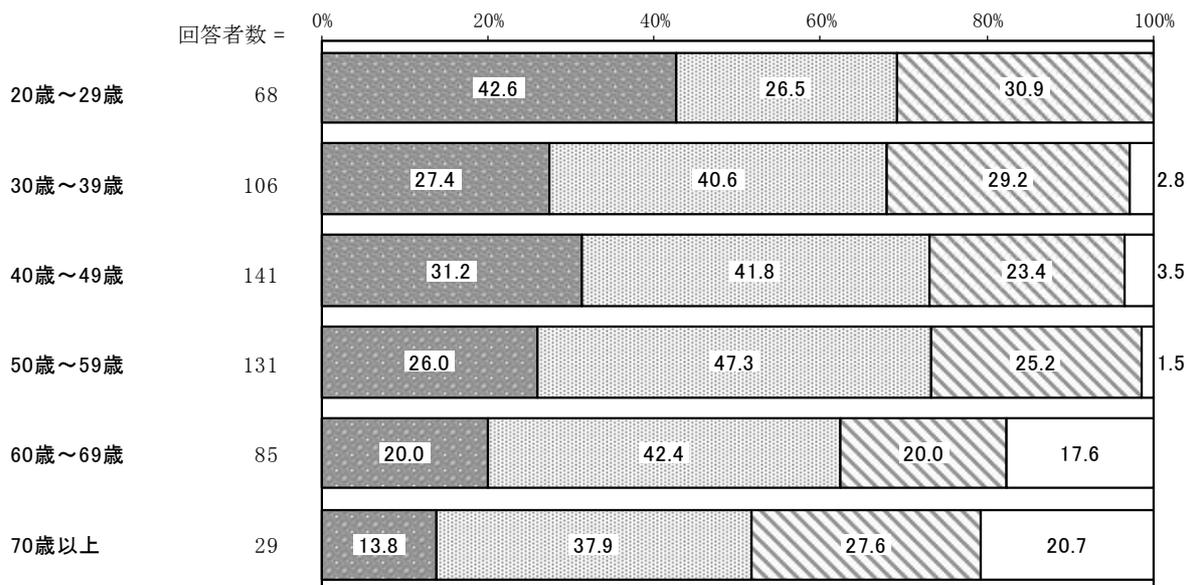
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、約3割となっています。



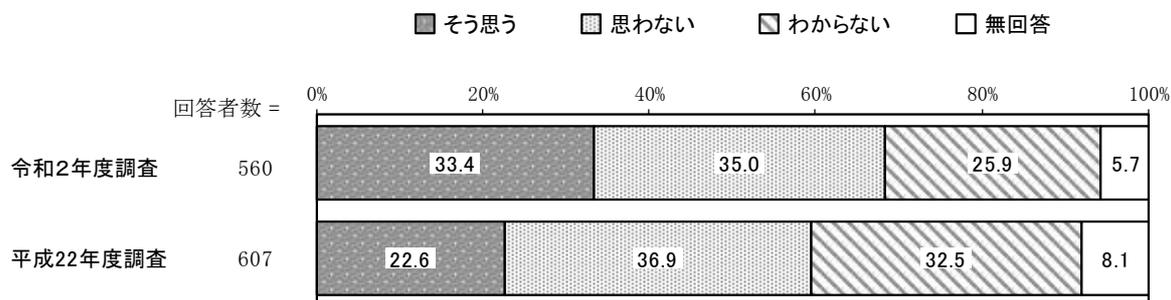
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で「そう思う」の割合が高く、約4割となっています。また、50歳～59歳で「思わない」の割合が高く、約5割となっています。



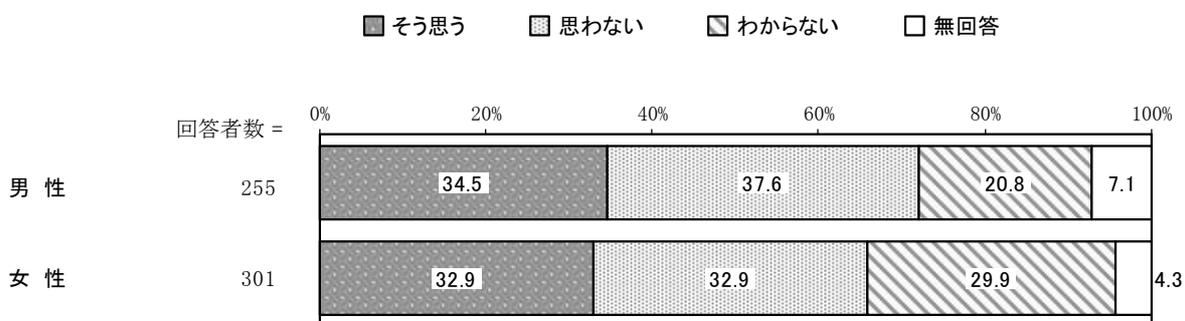
### ⑥女性を積極的に活用しようという姿勢がうかがえる

平成22年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。



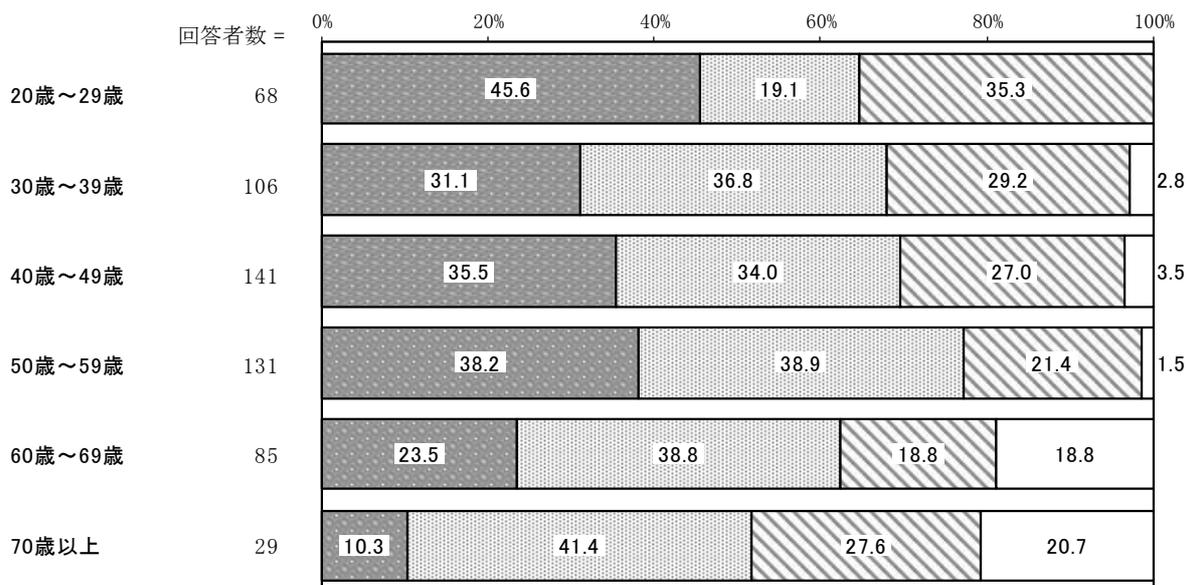
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



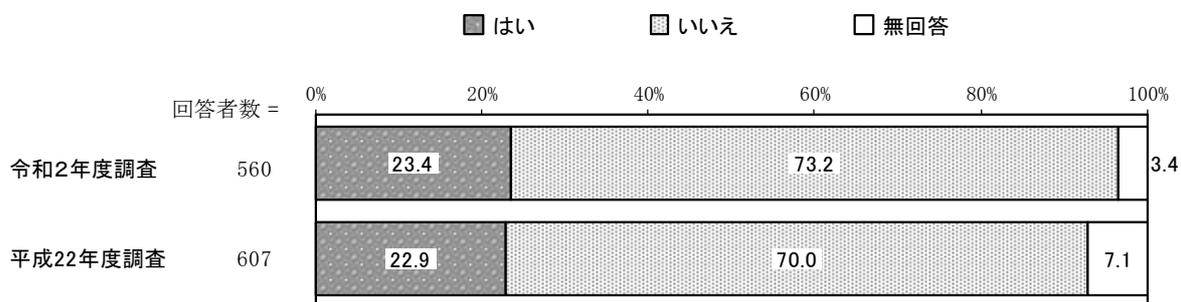
### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「思わない」の割合が高くなる傾向がみられ、50歳以上で約4割となっています。また、他に比べ、20歳～29歳で「そう思う」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



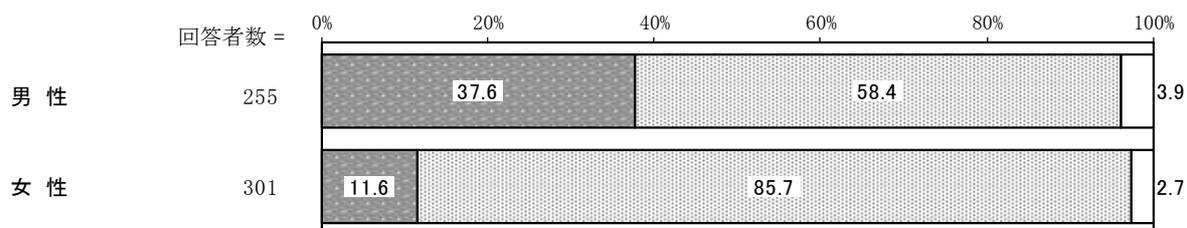
**問 15 あなたは、現在何か役職に就いていますか。(〇は1つ)**

「はい」の割合が23.4%、「いいえ」の割合が73.2%となっています。  
 平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



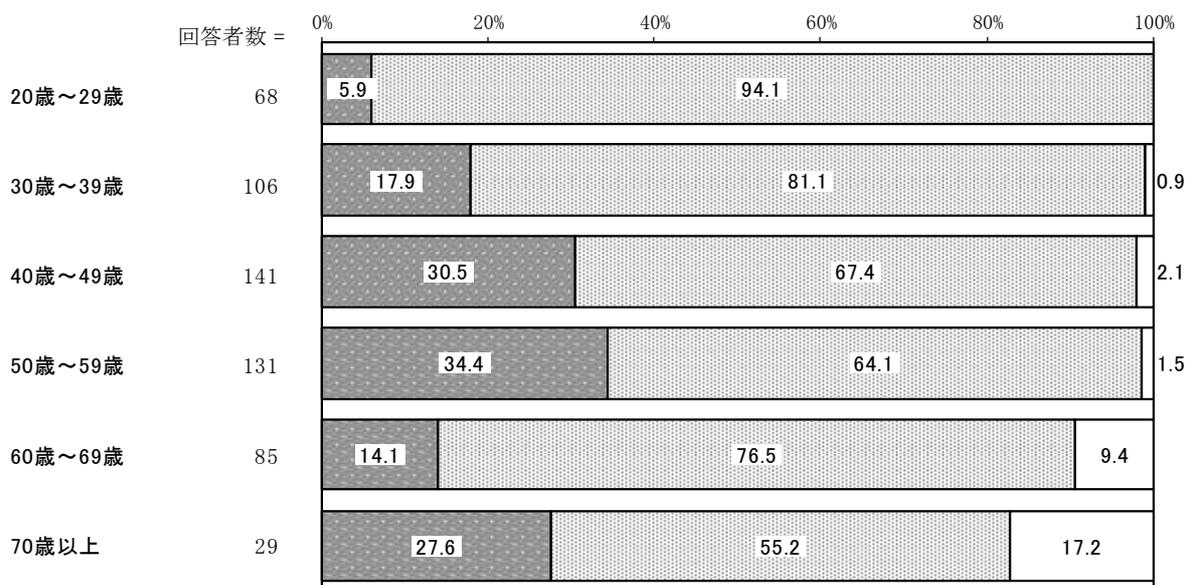
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳、50歳～59歳で「はい」の割合が高く、3割を超えています。また、20歳～29歳で「いいえ」の割合が高く、9割台半ばとなっています。

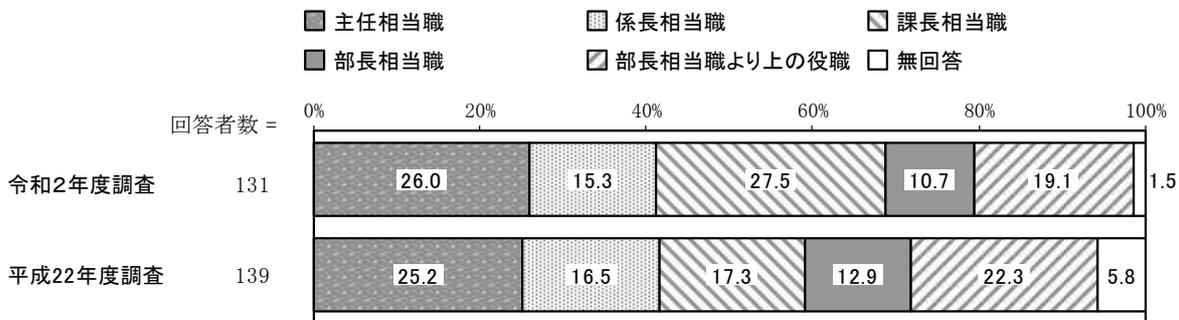


《問 15 で「はい」と答えられた方にお聞きします。》

問 15-①それはどのような役職ですか。(○は1つ)

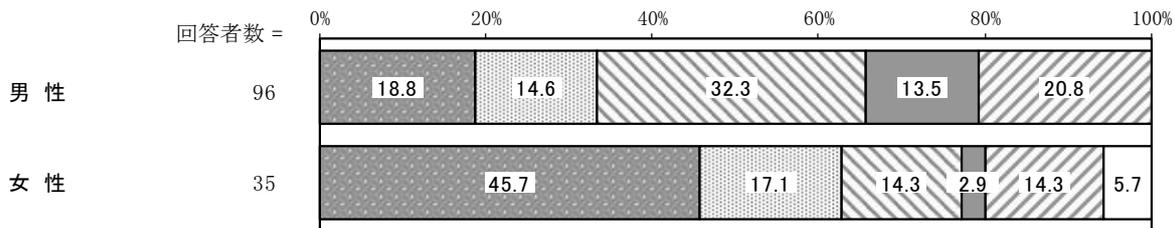
「課長相当職」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「主任相当職」の割合が 26.0%、「部長相当職より上の役職」の割合が 19.1%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「課長相当職」の割合が増加しています。



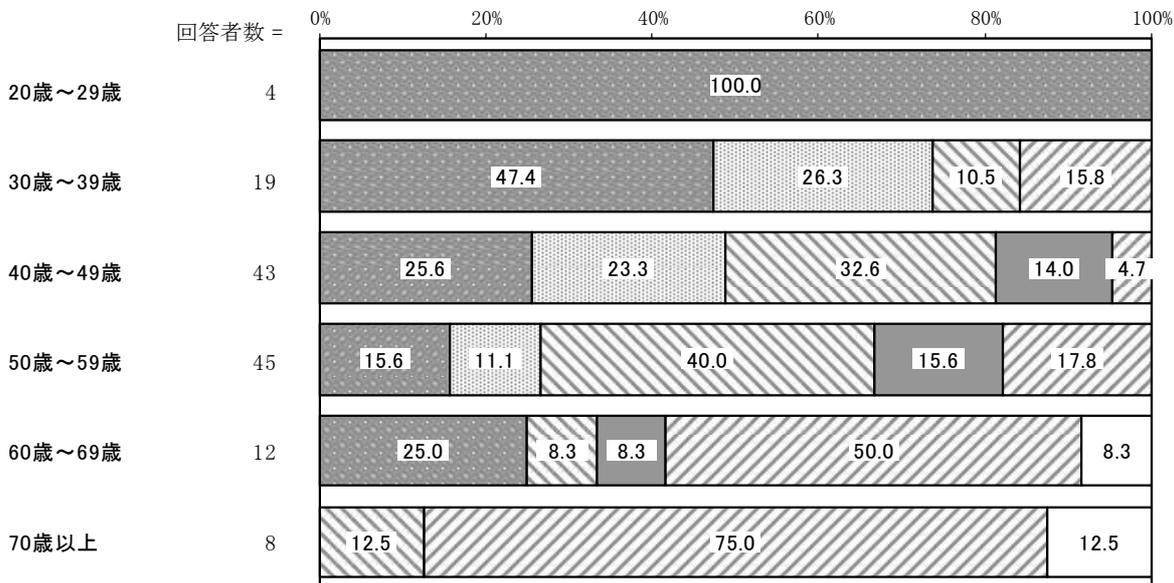
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「課長相当職」「部長相当職」「部長相当職より上の役職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「主任相当職」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



【年齢別】

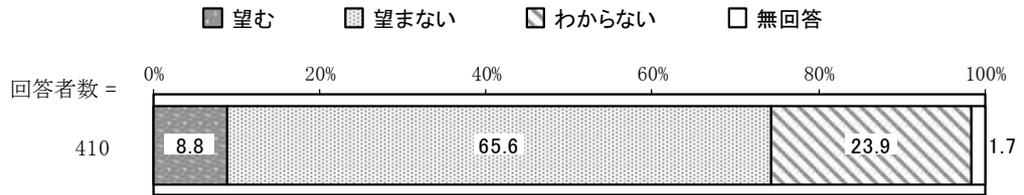
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「主任相当職」の割合が、60歳～69歳で「部長相当職より上の役職」の割合が高く、約5割となっています。



《問 15 で「いいえ」と答えられた方にお聞きします。》

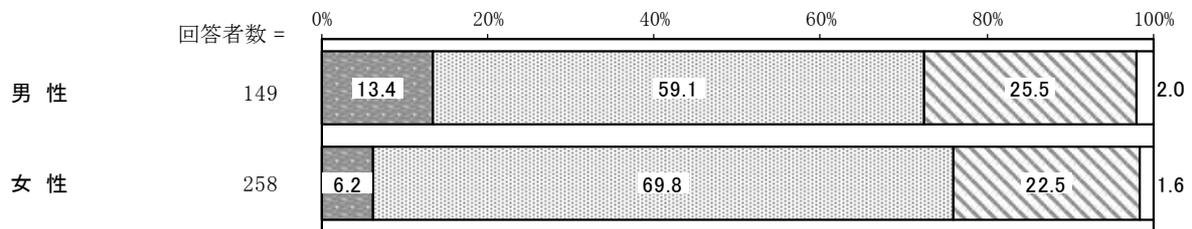
問 15-②あなたは、今後役職に就くことを望みますか。(○は1つ)

「望まない」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.9%となっています。



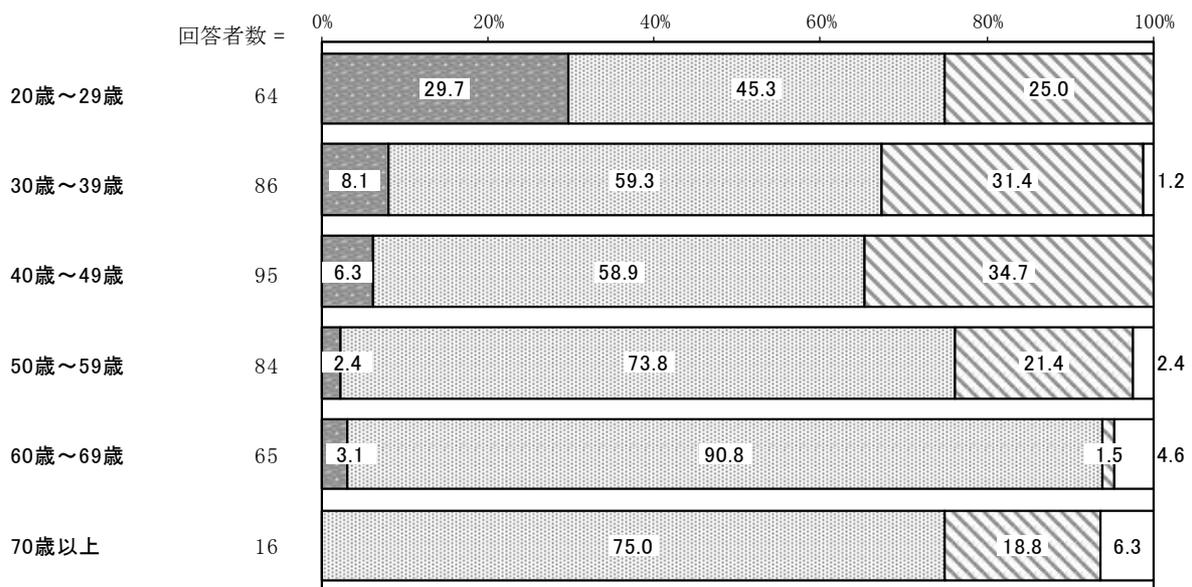
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「望む」の割合が高く、約 1 割となっています。また、男性に比べ、女性で「望まない」の割合が高く、約 7 割となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、69 歳以下で年齢が高くなるにつれ「望まない」の割合が高くなる傾向がみられ、60 歳～69 歳で約 9 割となっています。また、他に比べ、20 歳～29 歳で「望む」の割合が高く、約 3 割となっています。

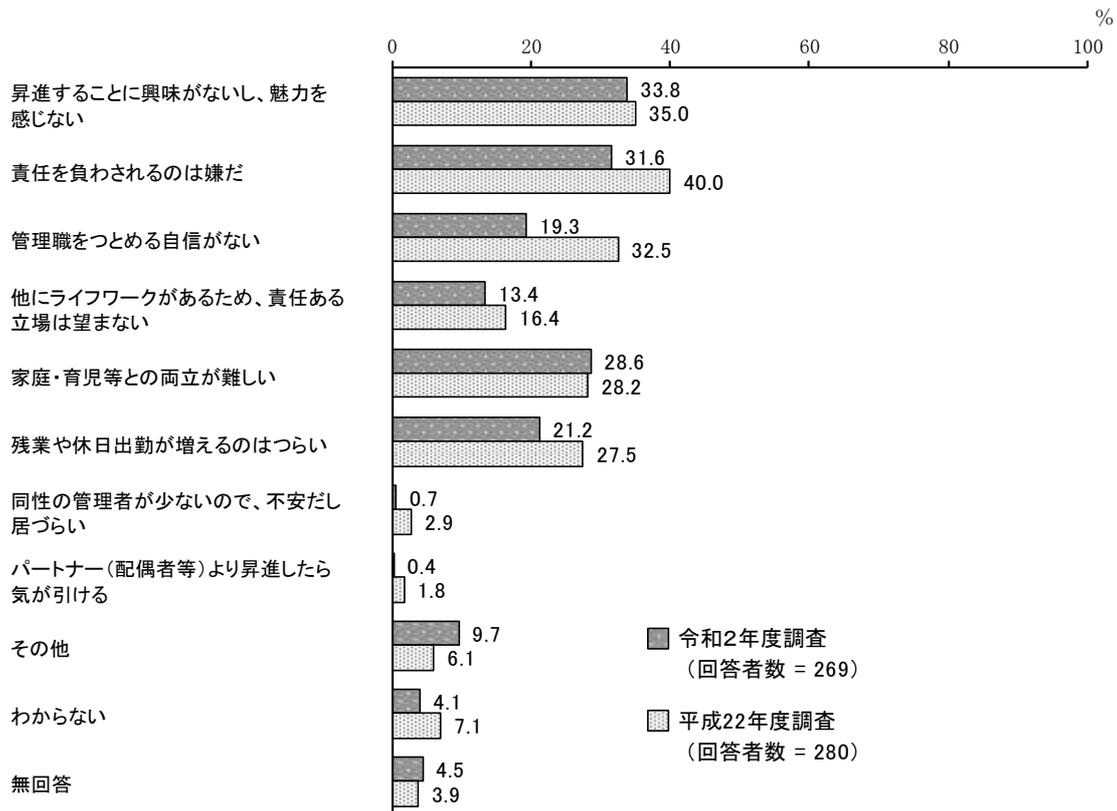


《問 15-②で「望まない」と答えた方にお聞きします。》

問 15-③それはどのような理由からですか。(○は3つまで)

「昇進することに興味がないし、魅力を感じない」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「責任を負わされるのは嫌だ」の割合が 31.6%、「家庭・育児等との両立が難しい」の割合が 28.6%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「責任を負わされるのは嫌だ」「管理職をつとめる自信がない」「残業や休日出勤が増えるのはつらい」の割合が減少しています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「昇進することに興味がないし、魅力を感じない」「他にライフワークがあるため、責任ある立場は望まない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「責任を負わされるのは嫌だ」「家庭・育児等との両立が難しい」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 昇進することに興味がないし、魅力を感じない | 責任を負わされるのは嫌だ | 管理職をつとめる自信がない | 他にライフワークがあるため、責任ある立場は望まない | 家庭・育児等との両立が難しい | 残業や休日出勤が増えるのはつらい | 同性の管理者が少ないので、不安だし居づらい | 昇進したら気が引ける | パートナー(配偶者等)より | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|-----------------------|--------------|---------------|---------------------------|----------------|------------------|-----------------------|------------|---------------|-----|-------|-----|
| 男性 | 88      | 42.0                  | 26.1         | 17.0          | 18.2                      | 5.7            | 19.3             | —                     | 1.1        | 13.6          | 8.0 | 4.5   |     |
| 女性 | 180     | 29.4                  | 33.9         | 20.0          | 11.1                      | 40.0           | 22.2             | 1.1                   | —          | 7.8           | 2.2 | 4.4   |     |

### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「昇進することに興味がないし、魅力を感じない」「家庭・育児等との両立が難しい」「残業や休日出勤が増えるのはつらい」の割合が高くなっています。また、20歳～29歳で「責任を負わされるのは嫌だ」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位：％

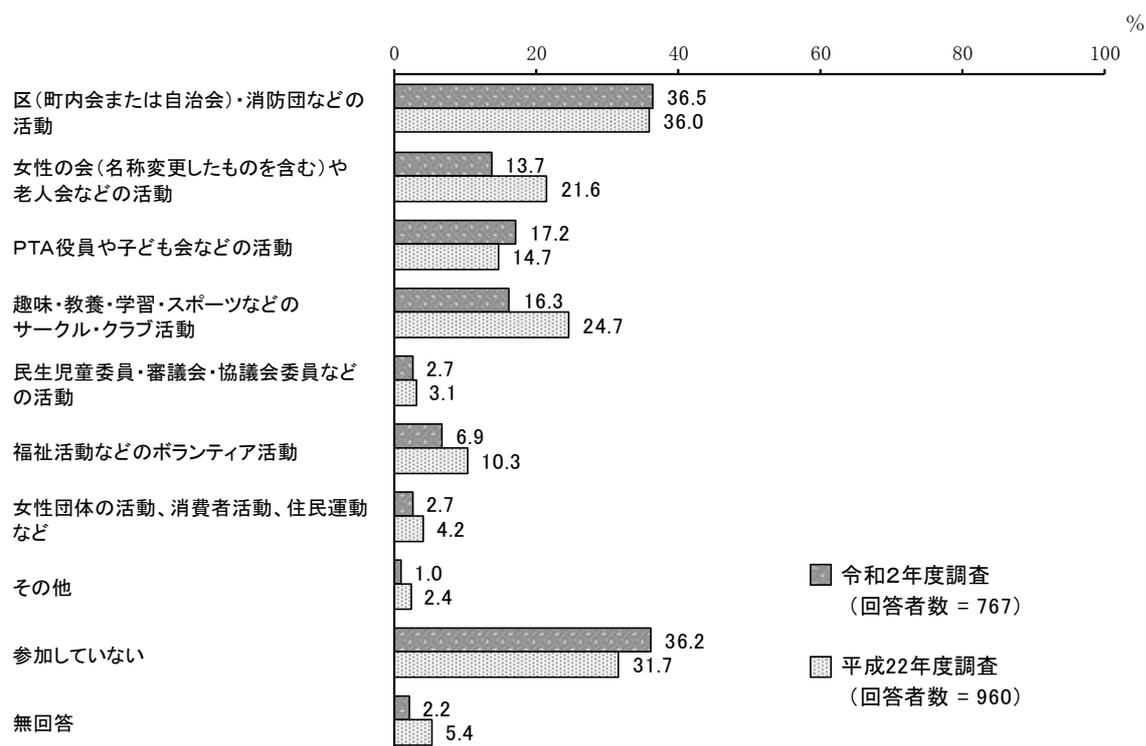
| 区分      | 回答者数(件) | 昇進することに興味がないし、魅力を感じない | 責任を負わされるのは嫌だ | 管理職をつとめる自信がない | 他にライフワークがあるため、責任ある立場は望まない | 家庭・育児等との両立が難しい | 残業や休日出勤が増えるのはつらい | 同性の管理者が少ないので、不安だし居づらい | 昇進したら気が引ける | パートナー(配偶者等)より | その他 | わからない | 無回答 |
|---------|---------|-----------------------|--------------|---------------|---------------------------|----------------|------------------|-----------------------|------------|---------------|-----|-------|-----|
| 20歳～29歳 | 29      | 34.5                  | 55.2         | 27.6          | 13.8                      | 34.5           | 34.5             | 6.9                   | —          | 3.4           | —   | —     |     |
| 30歳～39歳 | 51      | 47.1                  | 23.5         | 17.6          | 5.9                       | 47.1           | 37.3             | —                     | 2.0        | 3.9           | —   | 5.9   |     |
| 40歳～49歳 | 56      | 33.9                  | 33.9         | 25.0          | 12.5                      | 41.1           | 21.4             | —                     | —          | 1.8           | 1.8 | 3.6   |     |
| 50歳～59歳 | 62      | 32.3                  | 35.5         | 21.0          | 16.1                      | 21.0           | 17.7             | —                     | —          | 11.3          | 6.5 | 1.6   |     |
| 60歳～69歳 | 59      | 27.1                  | 25.4         | 8.5           | 20.3                      | 11.9           | 5.1              | —                     | —          | 18.6          | 8.5 | 8.5   |     |
| 70歳以上   | 12      | 16.7                  | 8.3          | 25.0          | —                         | —              | 16.7             | —                     | —          | 33.3          | 8.3 | 8.3   |     |

## (5) 社会生活について

問 16 あなたは、過去1年間に次のような地域活動に参加したことがありますか。  
(○はあてはまるもの全て)

「区(町内会または自治会)・消防団などの活動」の割合が36.5%と最も高く、次いで「参加していない」の割合が36.2%、「PTA役員や子ども会などの活動」の割合が17.2%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「女性の会(名称変更したものを含む)や老人会などの活動」「趣味・教養・学習・スポーツなどのサークル・クラブ活動」の割合が減少しています。



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「区（町内会または自治会）・消防団などの活動」「福祉活動などのボランティア活動」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「女性の会（名称変更したものを含む）や老人会などの活動」「PTA役員や子ども会などの活動」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 区（町内会または自治会）・消防団などの活動 | 女性の会（名称変更したものを含む）や老人会などの活動 | PTA役員や子ども会などの活動 | 趣味・教養・学習・スポーツなどのサークル・クラブ活動 | 民生児童委員・審議会・協議会委員などの活動 | 福祉活動などのボランティア活動 | 女性団体の活動、消費者活動、住民運動など | その他 | 参加していない | 無回答 |
|----|---------|-----------------------|----------------------------|-----------------|----------------------------|-----------------------|-----------------|----------------------|-----|---------|-----|
| 男性 | 324     | 52.8                  | 4.6                        | 11.1            | 13.6                       | 4.9                   | 9.9             | 1.5                  | 1.2 | 33.0    | 1.5 |
| 女性 | 436     | 24.8                  | 20.6                       | 21.3            | 18.3                       | 1.1                   | 4.8             | 3.7                  | 0.9 | 38.5    | 2.8 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「趣味・教養・学習・スポーツなどのサークル・クラブ活動」の割合が、年齢が低くなるにつれ「参加していない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、50歳～59歳、60歳～69歳で「区（町内会または自治会）・消防団などの活動」の割合が、40歳～49歳で「PTA役員や子ども会などの活動」の割合が高くなっています。

単位：％

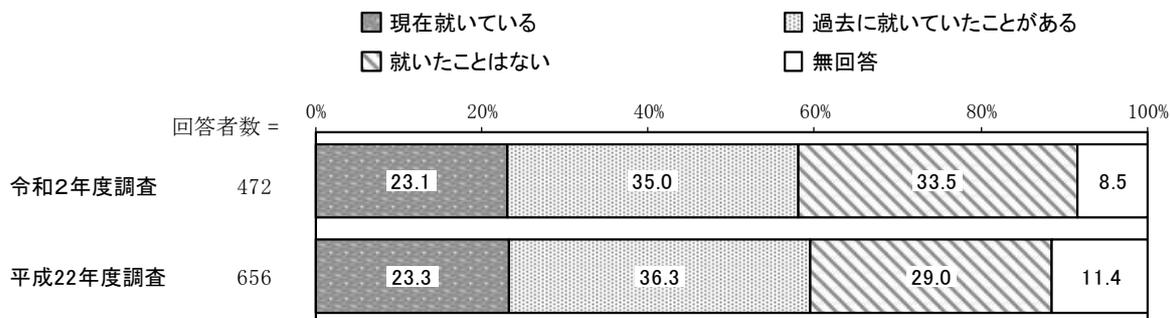
| 区分      | 回答者数（件） | 区（町内会または自治会）・消防団などの活動 | 女性の会（名称変更したものを含む）や老人会などの活動 | PTA役員や子ども会などの活動 | 趣味・教養・学習・スポーツなどのサークル・クラブ活動 | 民生児童委員・審議会・協議会委員などの活動 | 福祉活動などのボランティア活動 | 女性団体の活動、消費者活動、住民運動など | その他 | 参加していない | 無回答 |
|---------|---------|-----------------------|----------------------------|-----------------|----------------------------|-----------------------|-----------------|----------------------|-----|---------|-----|
| 20歳～29歳 | 93      | 8.6                   | —                          | 1.1             | 10.8                       | —                     | 3.2             | —                    | 1.1 | 73.1    | 2.2 |
| 30歳～39歳 | 120     | 28.3                  | 9.2                        | 26.7            | 10.0                       | 1.7                   | 0.8             | 1.7                  | 0.8 | 45.8    | —   |
| 40歳～49歳 | 160     | 39.4                  | 18.1                       | 40.0            | 10.0                       | 1.3                   | 4.4             | 1.3                  | —   | 25.0    | 2.5 |
| 50歳～59歳 | 153     | 47.7                  | 9.8                        | 9.8             | 13.1                       | 0.7                   | 7.8             | —                    | —   | 33.3    | 2.6 |
| 60歳～69歳 | 145     | 46.9                  | 13.8                       | 10.3            | 26.2                       | 7.6                   | 13.1            | 6.2                  | 2.1 | 24.8    | 2.1 |
| 70歳以上   | 95      | 35.8                  | 31.6                       | 4.2             | 30.5                       | 5.3                   | 11.6            | 8.4                  | 3.2 | 29.5    | 4.2 |

《問 16 で、地域活動に参加したことがあると答えられた方にお聞きします。》

問 16-① あなたは、その活動の中で何かの役職に就いたことがありますか。  
(○は1つ)

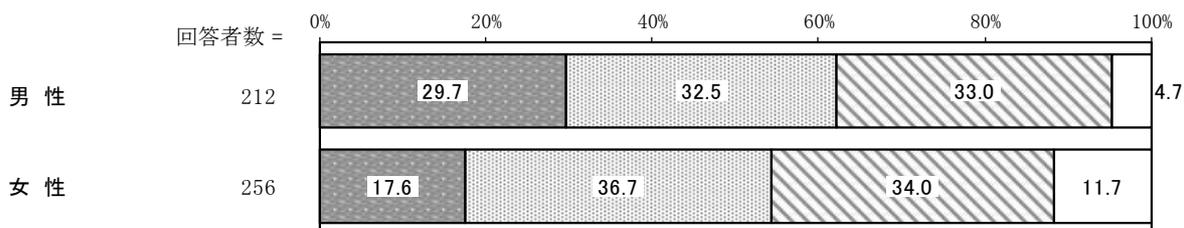
「過去に就いていたことがある」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「就いたことはない」の割合が 33.5%、「現在就いている」の割合が 23.1%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



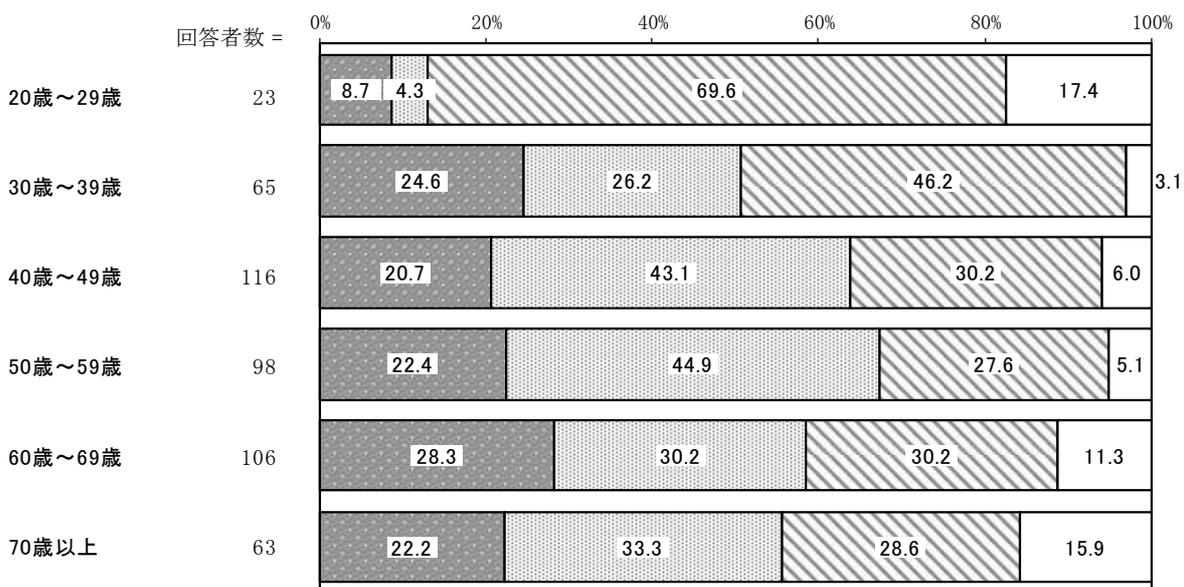
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「現在就いている」の割合が高く、約3割となっています。



### 【年齢別】

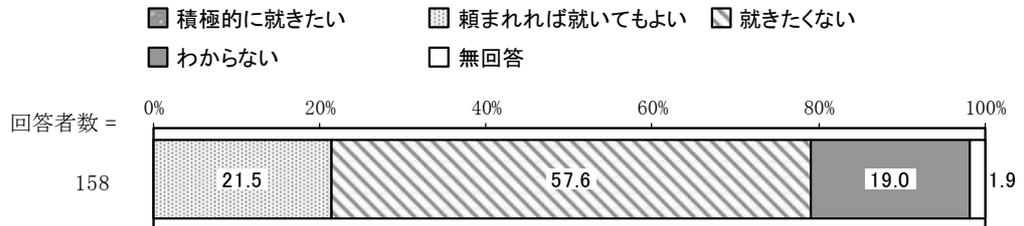
年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳、50歳～59歳で「過去に就いていたことがある」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



《問 16-①で、「就いたことはない」と答えられた方にお聞きします。》

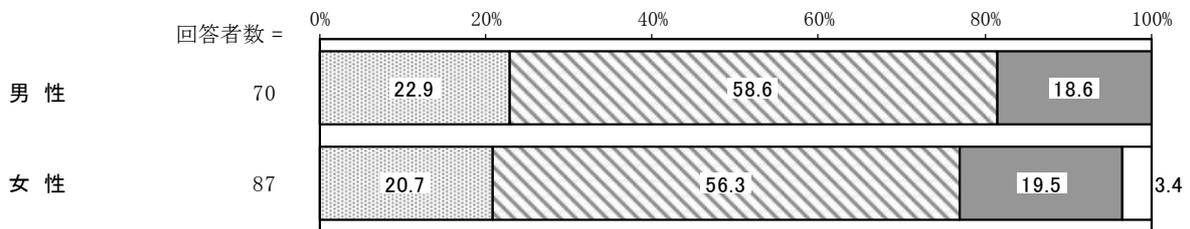
**問 16-② あなたは今後何らかの役職に就いてもよいと思いますか。(○は1つ)**

「就きたくない」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「頼まれれば就いてもよい」の割合が 21.5%、「わからない」の割合が 19.0%となっています。



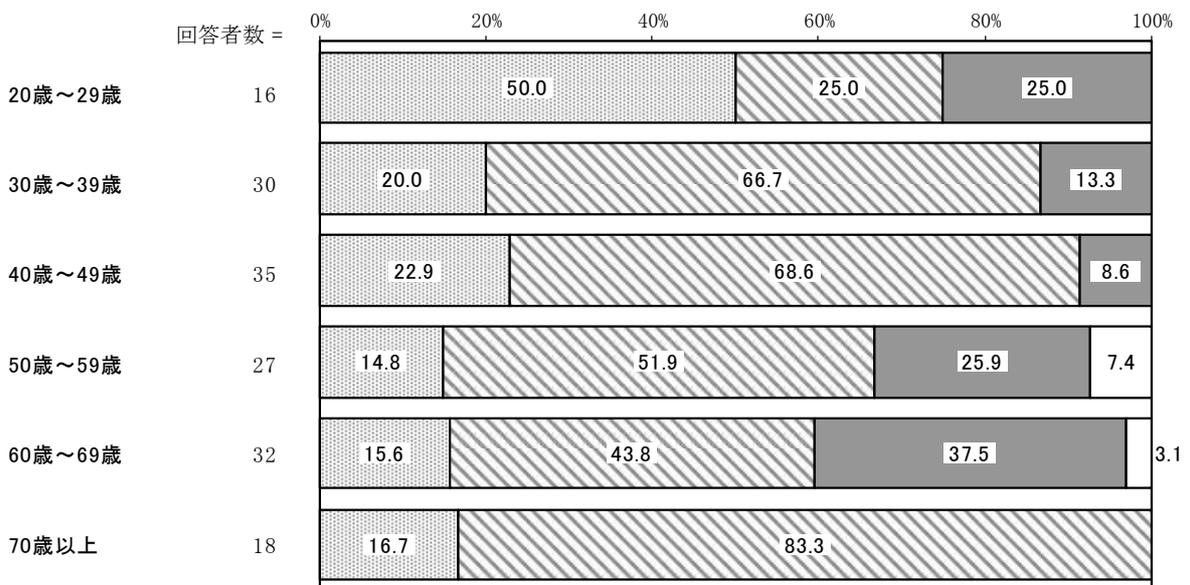
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



**【年齢別】**

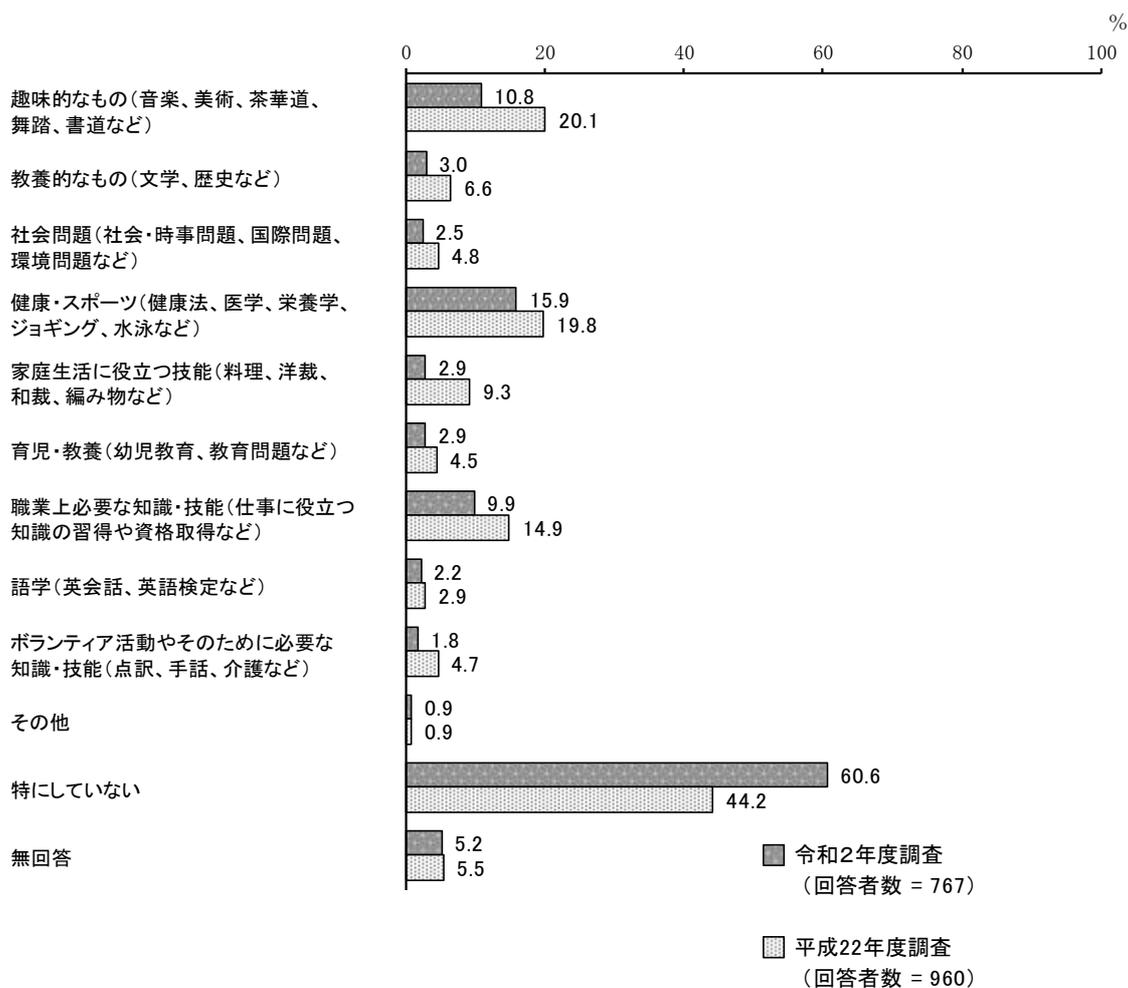
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「就きたくない」の割合が高く、約8割となっています。また、20歳～29歳で「頼まれれば就いてもよい」の割合が高く、5割となっています。



問17 あなたは、過去1年間に次のような生涯学習を行ったことがありますか。  
(○は当てはまるもの全て)

「特にしていない」の割合が60.6%と最も高く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養学、ジョギング、水泳など）」の割合が15.9%、「趣味的なもの（音楽、美術、茶華道、舞踏、書道など）」の割合が10.8%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「特にしていない」の割合が増加しています。一方、「趣味的なもの（音楽、美術、茶華道、舞踏、書道など）」「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「職業上必要な知識・技能（仕事に役立つ知識の習得や資格取得など）」「特にしていない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「趣味的なもの（音楽、美術、茶華道、舞踏、書道など）」の割合が高く、1割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数<br>(件) | 趣味的なもの<br>(音楽、美術、<br>茶華道、舞踏、書道など) | 教養的なもの<br>(文学、歴史<br>など) | 社会問題(社会・時事問題、<br>国際問題、環境問題など) | 健康・スポーツ(健康法、<br>医学、栄養学、ジョギング、<br>水泳など) | 家庭生活に役立つ技能(料<br>理、洋裁、和裁、編み物な<br>ど) | 育児・教養(幼児教育、教<br>育問題など) |
|----|-------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 男性 | 324         | 5.6                               | 4.0                     | 3.4                           | 16.0                                   | 0.3                                | 0.9                    |
| 女性 | 436         | 14.9                              | 2.3                     | 1.8                           | 15.8                                   | 4.8                                | 4.4                    |

| 区分 | 職業上必要な知識・技能<br>(仕事に役立つ知識の習<br>得や資格取得など) | 語学(英会話、英語検定な<br>ど) | ボランティア活動やその<br>ために必要な知識・技能<br>(点訳、手話、介護など) | その他 | 特にしていない | 無回答 |
|----|-----------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------|-----|---------|-----|
| 男性 | 14.2                                    | 1.2                | 1.9                                        | 0.9 | 63.9    | 3.7 |
| 女性 | 6.7                                     | 3.0                | 1.8                                        | 0.9 | 57.8    | 6.4 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳で「職業上必要な知識・技能（仕事に役立つ知識の習得や資格取得など）」の割合が、70歳以上で「趣味的なもの（音楽、美術、茶華道、舞踏、書道など）」の割合が高く、約2割となっています。また、40歳～49歳で「特にしていない」の割合が高く、7割台半ばとなっています。

単位：%

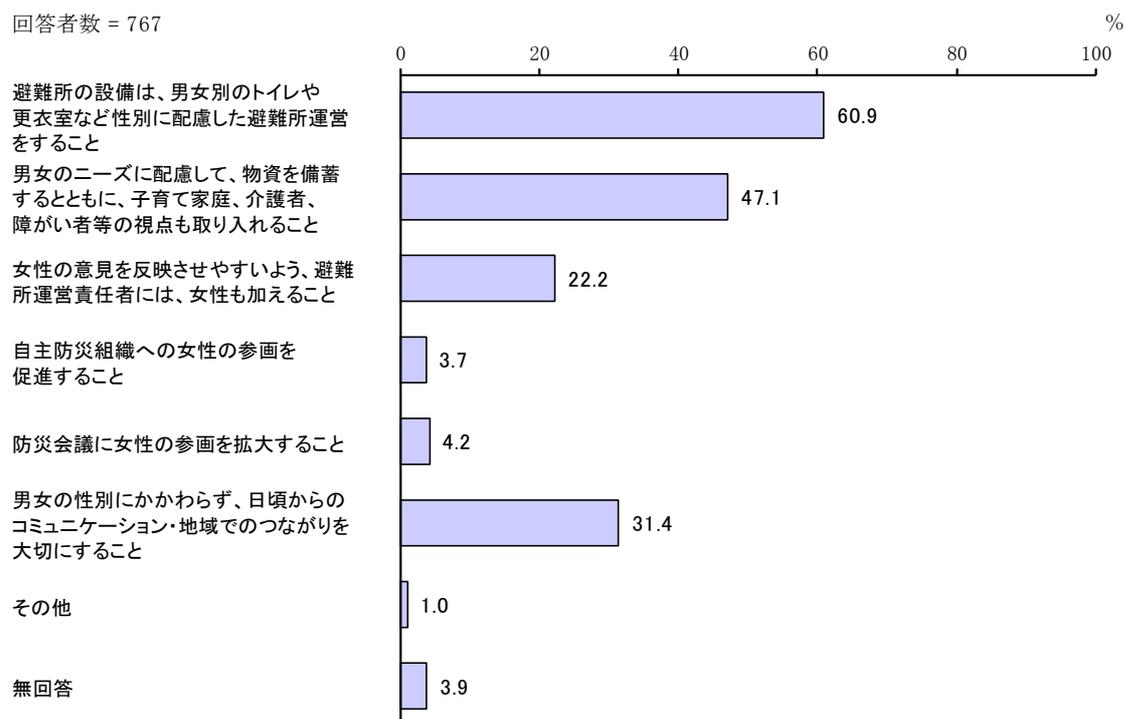
| 区分      | 回答者数（件） | 趣味的なもの（音楽、美術、茶華道、舞踏、書道など） | 教養的なもの（文学、歴史など） | 社会問題（社会・時事問題、国際問題、環境問題など） | 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養学、ジヨギング、水泳など） | 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など） | 育児・教養（幼児教育、教育問題など） |
|---------|---------|---------------------------|-----------------|---------------------------|--------------------------------|----------------------------|--------------------|
| 20歳～29歳 | 93      | 18.3                      | 3.2             | 2.2                       | 19.4                           | 2.2                        | 4.3                |
| 30歳～39歳 | 120     | 10.0                      | 4.2             | 2.5                       | 19.2                           | 2.5                        | 1.7                |
| 40歳～49歳 | 160     | 5.0                       | 3.1             | 0.6                       | 10.0                           | 2.5                        | 3.8                |
| 50歳～59歳 | 153     | 5.2                       | 0.7             | 0.7                       | 11.8                           | 1.3                        | 3.9                |
| 60歳～69歳 | 145     | 12.4                      | 0.7             | 4.1                       | 18.6                           | 3.4                        | 1.4                |
| 70歳以上   | 95      | 21.1                      | 8.4             | 6.3                       | 21.1                           | 6.3                        | 2.1                |

| 区分      | 職業上必要な知識・技能（仕事に役立つ知識の習得や資格取得など） | 語学（英会話、英語検定など） | ボランティア活動やそのために必要な知識・技能（点訳、手話、介護など） | その他 | 特にしていない | 無回答  |
|---------|---------------------------------|----------------|------------------------------------|-----|---------|------|
| 20歳～29歳 | 21.5                            | 6.5            | 1.1                                | 1.1 | 49.5    | 1.1  |
| 30歳～39歳 | 18.3                            | 2.5            | 1.7                                | 0.8 | 60.8    | —    |
| 40歳～49歳 | 6.9                             | 0.6            | 0.6                                | —   | 75.6    | 3.8  |
| 50歳～59歳 | 6.5                             | 2.6            | 2.6                                | 1.3 | 65.4    | 7.2  |
| 60歳～69歳 | 5.5                             | 0.7            | 2.1                                | 1.4 | 55.9    | 7.6  |
| 70歳以上   | 5.3                             | 2.1            | 3.2                                | 1.1 | 45.3    | 11.6 |

問 18 防災・災害復興活動において性別に配慮した対応が望まれておりますが、特にどのような取組が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「避難所の設備は、男女別のトイレや更衣室など性別に配慮した避難所運営をすること」の割合が60.9%と最も高く、次いで「男女のニーズに配慮して、物資を備蓄するとともに、子育て家庭、介護者、障がい者等の視点も取り入れること」の割合が47.1%、「男女の性別にかかわらず、日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にすること」の割合が31.4%となっています。

回答者数 = 767



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自主防災組織への女性の参画を促進すること」「男女の性別にかかわらず、日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にすること」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「避難所の設備は、男女別のトイレや更衣室など性別に配慮した避難所運営をすること」「男女のニーズに配慮して、物資を備蓄するとともに、子育て家庭、介護者、障がい者等の視点も取り入れること」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 避難所の設備は、男女別のトイレや更衣室など性別に配慮した避難所運営をすること | 障がい者等の視点も取り入れること | 女性の意見を反映させやすいよう、避難所運営責任者には、女性も加えること | 自主防災組織への女性の参画を促進すること | 防災会議に女性の参画を拡大すること | 男女の性別にかかわらず、日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にすること | その他 | 無回答 |
|----|---------|----------------------------------------|------------------|-------------------------------------|----------------------|-------------------|---------------------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 324     | 54.9                                   | 42.9             | 23.5                                | 7.4                  | 5.9               | 36.7                                        | 1.2 | 2.5 |
| 女性 | 436     | 65.4                                   | 50.0             | 21.1                                | 0.9                  | 3.0               | 27.8                                        | 0.9 | 4.8 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、50歳～59歳で「避難所の設備は、男女別のトイレや更衣室など性別に配慮した避難所運営をすること」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳～39歳で「男女のニーズに配慮して、物資を備蓄するとともに、子育て家庭、介護者、障がい者等の視点も取り入れること」の割合が高く、約6割となっています。

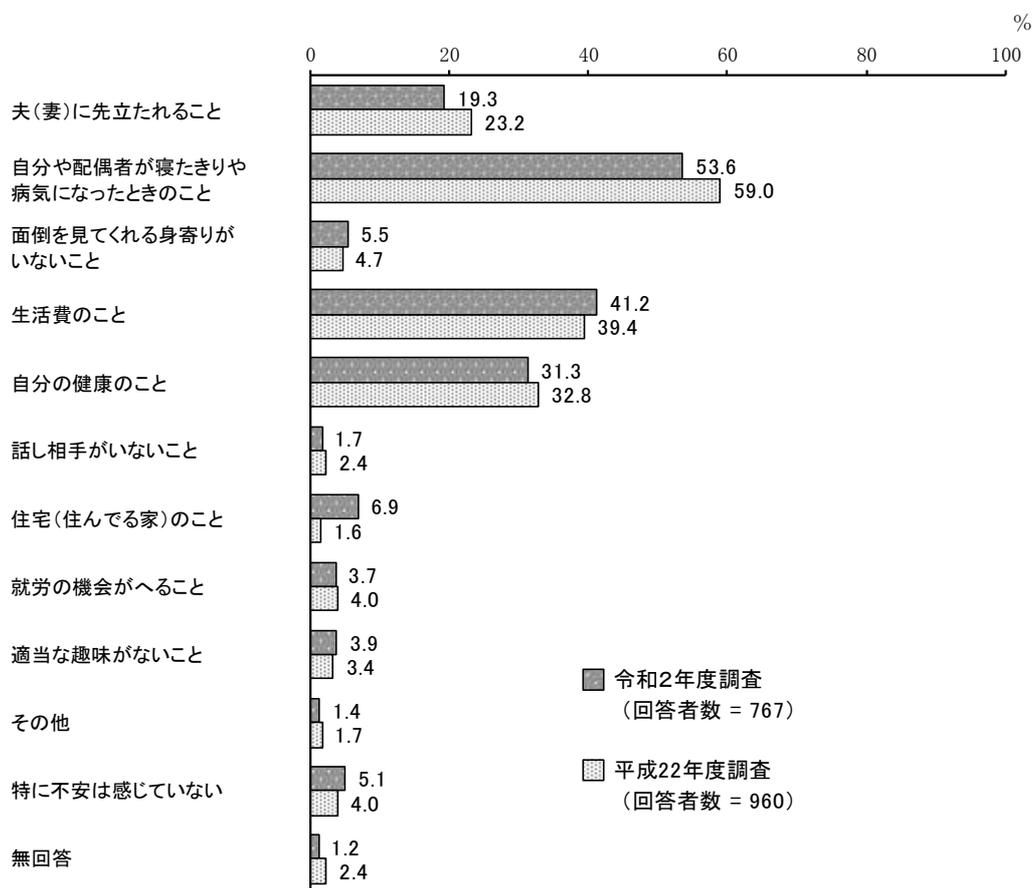
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 避難所の設備は、男女別のトイレや更衣室など性別に配慮した避難所運営をすること | 男女のニーズに配慮して、物資を備蓄するとともに、子育て家庭、介護者、障がい者等の視点も取り入れること | 女性の意見を反映させやすいよう、避難所運営責任者には、女性も加えること | 自主防災組織への女性の参画を促進すること | 防災会議に女性の参画を拡大すること | 男女の性別にかかわらず、日頃からのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にすること | その他 | 無回答  |
|---------|---------|----------------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------|-------------------|---------------------------------------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 55.9                                   | 50.5                                               | 26.9                                | 2.2                  | 2.2               | 36.6                                        | 1.1 | 1.1  |
| 30歳～39歳 | 120     | 68.3                                   | 61.7                                               | 21.7                                | 3.3                  | 3.3               | 20.8                                        | 0.8 | 0.8  |
| 40歳～49歳 | 160     | 62.5                                   | 42.5                                               | 21.3                                | 3.1                  | 3.8               | 30.0                                        | 1.3 | 4.4  |
| 50歳～59歳 | 153     | 71.9                                   | 51.0                                               | 17.0                                | 3.9                  | 4.6               | 21.6                                        | 0.7 | 3.9  |
| 60歳～69歳 | 145     | 52.4                                   | 42.8                                               | 27.6                                | 4.8                  | 4.8               | 38.6                                        | 1.4 | 3.4  |
| 70歳以上   | 95      | 49.5                                   | 32.6                                               | 18.9                                | 4.2                  | 6.3               | 47.4                                        | 1.1 | 10.5 |

問 19 あなたは、自分の老後についてどんな不安を感じていますか。(〇は2つまで)

「自分や配偶者が寝たきりや病気になったときのこと」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「生活費のこと」の割合が 41.2%、「自分の健康のこと」の割合が 31.3%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「住宅(住んでる家)のこと」の割合が増加しています。一方、「自分や配偶者が寝たきりや病気になったときのこと」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 夫(妻)に先立たれること | 自分や配偶者が寝たきりや病気になったときのこと | 面倒を見てくれる身寄りがないこと | 生活費のこと | 自分の健康のこと | 話し相手がないこと | 住宅(住んでる家)のこと | 就労の機会がへること | 適当な趣味がないこと | その他 | 特に不安は感じていない | 無回答 |
|----|---------|--------------|-------------------------|------------------|--------|----------|-----------|--------------|------------|------------|-----|-------------|-----|
| 男性 | 324     | 20.7         | 54.0                    | 5.2              | 39.8   | 32.7     | 1.2       | 5.6          | 4.9        | 5.6        | 0.9 | 4.6         | 1.2 |
| 女性 | 436     | 18.6         | 53.4                    | 5.3              | 41.5   | 30.3     | 2.1       | 7.8          | 2.8        | 2.8        | 1.8 | 5.5         | 1.1 |

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「自分や配偶者が寝たきりや病気になったときのこと」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約7割となっています。また、他に比べ、30歳～39歳で「生活費のこと」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位：%

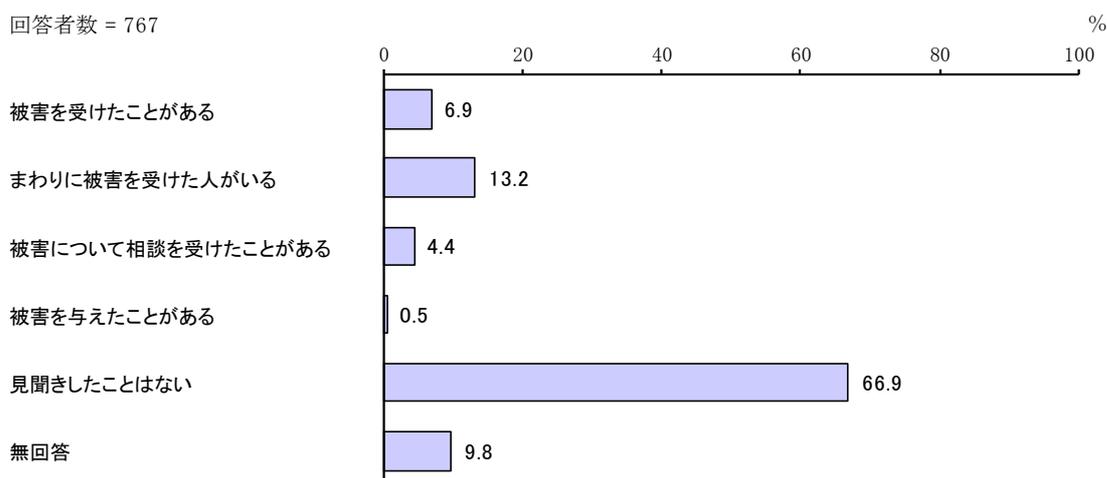
| 区分      | 回答者数(件) | 夫(妻)に先立たれること | 自分や配偶者が寝たきりや病気になったときのこと | 面倒を見てくれる身寄りがないこと | 生活費のこと | 自分の健康のこと | 話し相手がないこと | 住宅(住んでる家)のこと | 就労の機会がへること | 適当な趣味がないこと | その他 | 特に不安は感じていない | 無回答 |
|---------|---------|--------------|-------------------------|------------------|--------|----------|-----------|--------------|------------|------------|-----|-------------|-----|
| 20歳～29歳 | 93      | 12.9         | 29.0                    | 6.5              | 51.6   | 33.3     | —         | 8.6          | 5.4        | 8.6        | 2.2 | 9.7         | —   |
| 30歳～39歳 | 120     | 13.3         | 44.2                    | 7.5              | 55.8   | 31.7     | 2.5       | 5.8          | 5.0        | 3.3        | 3.3 | 3.3         | 0.8 |
| 40歳～49歳 | 160     | 18.8         | 46.9                    | 5.6              | 48.8   | 25.6     | 4.4       | 6.3          | 4.4        | 2.5        | 1.3 | 7.5         | 0.6 |
| 50歳～59歳 | 153     | 15.0         | 64.1                    | 5.2              | 43.1   | 26.8     | 0.7       | 7.8          | 3.9        | 5.2        | 1.3 | 2.0         | 2.6 |
| 60歳～69歳 | 145     | 29.0         | 64.8                    | 4.1              | 27.6   | 34.5     | 0.7       | 6.9          | 2.1        | 2.8        | 0.7 | 3.4         | 1.4 |
| 70歳以上   | 95      | 26.3         | 67.4                    | 4.2              | 16.8   | 41.1     | 1.1       | 5.3          | 1.1        | 2.1        | —   | 6.3         | 1.1 |

## (6) DV・ハラスメント行為について

問 20 あなたは、次の行為について経験したり、身近で見聞きしたことがありますか。  
(○はあてはまるもの全て)

### ①セクシャルハラスメント（セクハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「まわりに被害を受けた人がある」の割合が 13.2%となっています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で「被害を受けたことがある」の割合が高く、約1割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 男性 | 324     | 0.6           | 14.2           | 6.2               | 0.9           | 71.9       | 7.7  |
| 女性 | 436     | 11.0          | 12.4           | 2.8               | 0.2           | 63.8       | 11.2 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳から40歳～49歳で「被害を受けたことがある」の割合が高く、約1割となっています。

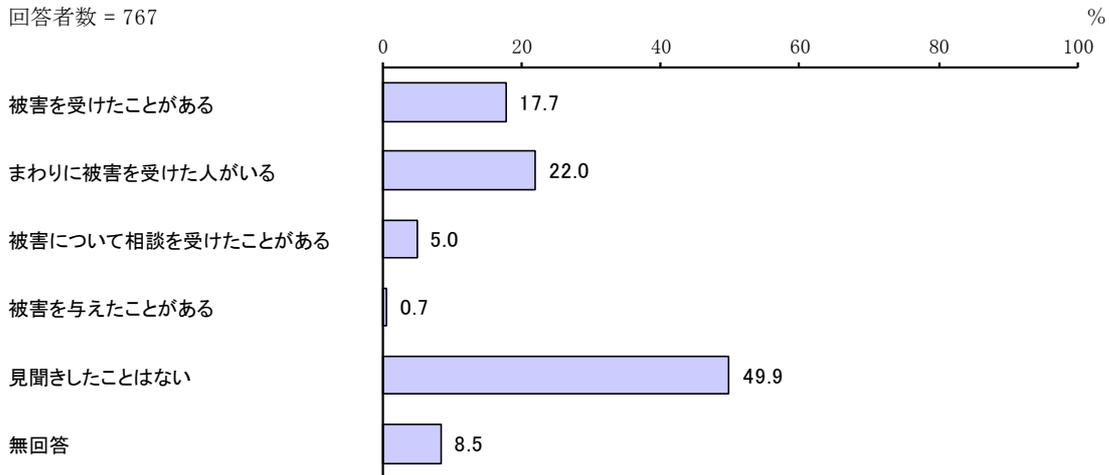
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 8.6         | 12.9           | 3.2               | —           | 74.2       | 1.1  |
| 30歳～39歳 | 120     | 9.2         | 16.7           | 5.8               | 0.8         | 70.0       | 2.5  |
| 40歳～49歳 | 160     | 10.6        | 15.6           | 6.3               | —           | 65.6       | 4.4  |
| 50歳～59歳 | 153     | 6.5         | 12.4           | 3.9               | 0.7         | 69.3       | 7.8  |
| 60歳～69歳 | 145     | 2.8         | 12.4           | 3.4               | 1.4         | 60.7       | 19.3 |
| 70歳以上   | 95      | 2.1         | 6.3            | 2.1               | —           | 64.2       | 25.3 |

②パワーハラスメント（パワハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が49.9%と最も高く、次いで「まわりに被害を受けた人がある」の割合が22.0%、「被害を受けたことがある」の割合が17.7%となっています。

回答者数 = 767



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 男性 | 324     | 17.3          | 21.0           | 6.8               | 0.6           | 53.4       | 5.6  |
| 女性 | 436     | 17.4          | 22.9           | 3.4               | 0.7           | 47.7       | 10.6 |

### 【年齢別】

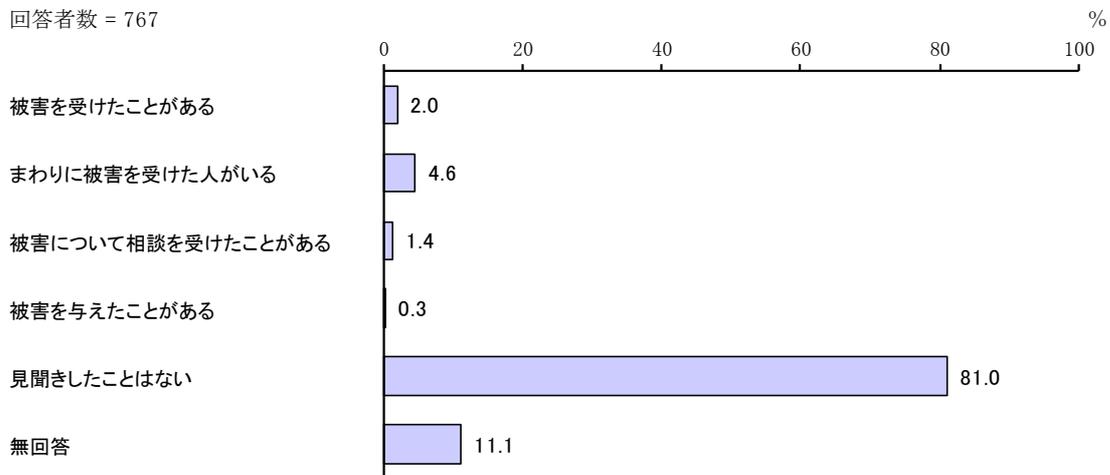
年齢別でみると、他に比べ、30歳以上で年齢が低くなるにつれ「被害を受けたことがある」「まわりに被害を受けた人がある」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 18.3          | 18.3           | 2.2               | —             | 60.2       | 2.2  |
| 30歳～39歳 | 120     | 24.2          | 30.0           | 3.3               | 0.8           | 47.5       | 2.5  |
| 40歳～49歳 | 160     | 20.6          | 27.5           | 6.9               | 0.6           | 44.4       | 3.1  |
| 50歳～59歳 | 153     | 15.0          | 24.8           | 4.6               | 1.3           | 52.3       | 5.2  |
| 60歳～69歳 | 145     | 16.6          | 15.9           | 4.8               | 0.7           | 46.9       | 16.6 |
| 70歳以上   | 95      | 9.5           | 10.5           | 6.3               | —             | 53.7       | 24.2 |

### ③ マタニティハラスメント（マタハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が81.0%と最も高くなっています。



#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 男性 | 324     | —             | 3.7            | 0.9               | 0.3           | 86.7       | 8.6  |
| 女性 | 436     | 3.2           | 5.0            | 1.8               | —             | 77.3       | 12.8 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳、50歳～59歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約9割となっています。

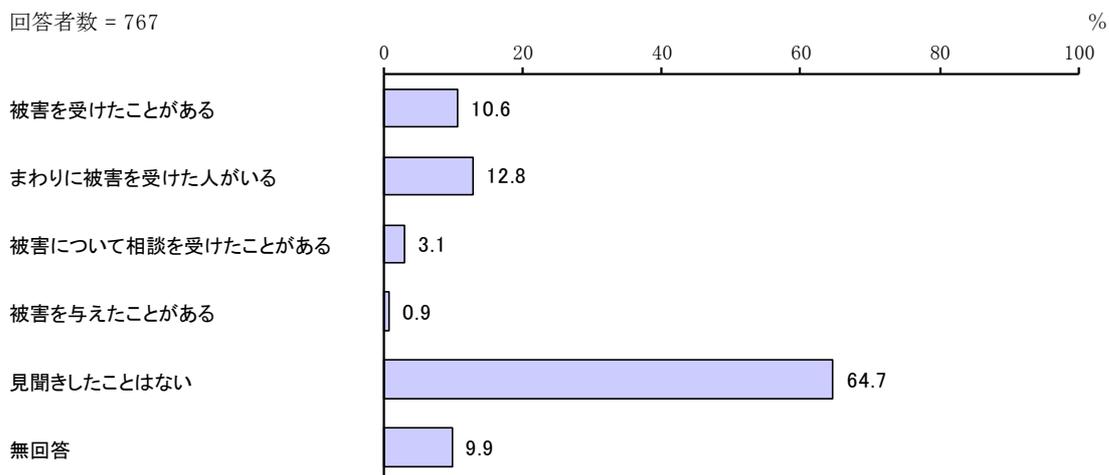
単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 2.2         | 6.5            | 1.1               | —           | 88.2       | 2.2  |
| 30歳～39歳 | 120     | 1.7         | 4.2            | 2.5               | 1.7         | 87.5       | 3.3  |
| 40歳～49歳 | 160     | 4.4         | 5.0            | 1.9               | —           | 83.8       | 5.6  |
| 50歳～59歳 | 153     | 0.7         | 4.6            | —                 | —           | 87.6       | 7.2  |
| 60歳～69歳 | 145     | 0.7         | 4.1            | 0.7               | —           | 73.8       | 20.7 |
| 70歳以上   | 95      | 1.1         | 3.2            | 3.2               | —           | 62.1       | 30.5 |

## ④モラルハラスメント（モラハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が64.7%と最も高く、次いで「まわりに被害を受けた人がある」の割合が12.8%、「被害を受けたことがある」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 767



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約7割となっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 男性 | 324     | 8.0           | 10.5           | 4.6               | 1.2           | 70.7       | 7.4  |
| 女性 | 436     | 12.2          | 14.4           | 1.6               | 0.7           | 60.8       | 11.7 |

### 【年齢別】

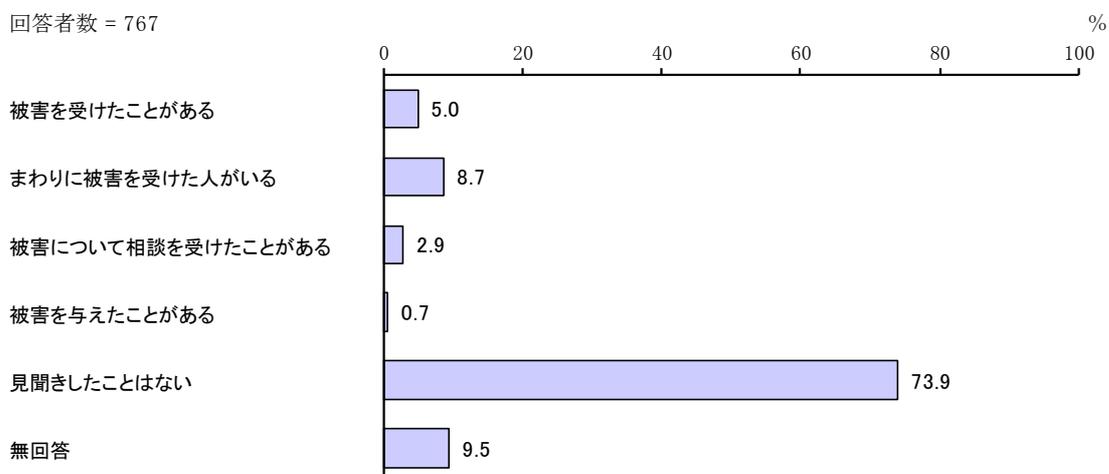
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「被害を受けたことがある」「まわりに被害を受けた人がある」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 9.7           | 14.0           | 3.2               | 1.1           | 71.0       | 2.2  |
| 30歳～39歳 | 120     | 15.8          | 18.3           | 2.5               | 1.7           | 65.0       | 1.7  |
| 40歳～49歳 | 160     | 15.0          | 15.0           | 3.1               | 0.6           | 63.8       | 4.4  |
| 50歳～59歳 | 153     | 9.8           | 12.4           | 3.3               | —             | 68.0       | 7.2  |
| 60歳～69歳 | 145     | 5.5           | 8.3            | 3.4               | 1.4           | 63.4       | 18.6 |
| 70歳以上   | 95      | 5.3           | 7.4            | 3.2               | 1.1           | 56.8       | 28.4 |

### ⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）

「見聞きしたことはない」の割合が73.9%と最も高くなっています。



#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約8割となっています。また、男性に比べ、女性で「被害を受けたことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 男性 | 324     | 1.2           | 6.5            | 1.9               | 0.9           | 82.1       | 8.0  |
| 女性 | 436     | 6.9           | 10.6           | 3.4               | 0.5           | 68.6       | 10.8 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約9割となっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳で「まわりに被害を受けた人がある」の割合が高く、1割を超えています。

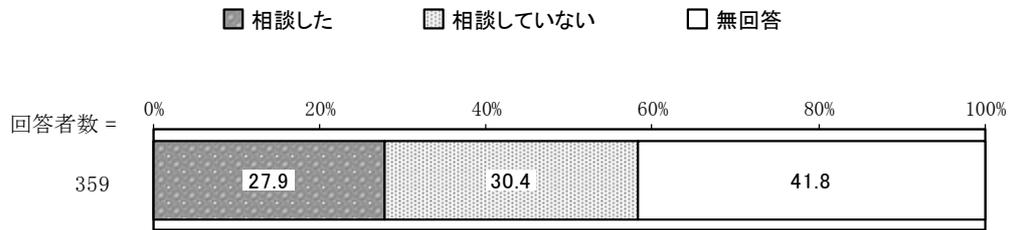
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | ある被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | ある被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|---------------|----------------|-------------------|---------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 1.1           | 8.6            | 2.2               | 1.1           | 87.1       | 1.1  |
| 30歳～39歳 | 120     | 8.3           | 14.2           | 1.7               | 2.5           | 73.3       | 1.7  |
| 40歳～49歳 | 160     | 7.5           | 12.5           | 3.1               | —             | 73.1       | 4.4  |
| 50歳～59歳 | 153     | 4.6           | 7.2            | 3.3               | —             | 77.8       | 7.2  |
| 60歳～69歳 | 145     | 1.4           | 4.8            | 3.4               | 0.7           | 70.3       | 19.3 |
| 70歳以上   | 95      | 5.3           | 4.2            | 3.2               | —             | 63.2       | 25.3 |

《問 20 で 1 つでも「被害の経験がある」、「加害の経験がある」と答えた人にお聞きします。》

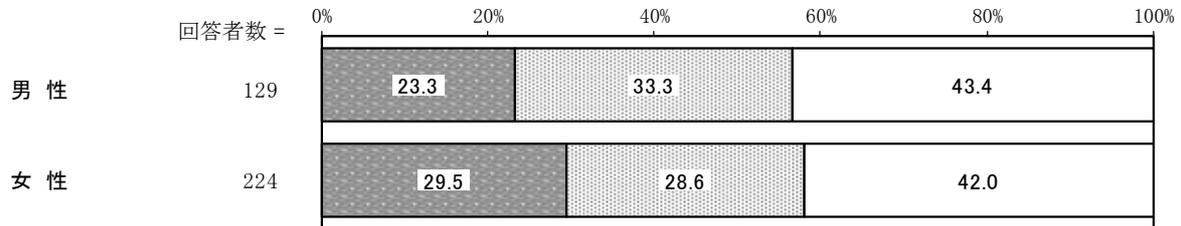
**問 21 それらの行為をされたり、したりしたあと、誰かに相談しましたか。(○は1つ)**

「相談した」の割合が 27.9%、「相談していない」の割合が 30.4%となっています。



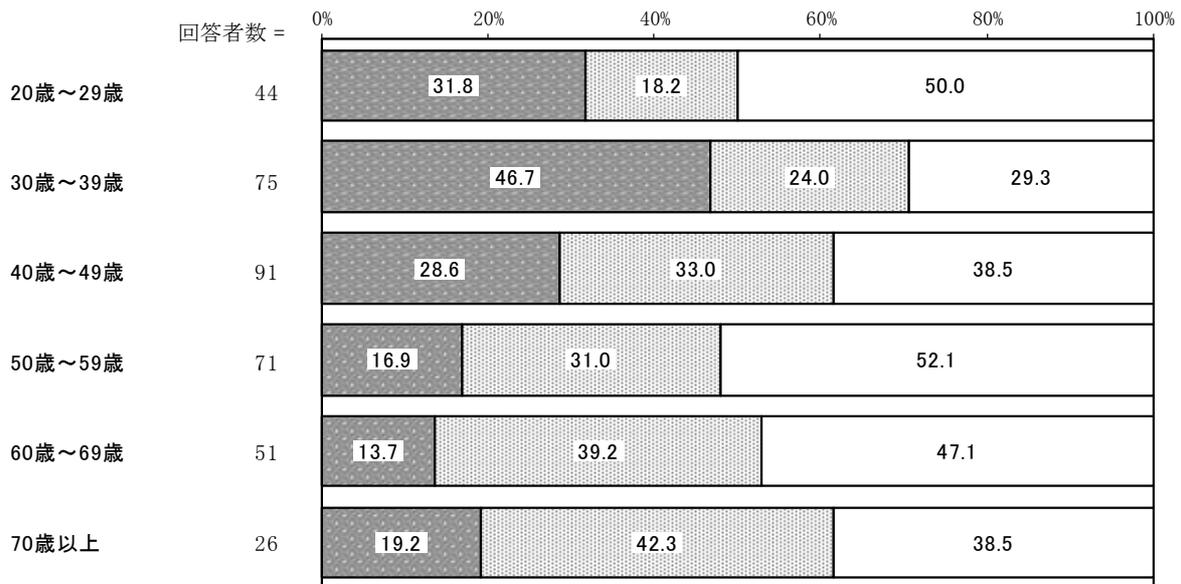
**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「相談した」の割合が高く、約3割となっています。



**【年齢別】**

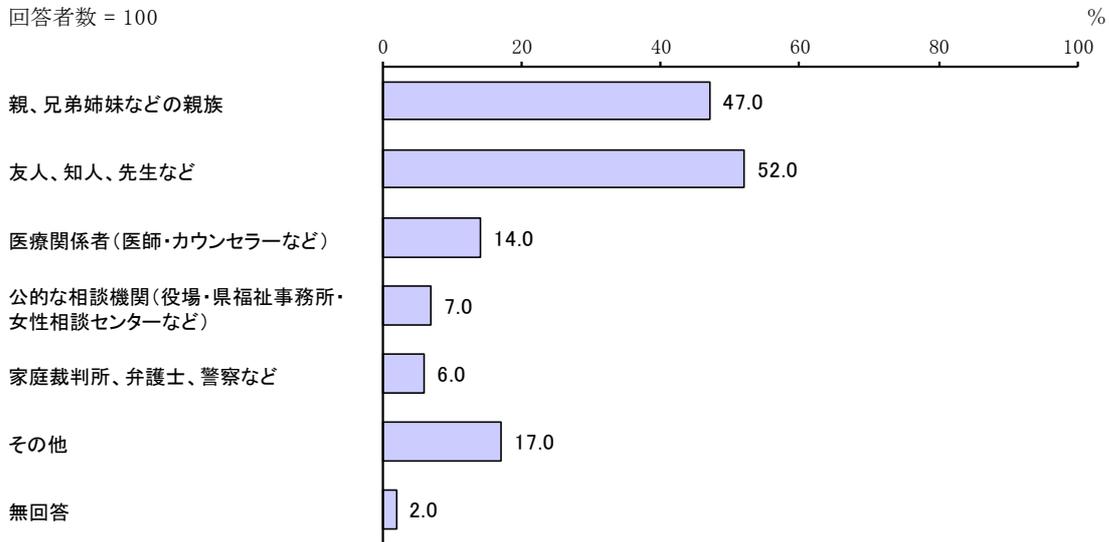
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「相談した」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、60歳～69歳、70歳以上で「相談していない」の割合が高く、約4割となっています。



《問 21 で「相談した」と答えられた方にお聞きします。》

**問 21-① 誰（どこ）に相談しましたか。（○はあてはまるもの全て）**

「友人、知人、先生など」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「親、兄弟姉妹などの親族」の割合が 47.0%、「医療関係者（医師・カウンセラーなど）」の割合が 14.0%となっています。



**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「親、兄弟姉妹などの親族」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 親、兄弟姉妹などの親族 | 友人、知人、先生など | 医療関係者(医師・カウンセラーなど) | 公的な相談機関(役場・県福祉事務所・女性相談センターなど) | 家庭裁判所、弁護士、警察など | その他  | 無回答 |
|----|---------|-------------|------------|--------------------|-------------------------------|----------------|------|-----|
| 男性 | 30      | 26.7        | 50.0       | 16.7               | 6.7                           | 6.7            | 20.0 | 3.3 |
| 女性 | 66      | 56.1        | 53.0       | 12.1               | 7.6                           | 4.5            | 16.7 | 1.5 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「親、兄弟姉妹などの親族」の割合が高く、約8割となっています。また、40歳～49歳で「友人、知人、先生など」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

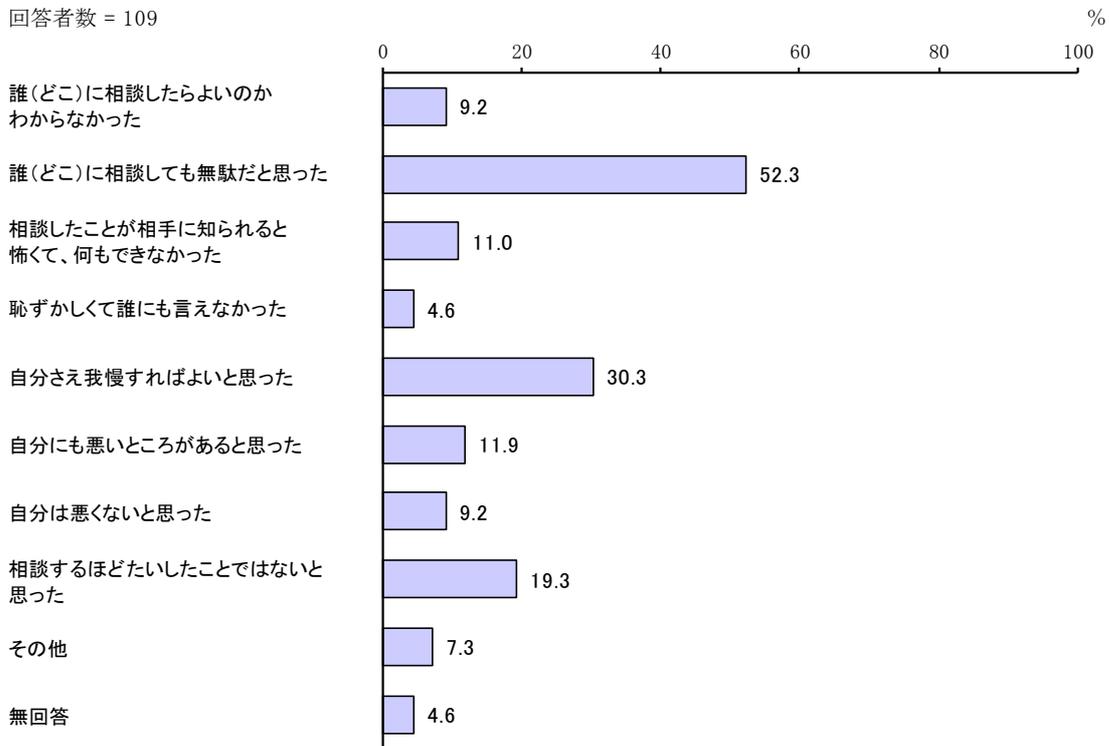
単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 親、兄弟姉妹などの親族 | 友人、知人、先生など | 医療関係者(医師・カウンセラーなど) | 公的な相談機関<br>(役場・県福祉事務所・<br>女性相談センターなど) | 家庭裁判所、弁護士、<br>警察など | その他  | 無回答  |
|---------|---------|-------------|------------|--------------------|---------------------------------------|--------------------|------|------|
| 20歳～29歳 | 14      | 78.6        | 42.9       | 14.3               | 7.1                                   | 7.1                | 7.1  | —    |
| 30歳～39歳 | 35      | 40.0        | 54.3       | 17.1               | 5.7                                   | 2.9                | 22.9 | 2.9  |
| 40歳～49歳 | 26      | 53.8        | 65.4       | 11.5               | 11.5                                  | 3.8                | 11.5 | —    |
| 50歳～59歳 | 12      | 41.7        | 50.0       | 8.3                | —                                     | —                  | 25.0 | —    |
| 60歳～69歳 | 7       | 14.3        | 42.9       | 14.3               | —                                     | 14.3               | 28.6 | —    |
| 70歳以上   | 5       | 40.0        | 20.0       | —                  | 20.0                                  | 20.0               | —    | 20.0 |

《問 21 で「相談していない」と答えられた方にお聞きします。》

問 21-② それはなぜですか。(○はあてはまるもの全て)

「誰(どこ)に相談しても無駄だと思った」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思った」の割合が 30.3%、「相談するほどたいしたことではないと思った」の割合が 19.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「誰(どこ)に相談しても無駄だと思った」の割合が高く、約6割となっています。また、男性に比べ、女性で「相談したことが相手に知られると怖くて、何もできなかった」「恥ずかしくて誰にも言えなかった」「自分さえ我慢すればよいと思った」「相談するほどたいしたことではないと思った」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 誰(どこ)に相談したらよいかわからなかった | 誰(どこ)に相談しても無駄だと思った | 相談したことが相手に知られると怖くて、何もできなかった | 恥ずかしくて誰にも言えなかった | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 自分は悪くないと思った | 相談するほどたいしたことではないと思った | その他  | 無回答 |
|----|---------|-----------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------|----------------------|------|-----|
| 男性 | 43      | 11.6                  | 58.1               | 7.0                         | —               | 20.9            | 9.3              | 11.6        | 14.0                 | 14.0 | 4.7 |
| 女性 | 64      | 7.8                   | 50.0               | 12.5                        | 6.3             | 35.9            | 12.5             | 7.8         | 21.9                 | 3.1  | 4.7 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「誰（どこ）に相談しても無駄だと思った」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳で「自分さえ我慢すればよいと思った」の割合が高く、約4割となっています。

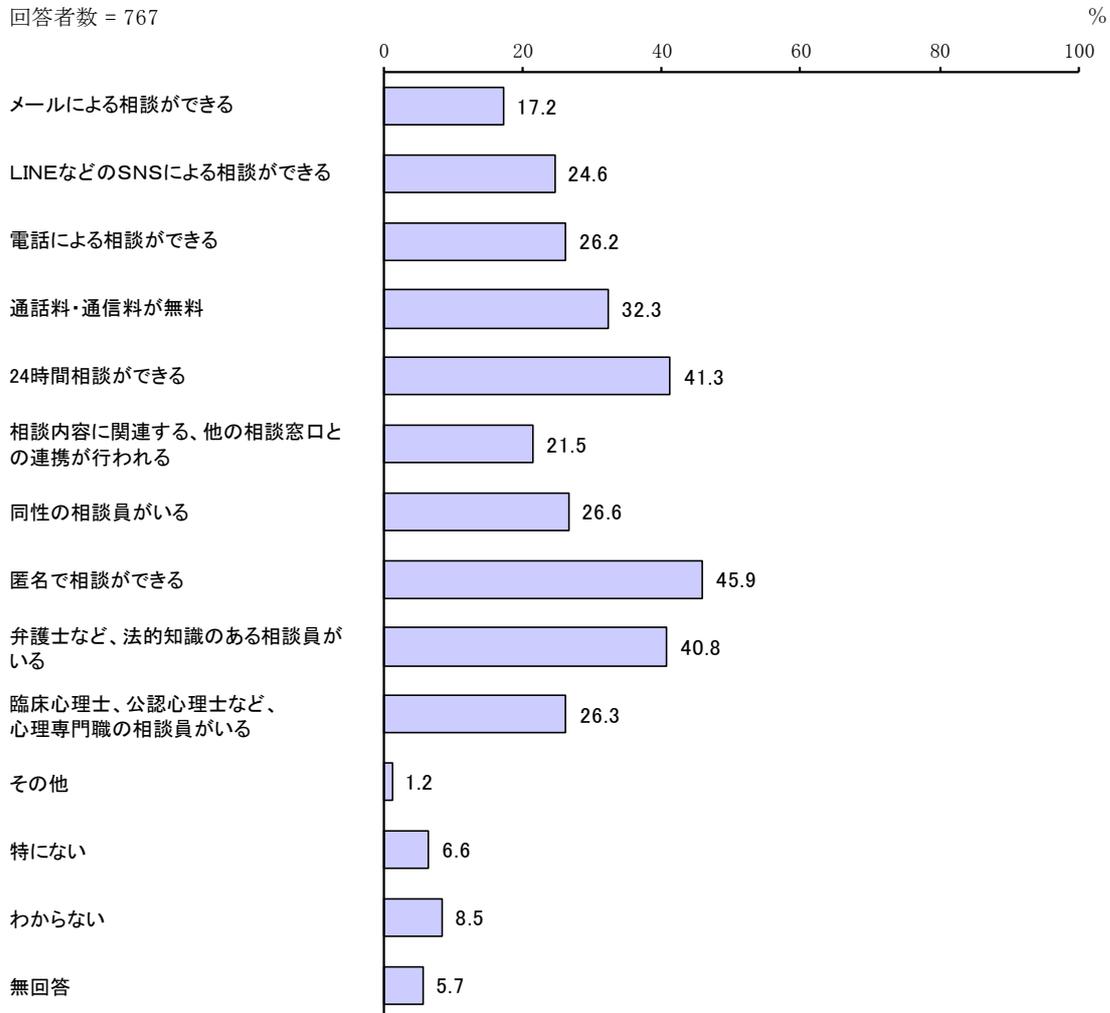
単位：%

| 区分      | 回答者数（件） | 誰（どこ）に相談したらよいのかわからなかった | 誰（どこ）に相談しても無駄だと思った | 相談したことが相手に知られると怖くて、何もできなかった | 恥ずかしくて誰にも言えなかった | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 自分は悪くないと思った | 相談するほどたいしたことではないと思った | その他  | 無回答  |
|---------|---------|------------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------|----------------------|------|------|
| 20歳～29歳 | 8       | 25.0                   | 62.5               | 12.5                        | —               | 25.0            | 12.5             | 12.5        | 12.5                 | 12.5 | 12.5 |
| 30歳～39歳 | 18      | 5.6                    | 66.7               | 11.1                        | 5.6             | 38.9            | 11.1             | 11.1        | 22.2                 | 5.6  | 5.6  |
| 40歳～49歳 | 30      | 10.0                   | 46.7               | 20.0                        | 6.7             | 43.3            | 16.7             | —           | 23.3                 | 13.3 | —    |
| 50歳～59歳 | 22      | 4.5                    | 59.1               | 9.1                         | 4.5             | 22.7            | 13.6             | 4.5         | 13.6                 | —    | —    |
| 60歳～69歳 | 20      | 10.0                   | 40.0               | 5.0                         | 5.0             | 20.0            | 5.0              | 30.0        | 25.0                 | —    | —    |
| 70歳以上   | 11      | 9.1                    | 45.5               | —                           | —               | 18.2            | 9.1              | —           | 9.1                  | 18.2 | 27.3 |

問 22 あなたは、暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。（〇はあてはまるもの全て）

「匿名で相談ができる」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「24 時間相談ができる」の割合が 41.3%、「弁護士など、法的知識のある相談員がいる」の割合が 40.8%となっています。

回答者数 = 767



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「電話による相談ができる」「弁護士など、法的知識のある相談員がいる」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「通話料・通信料が無料」「24時間相談ができる」「同性の相談員がいる」「匿名で相談ができる」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | メールによる相談ができる | LINEなどのSNSによる相談ができる | 電話による相談ができる | 通話料・通信料が無料 | 24時間相談ができる | 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる | 同性の相談員がいる | 匿名で相談ができる | 弁護士など、法的知識のある相談員がいる | 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|----|---------|--------------|---------------------|-------------|------------|------------|---------------------------|-----------|-----------|---------------------|----------------------------|-----|------|-------|-----|
| 男性 | 324     | 18.2         | 23.5                | 29.3        | 25.9       | 37.3       | 20.7                      | 14.2      | 40.1      | 46.3                | 26.5                       | 1.2 | 9.3  | 9.9   | 4.3 |
| 女性 | 436     | 16.1         | 25.5                | 24.1        | 37.4       | 44.3       | 22.0                      | 35.8      | 50.5      | 36.7                | 25.7                       | 1.1 | 4.8  | 7.3   | 6.9 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「メールによる相談ができる」「LINEなどのSNSによる相談ができる」「24時間相談ができる」「匿名で相談ができる」の割合が高くなる傾向がみられます。

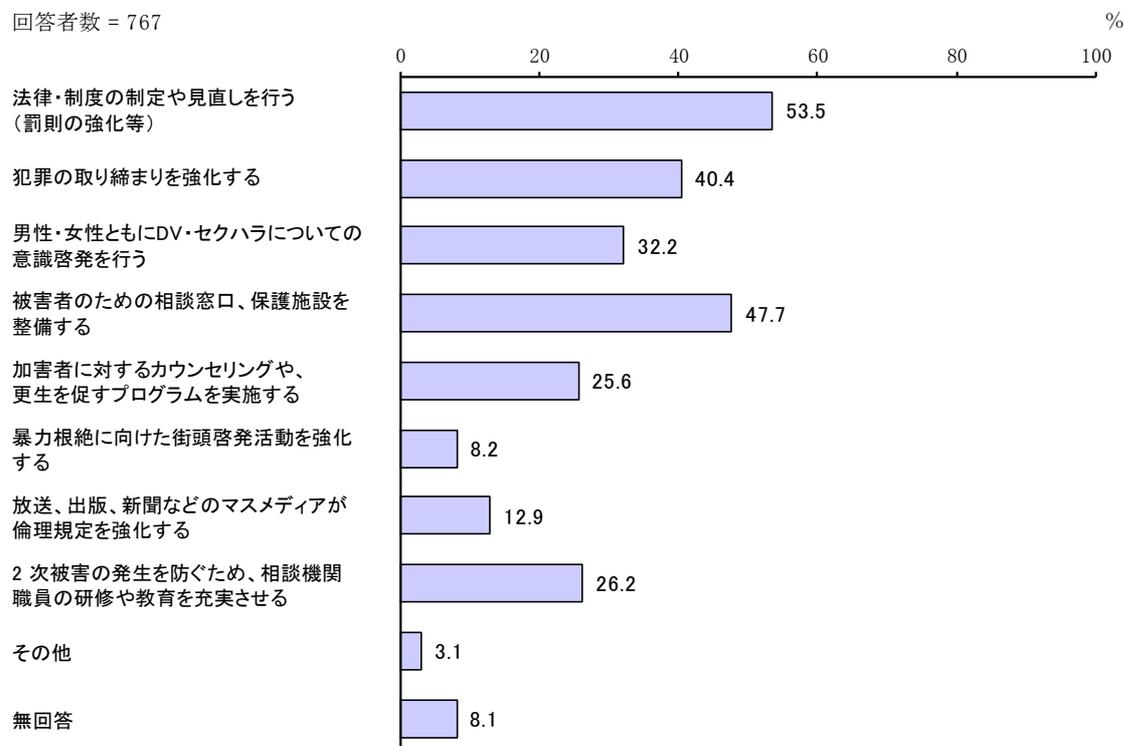
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | メールによる相談ができる | LINEなどのSNSによる相談ができる | 電話による相談ができる | 通話料・通信料が無料 | 24時間相談ができる | 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる | 同性の相談員がいる | 匿名で相談ができる | 弁護士など、法的知識のある相談員がいる | 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる | その他 | 特にない | わからない | 無回答  |
|---------|---------|--------------|---------------------|-------------|------------|------------|---------------------------|-----------|-----------|---------------------|----------------------------|-----|------|-------|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 29.0         | 50.5                | 23.7        | 40.9       | 53.8       | 20.4                      | 30.1      | 61.3      | 39.8                | 29.0                       | 1.1 | 7.5  | 2.2   | 1.1  |
| 30歳～39歳 | 120     | 15.8         | 39.2                | 21.7        | 37.5       | 52.5       | 21.7                      | 41.7      | 51.7      | 44.2                | 25.8                       | 0.8 | 5.8  | 10.8  | 0.8  |
| 40歳～49歳 | 160     | 19.4         | 25.6                | 21.3        | 31.3       | 50.0       | 23.1                      | 30.6      | 48.8      | 46.3                | 30.6                       | 1.3 | 8.8  | 5.6   | 1.9  |
| 50歳～59歳 | 153     | 19.0         | 22.9                | 32.7        | 35.9       | 42.5       | 30.7                      | 26.8      | 49.0      | 42.5                | 32.0                       | 2.0 | 3.9  | 8.5   | 0.7  |
| 60歳～69歳 | 145     | 10.3         | 9.7                 | 26.9        | 29.7       | 29.7       | 13.1                      | 14.5      | 35.2      | 34.5                | 22.1                       | 1.4 | 4.1  | 12.4  | 14.5 |
| 70歳以上   | 95      | 10.5         | 4.2                 | 30.5        | 16.8       | 15.8       | 16.8                      | 14.7      | 29.5      | 34.7                | 13.7                       | —   | 11.6 | 10.5  | 17.9 |

問 23 DV、セクハラ等の行為は社会問題になっています。これらの行為をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(〇はあてはまるもの全て)

「法律・制度の制定や見直しを行う（罰則の強化等）」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「被害者のための相談窓口、保護施設を整備する」の割合が 47.7%、「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が 40.4%となっています。

回答者数 = 767



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「暴力根絶に向けた街頭啓発活動を強化する」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「被害者のための相談窓口、保護施設を整備する」「加害者に対するカウンセリングや、更生を促すプログラムを実施する」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 法律・制度の制定や見直しを行う(罰則の強化等) | 犯罪の取り締まりを強化する | 男性・女性ともにDV・セクハラについての意識啓発を行う | 被害者のための相談窓口、保護施設を整備する | 加害者に対するカウンセリングや、更生を促すプログラムを実施する | 暴力根絶に向けた街頭啓発活動を強化する | 放送、出版、新聞などのマスメディアが倫理規定を強化する | 2次被害の発生を防ぐため、相談機関職員の研修や教育を充実させる | その他 | 無回答 |
|----|---------|-------------------------|---------------|-----------------------------|-----------------------|---------------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 324     | 51.2                    | 40.7          | 34.0                        | 44.8                  | 22.5                            | 11.1                | 14.2                        | 25.9                            | 5.2 | 7.4 |
| 女性 | 436     | 54.6                    | 40.1          | 31.0                        | 50.0                  | 27.8                            | 5.7                 | 11.9                        | 26.4                            | 1.6 | 8.5 |

【年齢別】

年齢別でみると、30歳以上で年齢が低くなるにつれ「法律・制度の制定や見直しを行う(罰則の強化等)」「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

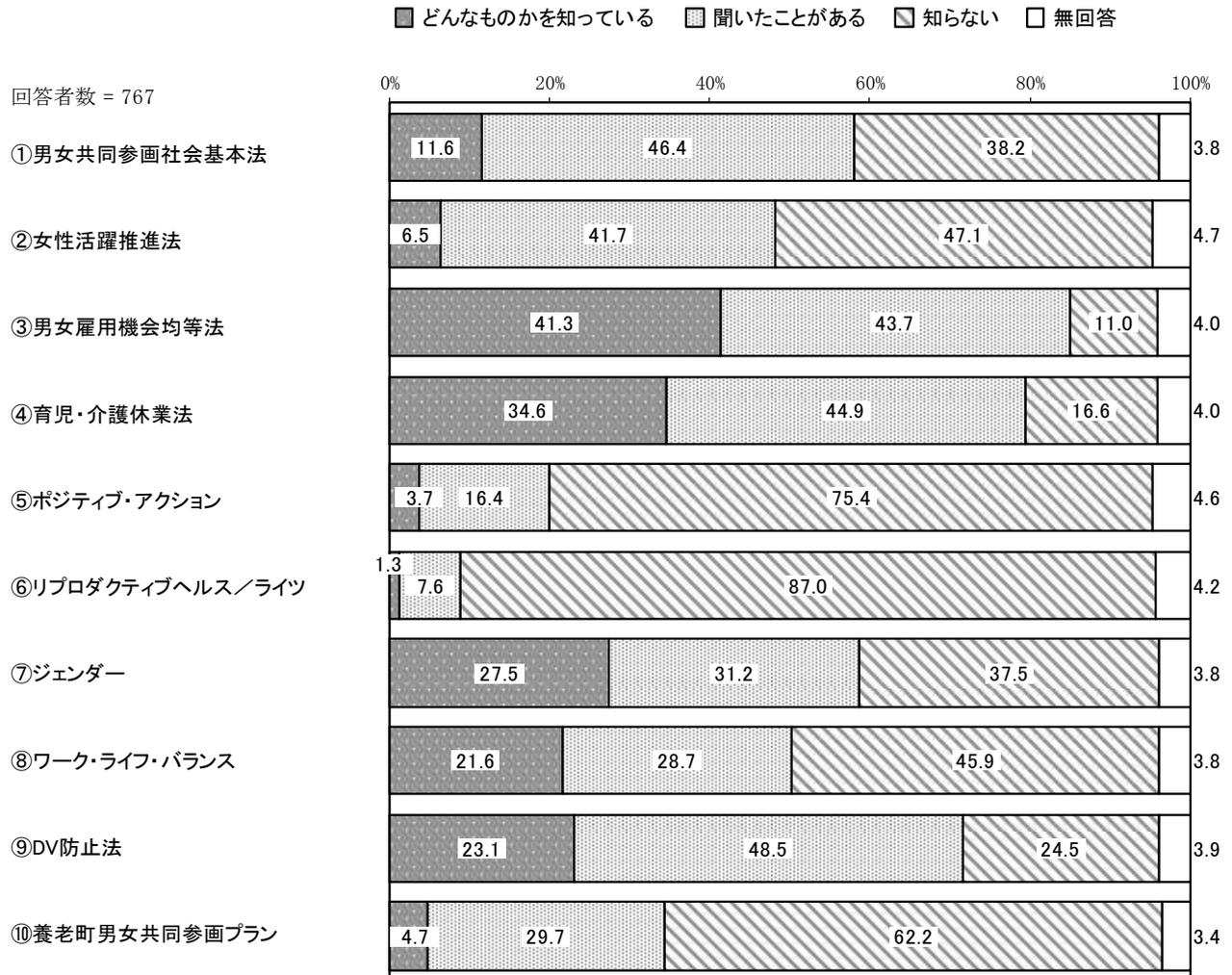
| 区分      | 回答者数(件) | 法律・制度の制定や見直しを行う(罰則の強化等) | 犯罪の取り締まりを強化する | 男性・女性ともにDV・セクハラについての意識啓発を行う | 被害者のための相談窓口、保護施設を整備する | 加害者に対するカウンセリングや、更生を促すプログラムを実施する | 暴力根絶に向けた街頭啓発活動を強化する | 放送、出版、新聞などのマスメディアが倫理規定を強化する | 2次被害の発生を防ぐため、相談機関職員の研修や教育を充実させる | その他 | 無回答  |
|---------|---------|-------------------------|---------------|-----------------------------|-----------------------|---------------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 59.1                    | 44.1          | 34.4                        | 44.1                  | 25.8                            | 5.4                 | 14.0                        | 31.2                            | 5.4 | 1.1  |
| 30歳～39歳 | 120     | 65.0                    | 54.2          | 36.7                        | 49.2                  | 30.0                            | 11.7                | 15.8                        | 22.5                            | 5.0 | 4.2  |
| 40歳～49歳 | 160     | 61.3                    | 45.0          | 33.1                        | 44.4                  | 25.6                            | 7.5                 | 10.6                        | 22.5                            | 2.5 | 3.1  |
| 50歳～59歳 | 153     | 49.7                    | 32.7          | 32.0                        | 51.6                  | 30.1                            | 5.2                 | 13.7                        | 28.8                            | 3.9 | 4.6  |
| 60歳～69歳 | 145     | 44.1                    | 32.4          | 29.7                        | 48.3                  | 20.0                            | 8.3                 | 9.0                         | 26.9                            | 2.1 | 14.5 |
| 70歳以上   | 95      | 40.0                    | 35.8          | 26.3                        | 47.4                  | 20.0                            | 11.6                | 15.8                        | 26.3                            | —   | 24.2 |

## (7) 男女共同参画社会づくりについて

問 24 あなたは、次のことばを知っていますか。(〇は各項目1つずつ)

『③男女雇用機会均等法』で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約4割となっています。また、『⑨DV防止法』で「聞いたことがある」の割合が高く、約5割となっています。

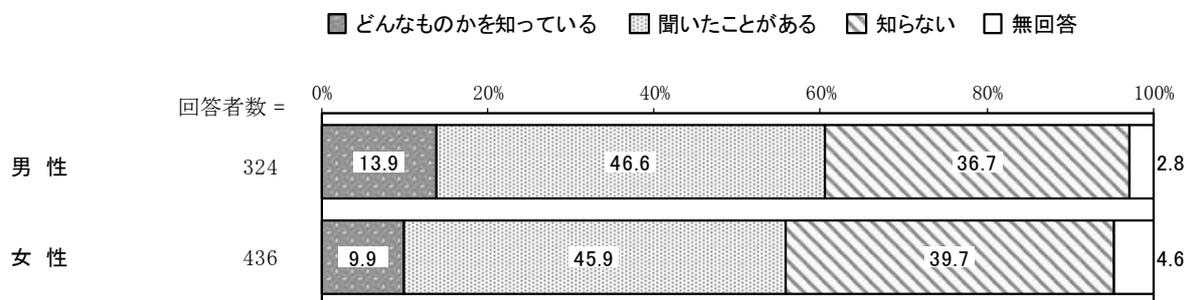
一方、『⑤ポジティブ・アクション』『⑥リプロダクティブヘルス/ライツ』で「知らない」の割合が高く、特に「⑥リプロダクティブヘルス/ライツ」で約9割となっています。



## ①男女共同参画社会基本法

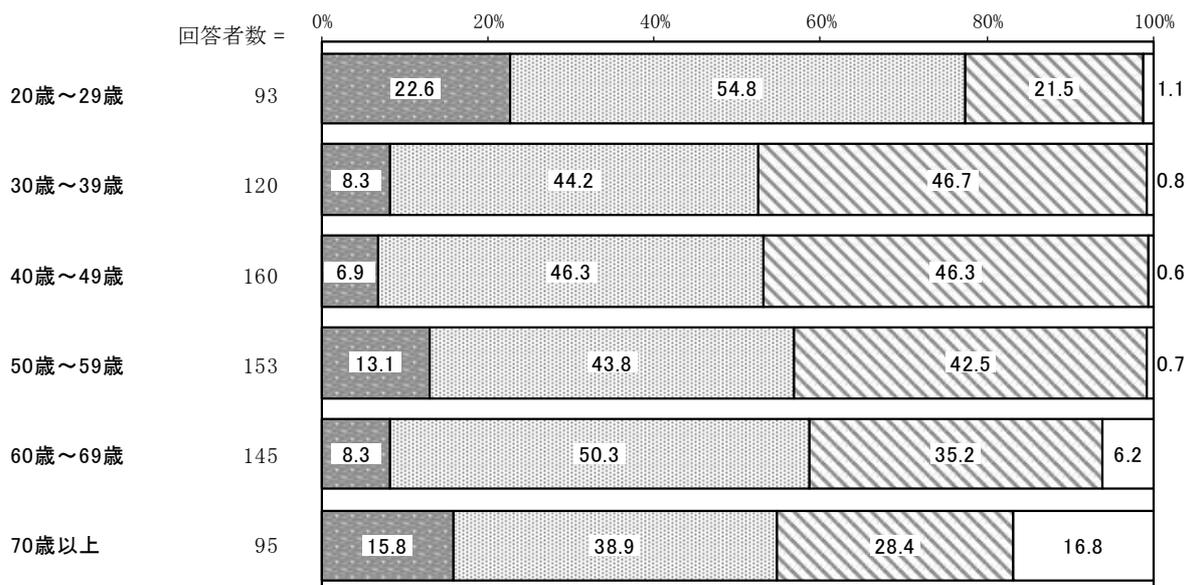
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

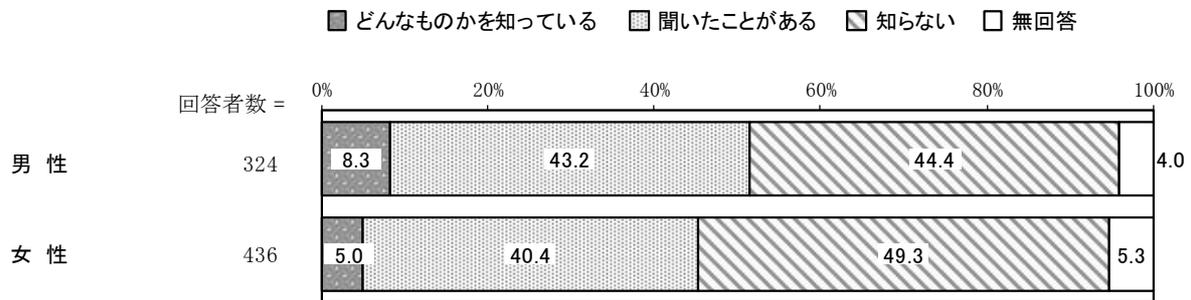
年齢別でみると、30歳以上で年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、30歳～39歳、40歳～49歳で4割台半ばとなっています。また、他に比べ、20歳～29歳で「どんなものかを知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



## ②女性活躍推進法

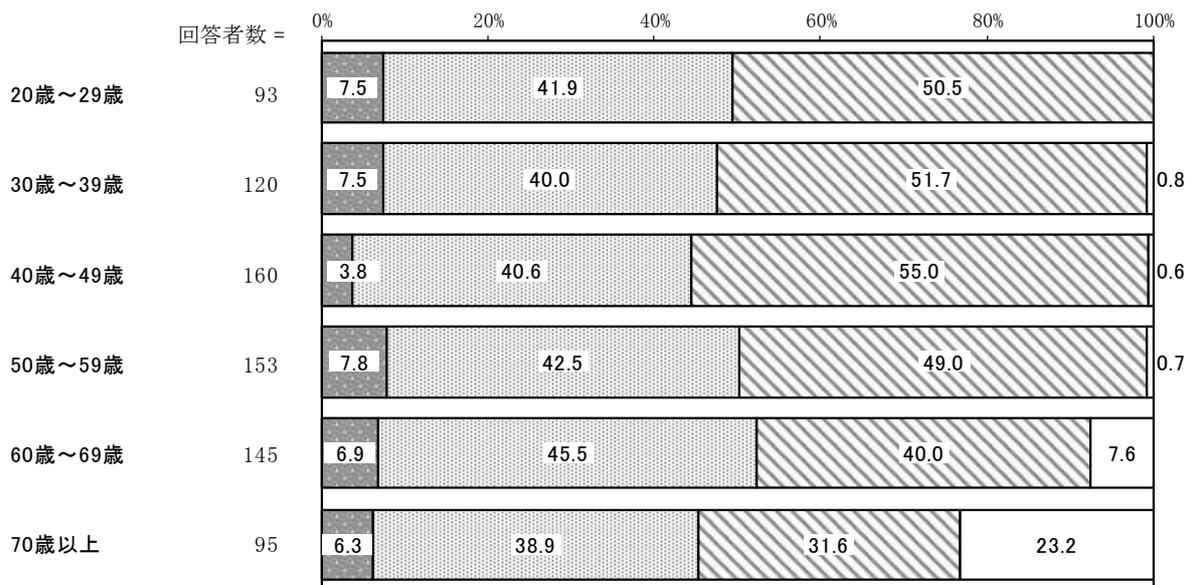
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

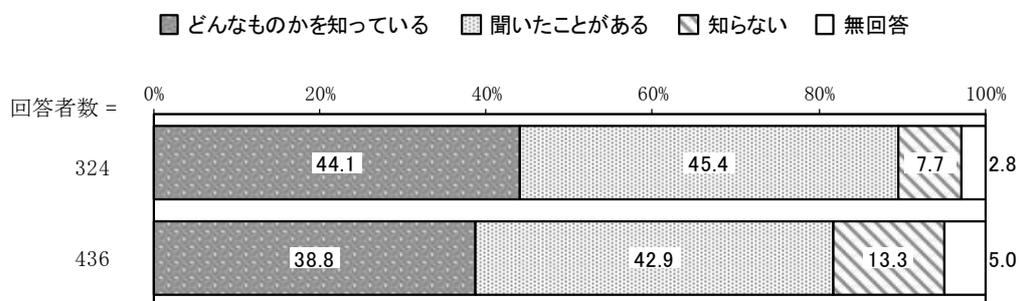
年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で「知らない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



### ③男女雇用機会均等法

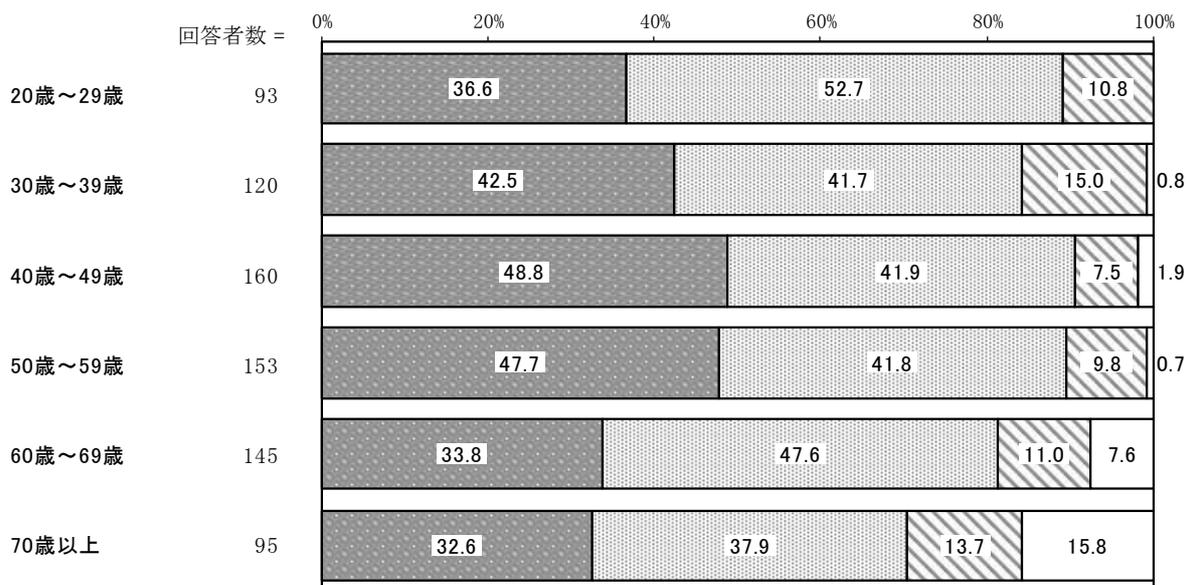
#### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高く、1割を超えています。



#### 【年齢別】

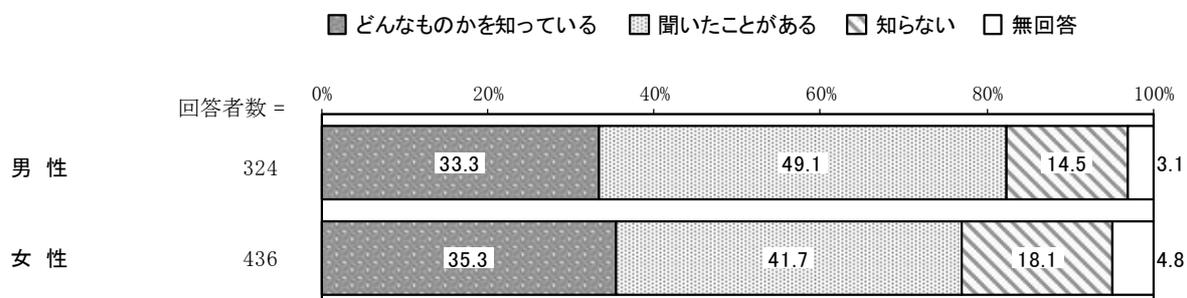
年齢別で見ると、他に比べ、40歳～49歳、50歳～59歳で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約5割となっています。



#### ④育児・介護休業法

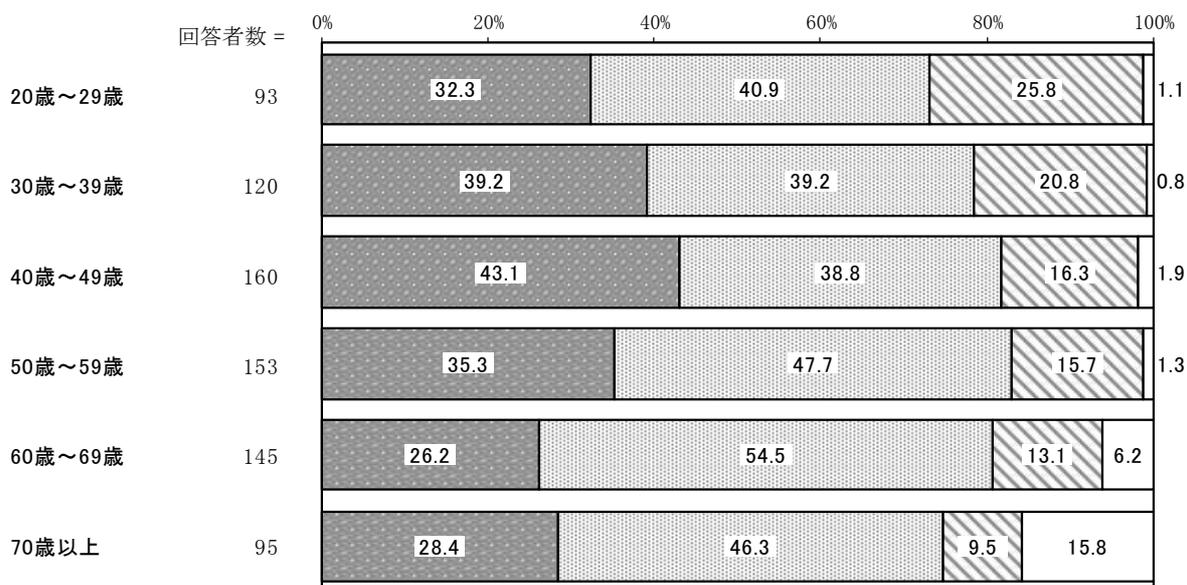
##### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「聞いたことがある」の割合が高く、約5割となっています。



##### 【年齢別】

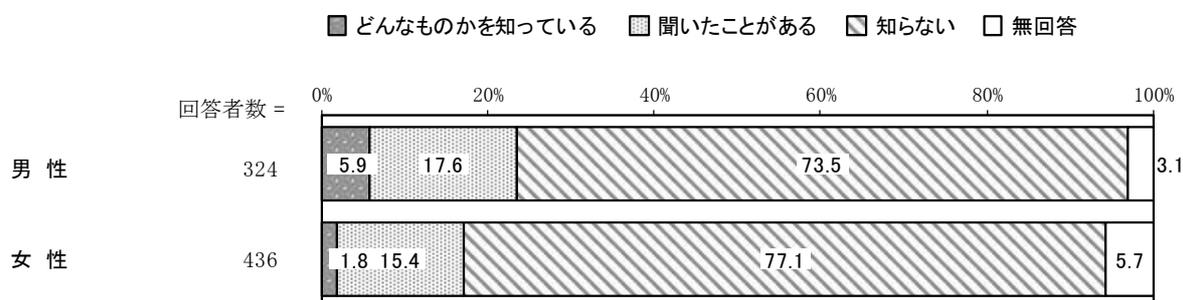
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がられ、20歳～29歳で2割台半ばとなっています。また、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約4割となっています。



## ⑤ ポジティブ・アクション

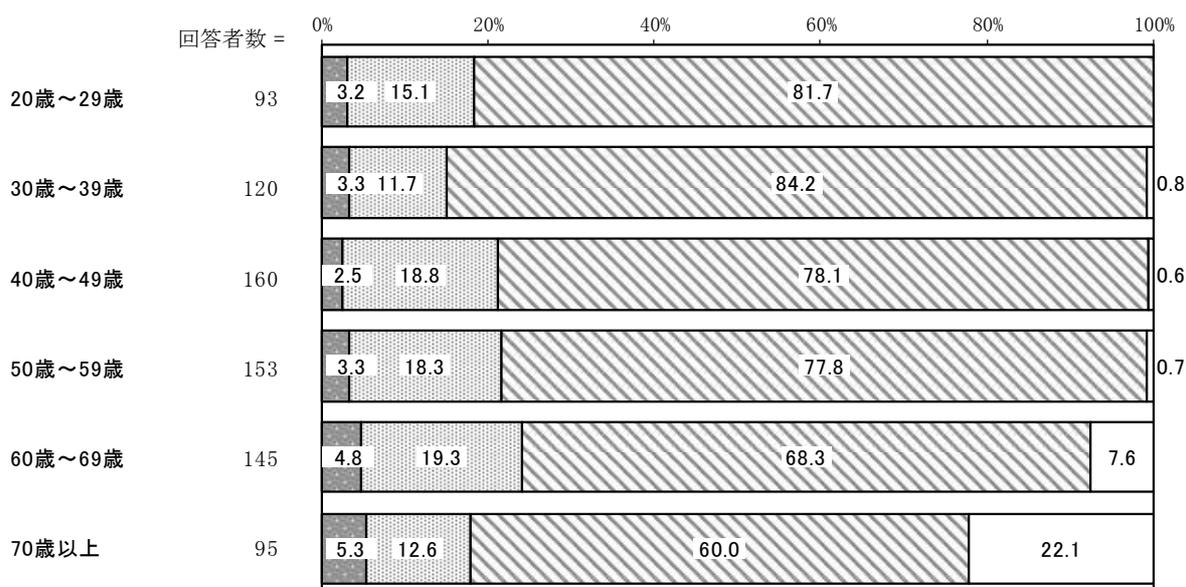
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

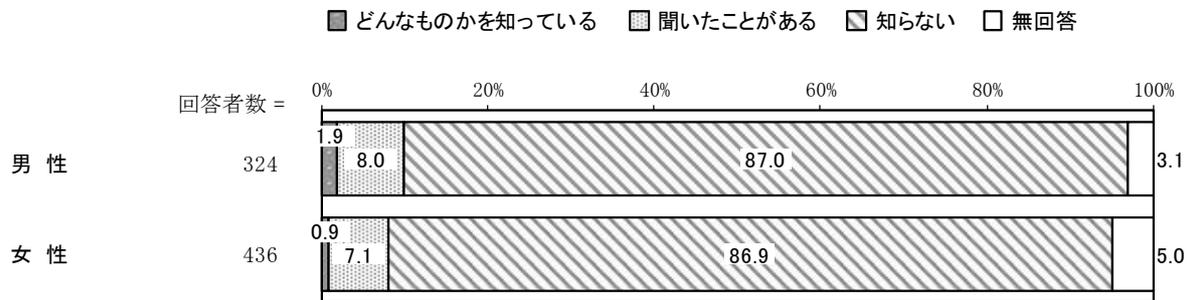
年齢別でみると、30歳以上で年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、30歳～39歳で8割台半ばとなっています。



## ⑥リプロダクティブヘルス／ライツ

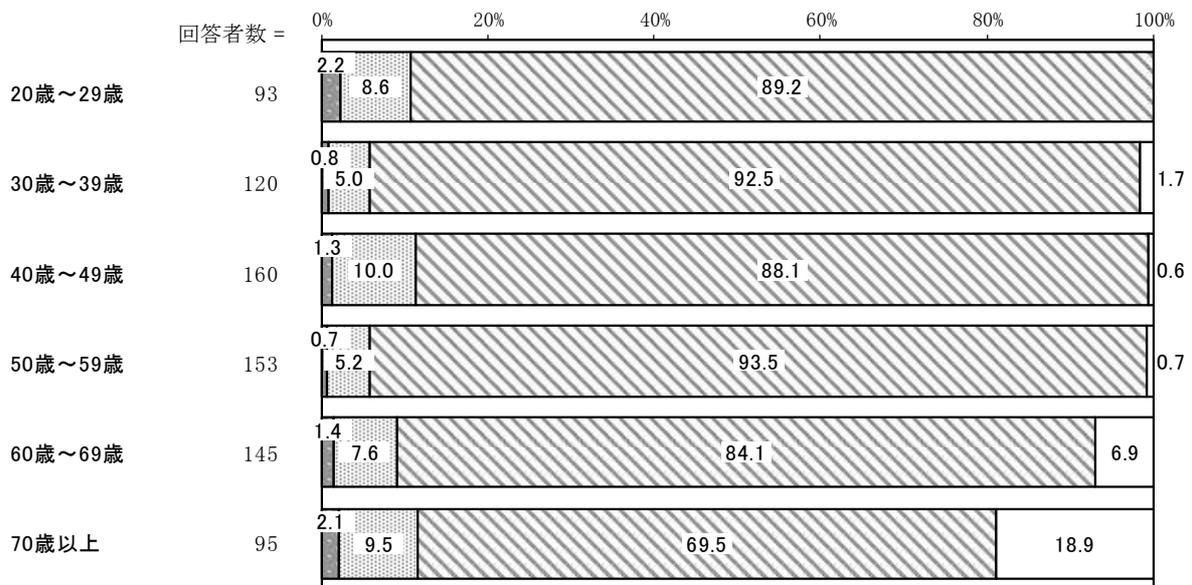
### 【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

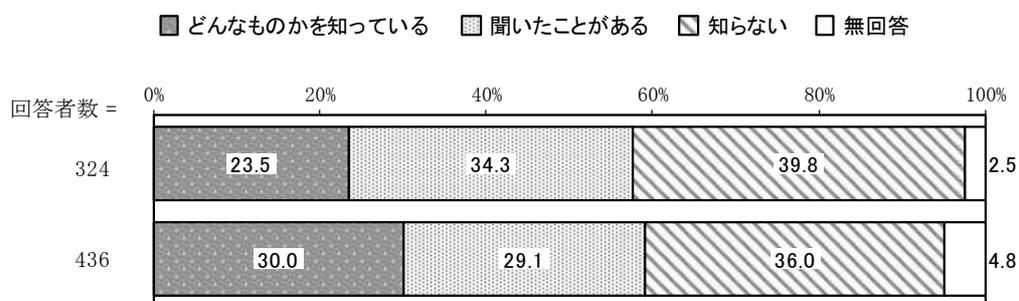
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「知らない」の割合が低くなっています。



## ⑦ジェンダー

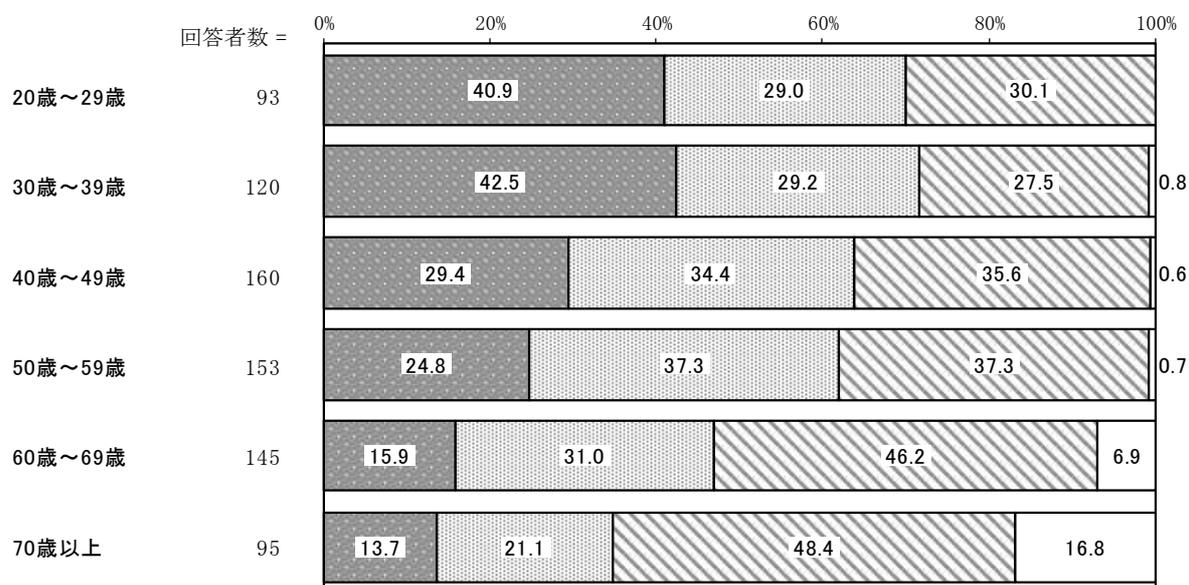
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「聞いたことがある」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、3割となっています。



### 【年齢別】

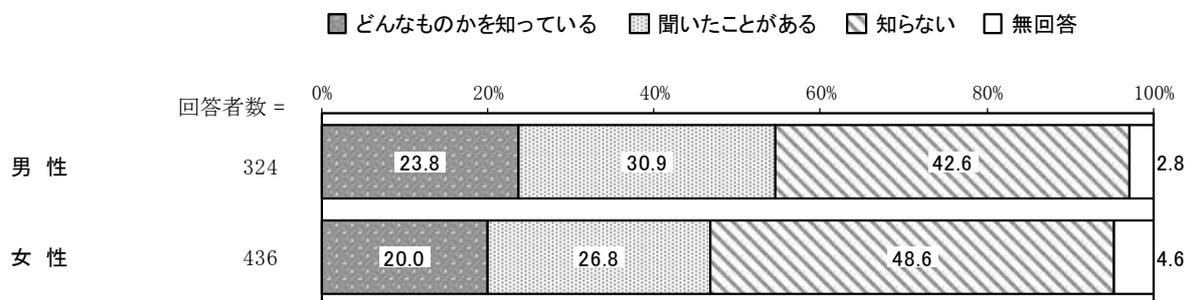
年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「どんなものかを知っている」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳、30歳～39歳で約4割となっています。また、他に比べ、50歳～59歳で「聞いたことがある」の割合が高く、約4割となっています。



## ⑧ワーク・ライフ・バランス

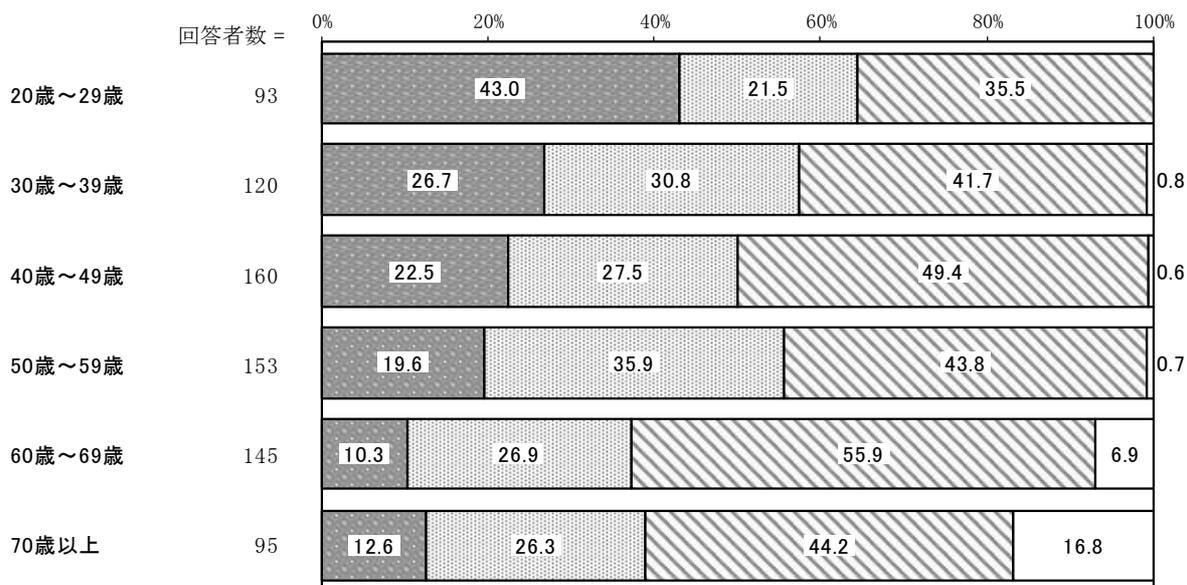
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高く、約5割となっています。



### 【年齢別】

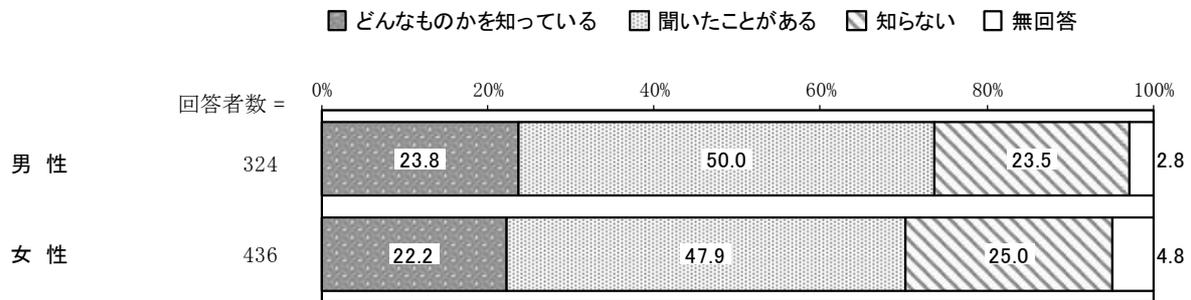
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「どんなものかを知っている」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で約4割となっています。また、他に比べ、60歳～69歳で「知らない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



## ⑨DV防止法

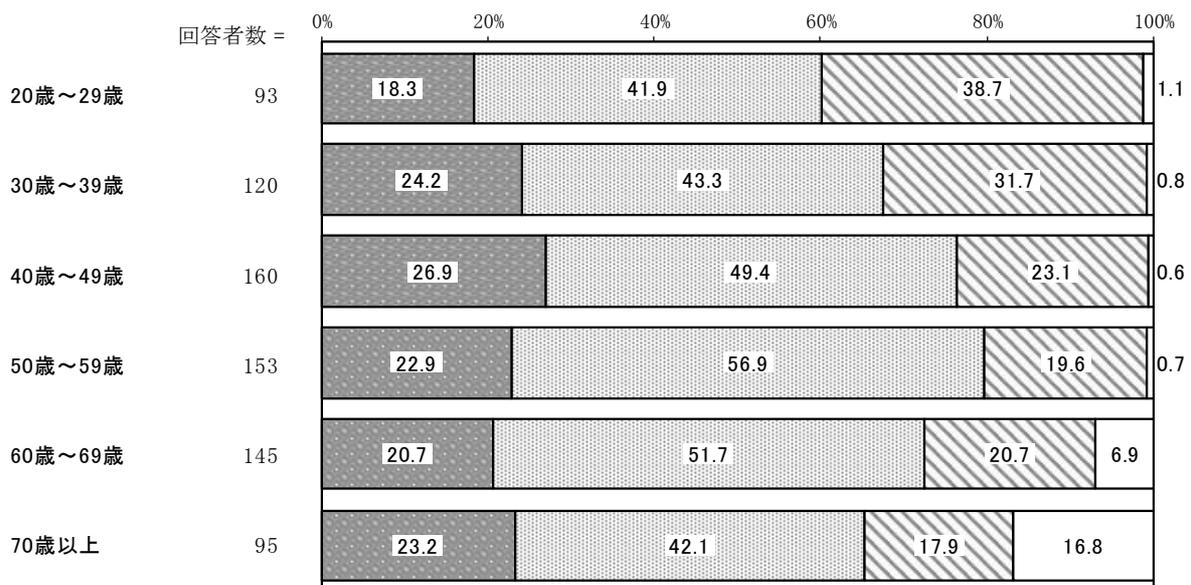
### 【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

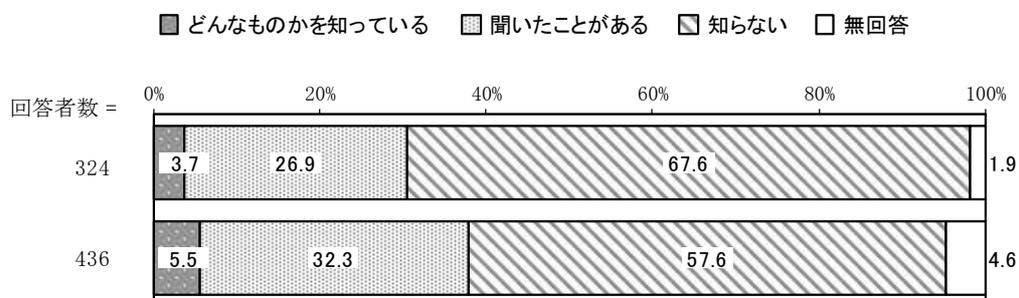
年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で約4割となっています。また、他に比べ、50歳～59歳で「聞いたことがある」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



## ⑩養老町男女共同参画プラン

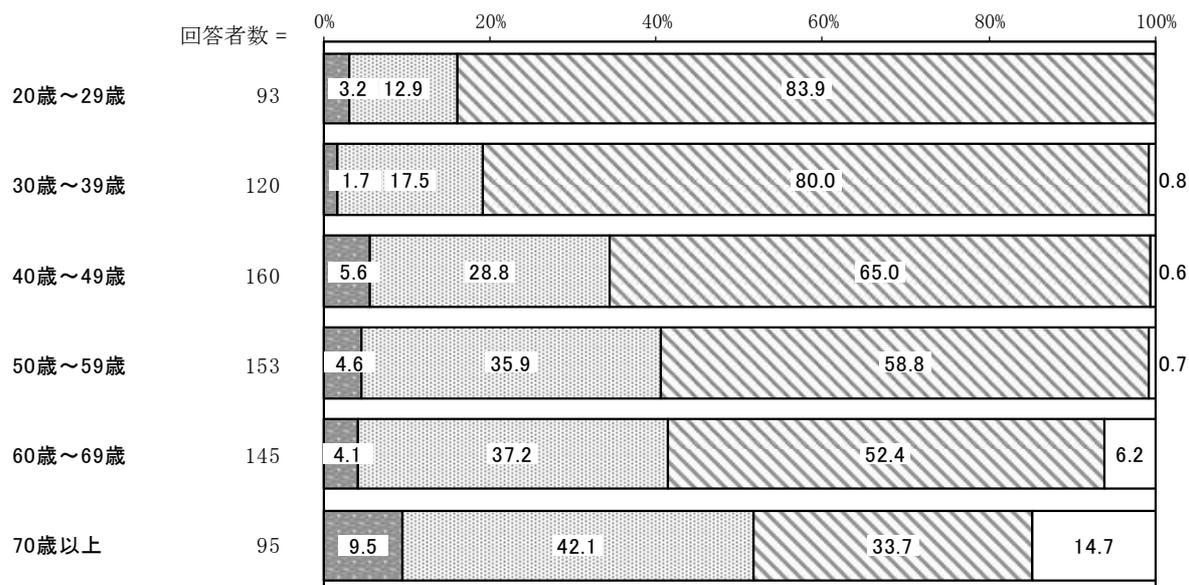
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で「聞いたことがある」の割合が高く、約3割となっています。



### 【年齢別】

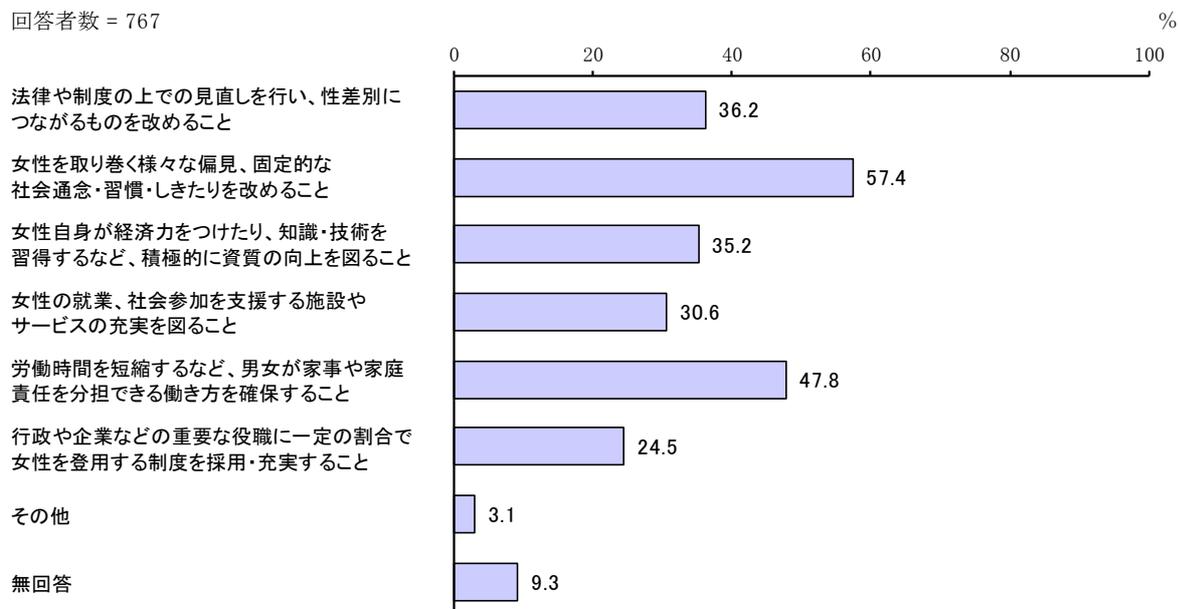
年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「聞いたことがある」の割合が低く、「知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 25 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（〇はあてはまるもの全て）

「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が 47.8%、「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」の割合が 36.2%となっています。

回答者数 = 767



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が高く、役5割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質の向上を図ること | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること | 労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること | 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | その他 | 無回答  |
|----|---------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|-----|------|
| 男性 | 324     | 39.8                             | 54.9                                | 32.1                                      | 30.2                           | 42.9                                   | 27.2                                    | 4.9 | 7.7  |
| 女性 | 436     | 33.5                             | 59.2                                | 36.9                                      | 30.5                           | 51.6                                   | 22.5                                    | 1.8 | 10.3 |

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること」の割合が、年齢が高くなるにつれ「行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」の割合が高くなっています。また、他に比べ、30歳～39歳で「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が高く、6割となっています。

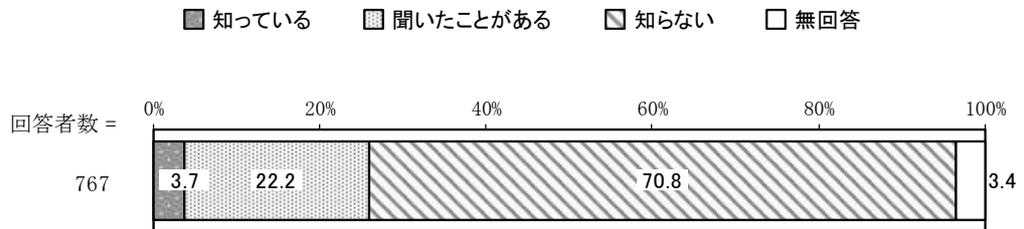
単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質の向上を図ること | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること | 労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること | 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | その他 | 無回答  |
|---------|---------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 46.2                             | 61.3                                | 28.0                                      | 32.3                           | 52.7                                   | 20.4                                    | 4.3 | 4.3  |
| 30歳～39歳 | 120     | 37.5                             | 60.8                                | 30.8                                      | 29.2                           | 60.0                                   | 20.0                                    | 6.7 | 7.5  |
| 40歳～49歳 | 160     | 38.8                             | 58.8                                | 31.9                                      | 29.4                           | 56.3                                   | 21.9                                    | 2.5 | 6.9  |
| 50歳～59歳 | 153     | 35.3                             | 56.2                                | 43.1                                      | 36.6                           | 40.5                                   | 22.2                                    | 3.3 | 6.5  |
| 60歳～69歳 | 145     | 29.0                             | 54.5                                | 37.2                                      | 23.4                           | 40.7                                   | 29.0                                    | 1.4 | 13.1 |
| 70歳以上   | 95      | 32.6                             | 52.6                                | 36.8                                      | 33.7                           | 35.8                                   | 34.7                                    | 1.1 | 18.9 |

《養老町で取り組んでいる次の事業についてお聞きします。》

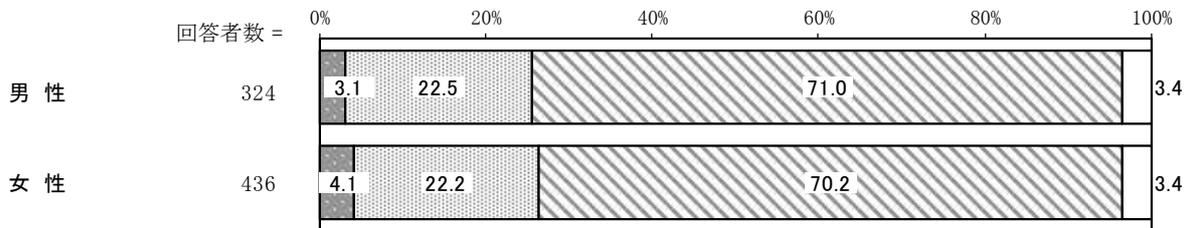
問 26 (1) 一般住民・各種団体・企業などを対象とした男女共同参画に関する講演会(セミナー形式)についてご存じですか。(○は1つ)

「知らない」の割合が70.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が22.2%となっています。



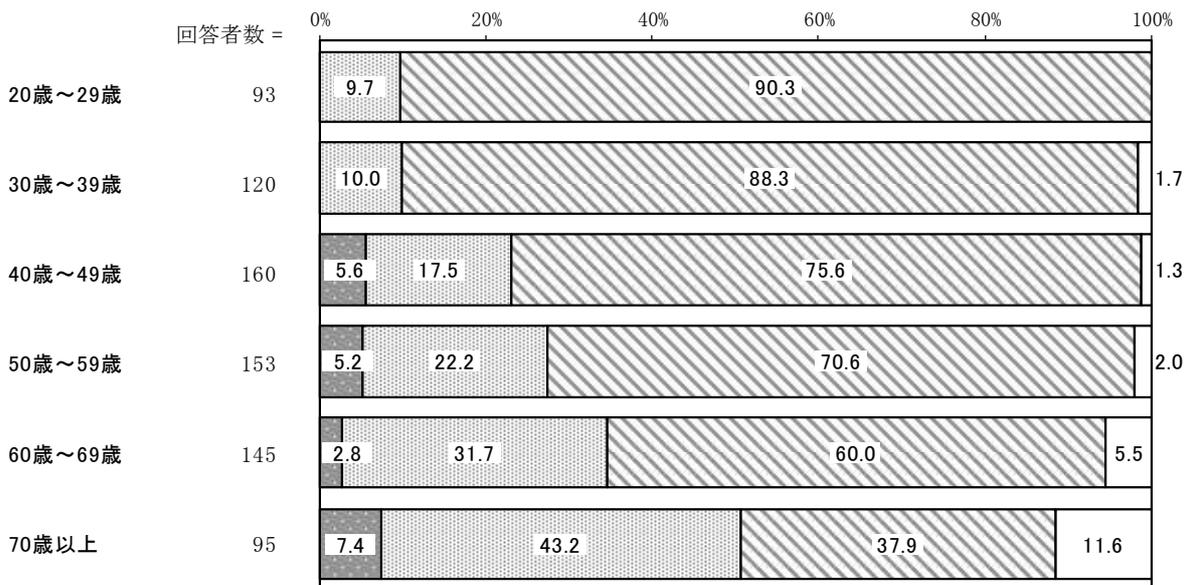
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



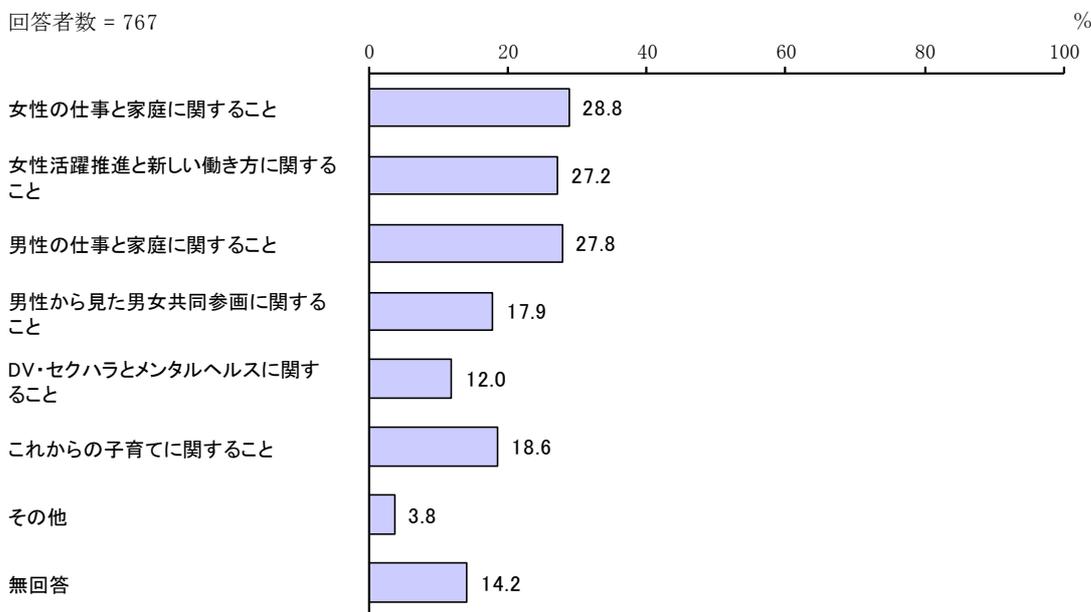
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、年齢が高くなるにつれ「聞いたことがある」の割合が、年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなっています。



今後、この講演会にどのような内容の講話を取り入れるとよいと思われますか。  
 (〇は2つまで)

「女性の仕事と家庭に関すること」の割合が28.8%と最も高く、次いで「男性の仕事と家庭に関すること」の割合が27.8%、「女性活躍推進と新しい働き方に関すること」の割合が27.2%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性の仕事と家庭に関すること」「男性から見た男女共同参画に関すること」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「女性の仕事と家庭に関すること」「女性活躍推進と新しい働き方に関すること」「これからの子育てに関すること」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 女性の仕事と家庭に関すること | 女性活躍推進と新しい働き方に関すること | 男性の仕事と家庭に関すること | 男性から見た男女共同参画に関すること | DV・セクハラとメンタルヘルスに関すること | これからの子育てに関すること | その他 | 無回答  |
|----|---------|----------------|---------------------|----------------|--------------------|-----------------------|----------------|-----|------|
| 男性 | 324     | 25.6           | 24.4                | 33.0           | 21.6               | 12.0                  | 13.9           | 5.6 | 13.3 |
| 女性 | 436     | 31.7           | 29.4                | 24.1           | 15.4               | 11.5                  | 21.8           | 2.5 | 14.9 |

【年齢別】

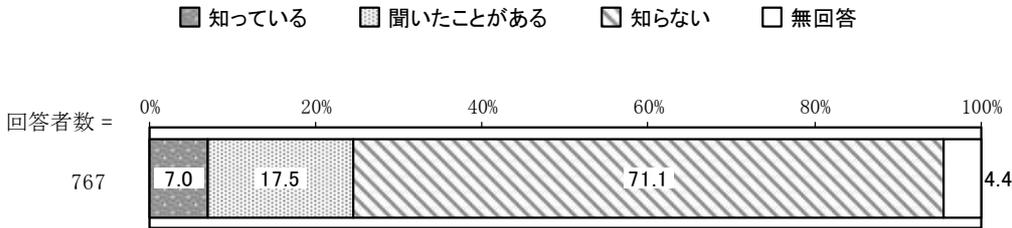
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「これからの子育てに関すること」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で約3割となっています。また、他に比べ、50歳～59歳で「女性の仕事と家庭に関すること」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 女性の仕事と家庭に関すること | 女性活躍推進と新しい働き方に関すること | 男性の仕事と家庭に関すること | 男性から見た男女共同参画に関すること | DV・セクハラとメンタルヘルスに関すること | これからの子育てに関すること | その他 | 無回答  |
|---------|---------|----------------|---------------------|----------------|--------------------|-----------------------|----------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 32.3           | 19.4                | 31.2           | 15.1               | 17.2                  | 33.3           | 5.4 | 4.3  |
| 30歳～39歳 | 120     | 25.8           | 17.5                | 30.0           | 17.5               | 15.8                  | 26.7           | 4.2 | 15.0 |
| 40歳～49歳 | 160     | 29.4           | 28.8                | 28.8           | 15.6               | 15.6                  | 18.8           | 5.6 | 10.6 |
| 50歳～59歳 | 153     | 34.6           | 29.4                | 26.1           | 17.6               | 12.4                  | 12.4           | 3.3 | 10.5 |
| 60歳～69歳 | 145     | 24.8           | 32.4                | 26.2           | 22.8               | 4.8                   | 15.2           | 2.1 | 20.0 |
| 70歳以上   | 95      | 25.3           | 33.7                | 25.3           | 17.9               | 6.3                   | 8.4            | 2.1 | 26.3 |

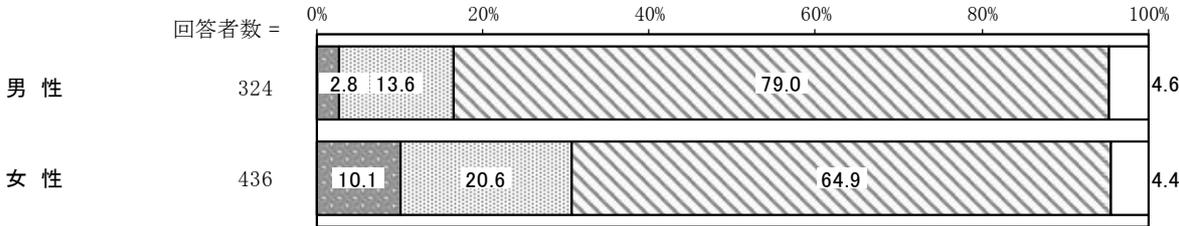
問 26(2) 地元の子育て支援団体と連携し、子育て世代を応援する「ようろうっこ応援事業（講座）」についてご存じですか。（○は1つ）

「知らない」の割合が71.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が17.5%となっています。



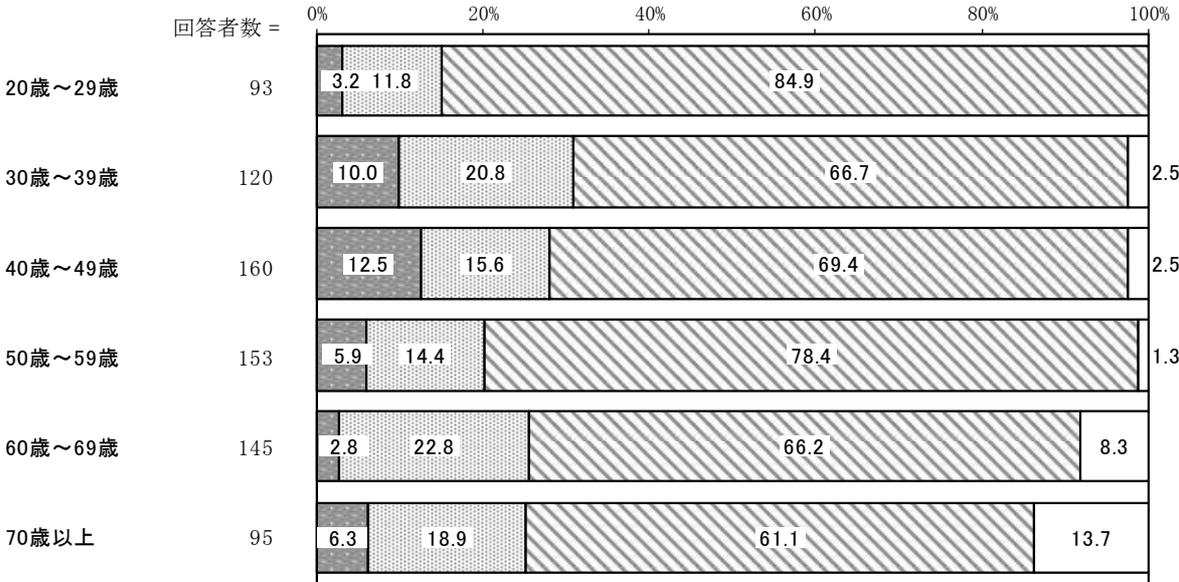
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約8割となっています。また、男性に比べ、女性で「知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



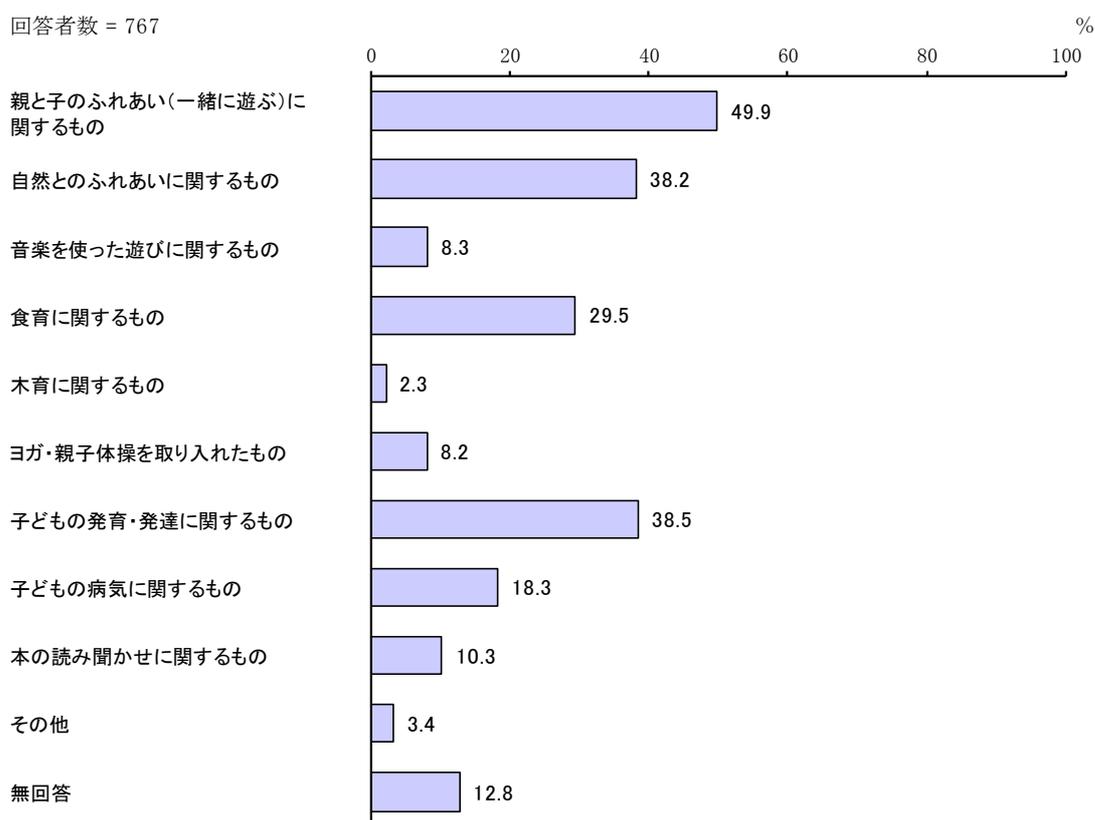
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「知らない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳で「知っている」の割合が高く、約1割となっています。



この事業は親子で参加する講座ですが、今後、この事業にどのような内容の講座を取り入れるとよいと思われますか。(〇は3つまで)

「親と子のふれあい(一緒に遊ぶ)に関するもの」の割合が49.9%と最も高く、次いで「子どもの発育・発達に関するもの」の割合が38.5%、「自然とのふれあいに関するもの」の割合が38.2%となっています。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「食育に関するもの」「ヨガ・親子体操を取り入れたもの」「子どもの発育・発達に関するもの」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 親と子のふれあい(一緒に遊ぶ)に関するもの | 自然とのふれあいに関するもの | 音楽を使った遊びに関するもの | 食育に関するもの | 木育に関するもの | ヨガ・親子体操を取り入れたもの | 子どもの発育・発達に関するもの | 子どもの病気にに関するもの | 本の読み聞かせに関するもの | その他 | 無回答  |
|----|---------|-----------------------|----------------|----------------|----------|----------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----|------|
| 男性 | 324     | 50.0                  | 40.4           | 8.0            | 25.3     | 1.9      | 3.1             | 34.9            | 18.2          | 11.1          | 4.9 | 14.5 |
| 女性 | 436     | 50.5                  | 36.0           | 8.7            | 32.6     | 2.8      | 11.5            | 41.3            | 18.1          | 9.9           | 2.3 | 11.5 |

### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「親と子のふれあい(一緒に遊ぶ)に関するもの」「子どもの発育・発達に関するもの」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、60歳～69歳で「自然とのふれあいに関するもの」の割合が高く、約5割となっています。

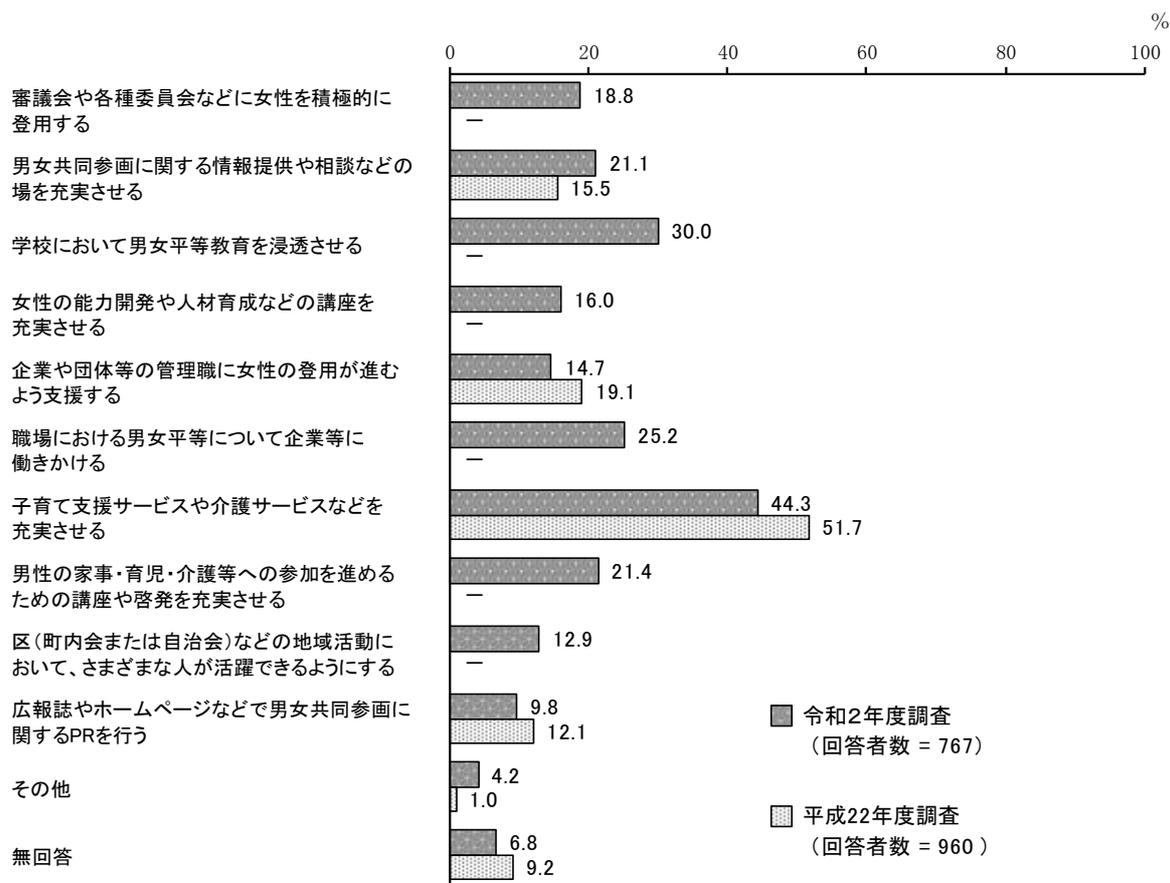
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 親と子のふれあい(一緒に遊ぶ)に関するもの | 自然とのふれあいに関するもの | 音楽を使った遊びに関するもの | 食育に関するもの | 木育に関するもの | ヨガ・親子体操を取り入れたもの | 子どもの発育・発達に関するもの | 子どもの病気にに関するもの | 本の読み聞かせに関するもの | その他 | 無回答  |
|---------|---------|-----------------------|----------------|----------------|----------|----------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 93      | 61.3                  | 30.1           | 11.8           | 23.7     | 1.1      | 6.5             | 51.6            | 24.7          | 7.5           | 5.4 | 5.4  |
| 30歳～39歳 | 120     | 49.2                  | 32.5           | 8.3            | 27.5     | 1.7      | 13.3            | 43.3            | 25.0          | 8.3           | 3.3 | 10.8 |
| 40歳～49歳 | 160     | 55.0                  | 38.8           | 8.8            | 33.1     | 4.4      | 12.5            | 35.0            | 16.3          | 9.4           | 3.1 | 9.4  |
| 50歳～59歳 | 153     | 46.4                  | 36.6           | 9.2            | 37.3     | 2.0      | 7.8             | 34.6            | 21.6          | 9.2           | 3.9 | 9.8  |
| 60歳～69歳 | 145     | 48.3                  | 48.3           | 5.5            | 28.3     | 1.4      | 2.1             | 36.6            | 10.3          | 14.5          | 2.8 | 16.6 |
| 70歳以上   | 95      | 38.9                  | 38.9           | 7.4            | 21.1     | 3.2      | 5.3             | 34.7            | 13.7          | 12.6          | 2.1 | 27.4 |

**問 27 今後、男女共同参画を進めていくうえで、養老町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は主なもの3つまで）**

「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が44.3%と最も高く、次いで「学校において男女平等教育を浸透させる」の割合が30.0%、「職場における男女平等について企業等に働きかける」の割合が25.2%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる」の割合が増加し、「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が減少しています。



※前回調査は「審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する」「学校において男女平等教育を浸透させる」「女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる」「職場における男女平等について企業等に働きかける」「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」「区(町内会または自治会)などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする」の選択肢はありません。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する」「男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる」「学校において男女平等教育を浸透させる」「企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する」「区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する | 男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる | 学校において男女平等教育を浸透させる | 女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる | 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する | 職場における男女平等について企業等に働きかける |
|----|---------|-------------------------|-----------------------------|--------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 男性 | 324     | 23.8                    | 25.6                        | 33.6               | 15.1                    | 18.2                      | 22.2                    |
| 女性 | 436     | 15.1                    | 18.1                        | 27.8               | 16.3                    | 12.4                      | 26.8                    |

| 区分 | 子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる | 男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる | 区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする | 広報誌やホームページなどで男女共同参画に関する取り組みを行う | その他 | 無回答 |
|----|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 32.7                     | 15.1                               | 17.9                                      | 11.1                           | 6.2 | 5.2 |
| 女性 | 53.0                     | 25.7                               | 9.4                                       | 8.9                            | 2.8 | 7.6 |

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が高く、約6割となっています。また、60歳～69歳で「審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する」の割合が、50歳～59歳、60歳～69歳で「男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる」の割合が、70歳以上で「区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

| 区分      | 回答者数（件） | 審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する | 男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる | 学校において男女平等教育を浸透させる | 女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる | 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する | 職場における男女平等について企業等に働きかけ |
|---------|---------|-------------------------|-----------------------------|--------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------|
| 20歳～29歳 | 93      | 16.1                    | 17.2                        | 28.0               | 9.7                     | 21.5                      | 28.0                   |
| 30歳～39歳 | 120     | 20.0                    | 12.5                        | 33.3               | 12.5                    | 16.7                      | 29.2                   |
| 40歳～49歳 | 160     | 17.5                    | 16.3                        | 35.6               | 18.1                    | 15.6                      | 27.5                   |
| 50歳～59歳 | 153     | 14.4                    | 27.5                        | 24.2               | 21.6                    | 12.4                      | 27.5                   |
| 60歳～69歳 | 145     | 27.6                    | 29.0                        | 30.3               | 15.2                    | 12.4                      | 19.3                   |
| 70歳以上   | 95      | 15.8                    | 22.1                        | 27.4               | 15.8                    | 11.6                      | 17.9                   |

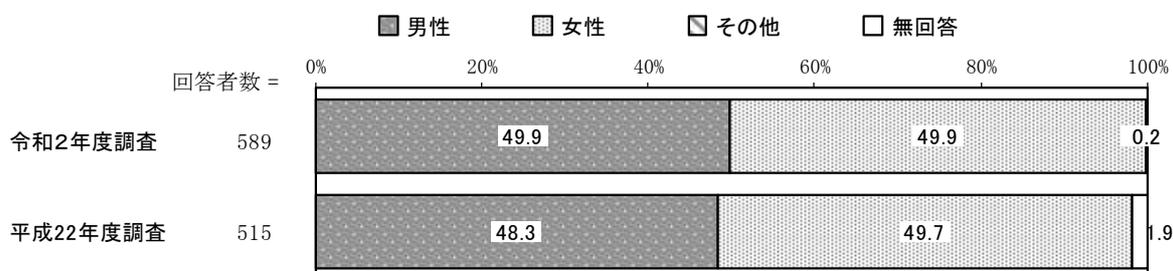
| 区分      | 子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる | 男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる | 区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする | 広報誌やホームページなどで男女共同参画に関する啓発を行う | その他 | 無回答  |
|---------|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 57.0                     | 26.9                               | 12.9                                      | 8.6                          | 5.4 | 3.2  |
| 30歳～39歳 | 50.0                     | 25.0                               | 5.0                                       | 7.5                          | 3.3 | 6.7  |
| 40歳～49歳 | 40.6                     | 23.1                               | 9.4                                       | 9.4                          | 5.0 | 3.8  |
| 50歳～59歳 | 52.9                     | 19.0                               | 10.5                                      | 10.5                         | 5.9 | 3.9  |
| 60歳～69歳 | 34.5                     | 19.3                               | 13.8                                      | 10.3                         | 2.8 | 9.7  |
| 70歳以上   | 31.6                     | 14.7                               | 31.6                                      | 12.6                         | 2.1 | 15.8 |

## 2 企業従業員

### (1) 回答者属性

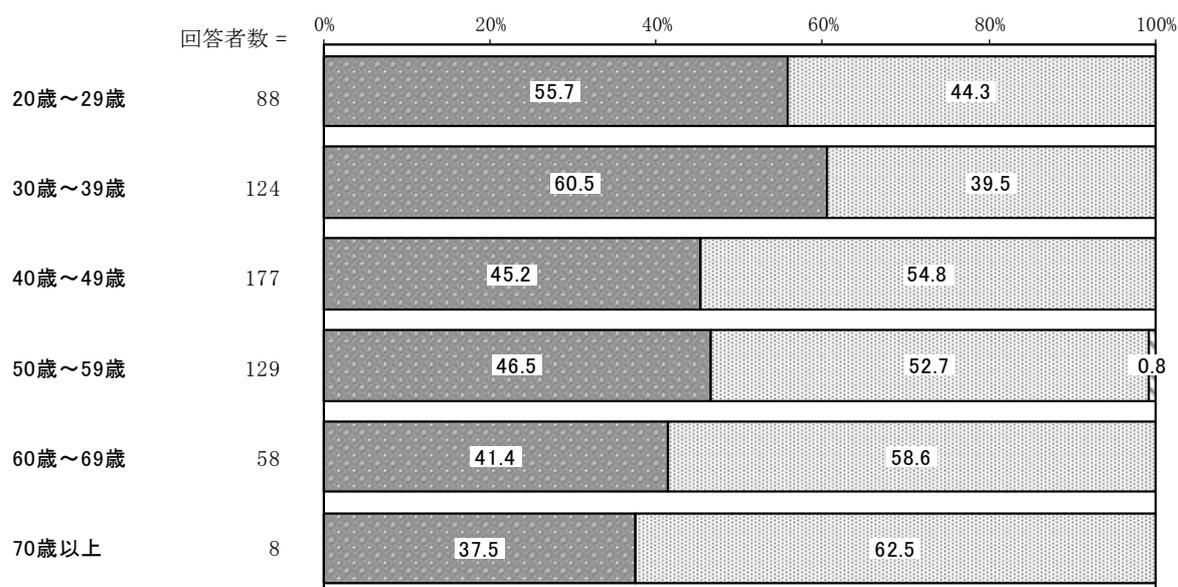
#### 問1 あなたの性別はどれですか。(○は1つ)

「男性」の割合が49.9%、「女性」の割合が49.9%となっています。  
平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



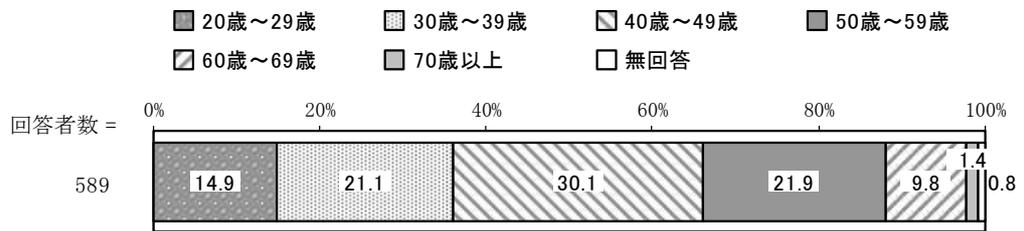
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「男性」の割合が高く、約6割となっています。また、60歳～69歳、70歳以上で「女性」の割合が高く、約6割となっています。



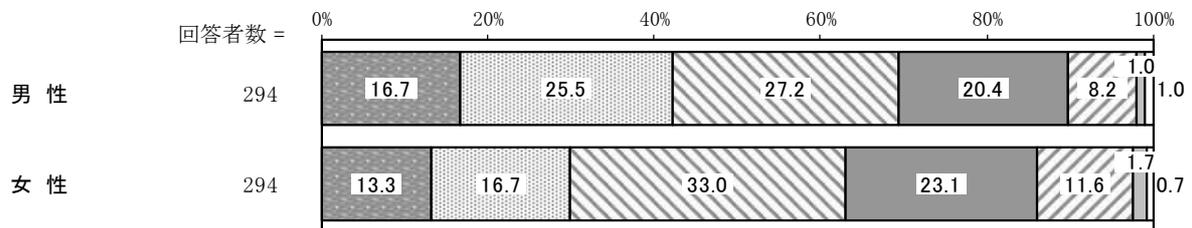
**問2 あなたの年齢はどれですか。(○は1つ)**

「40歳～49歳」の割合が30.1%と最も高く、次いで「50歳～59歳」の割合が21.9%、「30歳～39歳」の割合が21.1%となっています。



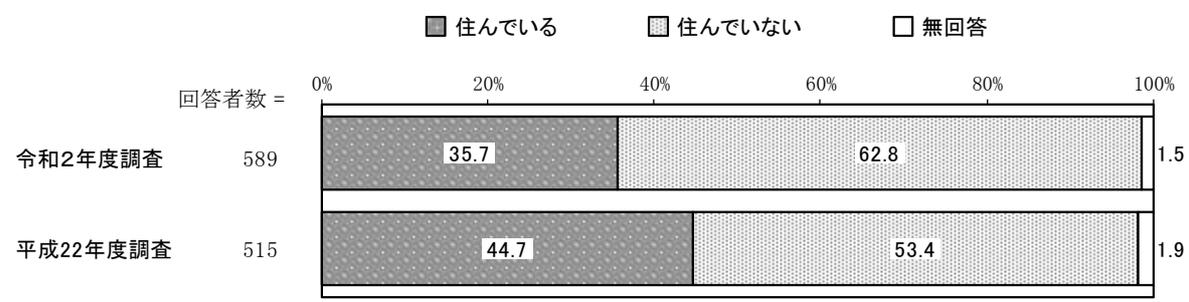
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「30歳～39歳」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「40歳～49歳」の割合が高く、3割を超えています。



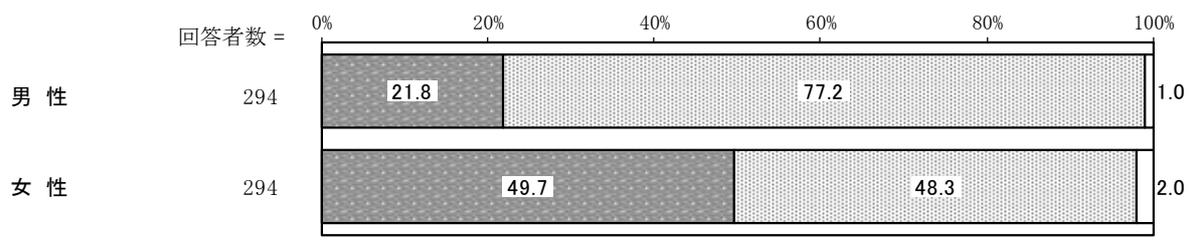
**問3 あなたは養老町に住んでいますか。(○は1つ)**

「住んでいる」の割合が35.7%、「住んでいない」の割合が62.8%となっています。  
 平成22年度調査と比較すると、「住んでいない」の割合が増加し、「住んでいる」の割合が減少しています。



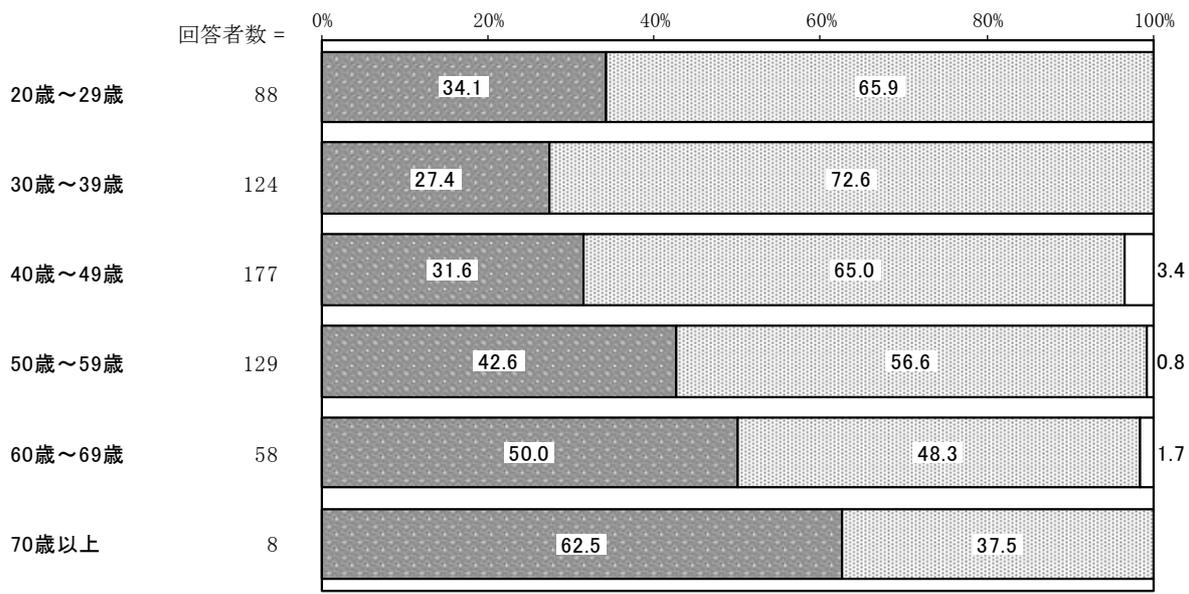
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「住んでいない」の割合が高く、約8割となっています。また、男性に比べ、女性で「住んでいる」の割合が高く、約5割となっています。



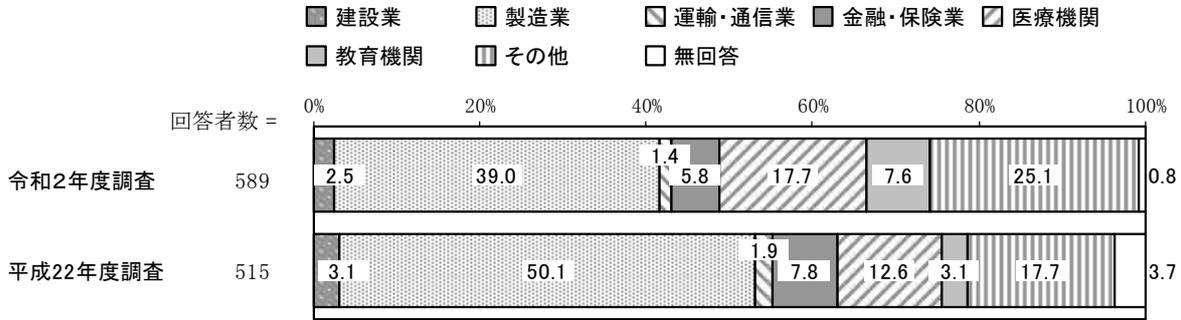
**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で「住んでいる」の割合が高く、5割となっています。また、30歳～39歳で「住んでいない」の割合が高く、約7割となっています。



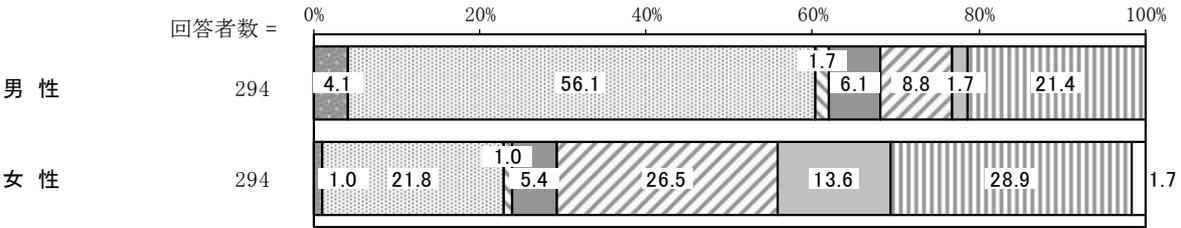
**問4 勤め先の事業所の業種は次のどれですか。(○は1つ)**

「製造業」の割合が39.0%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が17.7%となっています。平成22年度調査と比較すると、「医療機関」の割合が増加し、「製造業」の割合が減少しています。



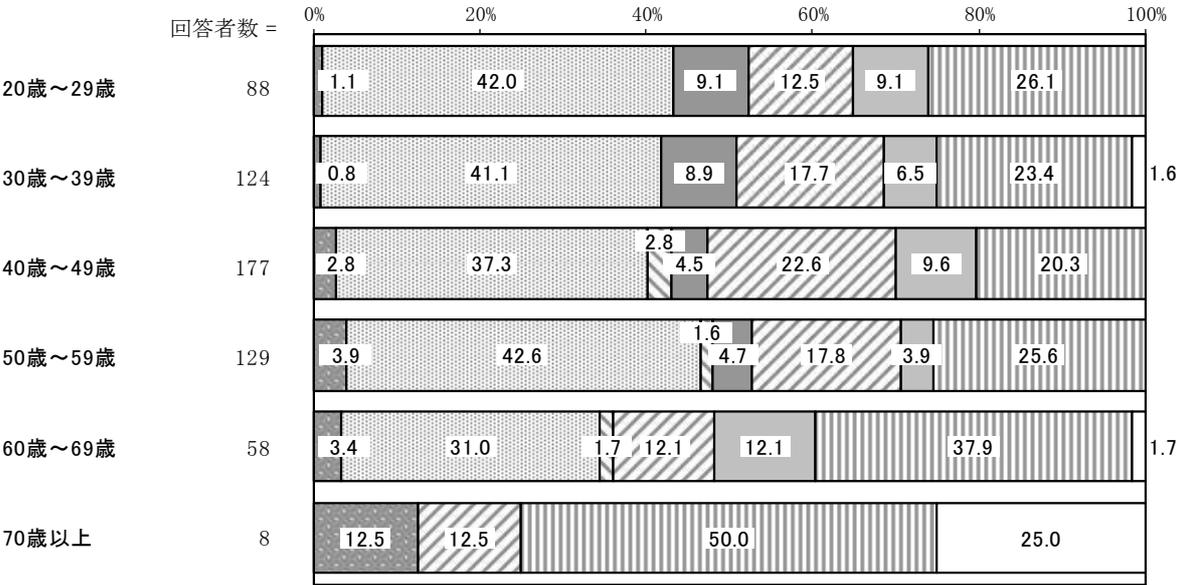
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「製造業」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「医療機関」「教育機関」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

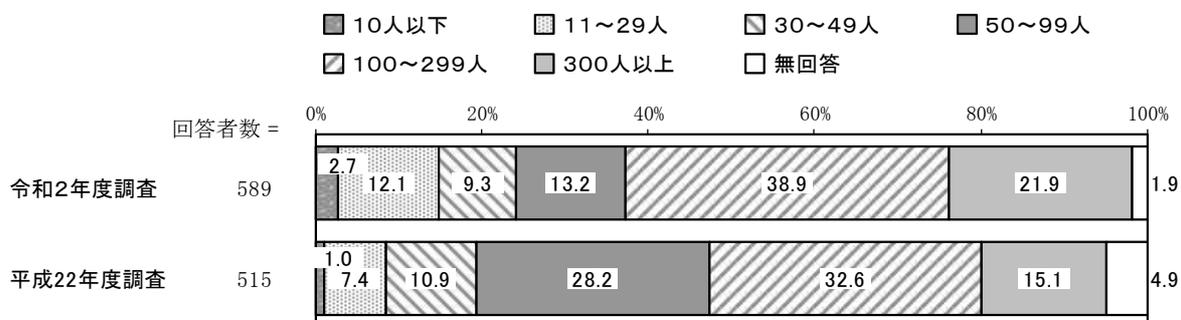
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳から50歳～59歳で「医療機関」の割合が高く、約2割となっています。



### 問5 勤め先の事業所の従業員数は次のどれですか。(○は1つ)

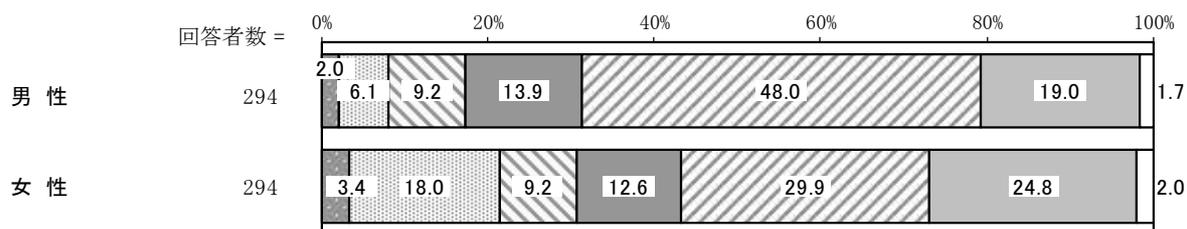
「100～299人」の割合が38.9%と最も高く、次いで「300人以上」の割合が21.9%、「50～99人」の割合が13.2%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「100～299人」「300人以上」の割合が増加しています。一方、「50～99人」の割合が減少しています。



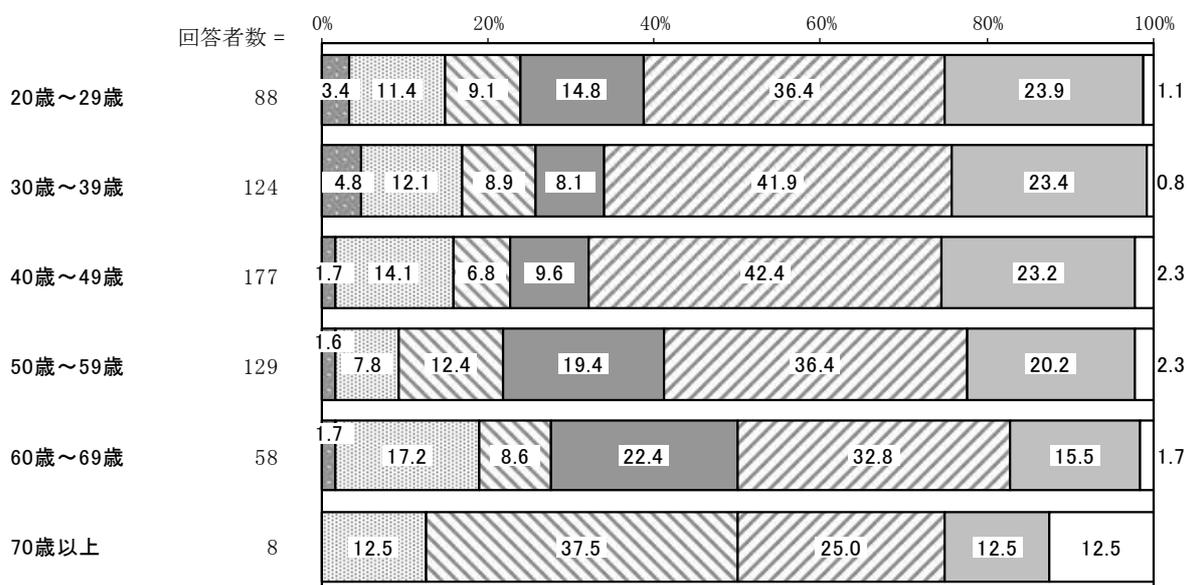
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「100～299人」の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で「11～29人」「300人以上」の割合が高くなっています。



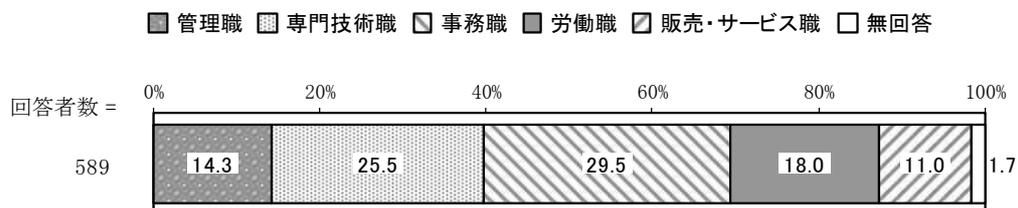
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「100～299人」の割合が高く、約4割となっています。



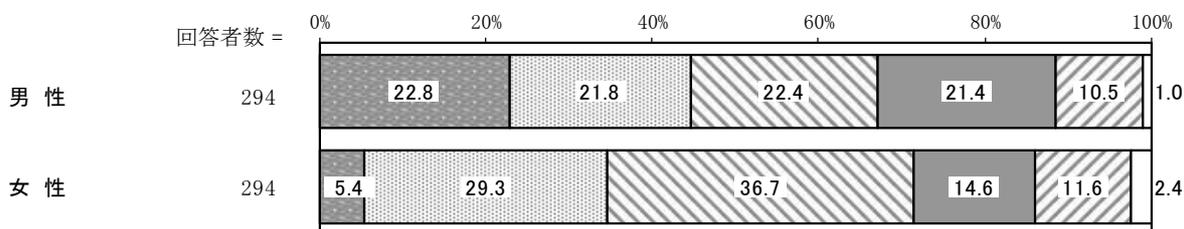
## 問6 あなたの仕事の職種は何ですか。(○は1つ)

「事務職」の割合が29.5%と最も高く、次いで「専門技術職」の割合が25.5%、「労働職」の割合が18.0%となっています。



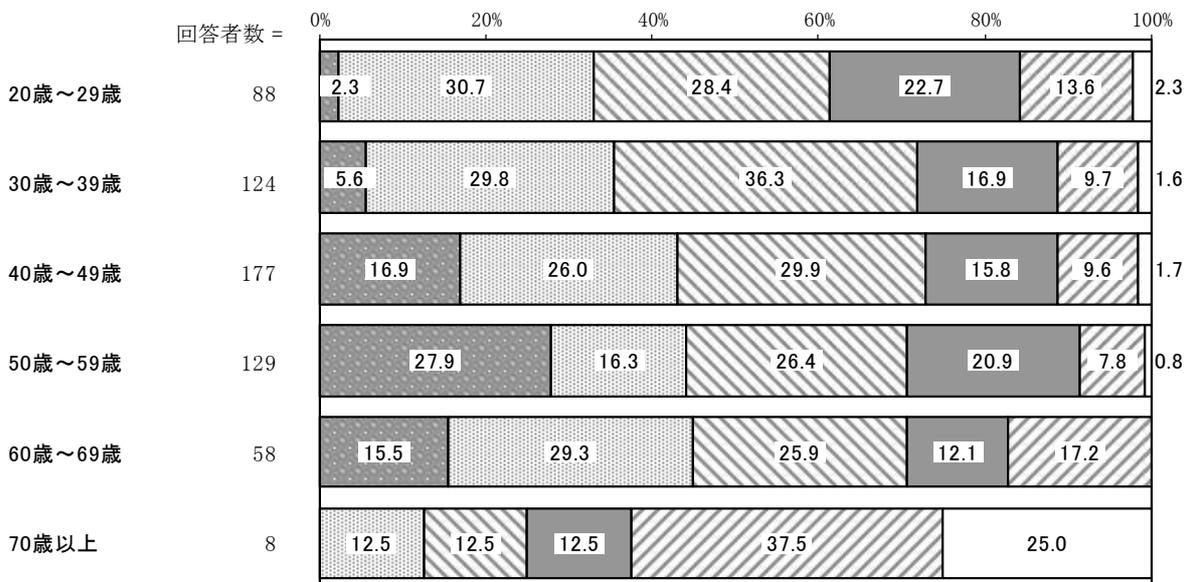
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「管理職」「労働職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「専門技術職」「事務職」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

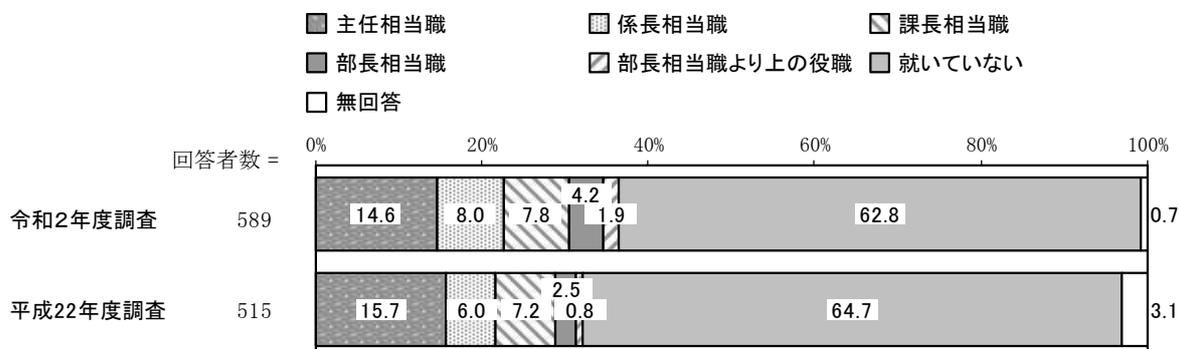
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「事務職」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、50歳～59歳で「管理職」の割合が高く、約3割となっています。



## 問7 あなたは何か役職に就いていますか。(○は1つ)

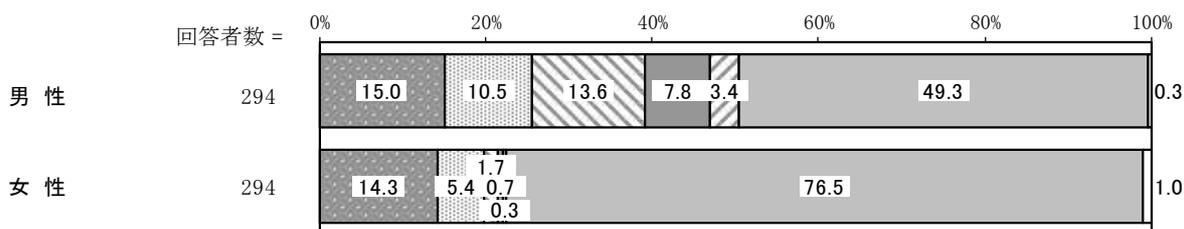
「就いていない」の割合が62.8%と最も高く、次いで「主任相当職」の割合が14.6%となっています。

平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



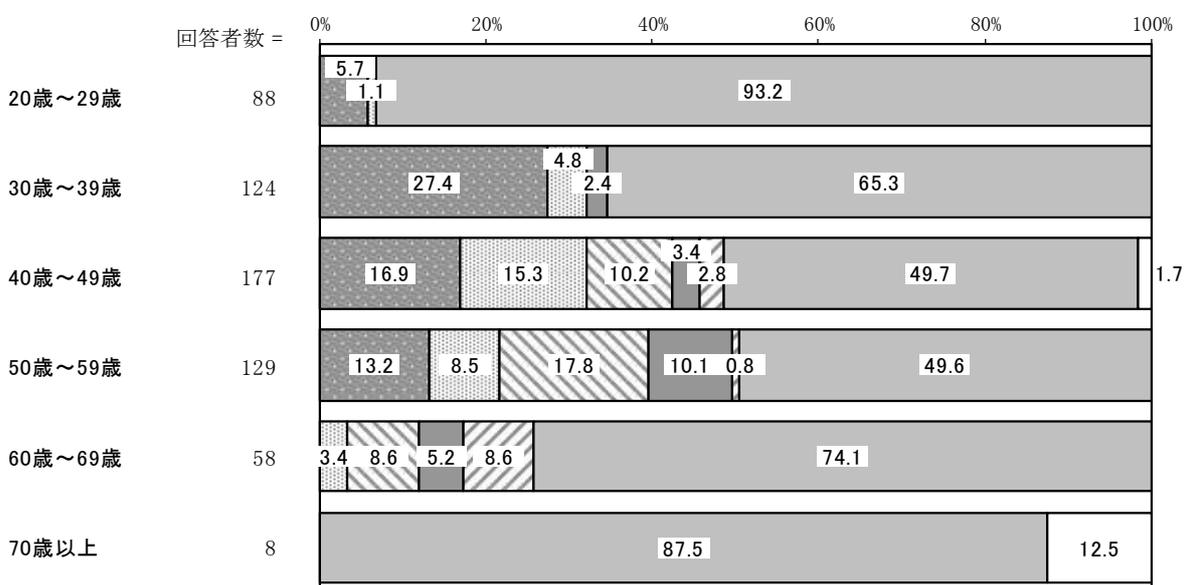
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「係長相当職」「課長相当職」「部長相当職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「就いていない」の割合が高く、7割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

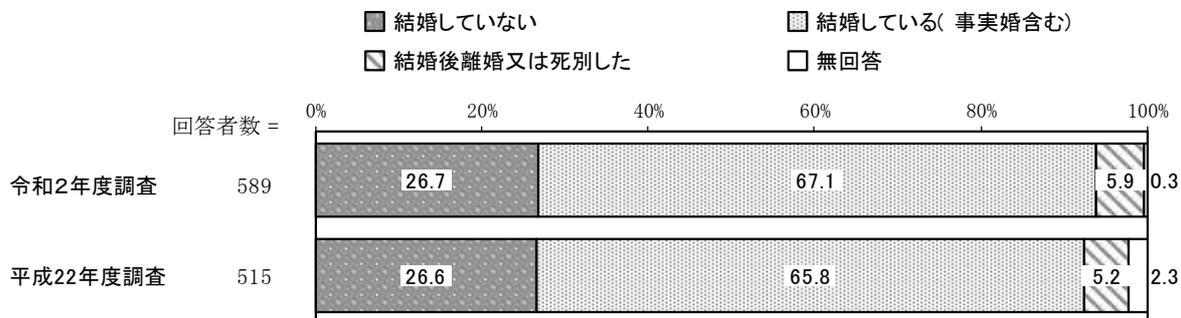
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「就いていない」の割合が高く、約9割となっています。また、30歳～39歳で「主任相当職」の割合が、50歳～59歳で「課長相当職」の割合が高くなっています。



## 問8 あなたは現在結婚していますか。(○は1つ)

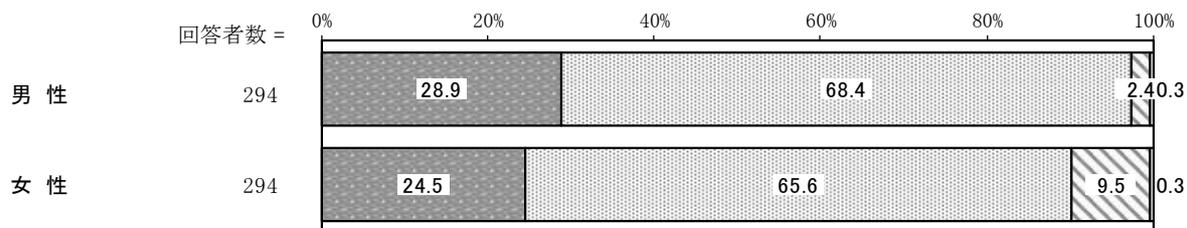
「結婚している(事実婚含む)」の割合が67.1%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が26.7%となっています。

平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



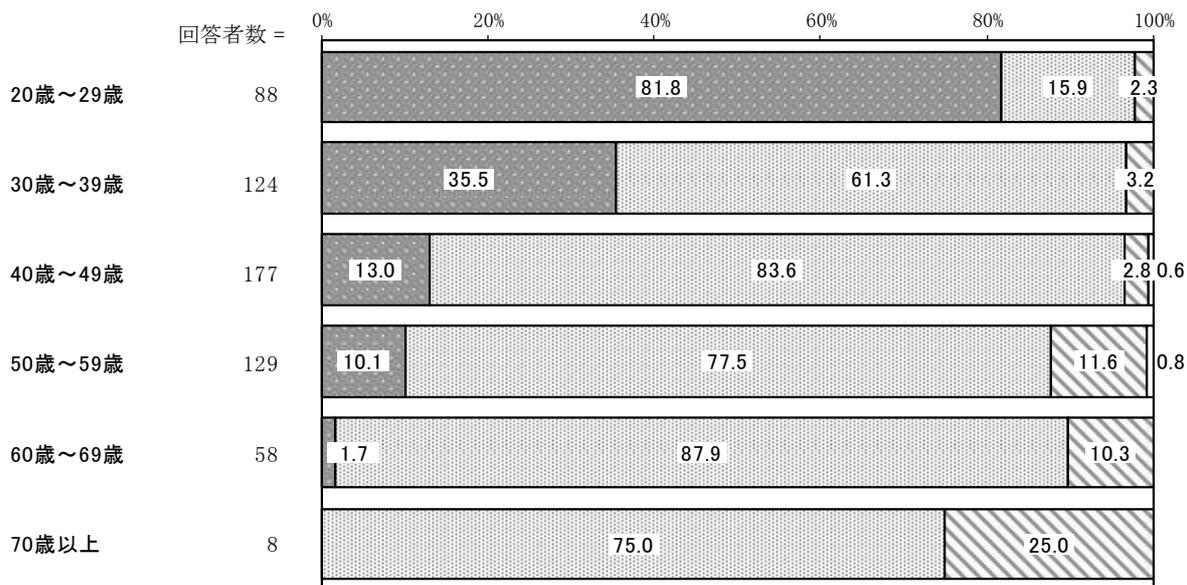
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「結婚後離婚又は死別した」の割合が高く、約1割となっています。



### 【年齢別】

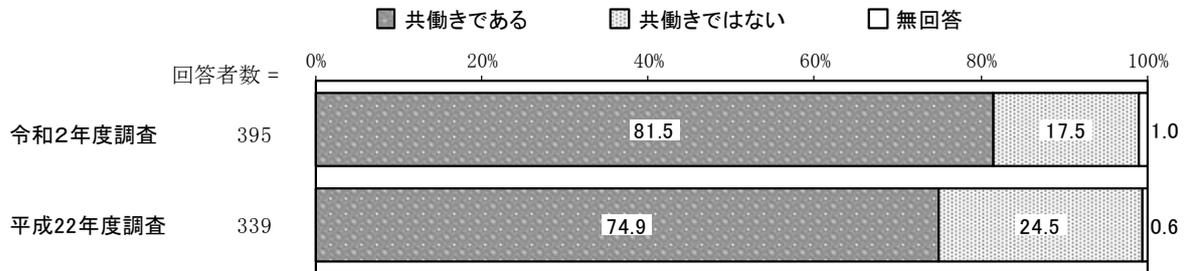
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「結婚していない」の割合が高く、20歳～29歳で約8割となっています。また、60歳～69歳で「結婚している(事実婚含む)」の割合が高く、約9割となっています。



《問8で「結婚している(事実婚含む)」と答えられた方におたずねします。》

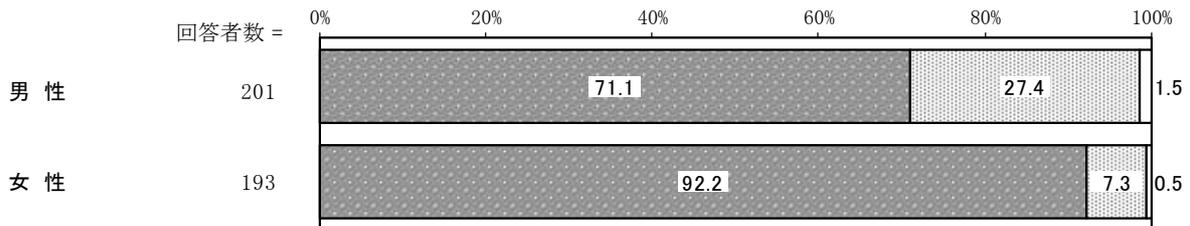
**問8-① ご夫婦は共働きですか。(○は1つ)**

「共働きである」の割合が81.5%、「共働きではない」の割合が17.5%となっています。  
 平成22年度調査と比較すると、「共働きである」の割合が増加し、「共働きではない」の割合が減少しています。



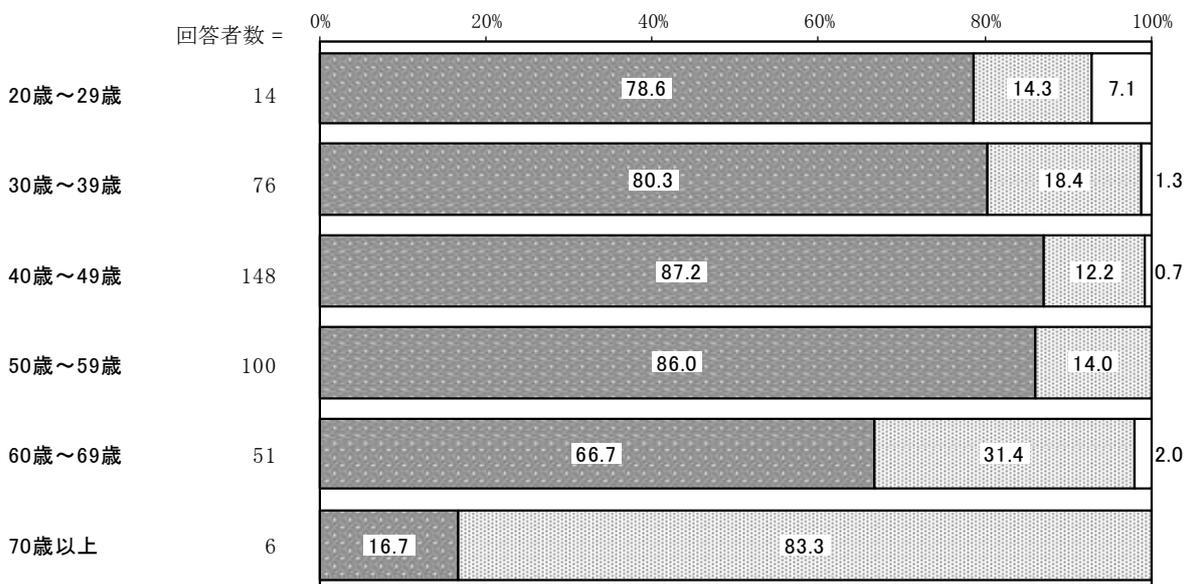
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「共働きではない」の割合が高く、約3割となっています。  
 また、男性に比べ、女性で「共働きである」の割合が高く、約9割となっています。



**【年齢別】**

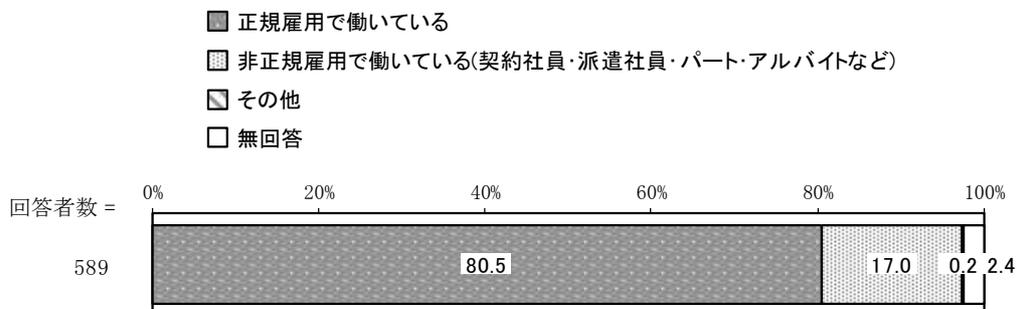
年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で「共働きである」の割合が高く、約9割となっています。  
 また、60歳～69歳で「共働きではない」の割合が高く、約3割となっています。



問9 あなたの就労形態は次のどれですか。  
 共働きの方は、配偶者の就労形態についてもご記入ください。  
 (〇は各項目1つずつ)

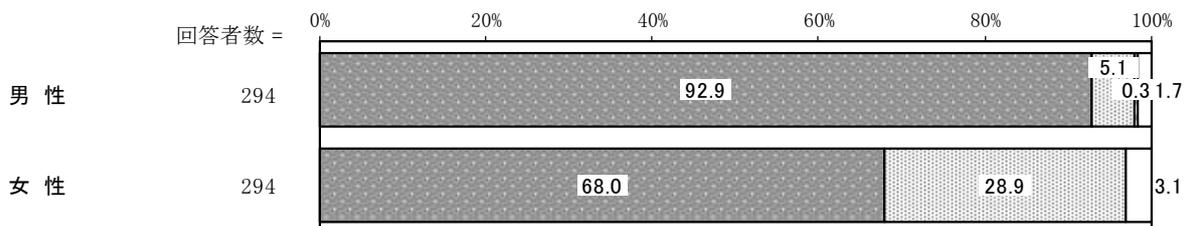
(1) あなたの就労形態

「正規雇用で働いている」の割合が80.5%、「非正規雇用で働いている(契約社員・派遣社員・パート・アルバイトなど)」の割合が17.0%となっています。



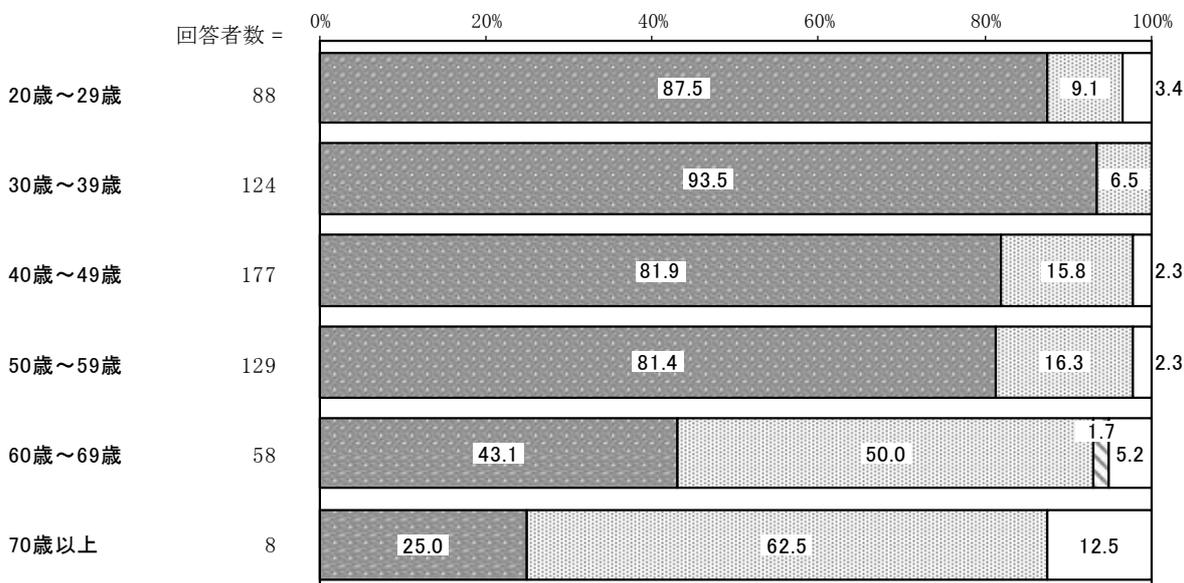
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正規雇用で働いている」の割合が高く、約9割となっています。また、男性に比べ、女性で「非正規雇用で働いている(契約社員・派遣社員・パート・アルバイトなど)」の割合が高く、約3割となっています。



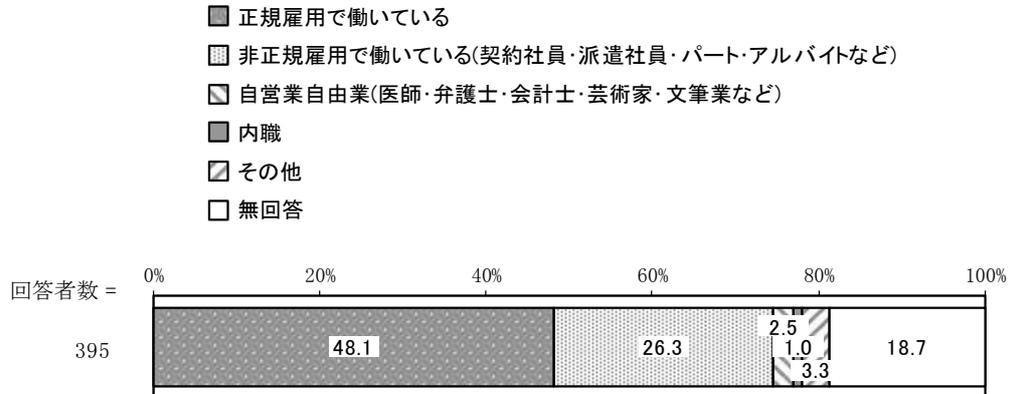
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳で「正規雇用で働いている」の割合が高く、約9割となっています。また、60歳～69歳で「非正規雇用で働いている(契約社員・派遣社員・パート・アルバイトなど)」の割合が高く、5割となっています。



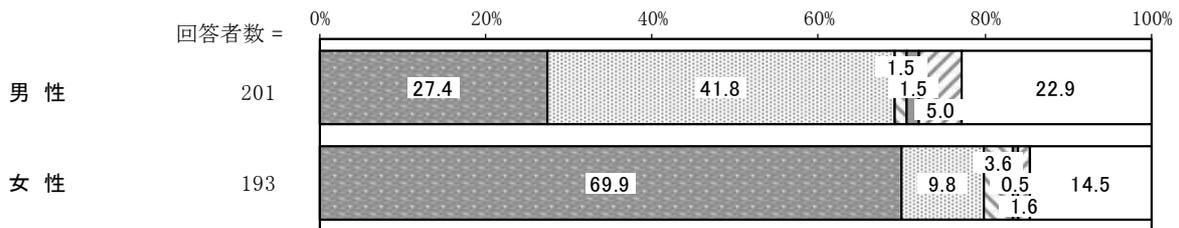
## (2) 配偶者の就労形態

「正規雇用で働いている」の割合が48.1%と最も高く、次いで「非正規雇用で働いている(契約社員・派遣社員・パート・アルバイトなど)」の割合が26.3%となっています。



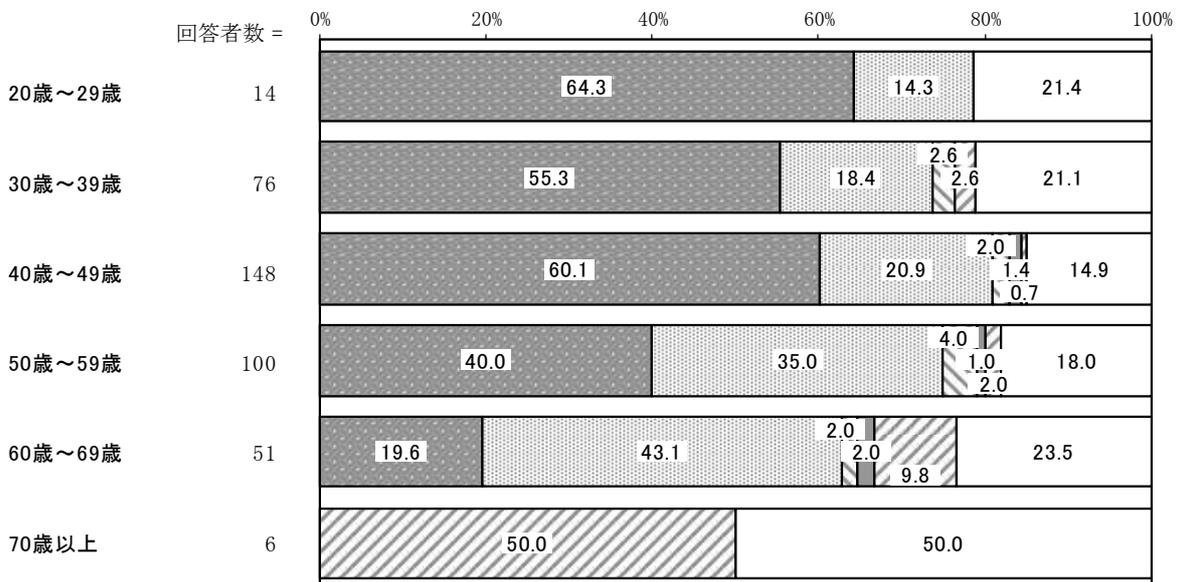
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「非正規雇用で働いている(契約社員・派遣社員・パート・アルバイトなど)」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「正規雇用で働いている」の割合が高く、約7割となっています。



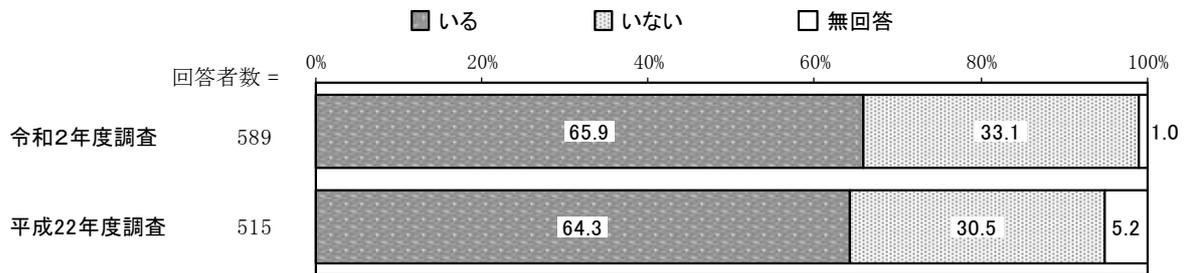
### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「非正規雇用で働いている(契約社員・派遣社員・パート・アルバイトなど)」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で約4割となっています。また、他に比べ、20歳～29歳で「正規雇用で働いている」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



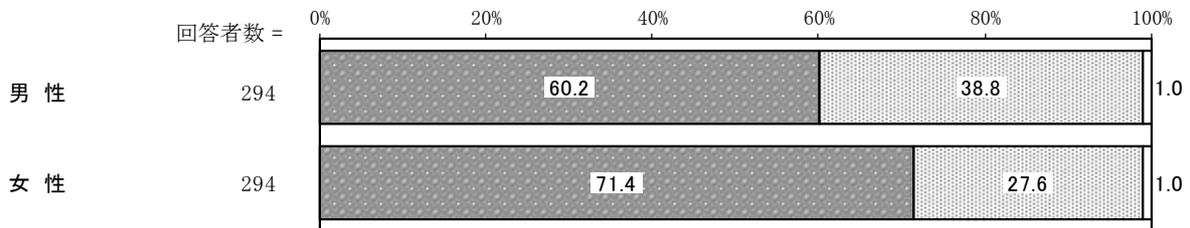
**問 10 あなたにお子さんはいますか。(○は1つ)**

「いる」の割合が65.9%、「いない」の割合が33.1%となっています。  
 平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



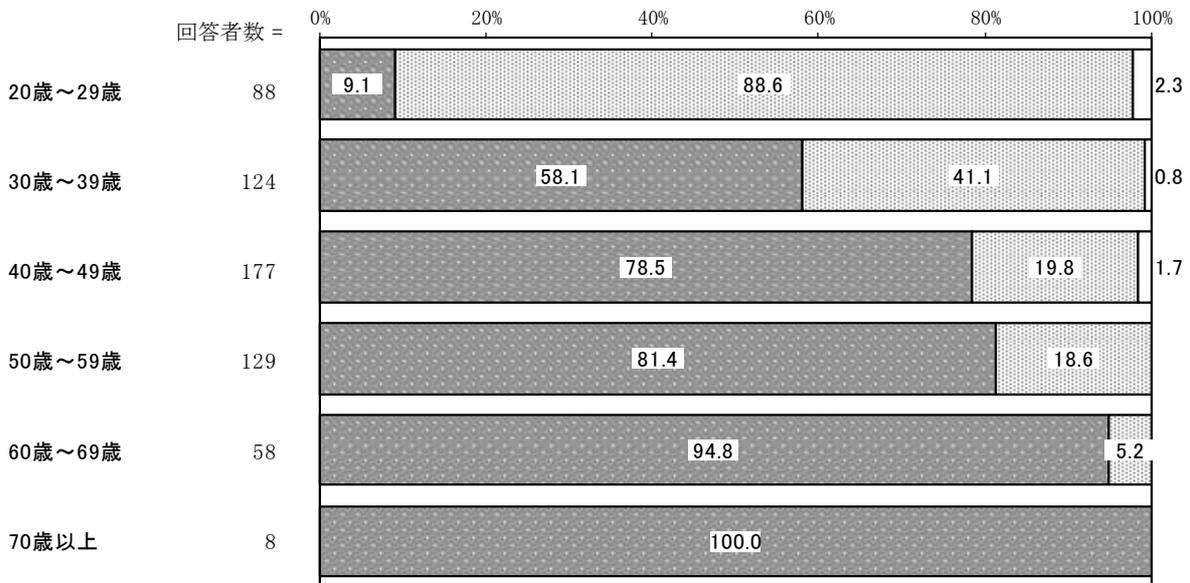
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「いない」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「いる」の割合が高く、約7割となっています。



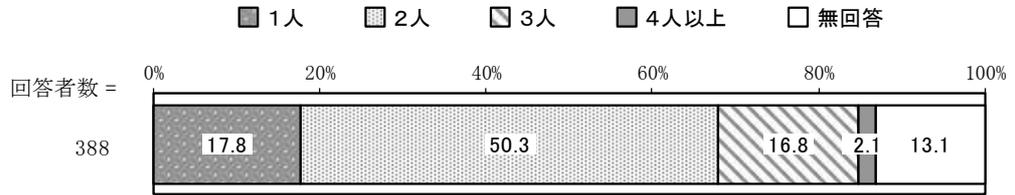
**【年齢別】**

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「いる」の割合が固くなる傾向がみられ、60歳～69歳で9割台半ばとなっています。



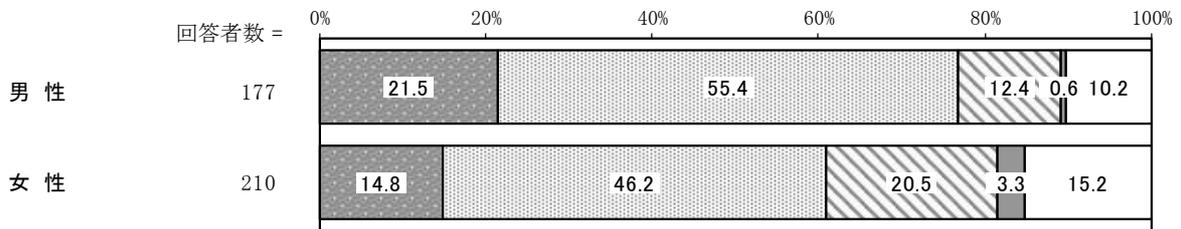
◆子どもの人数

「2人」の割合が50.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が17.8%、「3人」の割合が16.8%となっています。



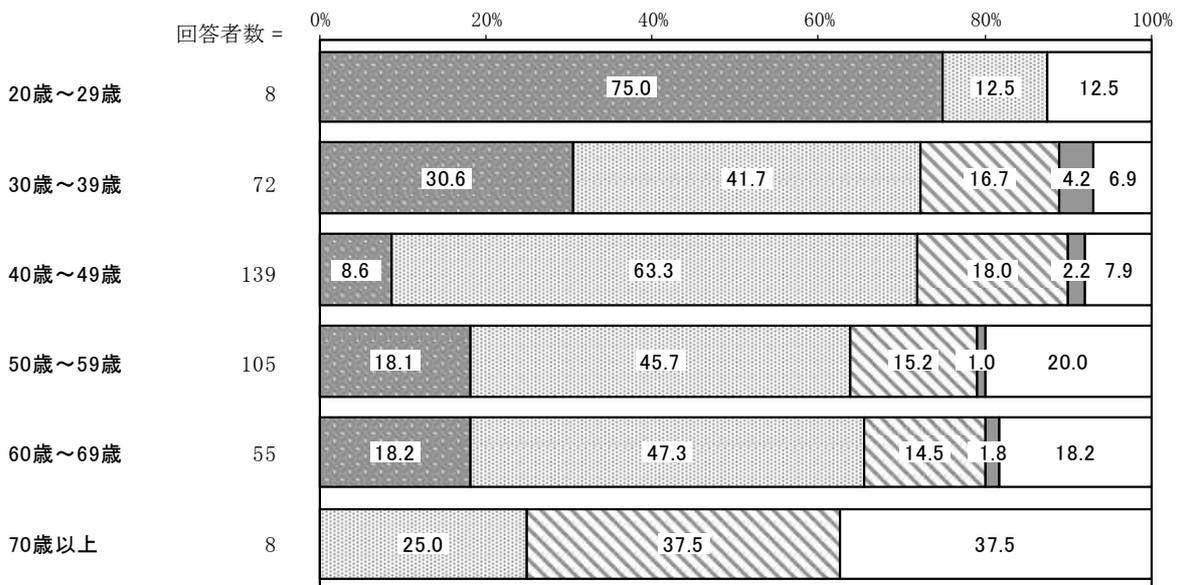
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「1人」「2人」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「3人」の割合が高く、約2割となっています。



【年齢別】

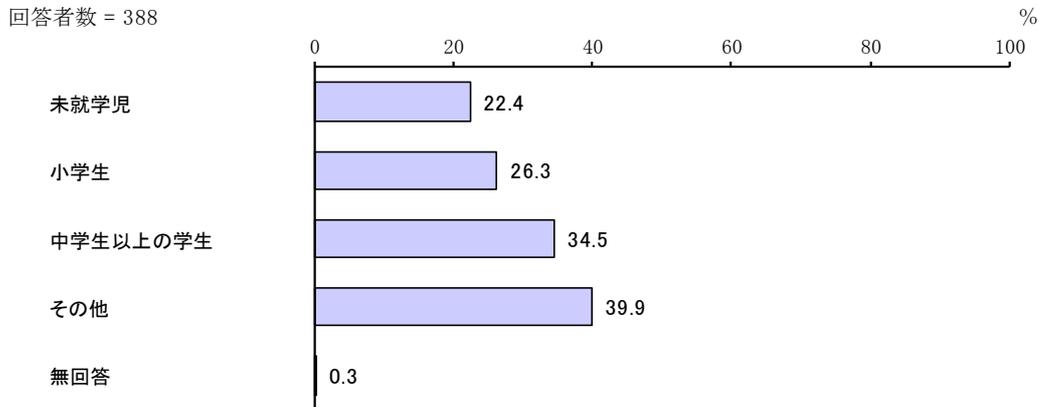
年齢別で見ると、他に比べ、30歳～39歳で「1人」の割合が高く、約3割となっています。また、40歳～49歳で「2人」の割合が高く、約6割となっています。



《問 10 で「いる」と答えられた方にお聞きします。》

**問 10-① あなたのお子さんはどれにあたりますか。(○はあてはまるもの全て)**

「中学生以上の学生」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「小学生」の割合が 26.3%、「未就学児」の割合が 22.4%となっています。



**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「未就学児」の割合が高く、約 3 割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 未就学児 | 小学生  | 中学生以上の学生 | その他  | 無回答 |
|----|----------|------|------|----------|------|-----|
| 男性 | 177      | 30.5 | 26.6 | 35.0     | 32.8 | —   |
| 女性 | 210      | 15.7 | 26.2 | 33.8     | 46.2 | 0.5 |

**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、30 歳～39 歳で「未就学児」の割合が高く、約 8 割となっています。また、40 歳～49 歳で「小学生」「中学生以上の学生」の割合が高くなっています。

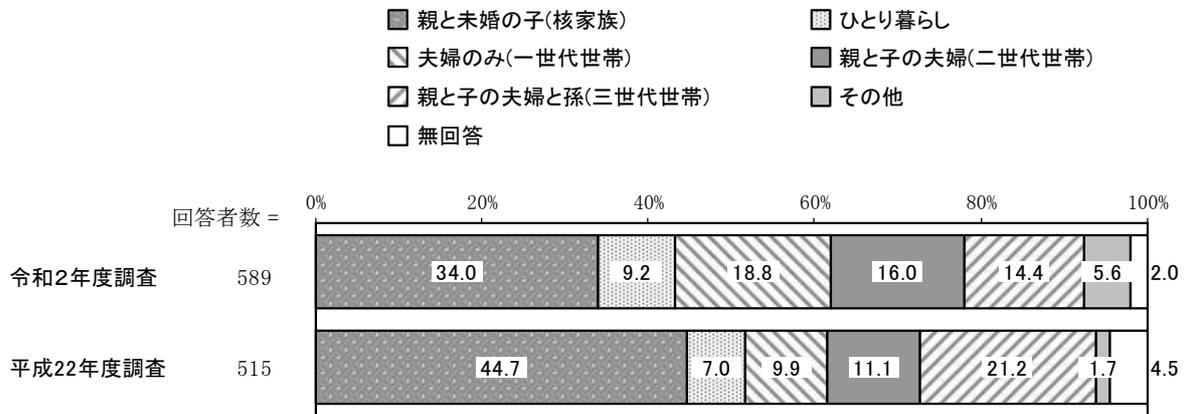
単位：%

| 区分        | 回答者数 (件) | 未就学児 | 小学生  | 中学生以上の学生 | その他  | 無回答  |
|-----------|----------|------|------|----------|------|------|
| 20 歳～29 歳 | 8        | 75.0 | 12.5 | —        | 12.5 | —    |
| 30 歳～39 歳 | 72       | 79.2 | 40.3 | 6.9      | —    | —    |
| 40 歳～49 歳 | 139      | 17.3 | 50.4 | 66.2     | 10.1 | —    |
| 50 歳～59 歳 | 105      | —    | 1.9  | 33.3     | 75.2 | —    |
| 60 歳～69 歳 | 55       | —    | —    | 3.6      | 96.4 | —    |
| 70 歳以上    | 8        | —    | —    | —        | 87.5 | 12.5 |

**問 11 家族構成は次のどれですか。(○は1つ)**

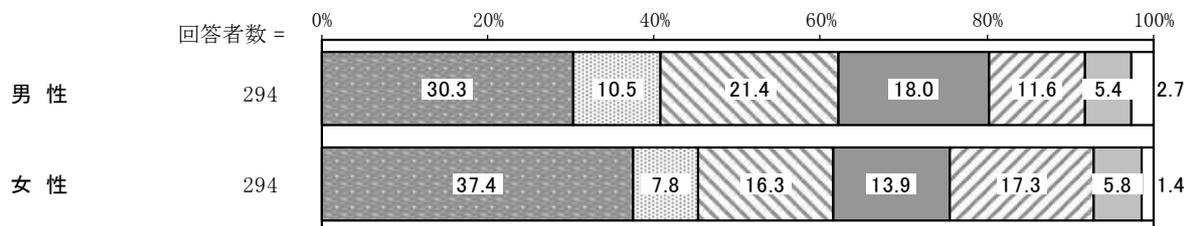
「親と未婚の子(核家族)」の割合が34.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が18.8%、「親と子の夫婦(二世代会世帯)」の割合が16.0%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が増加しています。一方、「親と未婚の子(核家族)」「親と子の夫婦と孫(三世代会世帯)」の割合が減少しています。



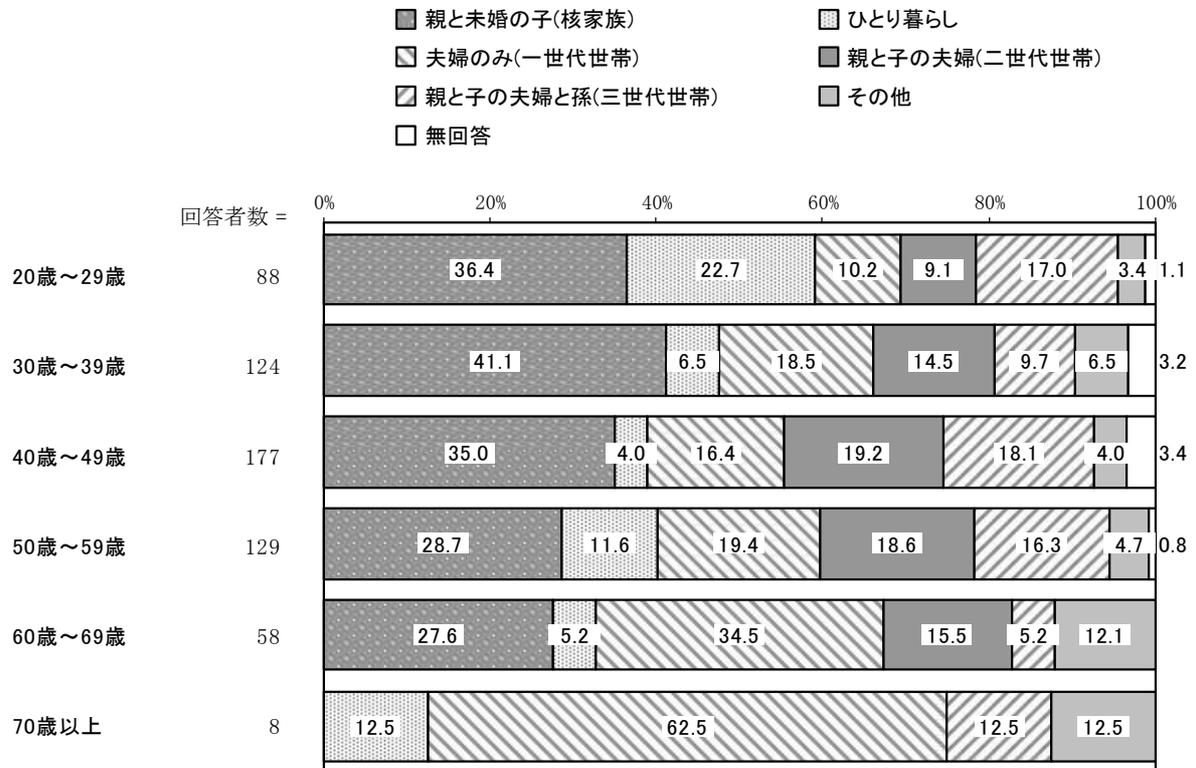
**【性別】**

性別で見ると、女性に比べ、男性で「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「親と未婚の子(核家族)」「親と子の夫婦と孫(三世代会世帯)」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳～39歳で「親と未婚の子(核家族)」の割合が高く、約4割となっています。また、60歳～69歳で「夫婦のみ(一世代世帯)」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

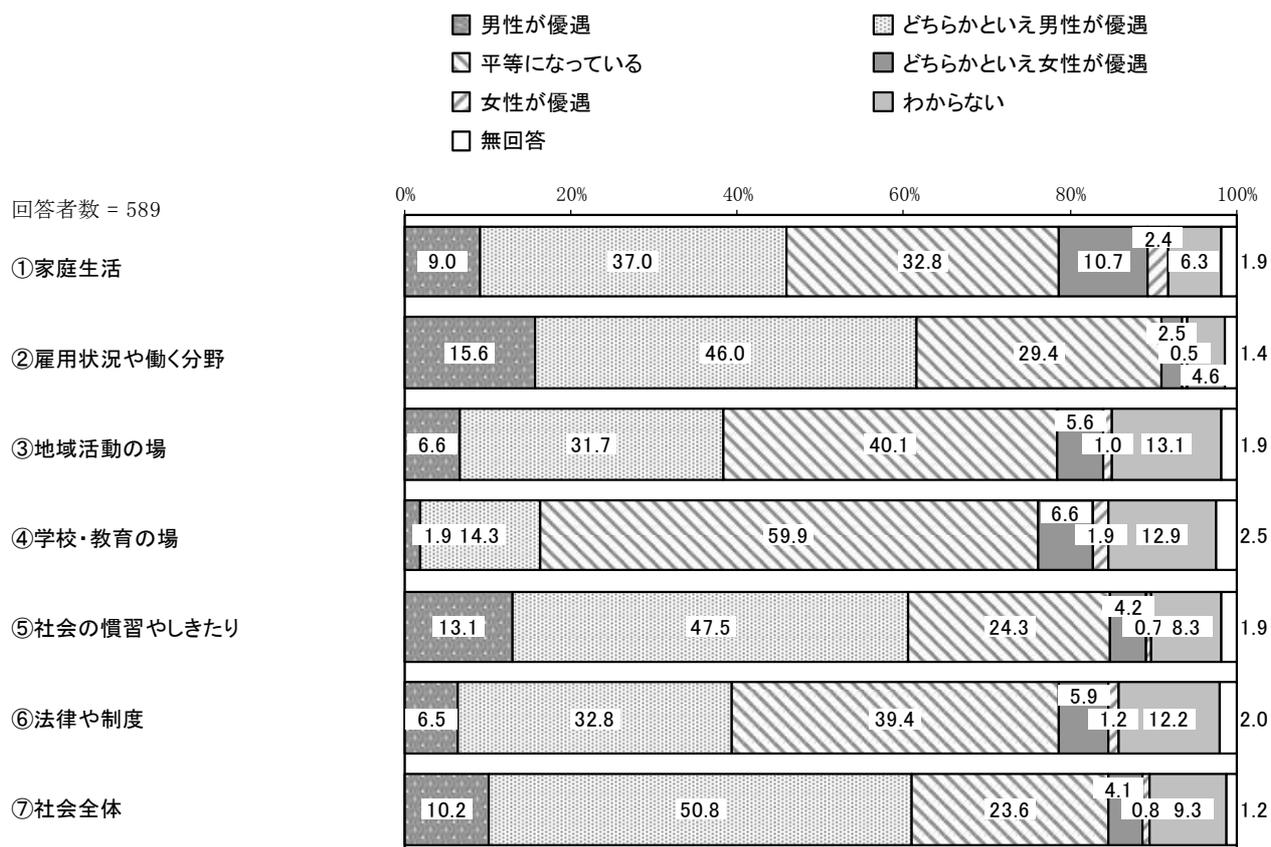


## (2) 性別役割分担について

問 12 次の各分野における男女の地位について、男女がどの程度平等になっていると思われませんか。(○は各項目1つずつ)

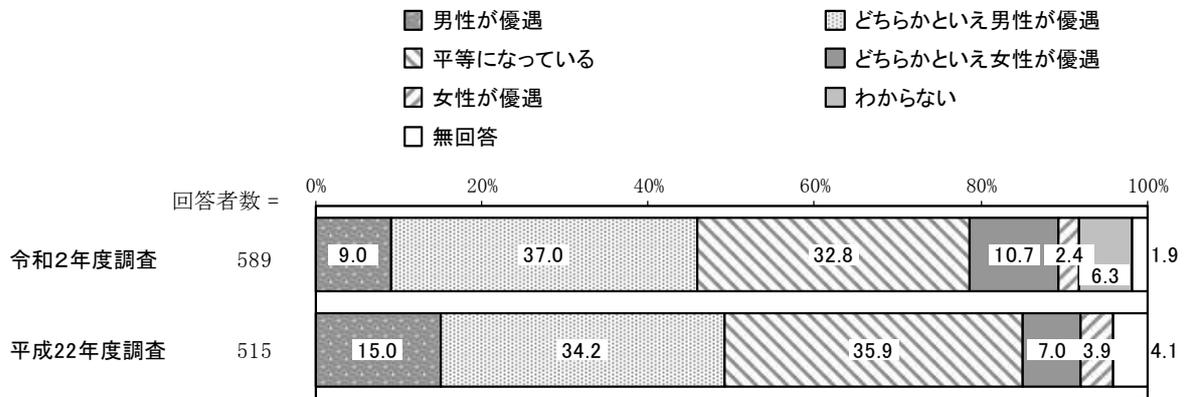
『②雇用状況や働く分野』『⑤社会の慣習やしきたり』『⑦社会全体』で「男性が優遇」と「どちらかといえ男性が優遇」を合わせた“男性が優遇”の割合が高く、約6割となっています。

また、『④学校・教育の場』で「平等になっている」の割合が高く、約6割となっています。



## ①家庭生活

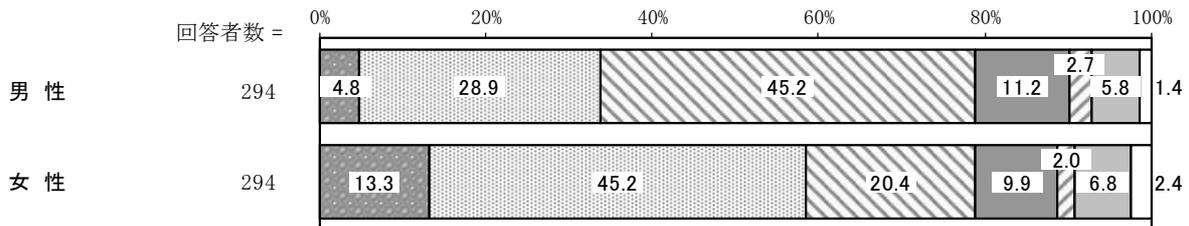
平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成 22 年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

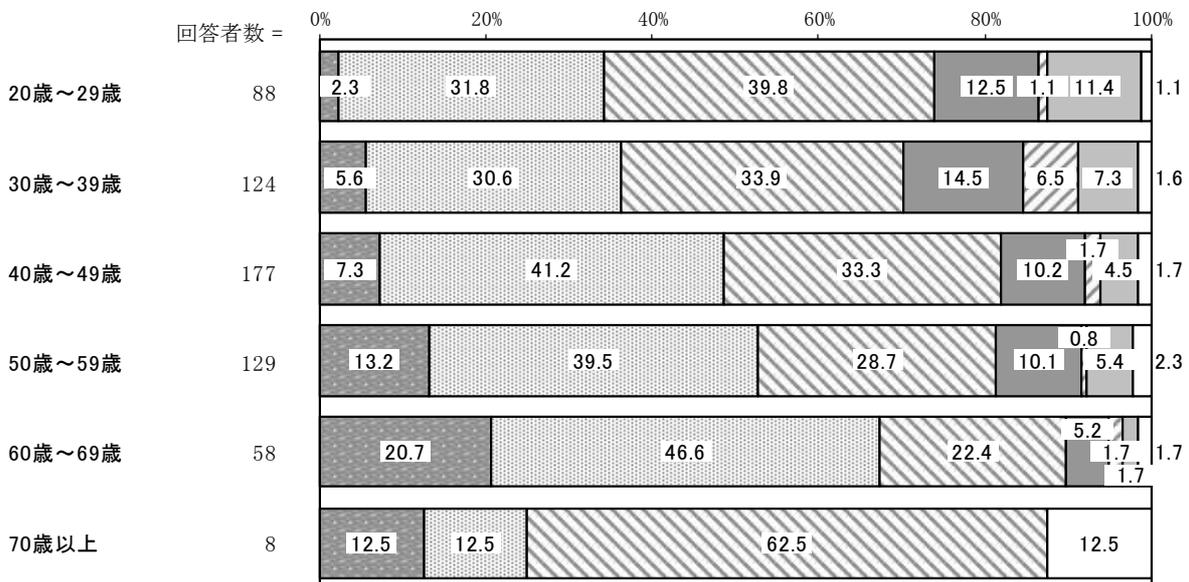
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約6割となっています。



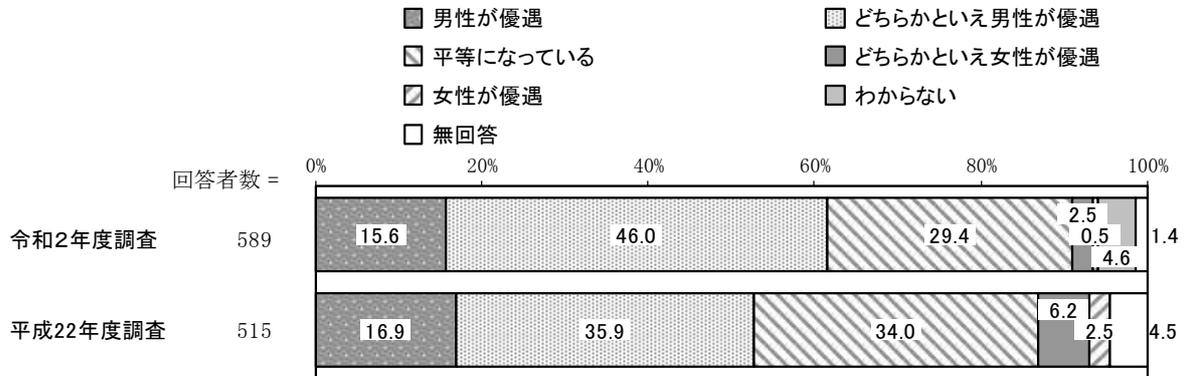
### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“男性が優遇”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で約7割となっています。また、年齢が低くなるにつれ「平等になっている」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で約4割となっています。



## ②雇用状況や働く分野

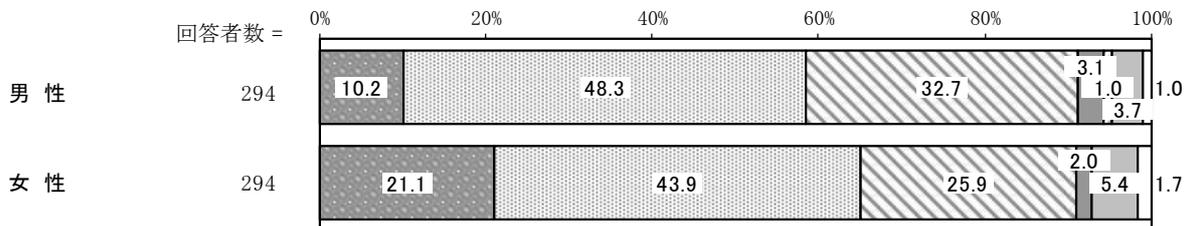
平成22年度調査と比較すると、“男性が優遇”の割合が増加し、“女性が優遇”の割合が減少しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

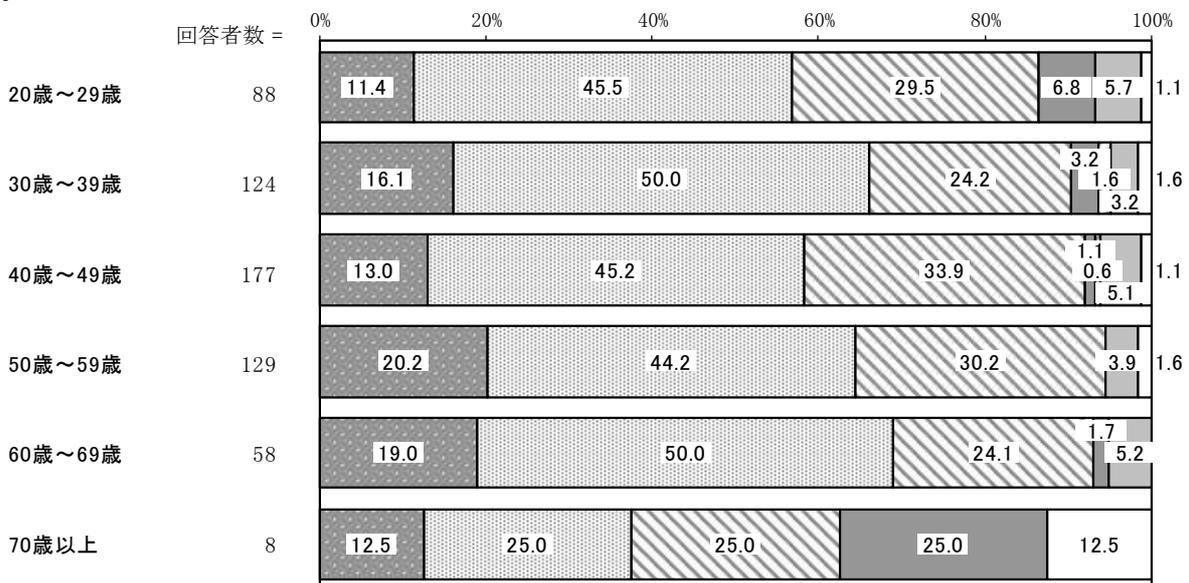
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



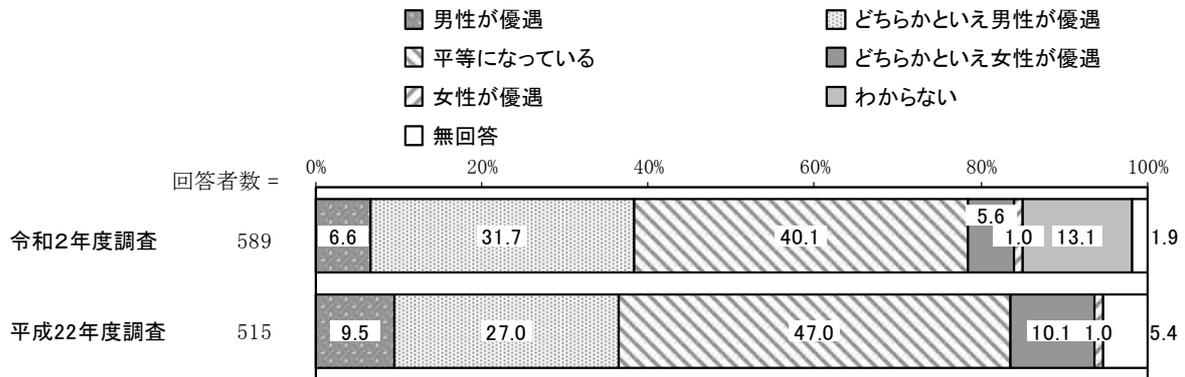
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳で“男性が優遇”の割合が高く、約7割となっています。



### ③地域活動の場

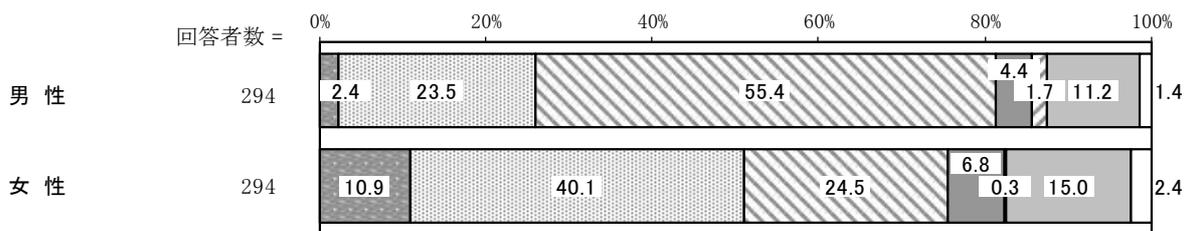
平成 22 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成 22 年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

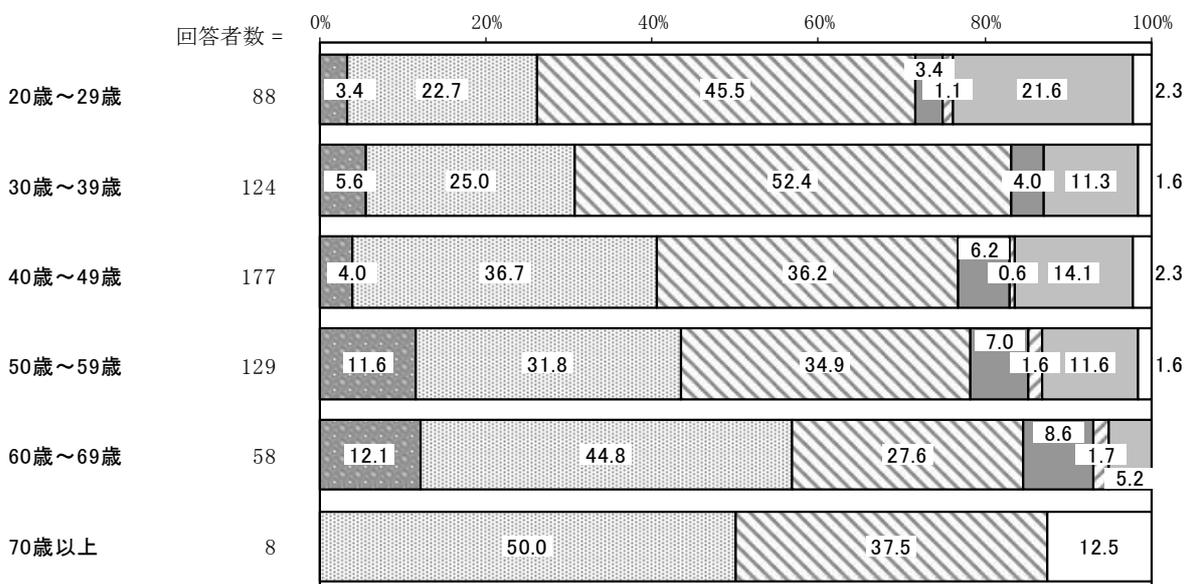
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約5割となっています。



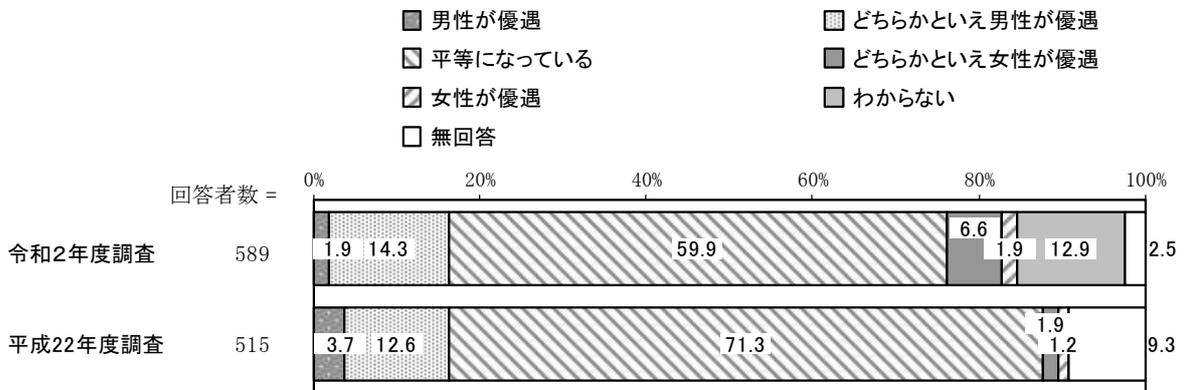
### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“男性が優遇”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で5割台半ばとなっています。また、他に比べ、30歳～39歳で「平等になっている」の割合が高く、約5割となっています。



#### ④学校・教育の場

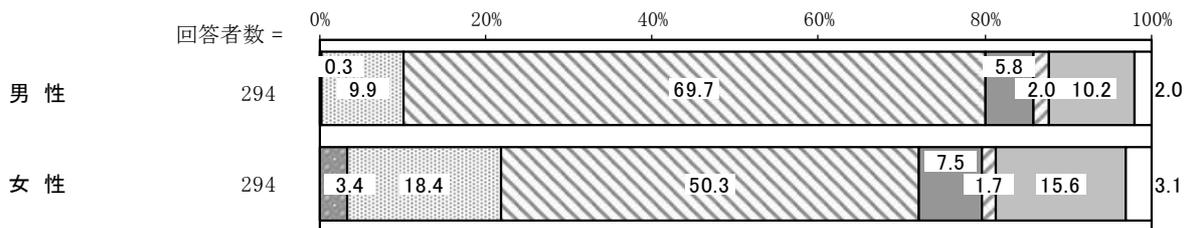
平成22年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が減少し、“女性が優遇”の割合が増加しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

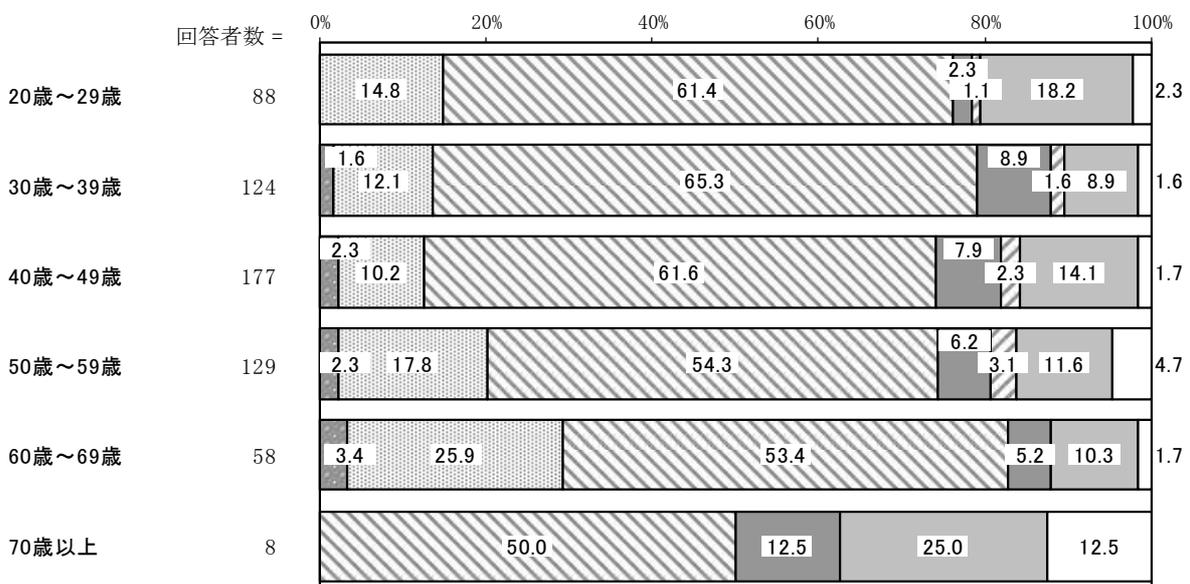
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約2割となっています。



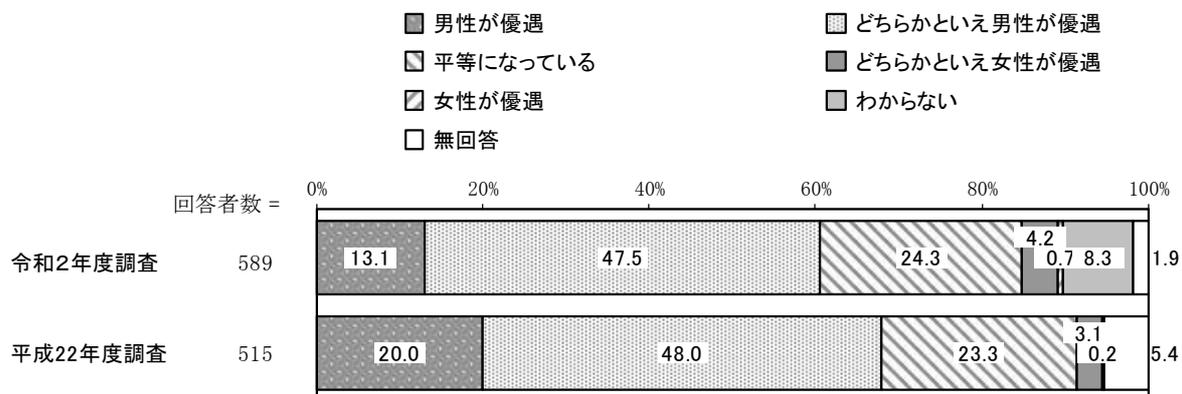
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で“男性が優遇”の割合が高く、約3割となっています。また、30歳～39歳で「平等になっている」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



### ⑤社会の慣習やしきたり

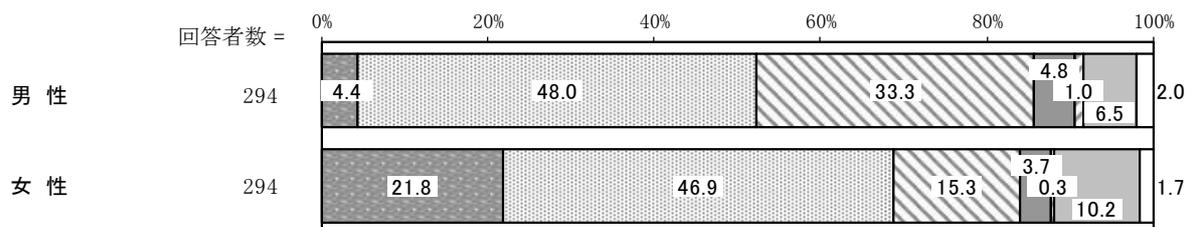
平成22年度調査と比較すると、“男性が優遇”の割合が減少しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

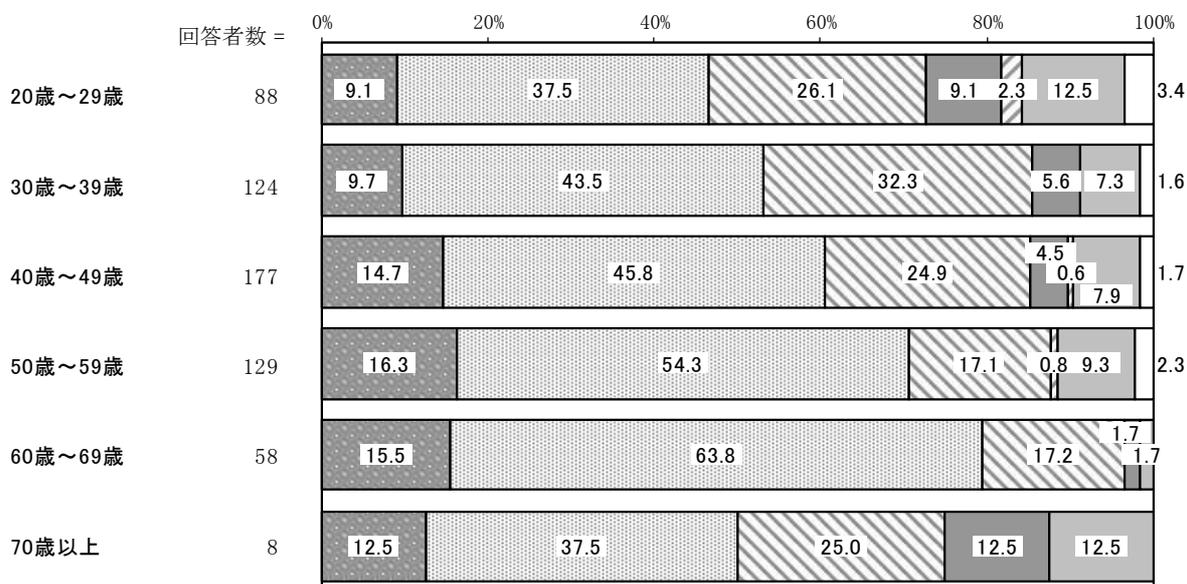
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約7割となっています。



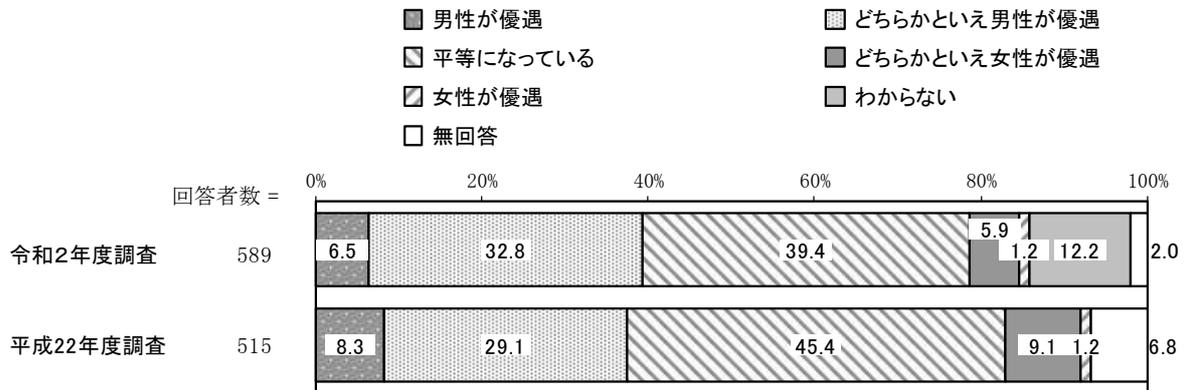
### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“男性が優遇”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で約8割となっています。また、他に比べ、30歳～39歳で「平等になっている」の割合が高く、約3割となっています。



## ⑥法律や制度

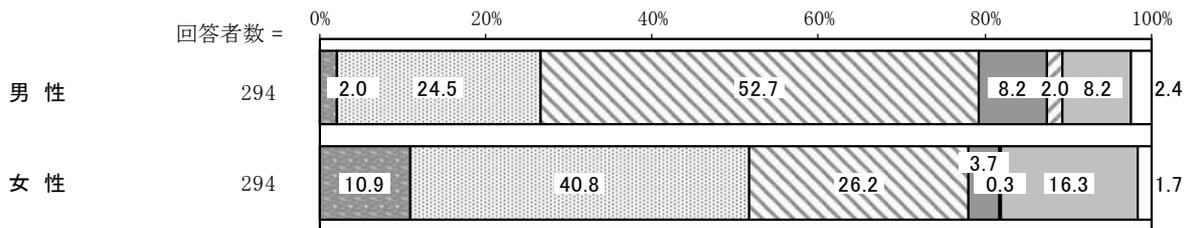
平成22年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が減少しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

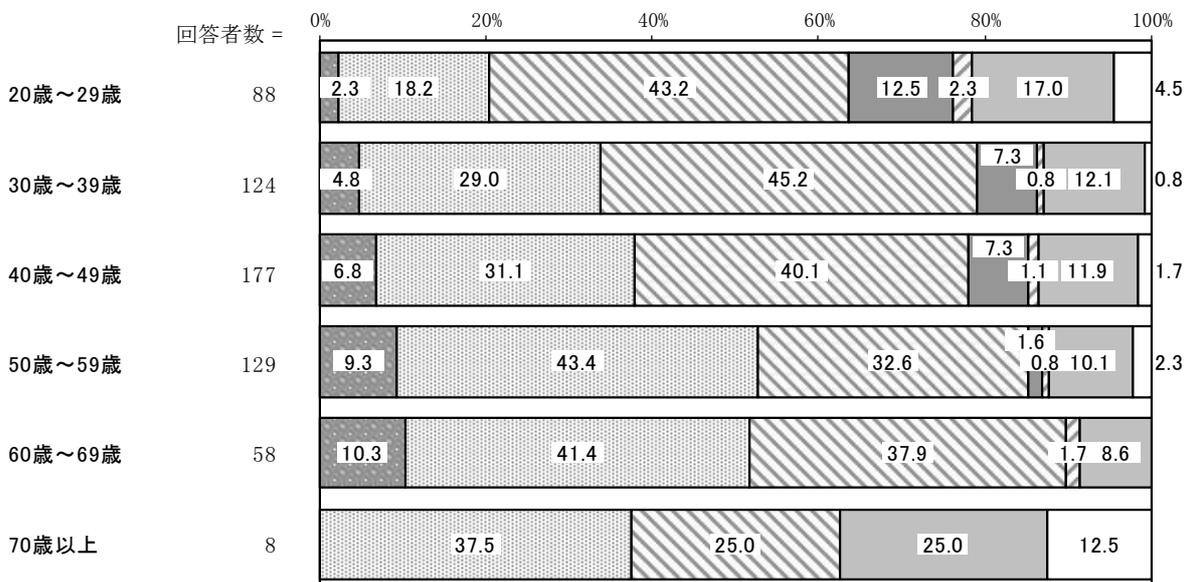
## 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約5割となっています。



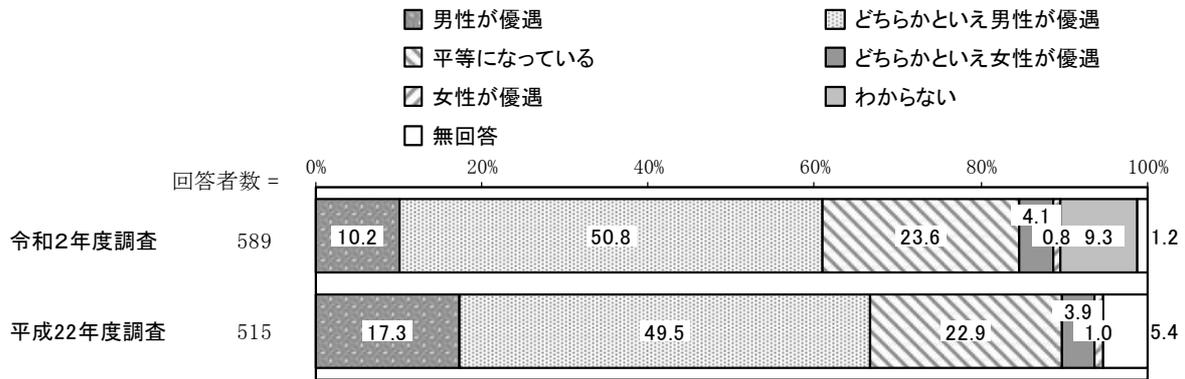
## 【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ“男性が優遇”の割合が高くなる傾向がみられ、50歳～59歳、60歳～69歳で約5割となっています。また、他に比べ、30歳～39歳で「平等になっている」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



## ⑦社会全体

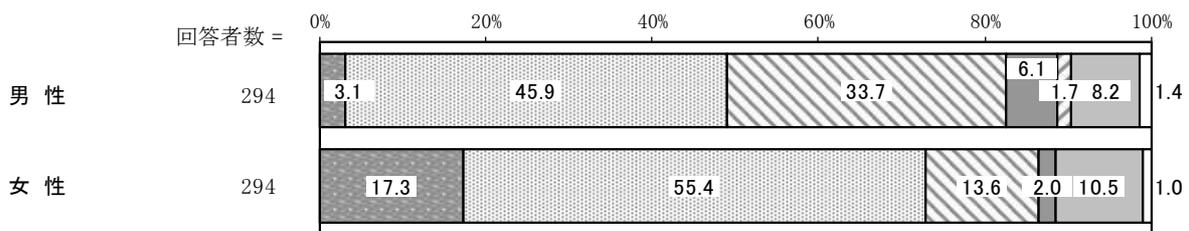
平成22年度調査と比較すると、“男性が優遇”の割合が減少しています。



※平成22年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

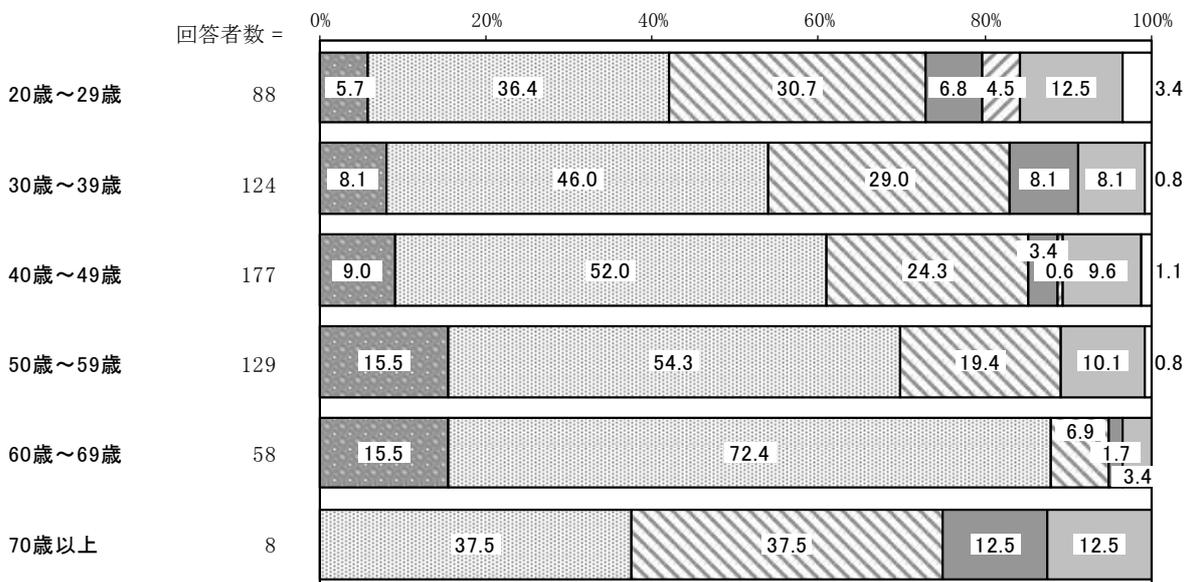
## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」「女性が優遇」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約7割となっています。



## 【年齢別】

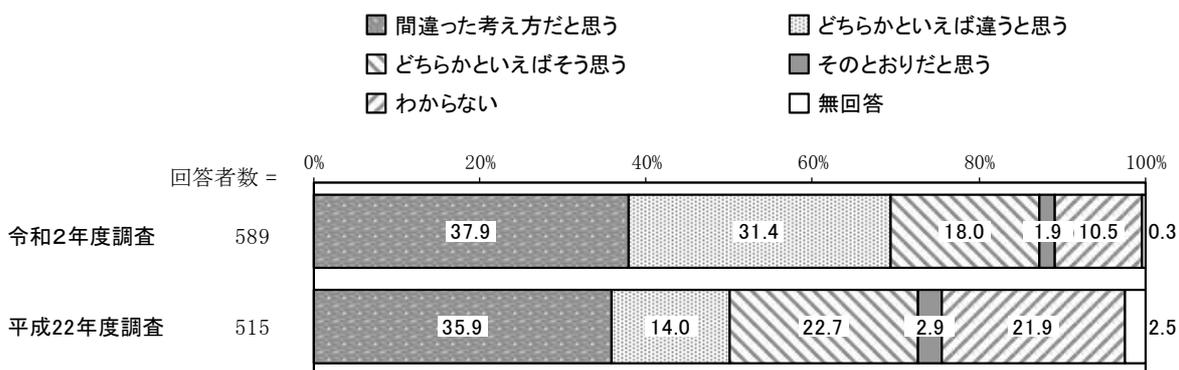
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“男性が優遇”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で約9割となっています。また、年齢が低くなるにつれ「平等になっている」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳、30歳～39歳で約3割となっています。



**問 13 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)**

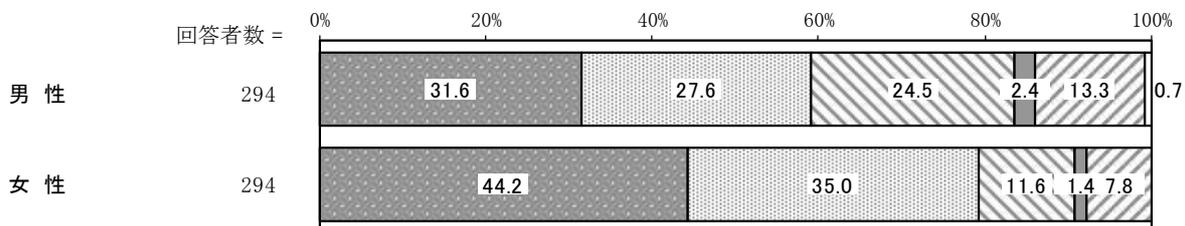
「間違った考え方だと思う」と「どちらかといえば違うと思う」をあわせた“間違った考え方だと思う”の割合が 69.3%、「どちらかといえばそう思う」と「そのとおりだと思う」をあわせた“そのとおりだと思う”の割合が 19.9%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、“間違った考え方だと思う”の割合が増加し、“そのとおりだと思う”の割合が減少しています。



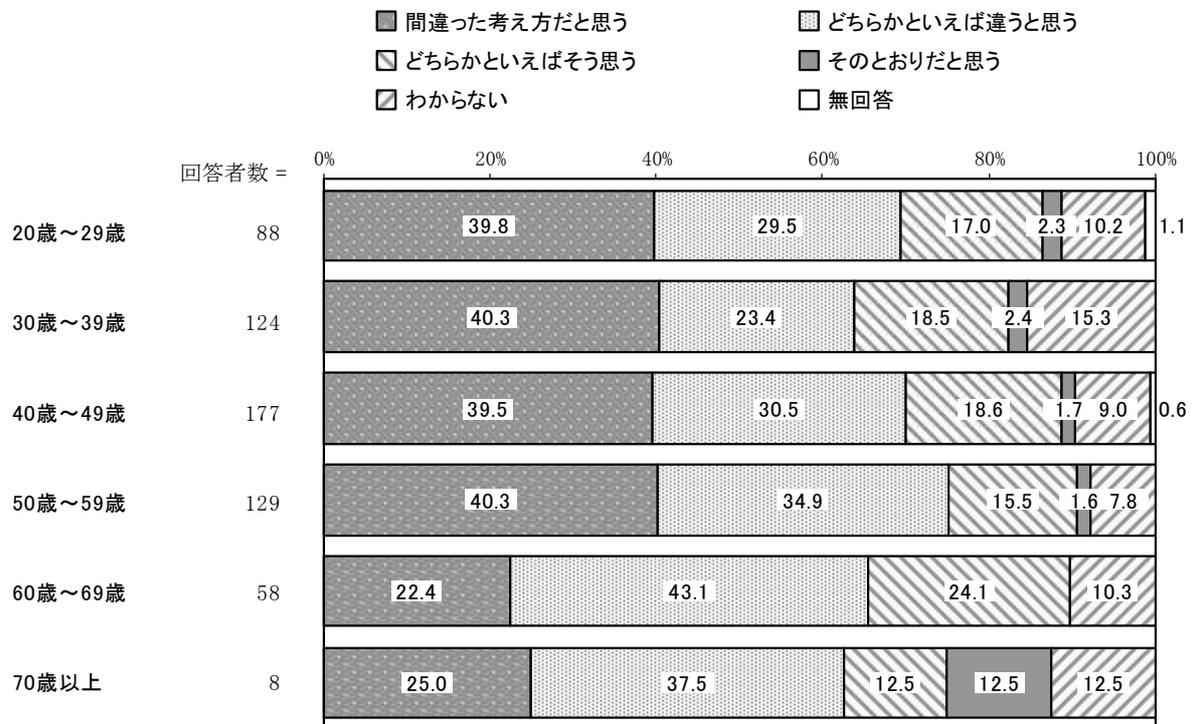
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で“そのとおりだと思う”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“間違った考え方だと思う”の割合が高く、約8割となっています。



【年齢別】

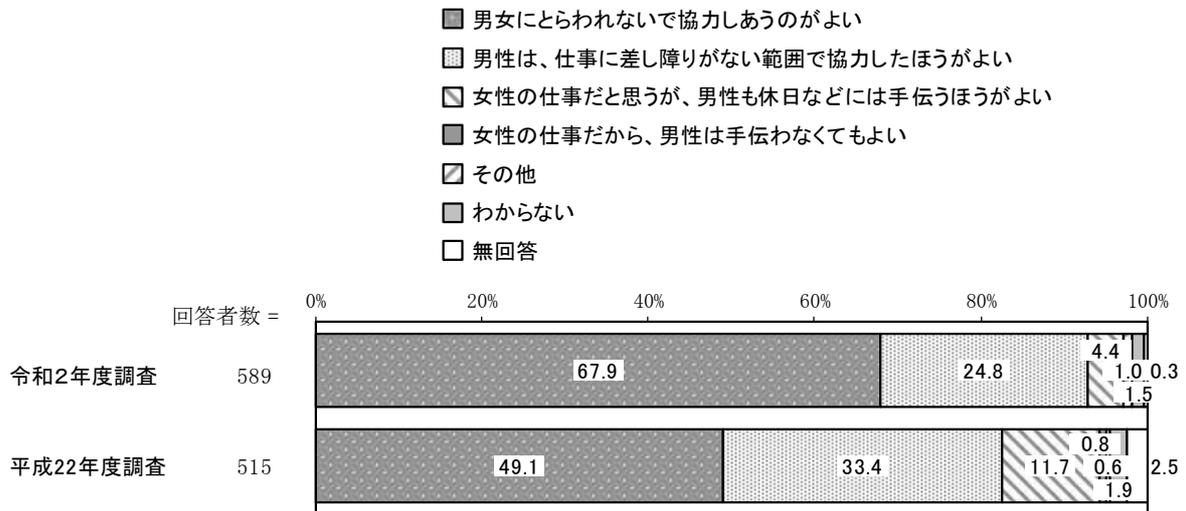
年齢別でみると、他に比べ、50歳～59歳で“間違った考え方だと思う”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



**問 14 あなたは家事についてどのような考えをもちていますか。(○は1つ)**

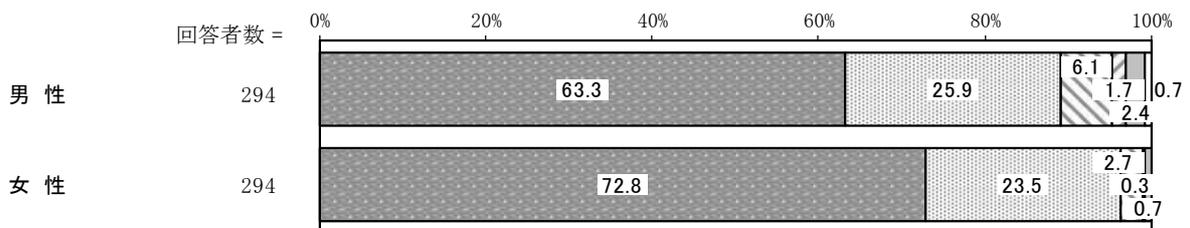
「男女にとらわれなくて協力しあうのがよい」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「男性は、仕事に差し障りがない範囲で協力したほうがよい」の割合が 24.8%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「男女にとらわれなくて協力しあうのがよい」の割合が増加し、「男性は、仕事に差し障りがない範囲で協力したほうがよい」「女性の仕事だと思いが、男性も休日などには手伝うほうがよい」の割合が減少しています。



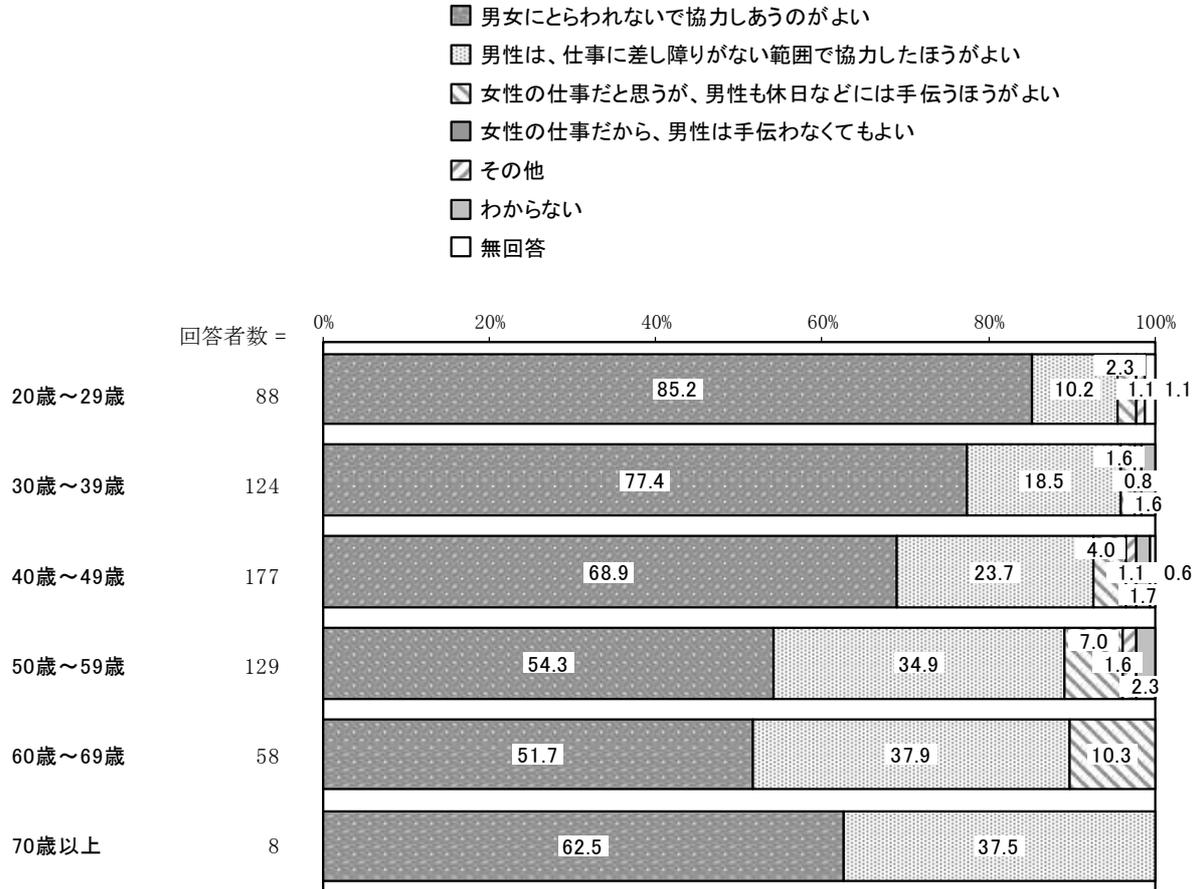
**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「男女にとらわれなくて協力しあうのがよい」の割合が高く、約7割となっています。



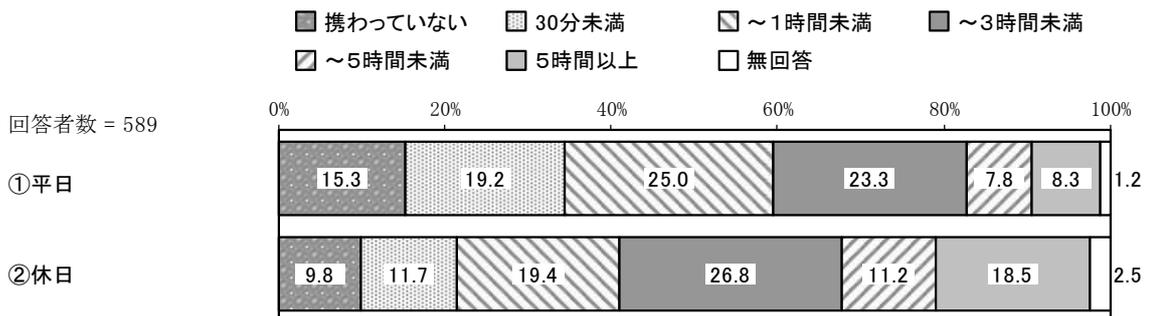
**【年齢別】**

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「男女にとらわれなくて協力しあうのがよい」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で8割台半ばとなっています。また、年齢が高くなるにつれ「男性は、仕事に差し障りがない範囲で協力したほうがよい」「女性の仕事だと思うが、男性も休日などには手伝うほうがよい」の割合が高くなる傾向がみられます。



**問 15 あなたが家事・育児・介護に携わる時間は、1日あたりどれくらいですか。(それぞれ○は1つ)**

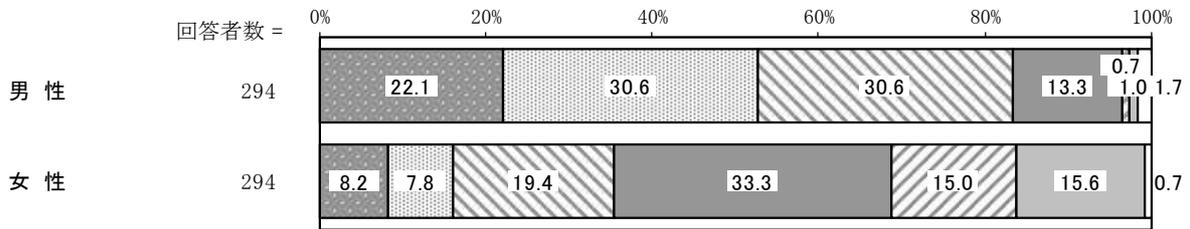
平日では、「～1時間未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「～3時間未満」の割合が23.3%、「30分未満」の割合が19.2%となっています。  
 休日では、「～3時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「～1時間未満」の割合が19.4%、「5時間以上」の割合が18.5%となっています。



①平日

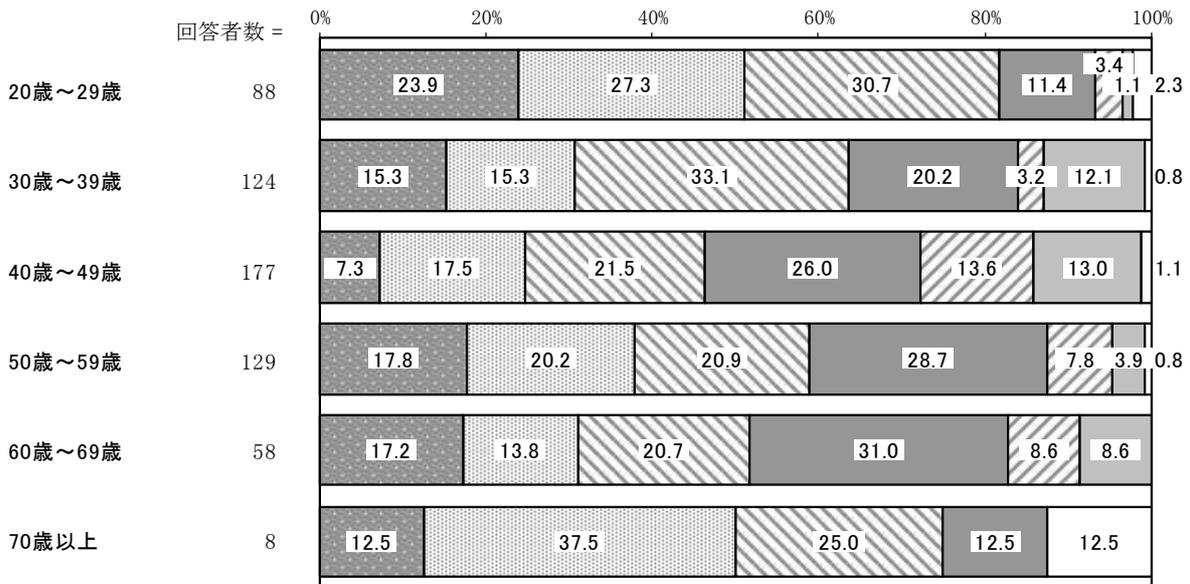
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「携わっていない」「30分未満」「～1時間未満」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「～3時間未満」「～5時間未満」「5時間以上」の割合が高くなっています。



【年齢別】

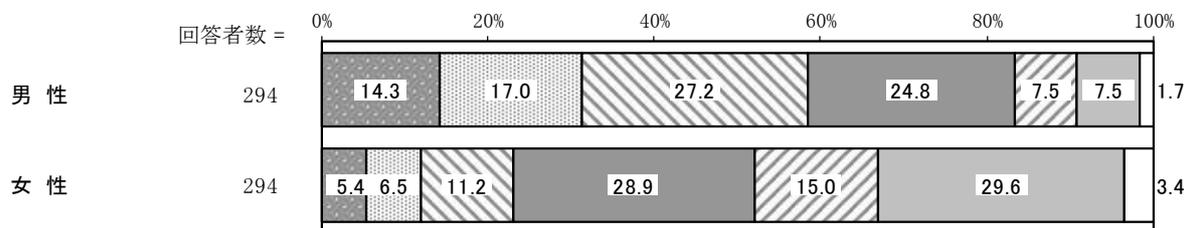
年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「～3時間未満」の割合が高くなる傾向がみられ、50歳～59歳、60歳～69歳で約3割となっています。また、20歳～29歳で「携わっていない」「30分未満」の割合が高くなっています。



## ②休日

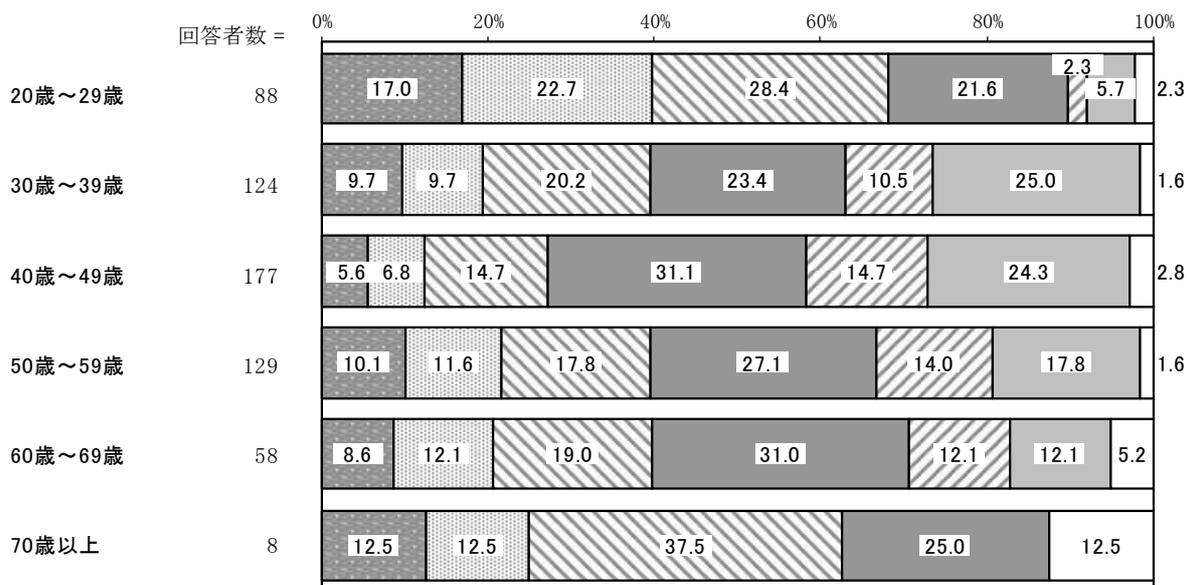
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「携わっていない」「30分未満」「～1時間未満」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「～5時間未満」「5時間以上」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「5時間以上」の割合が高くなっています。

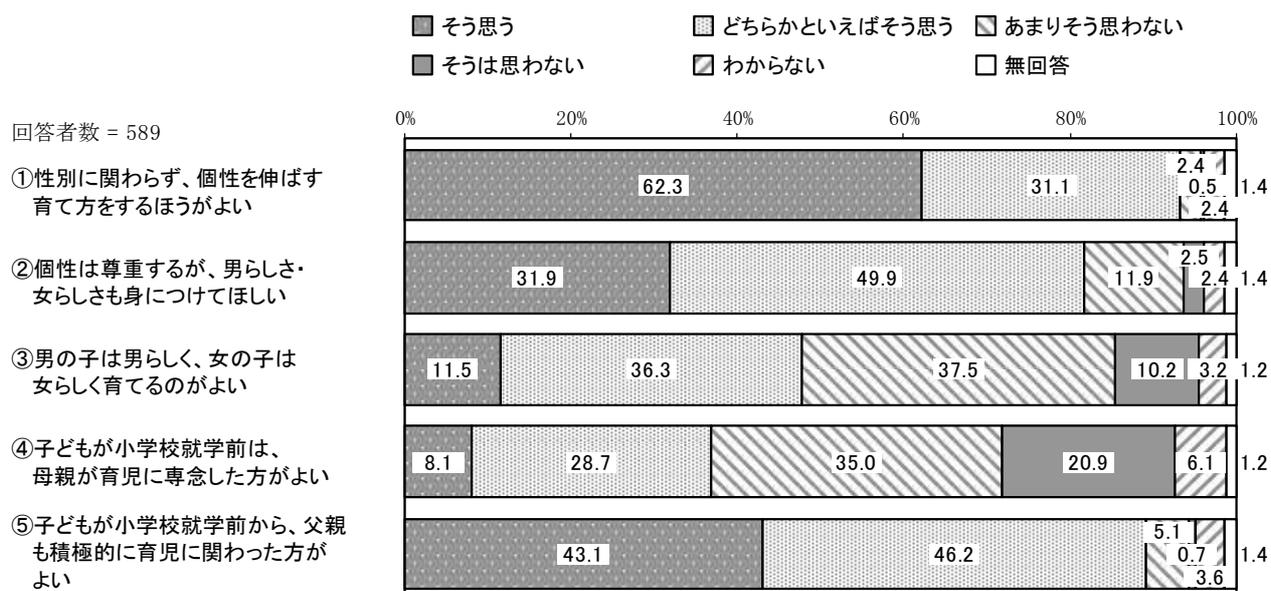


### (3) 子育てについて

#### 問 16 子育てに対する考え方についてどう思いますか。(○は各項目1つずつ)

『①性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をするほうがよい』『⑤子どもが小学校就学前から、父親も積極的に育児に関わった方がよい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、約9割となっています。

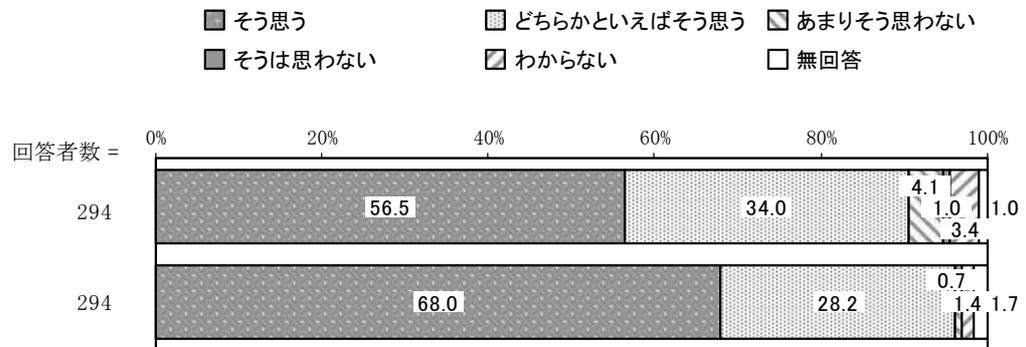
一方、『④子どもが小学校就学前は、母親が育児に専念した方がよい』で「あまりそう思わない」と「そうは思わない」をあわせた“そうは思わない”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



①性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をするほうがよい

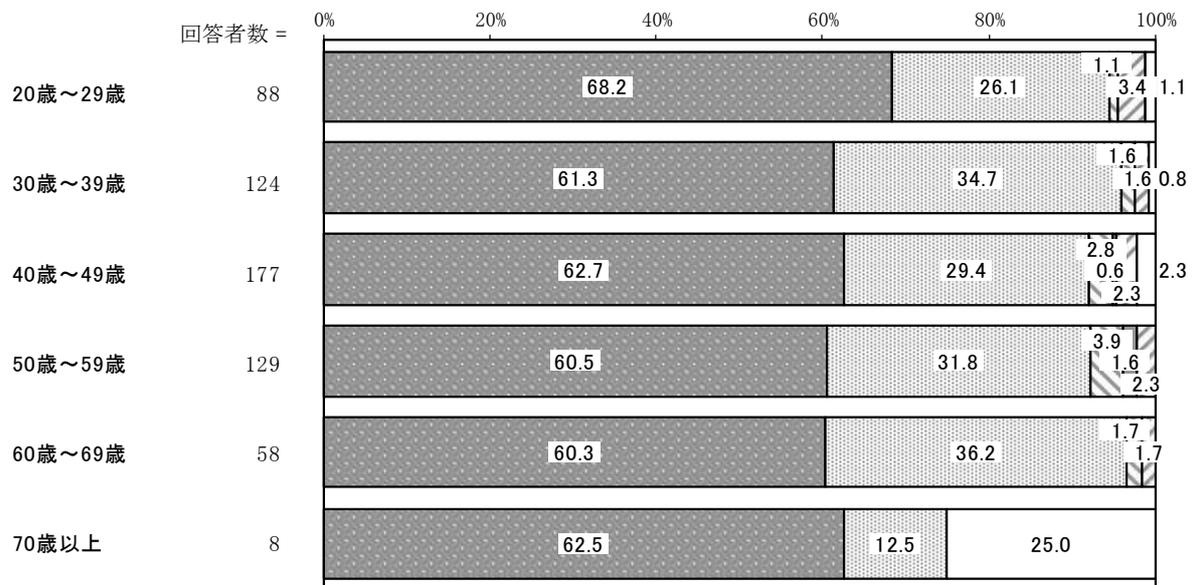
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、9割台半ばとなっています。



【年齢別】

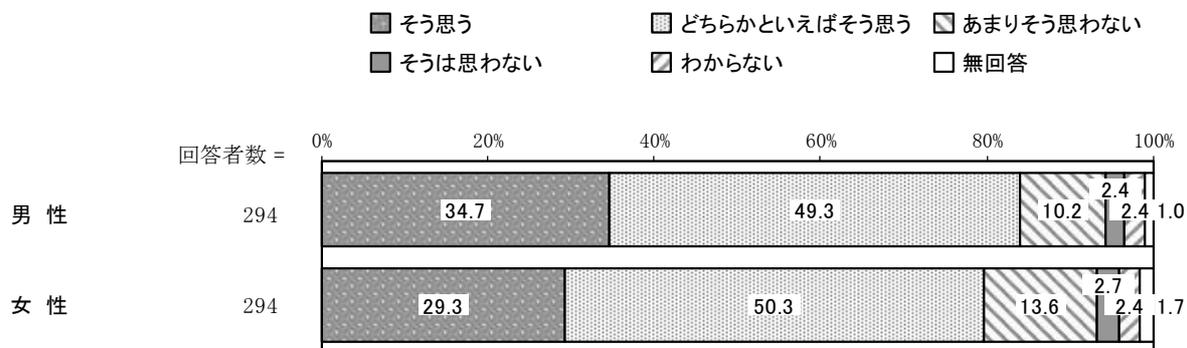
年齢別でみると、大きな差異はみられません。



②個性は尊重するが、男らしさ・女らしさも身につけてほしい

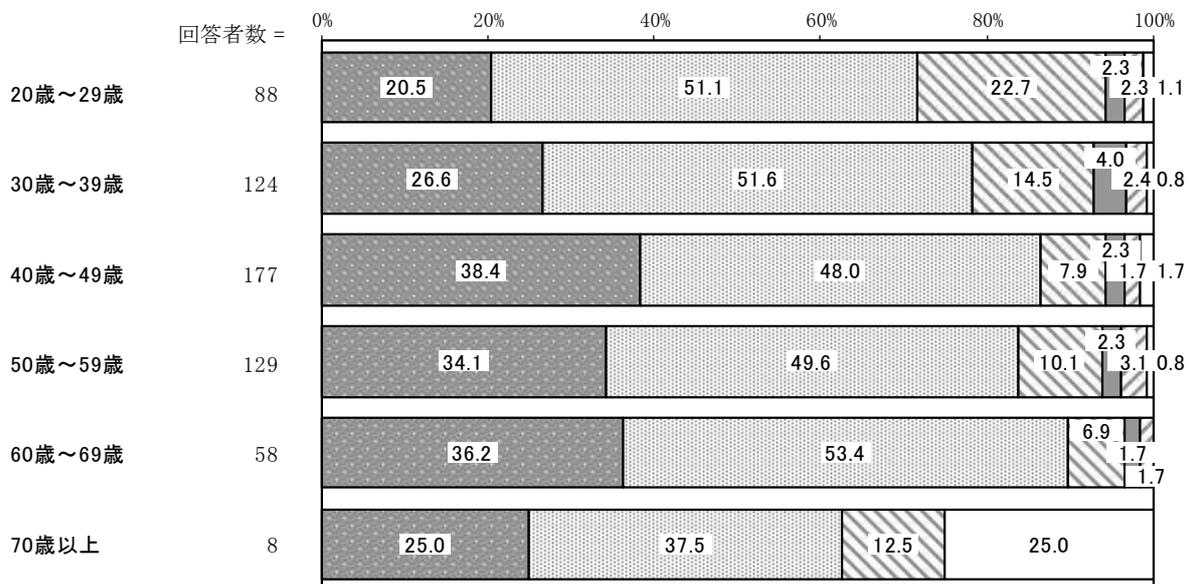
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【年齢別】

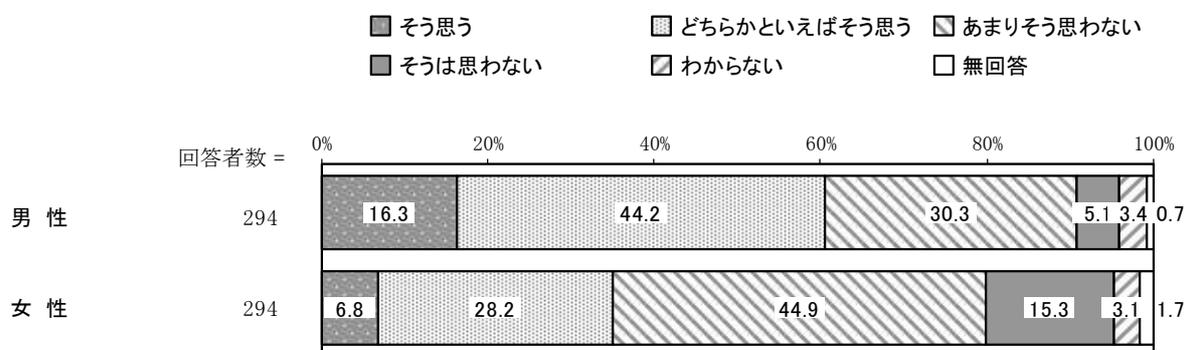
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ“そうは思わない”の割合が高くなる傾向がみられ、2割台半ばとなっています。また、他に比べ、60歳～69歳で“そう思う”の割合が高く、約9割となっています。



### ③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい

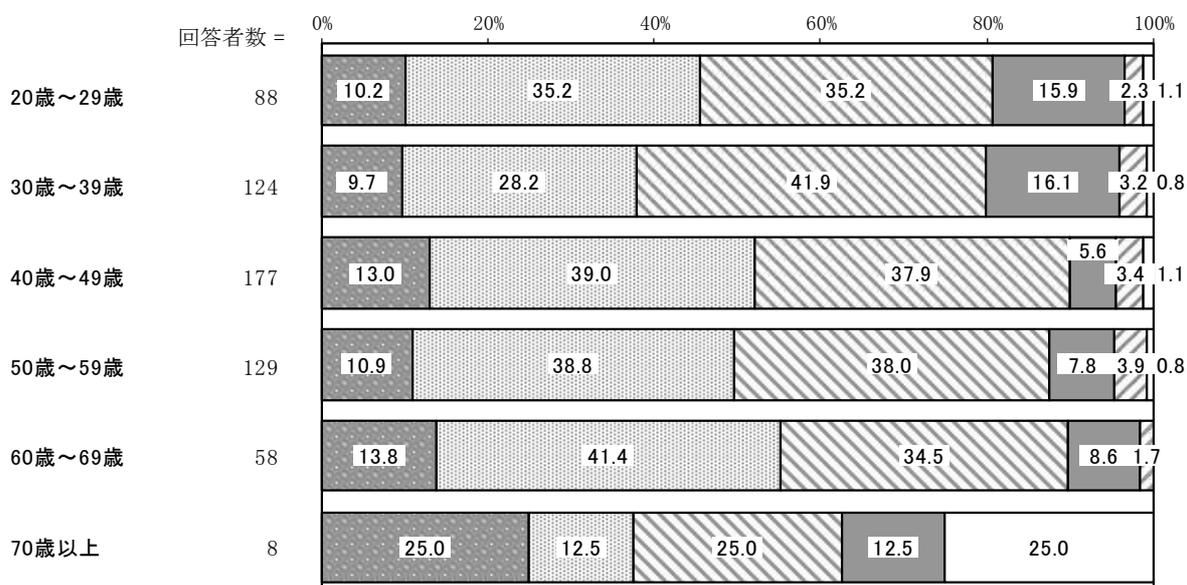
#### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。また、男性に比べ、女性で“そうは思わない”の割合が高く、約6割となっています。



#### 【年齢別】

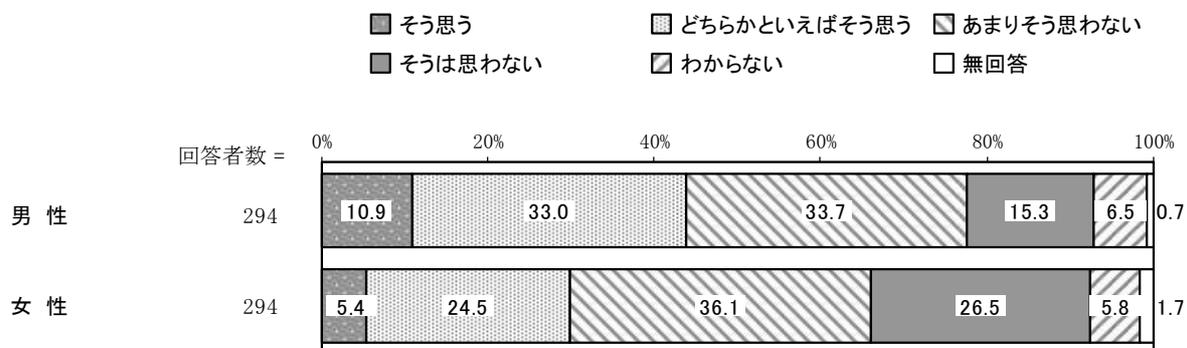
年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳で“そう思う”の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、30歳～39歳で“そうは思わない”の割合が高く、約6割となっています。



④子どもが小学校就学前は、母親が育児に専念した方がよい

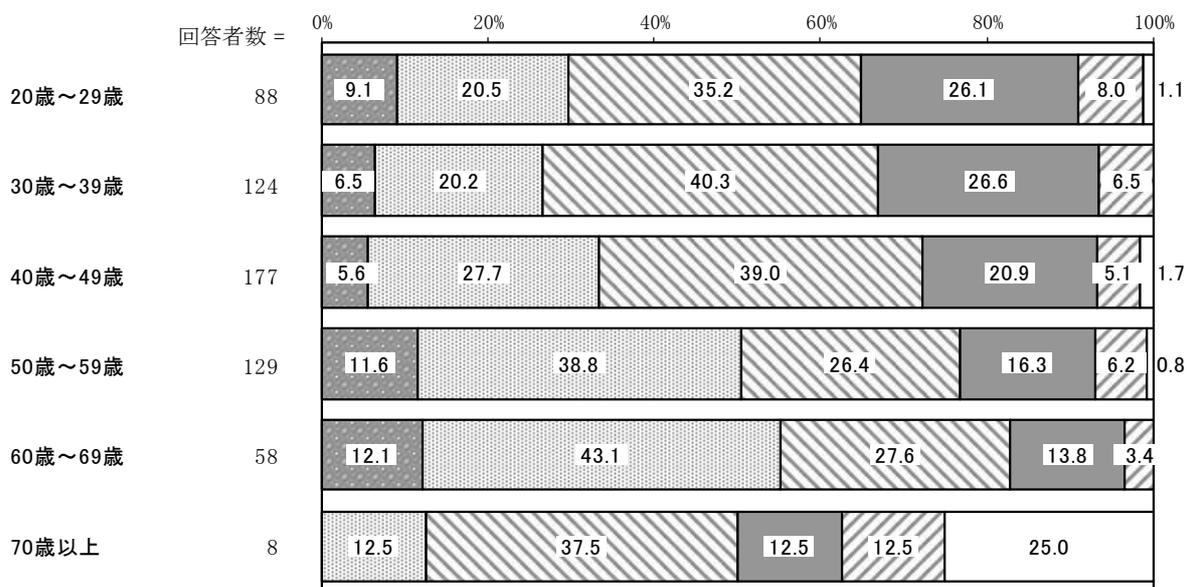
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で“そうは思わない”の割合が高く、約6割となっています。



【年齢別】

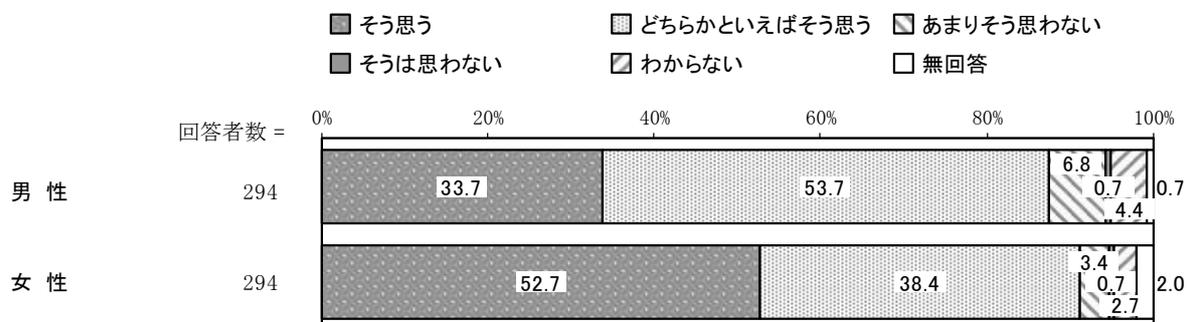
年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で“そう思う”の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、30歳～39歳で“そうは思わない”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



⑤子どもが小学校就学前から、父親も積極的に育児に関わった方がよい

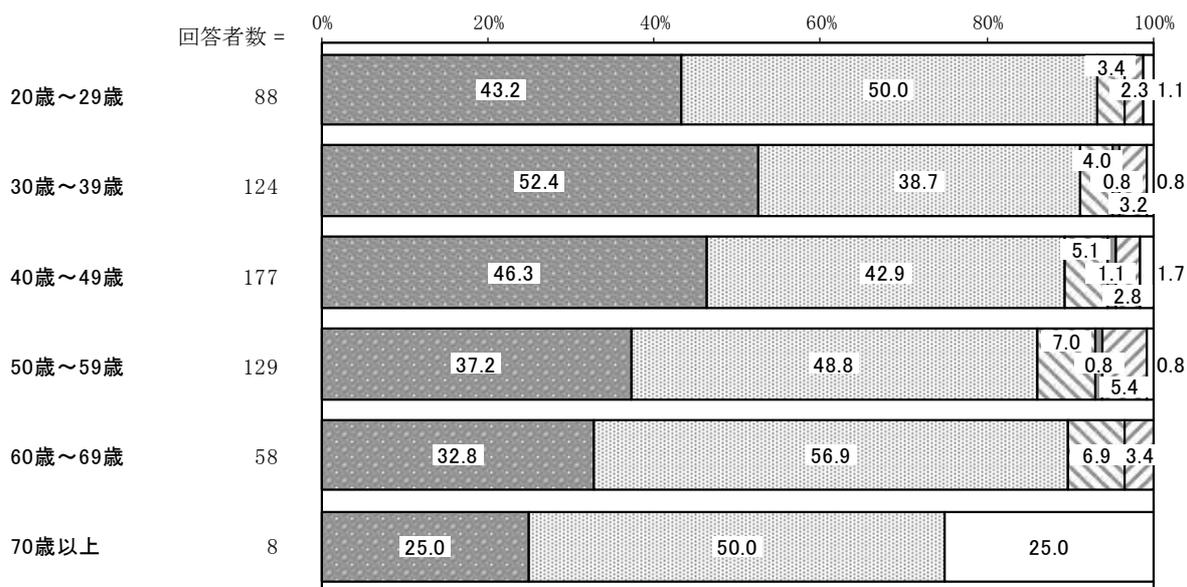
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

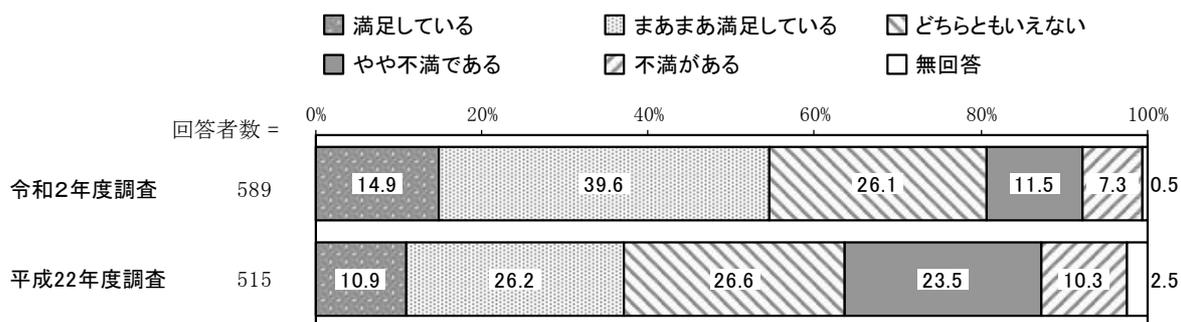


## (4) 就労について

### 問17 あなたは、現在の職場に満足していますか。(○は1つ)

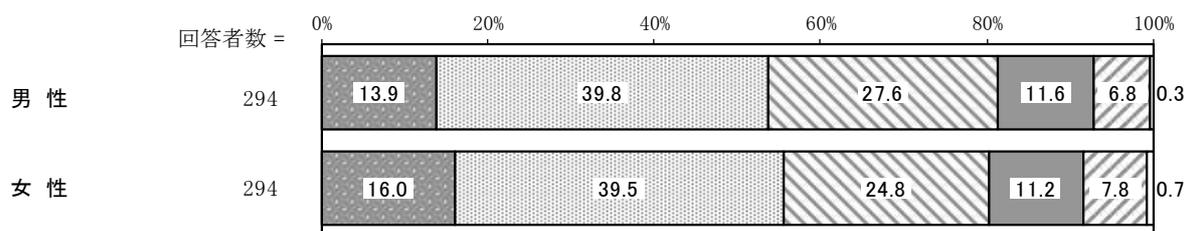
「満足している」と「まあまあ満足している」をあわせた“満足している”の割合が54.5%、「どちらともいえない」の割合が26.1%、「やや不満である」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が18.8%となっています。

平成22年度調査と比較すると、“満足している”の割合が増加し、“不満がある”の割合が減少しています。



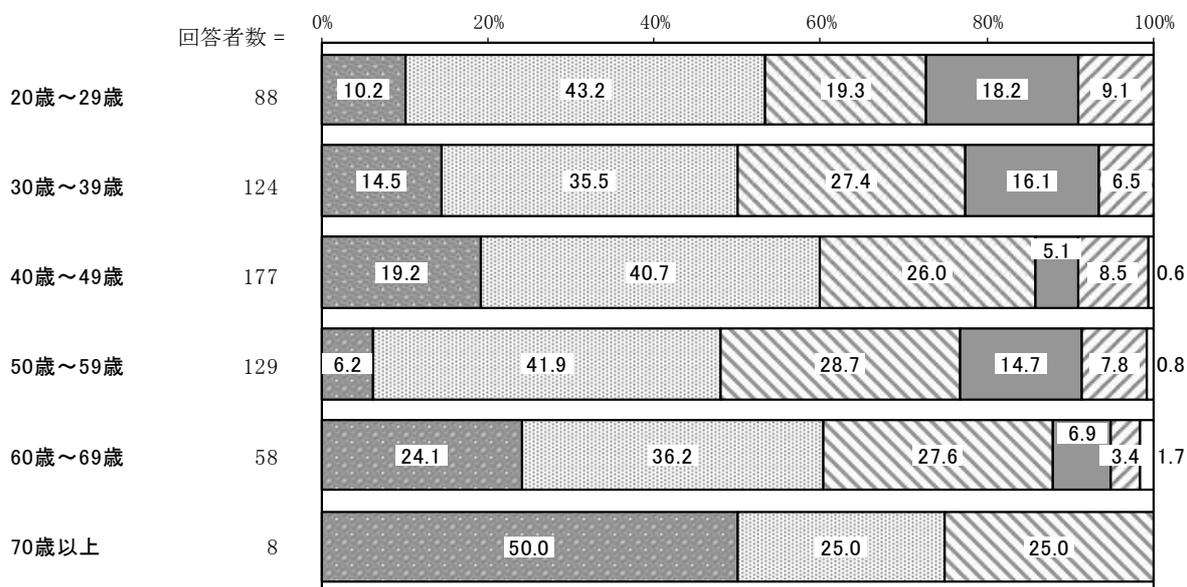
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳、60歳～69歳で“満足している”の割合が高く、約6割となっています。また、20歳～29歳で“不満がある”の割合が高く、約3割となっています。

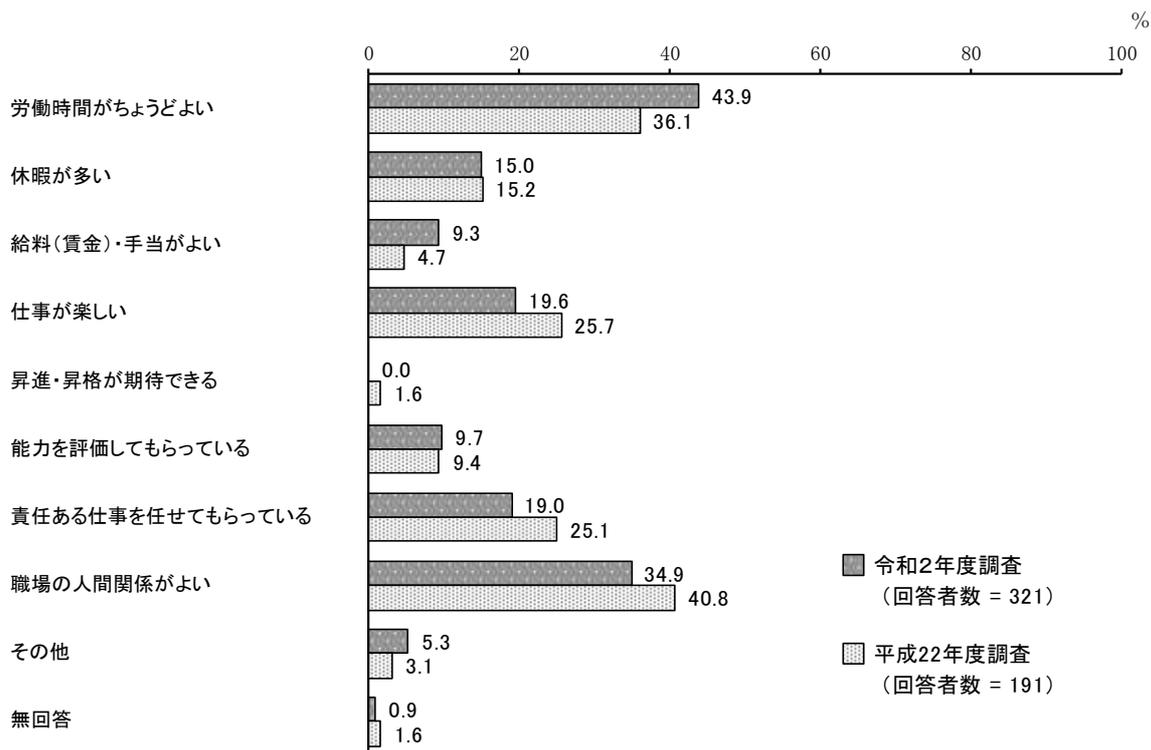


《問 17 で「満足している」か「まあまあ満足している」と答えられた方にお聞きします。》

**問 17-① その理由は何ですか。(○は2つまで)**

「労働時間がちょうどよい」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「職場の人間関係がよい」の割合が 34.9%、「仕事楽しい」の割合が 19.6%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「労働時間がちょうどよい」の割合が増加しています。一方、「仕事楽しい」「責任ある仕事を任せてもらっている」「職場の人間関係がよい」の割合が減少しています。



**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「責任ある仕事を任せてもらっている」の割合が高く、約 3 割となっています。また、男性に比べ、女性で「労働時間がちょうどよい」「仕事楽しい」「職場の人間関係がよい」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 労働時間がちょうどよい | 休暇が多い | 給料(賃金)・手当がよい | 仕事楽しい | 昇進・昇格が期待できる | 能力を評価してもらっている | 責任ある仕事を任せてもらっている | 職場の人間関係がよい | その他 | 無回答 |
|----|----------|-------------|-------|--------------|-------|-------------|---------------|------------------|------------|-----|-----|
| 男性 | 158      | 39.2        | 15.2  | 10.1         | 15.2  | —           | 11.4          | 27.8             | 25.9       | 5.7 | 0.6 |
| 女性 | 163      | 48.5        | 14.7  | 8.6          | 23.9  | —           | 8.0           | 10.4             | 43.6       | 4.9 | 1.2 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で「労働時間がちょうどよい」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

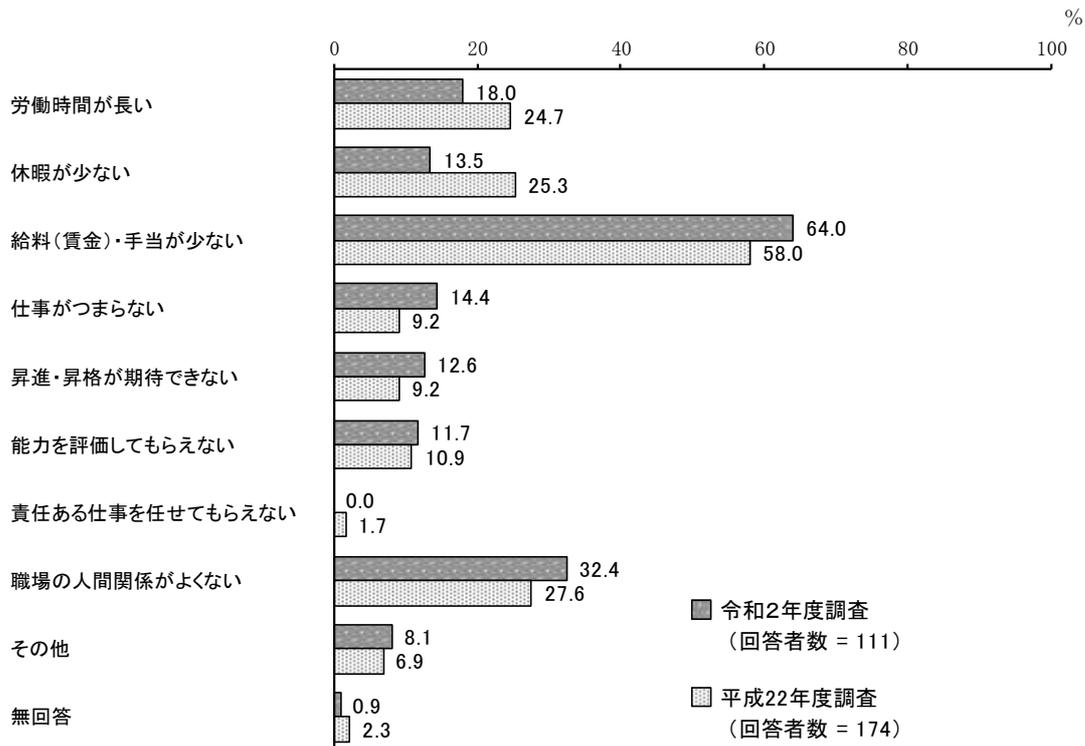
| 区分      | 回答者数(件) | 労働時間がちょうどよい | 休暇が多い | 給料(賃金)・手当がよい | 仕事楽しい | 昇進・昇格が期待できる | 能力を評価してもらっている | 責任ある仕事を任せてもらっている | 職場の人間関係がよい | その他 | 無回答 |
|---------|---------|-------------|-------|--------------|-------|-------------|---------------|------------------|------------|-----|-----|
| 20歳～29歳 | 47      | 34.0        | 14.9  | 10.6         | 19.1  | —           | 4.3           | 12.8             | 25.5       | 6.4 | 2.1 |
| 30歳～39歳 | 62      | 48.4        | 17.7  | 8.1          | 16.1  | —           | 11.3          | 17.7             | 38.7       | 3.2 | —   |
| 40歳～49歳 | 106     | 41.5        | 13.2  | 9.4          | 18.9  | —           | 7.5           | 21.7             | 34.0       | 6.6 | 1.9 |
| 50歳～59歳 | 62      | 40.3        | 14.5  | 12.9         | 17.7  | —           | 14.5          | 21.0             | 35.5       | 6.5 | —   |
| 60歳～69歳 | 35      | 57.1        | 20.0  | 5.7          | 22.9  | —           | 11.4          | 20.0             | 40.0       | 2.9 | —   |
| 70歳以上   | 6       | 83.3        | —     | —            | 50.0  | —           | 16.7          | —                | 33.3       | —   | —   |

《問17で「やや不満である」か「不満がある」と答えられた方にお聞きします。》

**問17-② その理由は何ですか。(〇は2つまで)**

「給料(賃金)・手当が少ない」の割合が64.0%と最も高く、次いで「職場の人間関係が良くない」の割合が32.4%、「労働時間が長い」の割合が18.0%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「給料(賃金)・手当が少ない」「仕事がつまらない」の割合が増加しています。一方、「労働時間が長い」「休暇が少ない」の割合が減少しています。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「休暇が少ない」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 労働時間が長い | 休暇が少ない | 給料(賃金)・手当が少ない | 仕事がつまらない | 昇進・昇格が期待できない | 能力を評価してもらえない | 責任ある仕事を任せてもらえない | 職場の人間関係がよくない | その他 | 無回答 |
|----|---------|---------|--------|---------------|----------|--------------|--------------|-----------------|--------------|-----|-----|
| 男性 | 54      | 18.5    | 9.3    | 61.1          | 16.7     | 13.0         | 11.1         | —               | 35.2         | 7.4 | 1.9 |
| 女性 | 56      | 17.9    | 17.9   | 66.1          | 12.5     | 12.5         | 12.5         | —               | 30.4         | 8.9 | —   |

### 【年齢別】

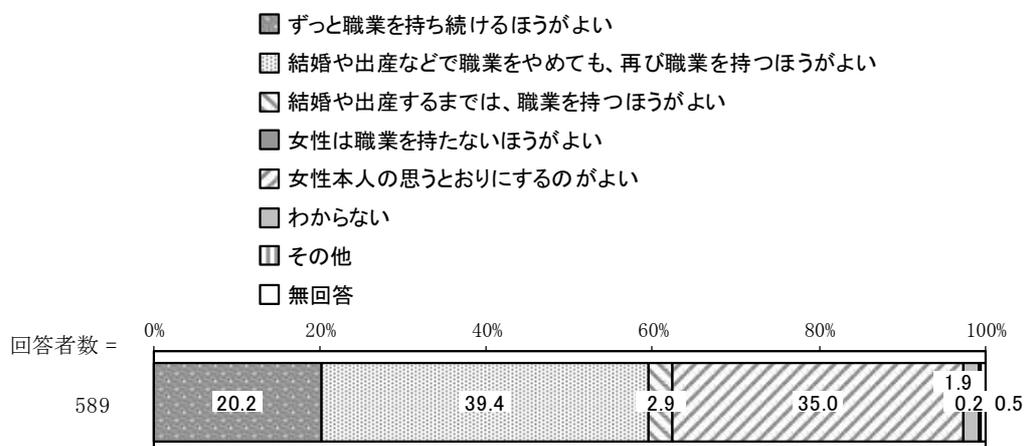
年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で「給料(賃金)・手当が少ない」「昇進・昇格が期待できない」の割合が高くなっています。また、20歳～29歳で「職場の人間関係がよくない」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 労働時間が長い | 休暇が少ない | 給料(賃金)・手当が少ない | 仕事がつまらない | 昇進・昇格が期待できない | 能力を評価してもらえない | 責任ある仕事を任せてもらえない | 職場の人間関係がよくない | その他  | 無回答  |
|---------|---------|---------|--------|---------------|----------|--------------|--------------|-----------------|--------------|------|------|
| 20歳～29歳 | 24      | 20.8    | 16.7   | 62.5          | 16.7     | —            | 12.5         | —               | 41.7         | 12.5 | —    |
| 30歳～39歳 | 28      | 21.4    | 21.4   | 53.6          | 21.4     | 10.7         | 7.1          | —               | 28.6         | 3.6  | —    |
| 40歳～49歳 | 24      | 16.7    | 12.5   | 79.2          | 8.3      | 25.0         | 8.3          | —               | 29.2         | —    | —    |
| 50歳～59歳 | 29      | 17.2    | 6.9    | 69.0          | 13.8     | 10.3         | 6.9          | —               | 34.5         | 17.2 | —    |
| 60歳～69歳 | 6       | —       | —      | 33.3          | —        | 33.3         | 66.7         | —               | 16.7         | —    | 16.7 |
| 70歳以上   | —       | —       | —      | —             | —        | —            | —            | —               | —            | —    | —    |

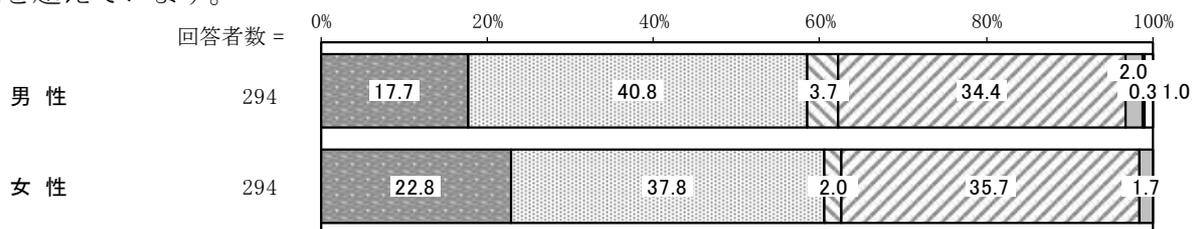
**問 18 女性が職業を持つことについて、どう考えますか。(〇は1つ)**

「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が 35.0%、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」の割合が 20.2%となっています。



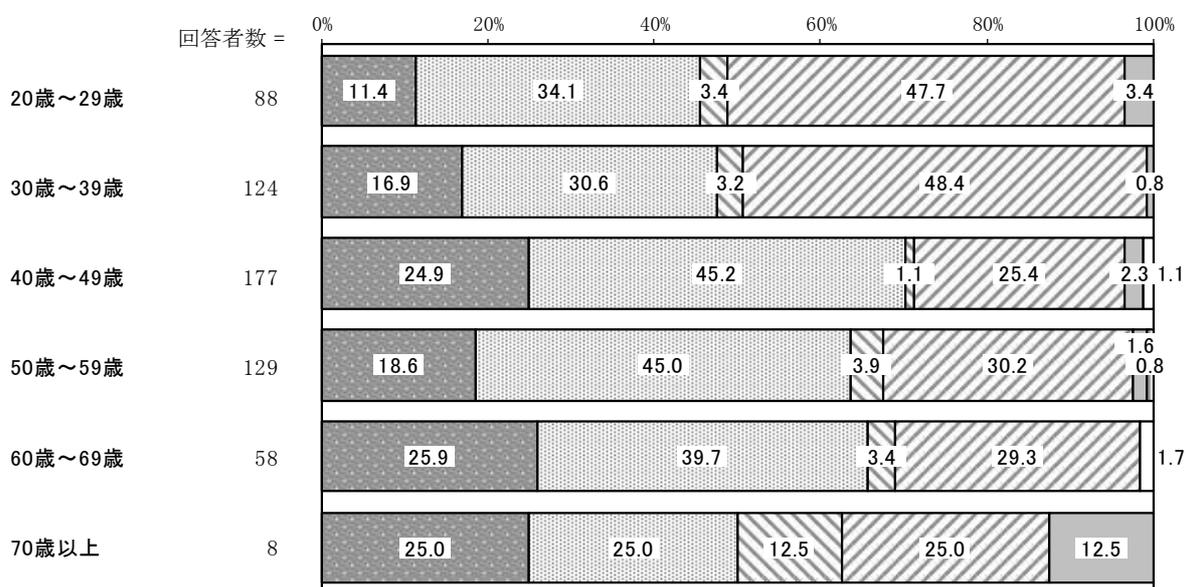
**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」の割合が高く、2割を超えています。



**【年齢別】**

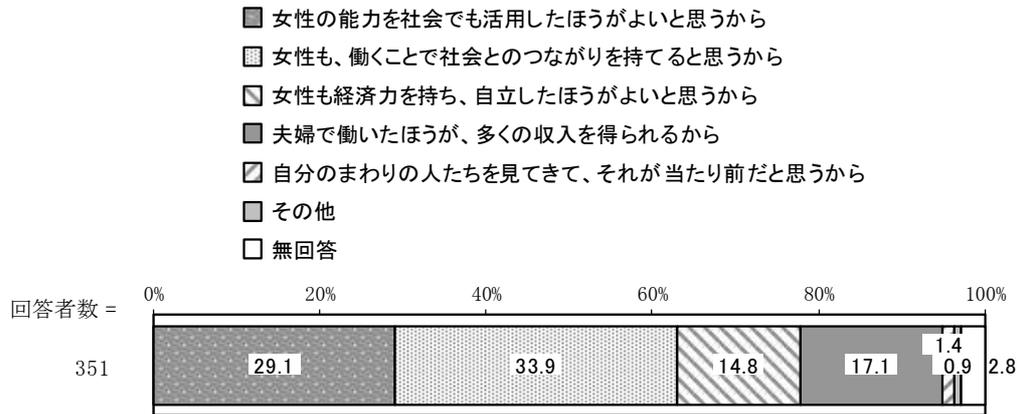
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳で「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が高く、約5割となっています。40歳～49歳、50歳～59歳で「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



《問 18 で「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」か「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」と答えられた方にお聞きします。》

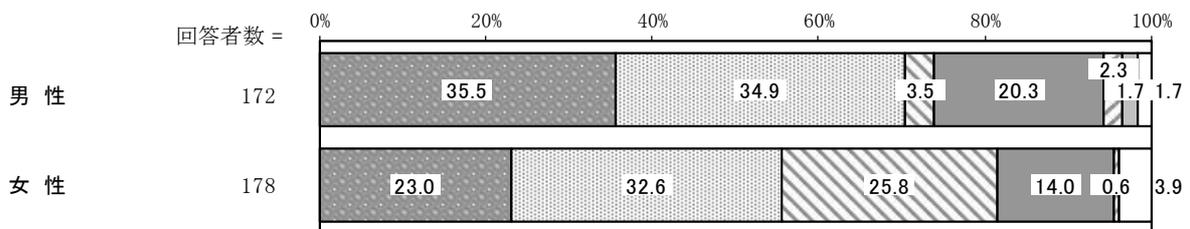
**問 18-① それほどのような理由からですか。(○は1つ)**

「女性も、働くことで社会とのつながりを持てると思うから」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が 29.1%、「夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから」の割合が 17.1%となっています。



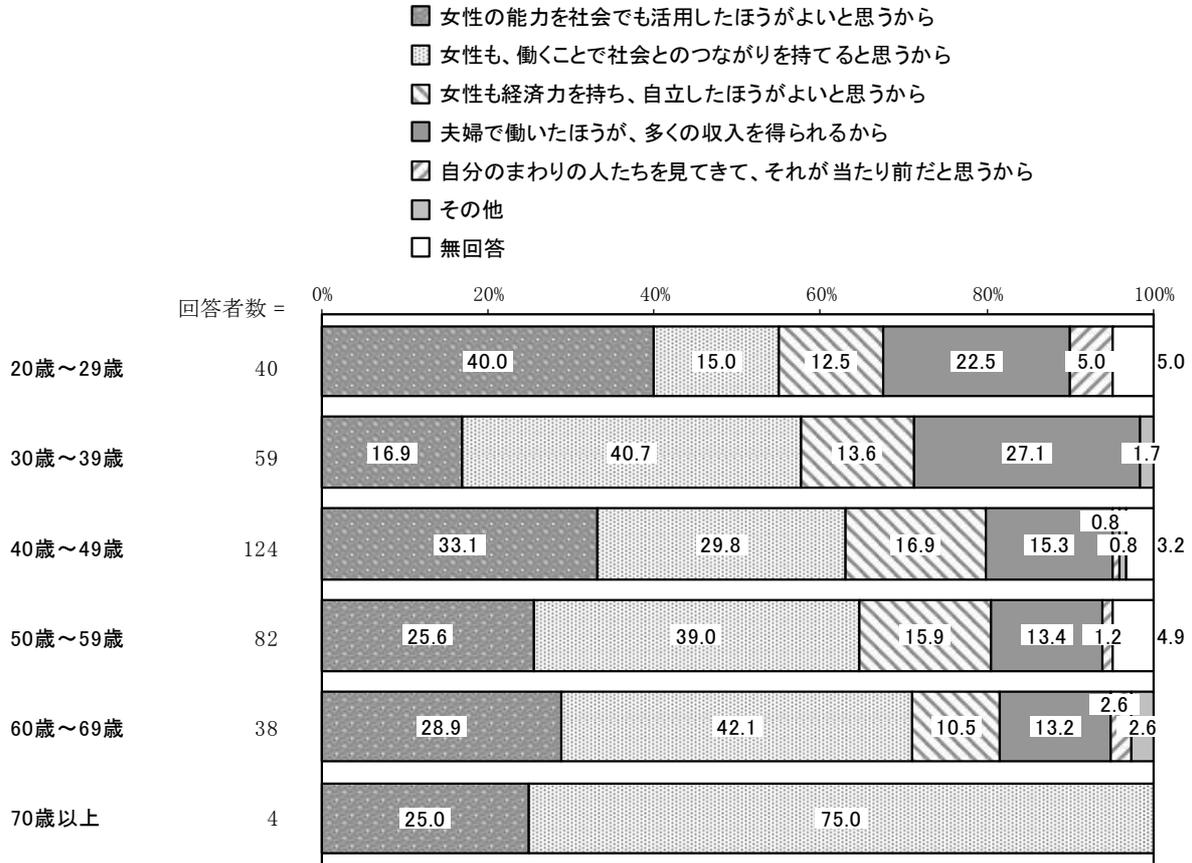
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」「夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「女性も経済力を持ち、自立したほうがよいと思うから」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が高く、約4割となっています。また、30歳～39歳で「夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから」の割合が高く、約3割となっています。

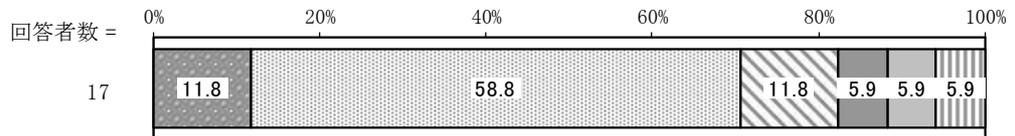


《問 18 で「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」か「女性は職業を持たないほうがよい」と答えられた方にお聞きします。》

**問 18-② それほどのような理由からですか。(○は1つ)**

「仕事と家庭の両立は難しいと思うから」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「女性は家庭を優先するべきだと思うから」、「労働条件（収入など）において男女の差があり、女性に不利な面が多いと思うから」の割合が 11.8%となっています。

- 女性は家庭を優先するべきだと思うから
- 仕事と家庭の両立は難しいと思うから
- 労働条件(収入など)において男女の差があり、女性に不利な面が多いと思うから
- 子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから
- 男性が家族を養うべきだと思うから
- 自分のまわりの人たちを見てきて、それが当たり前だと思うから
- その他
- 無回答



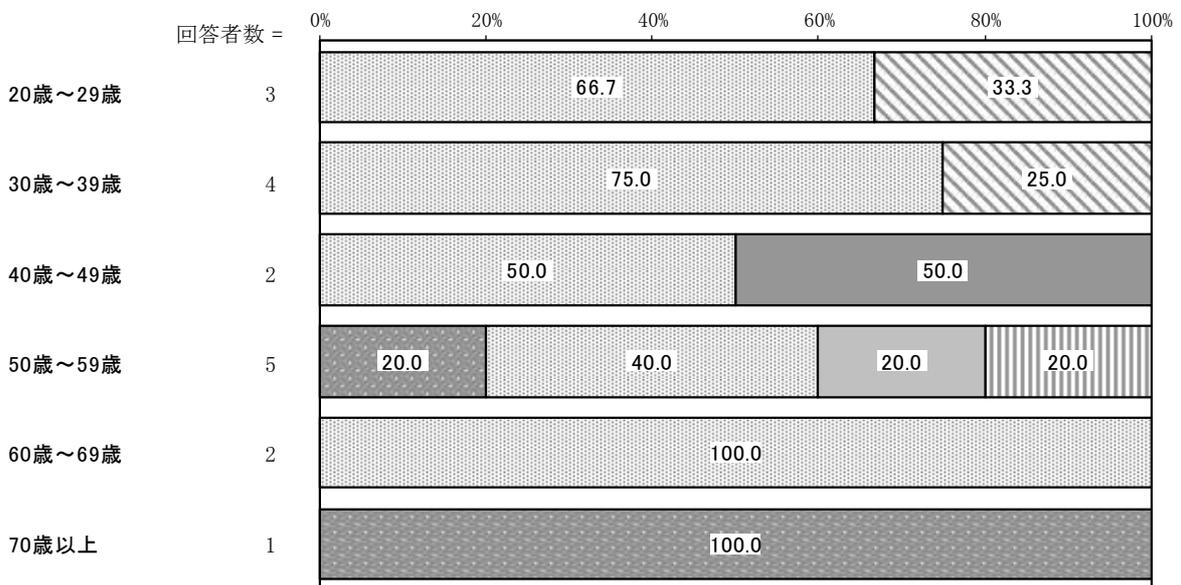
**【性別】**

性別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。



**【年齢別】**

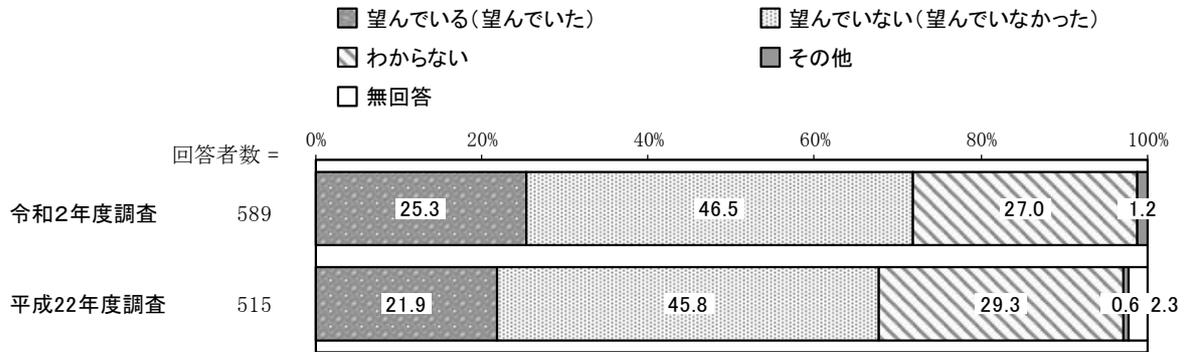
年齢別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。



**問 19 あなたは、役職に就くことを望みますか。または、望んでいましたか。**  
**(○は1つ)**

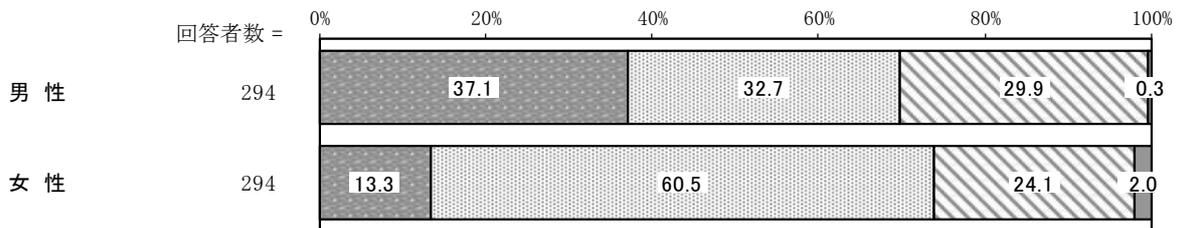
「望んでいない（望んでいなかった）」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 27.0%、「望んでいる（望んでいた）」の割合が 25.3%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



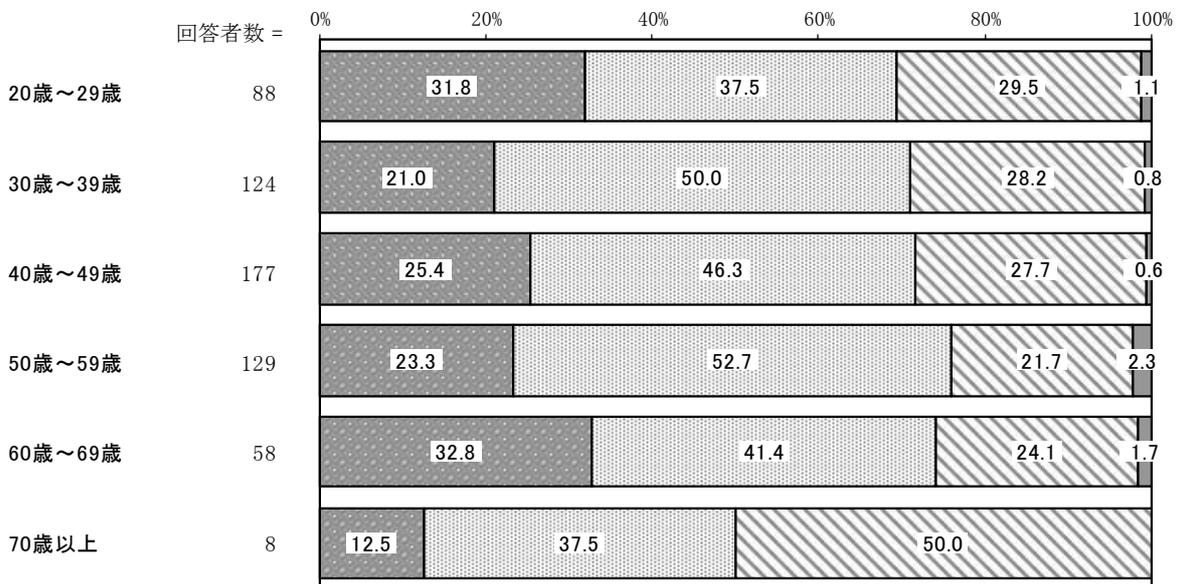
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「望んでいる（望んでいた）」の割合が高く、約 4 割となっています。また、男性に比べ、女性で「望んでいない（望んでいなかった）」の割合が高く、約 6 割となっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、20 歳～29 歳、60 歳～69 歳で「望んでいる（望んでいた）」の割合が高く、約 3 割となっています。また、30 歳～39 歳、50 歳～59 歳で「望んでいない（望んでいなかった）」の割合が高く、約 5 割となっています。

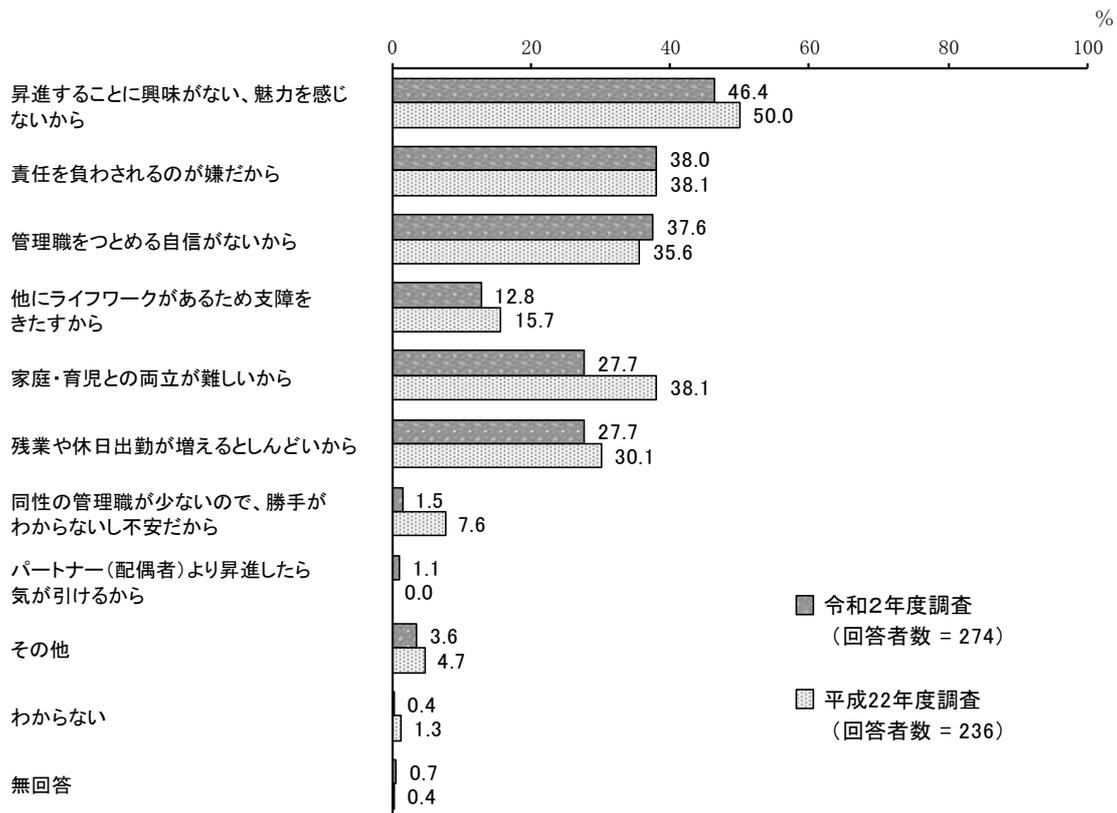


《問 19 で「望んでいない（望んでいなかった）」と答えられた方にお聞きします。》

問 19-① それはどのような理由からですか。（○は主なもの3つまで）

「昇進することに興味がない、魅力を感じないから」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「責任を負わされるのが嫌だから」の割合が 38.0%、「管理職をつとめる自信がないから」の割合が 37.6%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「家庭・育児との両立が難しいから」「同性の管理職が少ないので、勝手がわからないし不安だから」の割合が減少しています。



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「昇進することに興味がない、魅力を感じないから」の割合が高く、約6割となっています。また、男性に比べ、女性で「家庭・育児との両立が難しいから」「残業や休日出勤が増えるとしんどいから」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 昇進することに関心がない、魅力を感じないから | 責任を負わされるのが嫌だから | 管理職をとめる自信がないから | 他にライフワークがあるため支障をきたすから | 家庭・育児との両立が難しいから | 残業や休日出勤が増えるとしんどいから | 同様の管理職が少ないので、手がわからないし不安だから | パートナー(配偶者)より昇進したら気が引けるから | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|------------------------|----------------|----------------|-----------------------|-----------------|--------------------|----------------------------|--------------------------|-----|-------|-----|
| 男性 | 96      | 58.3                   | 39.6           | 38.5           | 15.6                  | 4.2             | 21.9               | —                          | —                        | 5.2 | —     | —   |
| 女性 | 178     | 39.9                   | 37.1           | 37.1           | 11.2                  | 40.4            | 30.9               | 2.2                        | 1.7                      | 2.8 | 0.6   | 1.1 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「昇進することに興味がない、魅力を感じないから」の割合が高く、約6割となっています。また、20歳～29歳で「残業や休日出勤が増えるとしんどいから」の割合が、40歳～49歳で「家庭・育児との両立が難しいから」の割合が高く、約4割となっています。

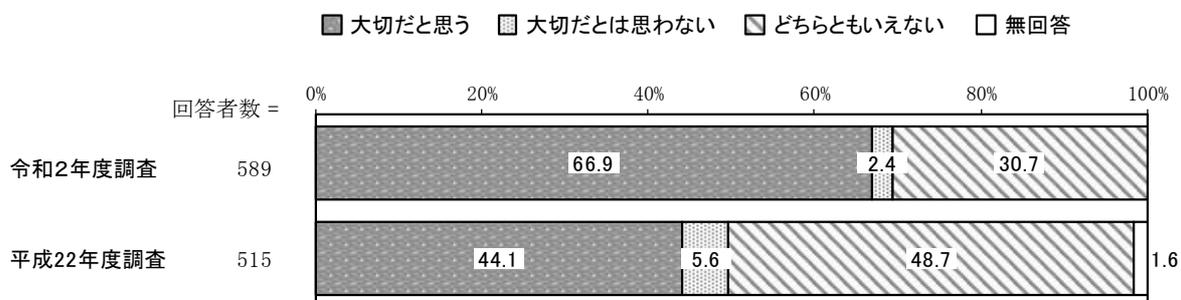
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 昇進することに関心がない、魅力を感じないから | 責任を負わされるのが嫌だから | 管理職をとめる自信がないから | 他にライフワークがあるため支障をきたすから | 家庭・育児との両立が難しいから | 残業や休日出勤が増えるとしんどいから | 同様の管理職が少ないので、手がわからないし不安だから | パートナー(配偶者)より昇進したら気が引けるから | その他  | わからない | 無回答 |
|---------|---------|------------------------|----------------|----------------|-----------------------|-----------------|--------------------|----------------------------|--------------------------|------|-------|-----|
| 20歳～29歳 | 33      | 36.4                   | 57.6           | 36.4           | 9.1                   | 9.1             | 39.4               | 3.0                        | —                        | 6.1  | —     | —   |
| 30歳～39歳 | 62      | 58.1                   | 45.2           | 37.1           | 14.5                  | 25.8            | 24.2               | 1.6                        | 1.6                      | 1.6  | —     | 1.6 |
| 40歳～49歳 | 82      | 34.1                   | 30.5           | 40.2           | 17.1                  | 41.5            | 25.6               | 1.2                        | 1.2                      | 4.9  | —     | 1.2 |
| 50歳～59歳 | 68      | 52.9                   | 36.8           | 33.8           | 7.4                   | 22.1            | 33.8               | —                          | 1.5                      | 2.9  | —     | —   |
| 60歳～69歳 | 24      | 54.2                   | 25.0           | 45.8           | 12.5                  | 33.3            | 16.7               | 4.2                        | —                        | —    | —     | —   |
| 70歳以上   | 3       | 33.3                   | —              | —              | —                     | —               | —                  | —                          | —                        | 33.3 | 33.3  | —   |

**問 20 あなたは、役職に就く女性が増えることをどう思いますか。(○は1つ)**

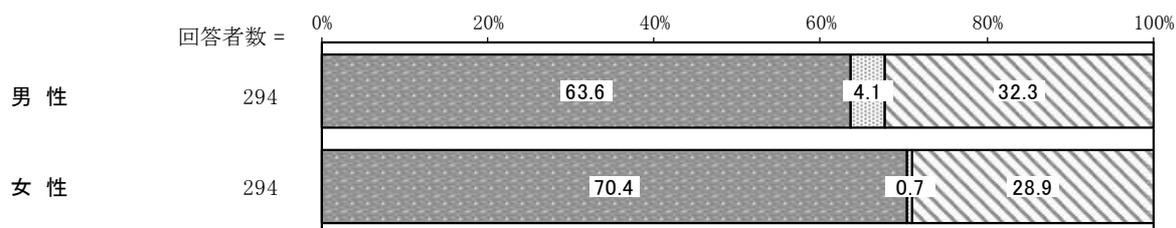
「大切だと思う」の割合が66.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が30.7%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「大切だと思う」の割合が増加し、「どちらともいえない」の割合が減少しています。



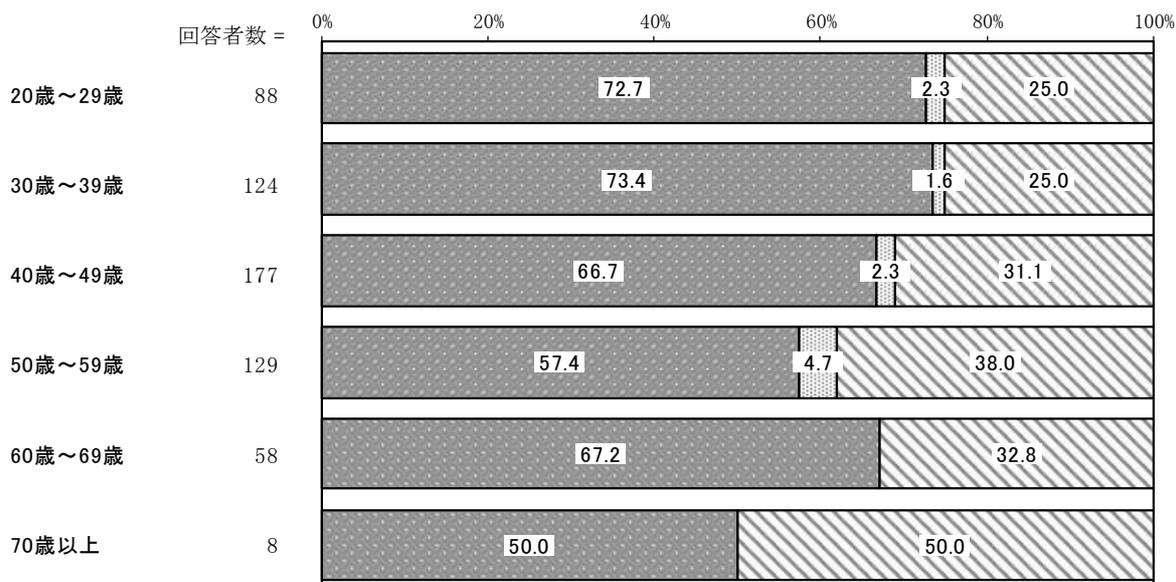
**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「大切だと思う」の割合が高く、約7割となっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳で「大切だと思う」の割合が高く、約7割となっています。

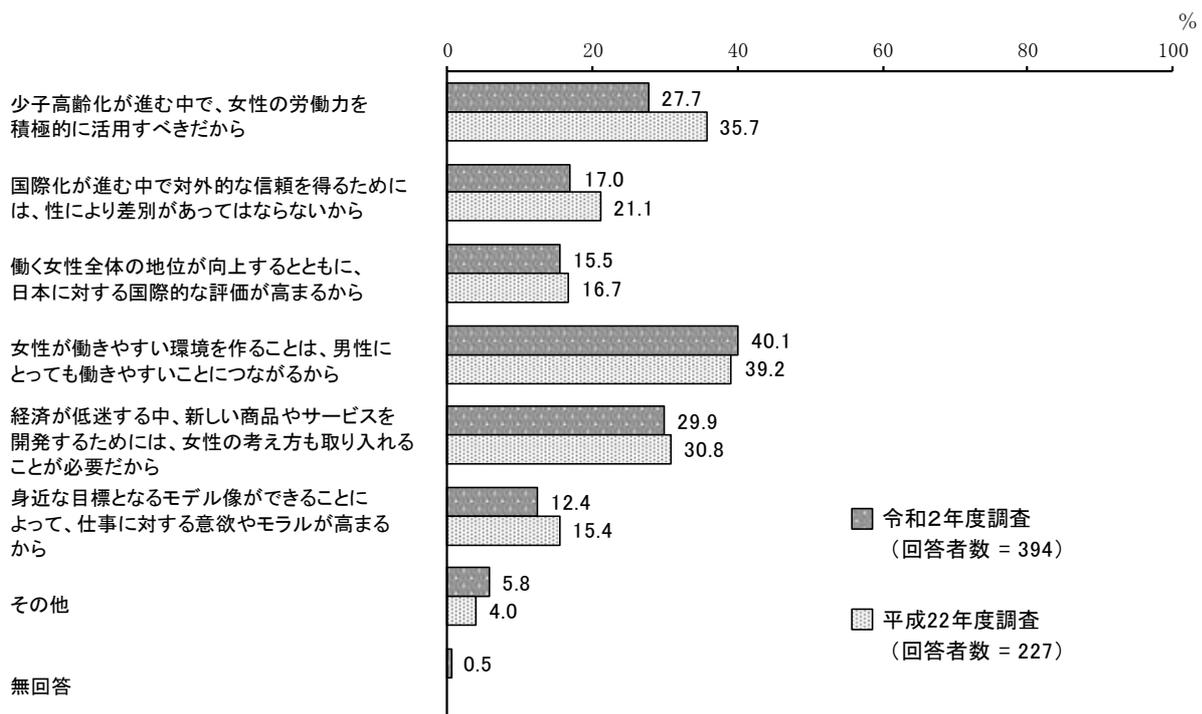


《問 20 で「大切だと思う」と答えられた方にお聞きします。》

問 20-① それはどのような理由からですか。(○は主なもの2つまで)

「女性が働きやすい環境を作ることは、男性にとっても働きやすいことにつながるから」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「経済が低迷する中、新しい商品やサービスを開発するためには、女性の考え方も取り入れることが必要だから」の割合が 29.9%、「少子高齢化が進む中で、女性の労働力を積極的に活用すべきだから」の割合が 27.7%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「少子高齢化が進む中で、女性の労働力を積極的に活用すべきだから」の割合が減少しています。



## 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「国際化が進む中で対外的な信頼を得るためには、性により差別があってはならないから」「働く女性全体の地位が向上するとともに、日本に対する国際的な評価が高まるから」「身近な目標となるモデル像ができることによって、仕事に対する意欲やモラルが高まるから」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 少子高齢化が進む中で、女性の労働力を積極的に活用すべきだから | 国際化が進む中で対外的な信頼を得るためには、性により差別があってはならないから | 働く女性全体の地位が向上するとともに、日本に対する国際的な評価が高まるから | 女性が働きやすい環境を作ることとは、男性にとっても働きやすいことにつながるから | 経済が低迷する中、新しい商品やサービスを開発するためには、女性の考え方も取り入れることが必要だから | 身近な目標となるモデル像ができることによって、仕事に対する意欲やモラルが高まるから | その他 | 無回答 |
|----|---------|--------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 187     | 28.9                           | 13.4                                    | 11.8                                  | 40.6                                    | 29.9                                              | 7.5                                       | 7.0 | —   |
| 女性 | 207     | 26.6                           | 20.3                                    | 18.8                                  | 39.6                                    | 30.0                                              | 16.9                                      | 4.8 | 1.0 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「少子高齢化が進む中で、女性の労働力を積極的に活用すべきだから」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で約4割となっています。

単位：％

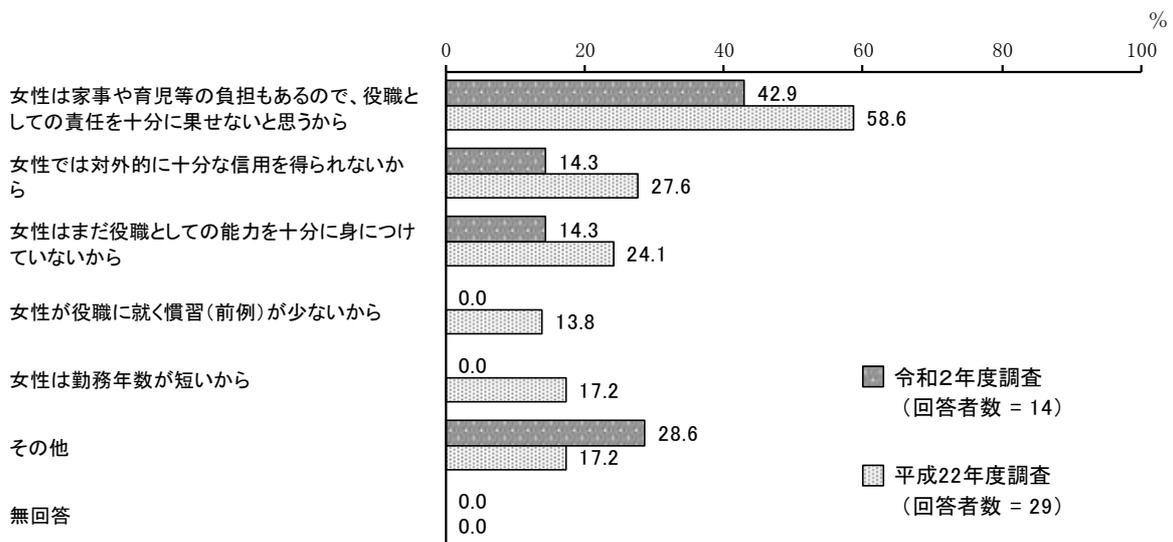
| 区分      | 回答者数(件) | 少子高齢化が進む中で、女性の労働力を積極的に活用すべきだから | 国際化が進む中で対外的な信頼を得るためには、性により差別があってはならないから | 働く女性全体の地位が向上するとともに、日本に対する国際的な評価が高まるから | 女性が働きやすい環境を作ることとは、男性にとっても働きやすいことにつながるから | 経済が低迷する中、新しい商品やサービスを開発するためには、女性の考え方も取り入れることが必要だから | 身近な目標となるモデル像ができることによって、仕事に対する意欲やモラルが高まるから | その他  | 無回答 |
|---------|---------|--------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------|------|-----|
| 20歳～29歳 | 64      | 17.2                           | 17.2                                    | 14.1                                  | 40.6                                    | 23.4                                              | 10.9                                      | 10.9 | —   |
| 30歳～39歳 | 91      | 22.0                           | 15.4                                    | 14.3                                  | 37.4                                    | 31.9                                              | 11.0                                      | 9.9  | 1.1 |
| 40歳～49歳 | 118     | 28.0                           | 19.5                                    | 15.3                                  | 39.0                                    | 28.8                                              | 13.6                                      | 2.5  | —   |
| 50歳～59歳 | 74      | 33.8                           | 14.9                                    | 17.6                                  | 43.2                                    | 32.4                                              | 17.6                                      | 4.1  | 1.4 |
| 60歳～69歳 | 39      | 43.6                           | 12.8                                    | 17.9                                  | 46.2                                    | 35.9                                              | 5.1                                       | 2.6  | —   |
| 70歳以上   | 4       | 50.0                           | —                                       | 25.0                                  | 25.0                                    | 50.0                                              | —                                         | —    | —   |

《問 20 で「大切だとは思わない」と答えられた方にお聞きします。》

問 20-② それはどのような理由からですか。(○は主なもの2つまで)

「女性は家事や育児等の負担もあるので、役職としての責任を十分に果せないと思うから」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「女性では対外的に十分な信用を得られないから」、「女性はまだ役職としての能力を十分に身につけていないから」の割合が 14.3%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「女性は家事や育児等の負担もあるので、役職としての責任を十分に果せないと思うから」「女性では対外的に十分な信用を得られないから」「女性はまだ役職としての能力を十分に身につけていないから」「女性が役職に就く慣習(前例)が少ないから」「女性は勤務年数が短いから」の割合が減少しています。



【性別】

性別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 女性はまだ役職としての能力を十分に身につけていないから | 女性では対外的に十分な信用を得られないから | 女性が家事や育児等の負担もあるのに、役職としての責任を十分に果たせないと思うから | 女性がまだ役職としての能力を十分に身につけていないから | 女性が役職に就く慣習(前例)が少ないから | 女性は勤務年数が短いから | その他 | 無回答 |
|----|---------|-----------------------------|-----------------------|------------------------------------------|-----------------------------|----------------------|--------------|-----|-----|
| 男性 | 12      | 41.7                        | 8.3                   | 16.7                                     | —                           | —                    | 33.3         | —   |     |
| 女性 | 2       | 50.0                        | 50.0                  | —                                        | —                           | —                    | —            | —   |     |

【年齢別】

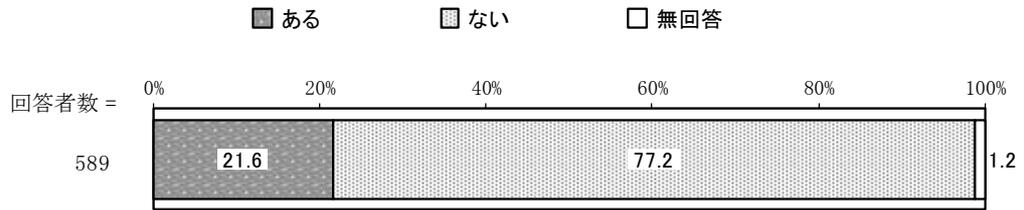
年齢別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 女性はまだ役職としての能力を十分に身につけていないから | 女性では対外的に十分な信用を得られないから | 女性が家事や育児等の負担もあるのに、役職としての責任を十分に果たせないと思うから | 女性がまだ役職としての能力を十分に身につけていないから | 女性が役職に就く慣習(前例)が少ないから | 女性は勤務年数が短いから | その他 | 無回答 |
|---------|---------|-----------------------------|-----------------------|------------------------------------------|-----------------------------|----------------------|--------------|-----|-----|
| 20歳～29歳 | 2       | —                           | 50.0                  | —                                        | —                           | —                    | 50.0         | —   |     |
| 30歳～39歳 | 2       | 100.0                       | —                     | —                                        | —                           | —                    | —            | —   |     |
| 40歳～49歳 | 4       | —                           | 25.0                  | 25.0                                     | —                           | —                    | 50.0         | —   |     |
| 50歳～59歳 | 6       | 66.7                        | —                     | 16.7                                     | —                           | —                    | 16.7         | —   |     |
| 60歳～69歳 | —       | —                           | —                     | —                                        | —                           | —                    | —            | —   |     |
| 70歳以上   | —       | —                           | —                     | —                                        | —                           | —                    | —            | —   |     |

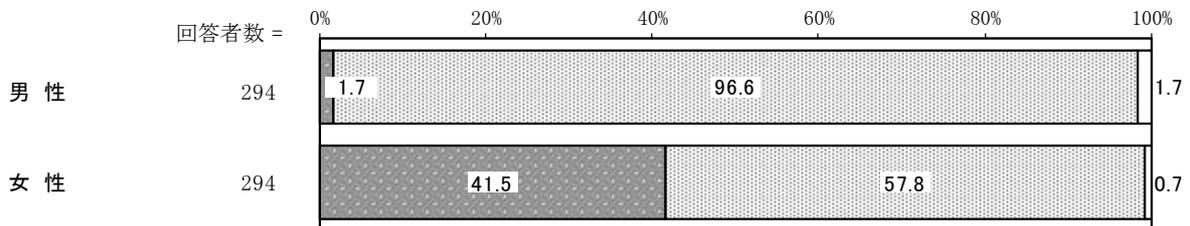
問 21 あなたは、結婚・出産・育児・介護を機に働き先の仕事をやめた経験はありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が21.6%、「ない」の割合が77.2%となっています。



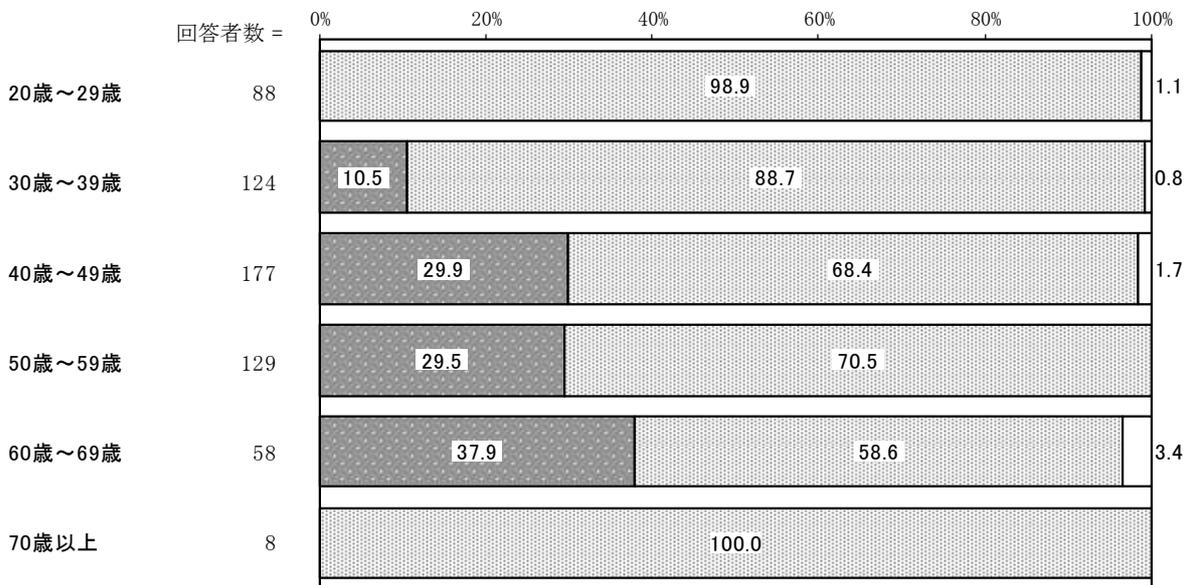
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ない」の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「ある」の割合が高く、約4割となっています。



【年齢別】

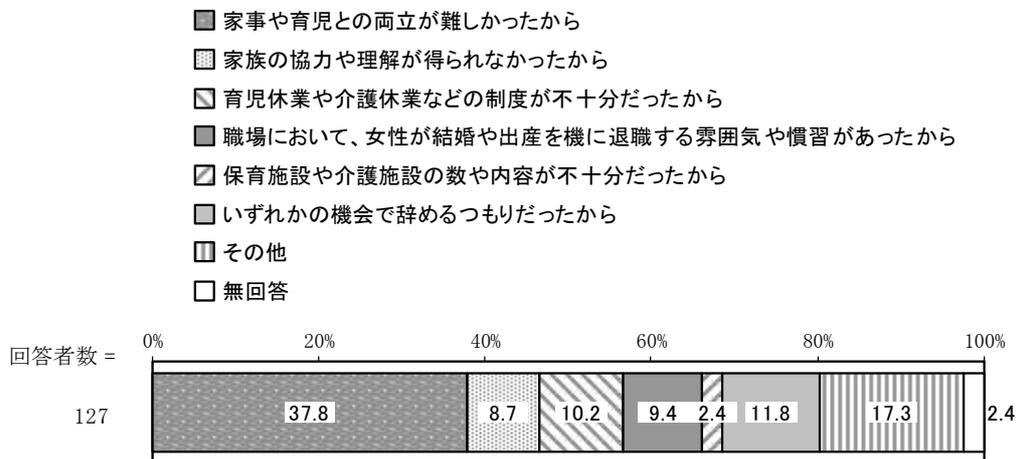
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ある」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で約4割となっています。



《問 21 で「ある」と答えられた方にお聞きします。》

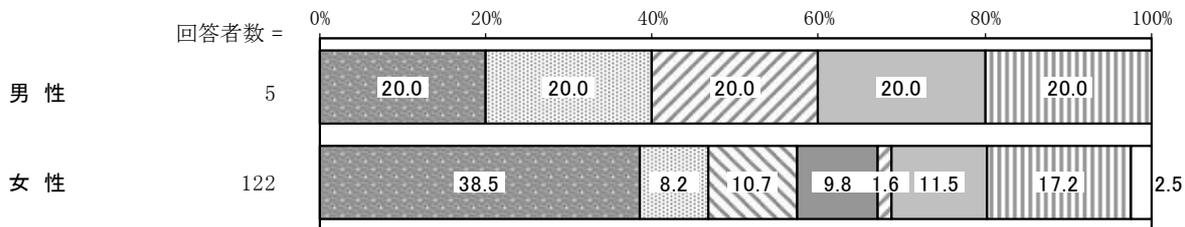
問 21-① それほどのような理由からですか。(○は1つ)

「家事や育児との両立が難しかったから」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「いずれかの機会  
 で辞めるつもりだったから」の割合が 11.8%、「育児休業や介護休業などの制度が不十分だっ  
 たから」の割合が 10.2%となっています。



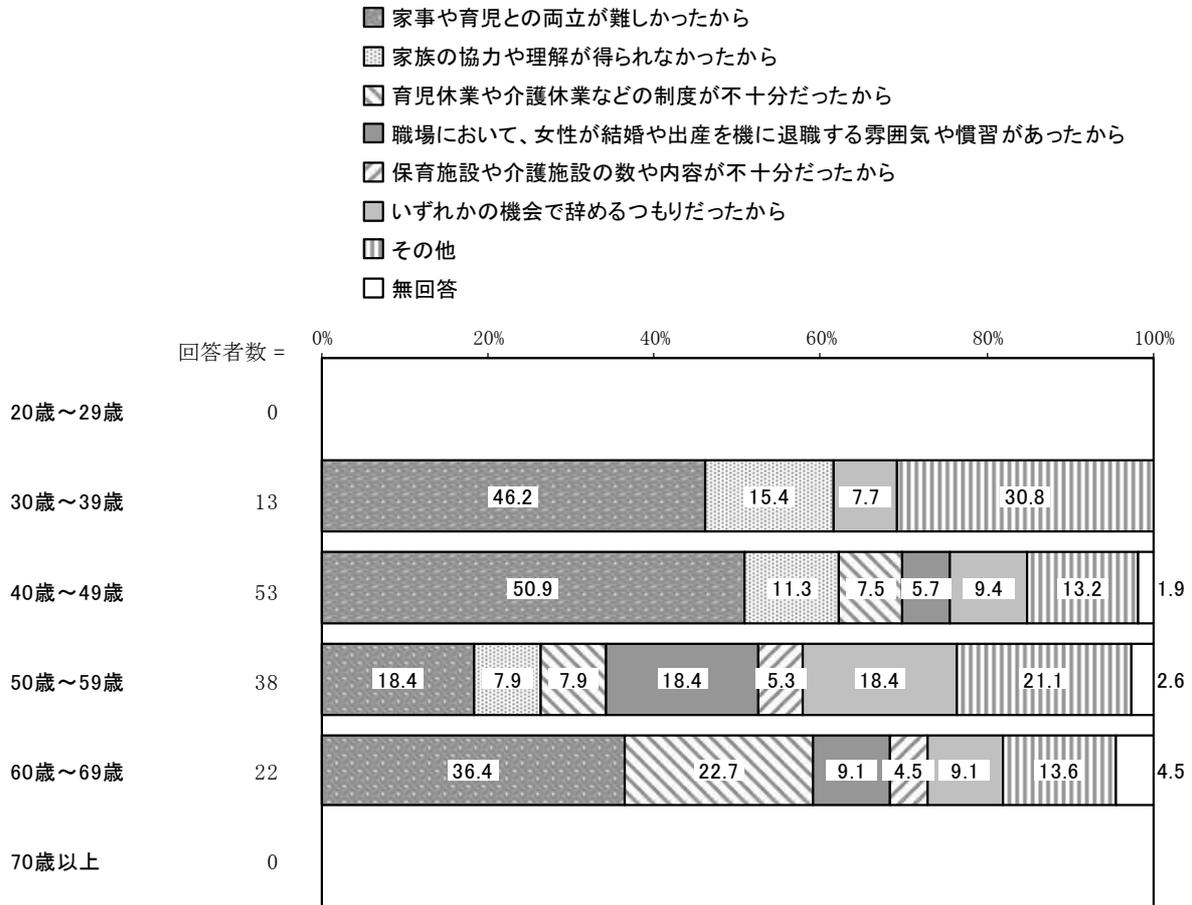
【性別】

性別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。



**【年齢別】**

年齢別では、他に比べ、40歳～49歳で「家事や育児との両立が難しかったから」の割合が高く、約5割となっています。また、50歳～59歳で「職場において、女性が結婚や出産を機に退職する雰囲気や慣習があったから」「いずれかの機会ですめるつもりだったから」の割合が高く、約2割となっています。

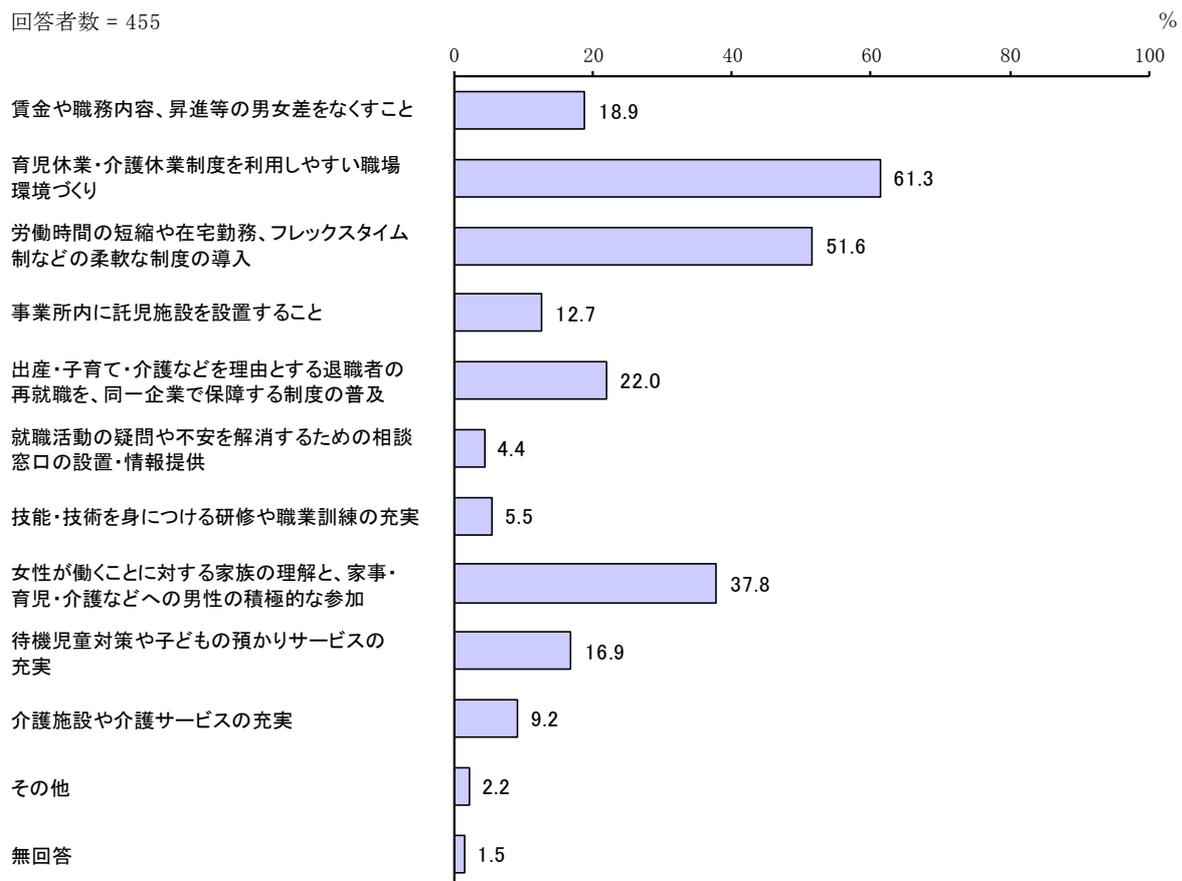


《問 21 で「ない」と答えられた方にお聞きします。》

問 21-② 仕事先で働き続けるためや、出産・子育て・介護などの理由で一旦仕事を辞めた後に再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○は主なもの3つまで)

「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入」の割合が 51.6%、「女性が働くことに対する家族の理解と、家事・育児・介護などへの男性の積極的な参加」の割合が 37.8%となっています。

回答者数 = 455



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「賃金や職務内容、昇進等の男女差をなくすこと」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入」「女性が働くことに対する家族の理解と、家事・育児・介護などへの男性の積極的な参加」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 賃金や職務内容、昇進等の男女差をなくすこと | 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり | 労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入 | 事業所内に託児施設を設置すること | 出産・子育て・介護などを理由とする退職者の再就職を、同一企業で保障する制度の普及 | 就職活動の疑問や不安を解消するための相談窓口の設置・情報提供 |
|----|---------|-----------------------|---------------------------|-----------------------------------|------------------|------------------------------------------|--------------------------------|
| 男性 | 284     | 21.5                  | 58.8                      | 48.6                              | 12.0             | 21.1                                     | 5.6                            |
| 女性 | 170     | 14.7                  | 65.3                      | 57.1                              | 14.1             | 23.5                                     | 2.4                            |

| 区分 | 技能・技術を身につける研修や職業訓練の充実 | 女性が働くことに対する家族の理解と、家事・育児・介護などへの男性の積極的な参加 | 待機児童対策や子どもの預かりサービスの充実 | 介護施設や介護サービスの充実 | その他 | 無回答 |
|----|-----------------------|-----------------------------------------|-----------------------|----------------|-----|-----|
| 男性 | 6.7                   | 26.1                                    | 16.2                  | 8.5            | 3.2 | 1.1 |
| 女性 | 2.9                   | 57.6                                    | 17.6                  | 10.6           | 0.6 | 2.4 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳～39歳で「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

単位：%

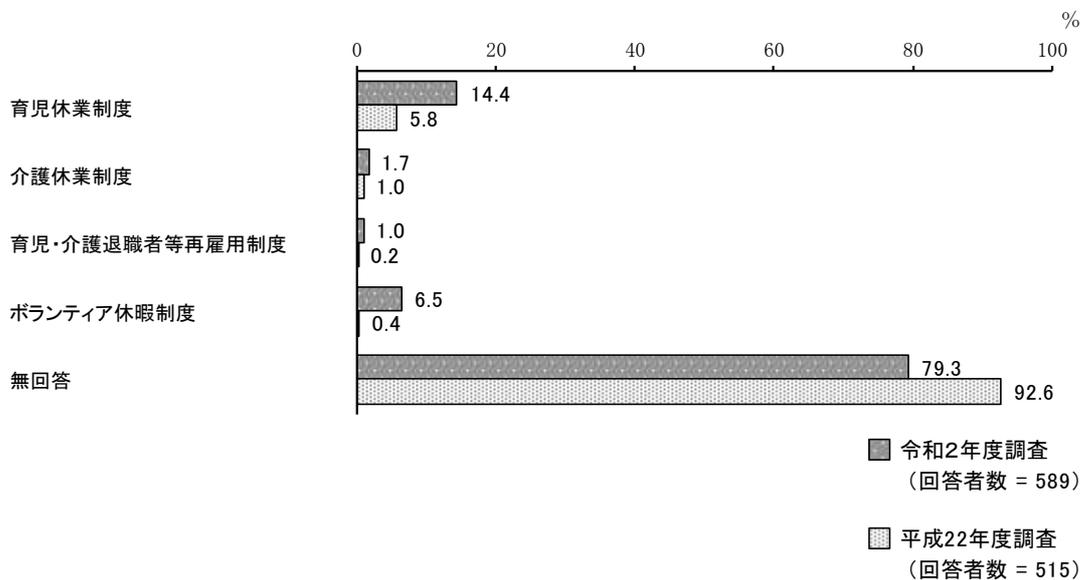
| 区分      | 回答者数(件) | 賃金や職務内容、昇進等の男女差をなくすこと | 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり | 労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な制度の導入 | 事業所内に託児施設を設置すること | 出産・子育て・介護などを理由とする退職者の再就職を、同一企業で保障する制度の普及 | 就職活動の疑問や不安を解消するための相談窓口の設置・情報提供 |
|---------|---------|-----------------------|---------------------------|-----------------------------------|------------------|------------------------------------------|--------------------------------|
| 20歳～29歳 | 87      | 25.3                  | 65.5                      | 47.1                              | 10.3             | 23.0                                     | 3.4                            |
| 30歳～39歳 | 110     | 11.8                  | 60.0                      | 66.4                              | 14.5             | 20.0                                     | 5.5                            |
| 40歳～49歳 | 121     | 20.7                  | 61.2                      | 53.7                              | 15.7             | 17.4                                     | 3.3                            |
| 50歳～59歳 | 91      | 22.0                  | 54.9                      | 45.1                              | 9.9              | 25.3                                     | 4.4                            |
| 60歳～69歳 | 34      | 11.8                  | 73.5                      | 32.4                              | 14.7             | 32.4                                     | 8.8                            |
| 70歳以上   | 8       | 12.5                  | 37.5                      | 12.5                              | —                | 37.5                                     | —                              |

| 区分      | 技能・技術を身につける研修や職業訓練の充実 | 女性が働くことに対する家族の理解と、家事・育児・介護などへの男性の積極的な参加 | 待機児童対策や子どもの預かりサービスの充実 | 介護施設や介護サービスの充実 | その他 | 無回答  |
|---------|-----------------------|-----------------------------------------|-----------------------|----------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 1.1                   | 39.1                                    | 17.2                  | 3.4            | 3.4 | 2.3  |
| 30歳～39歳 | 7.3                   | 45.5                                    | 18.2                  | 7.3            | 1.8 | —    |
| 40歳～49歳 | 5.8                   | 33.9                                    | 19.8                  | 5.8            | 3.3 | 1.7  |
| 50歳～59歳 | 7.7                   | 31.9                                    | 13.2                  | 18.7           | 1.1 | 1.1  |
| 60歳～69歳 | 2.9                   | 44.1                                    | 17.6                  | 14.7           | —   | —    |
| 70歳以上   | —                     | 37.5                                    | —                     | 25.0           | —   | 25.0 |

問 22 あなたは、次のような制度を利用したことがありますか。  
(○はあてはまるもの全て)

「育児休業制度」の割合が14.4%と最も高くなっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「育児休業制度」「ボランティア休暇制度」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「育児休業制度」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 育児休業制度 | 介護休業制度 | 育児・介護退職者等再雇用制度 | ボランティア休暇制度 | 無回答  |
|----|----------|--------|--------|----------------|------------|------|
| 男性 | 294      | 1.0    | 0.7    | 0.3            | 5.8        | 92.5 |
| 女性 | 294      | 27.9   | 2.7    | 1.7            | 7.1        | 66.0 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「育児休業制度」の割合が高く、約2割となっています。

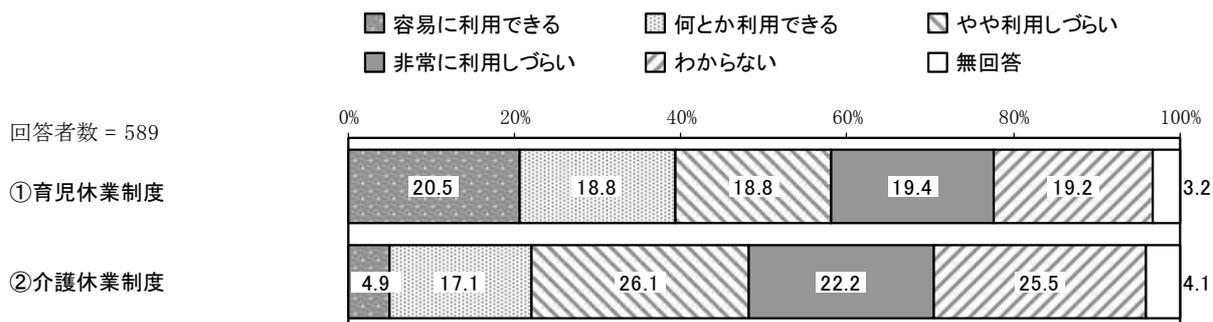
単位：％

| 区分      | 回答者数<br>(件) | 育児休業制度 | 介護休業制度 | 育児・介護<br>再雇用制度<br>退職者等 | ボランティア<br>休暇制度 | 無回答   |
|---------|-------------|--------|--------|------------------------|----------------|-------|
| 20歳～29歳 | 88          | 3.4    | 1.1    | 1.1                    | 8.0            | 88.6  |
| 30歳～39歳 | 124         | 20.2   | 0.8    | —                      | 10.5           | 71.8  |
| 40歳～49歳 | 177         | 23.2   | 2.8    | 0.6                    | 6.8            | 70.6  |
| 50歳～59歳 | 129         | 10.1   | 1.6    | 2.3                    | 2.3            | 86.0  |
| 60歳～69歳 | 58          | 5.2    | 1.7    | 1.7                    | 5.2            | 87.9  |
| 70歳以上   | 8           | —      | —      | —                      | —              | 100.0 |

問 23 育児休業制度・介護休業制度を実際に利用する場合、利用しづらいと感じますか。出産・育児、介護に直面した状況を想定して、全員がお答えください。  
(○は各項目1つずつ)

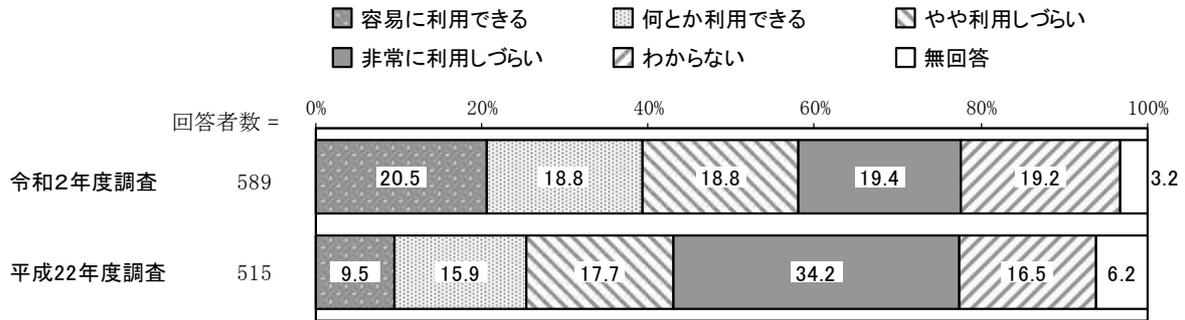
『①育児休業制度』で「容易に利用できる」と「何とか利用できる」をあわせた“利用できる”の割合が39.3%、「やや利用しづらい」と「非常に利用しづらい」をあわせた“利用しづらい”の割合が38.2%となっています。

『②介護休業制度』では、“利用できる”の割合が22.0%、“利用しづらい”の割合が48.3%となっています。



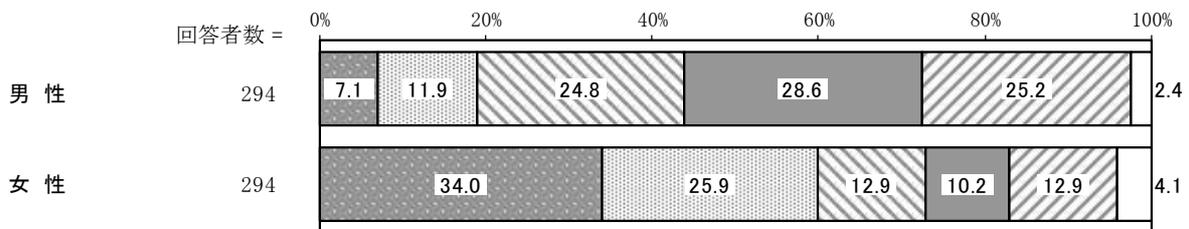
### ①育児休業制度

平成22年度調査と比較すると、“利用できる”の割合が増加し、“利用しづらい”の割合が減少しています。



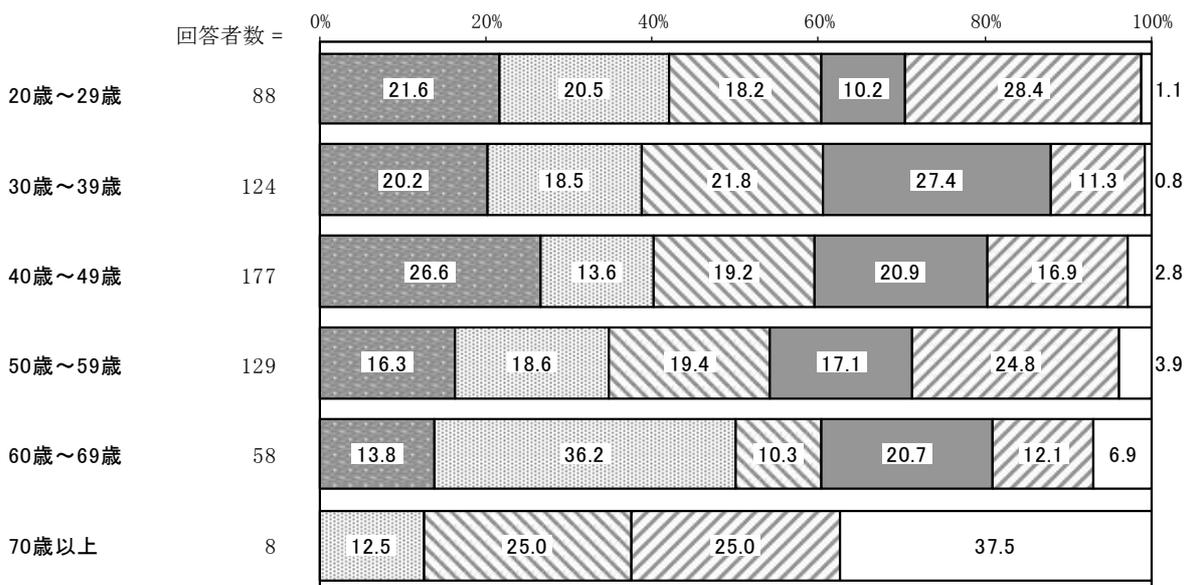
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“利用しづらい”の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で“利用できる”の割合が高く、約6割となっています。



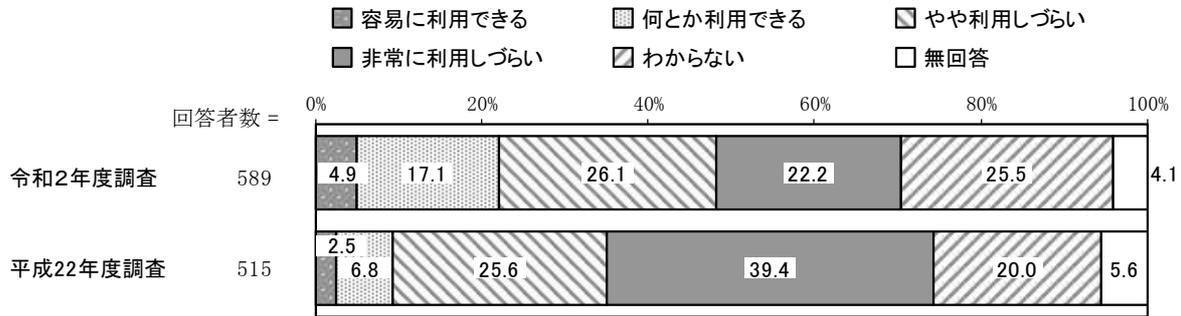
### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳で“利用できる”の割合が高く、5割となっています。また、30歳～39歳で“利用しづらい”の割合が高く、約5割となっています。



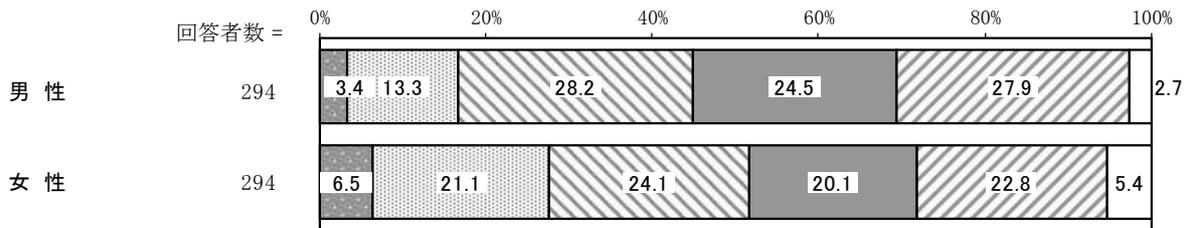
## ②介護休業制度

平成22年度調査と比較すると、“利用できる”の割合が増加し、“利用しづらい”の割合が減少しています。



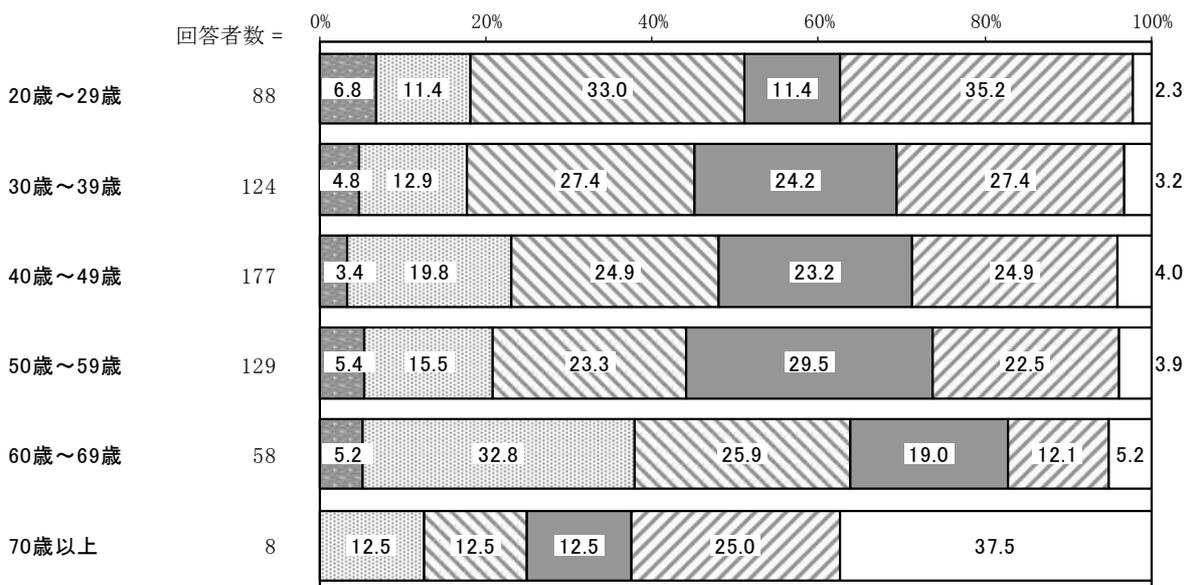
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“利用しづらい”の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で“利用できる”の割合が高く、約3割となっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で“利用できる”の割合が高く、約4割となっています。

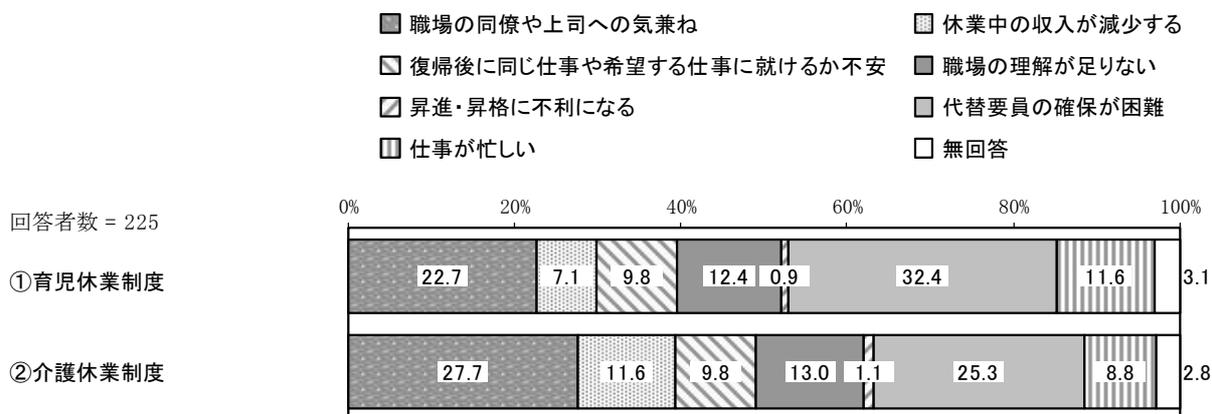


《問 23 で、育児休業制度・介護休業制度の利用について「やや利用しづらい」か「非常に利用しづらい」と答えられた方にお聞きします。》

問 23-① 利用しづらい理由は何ですか。(〇は各項目 1 つずつ)

『①育児休業制度』で「代替要員の確保が困難」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「職場の同僚や上司への気兼ね」の割合が 22.7%、「職場の理解が足りない」の割合が 12.4%となっています。

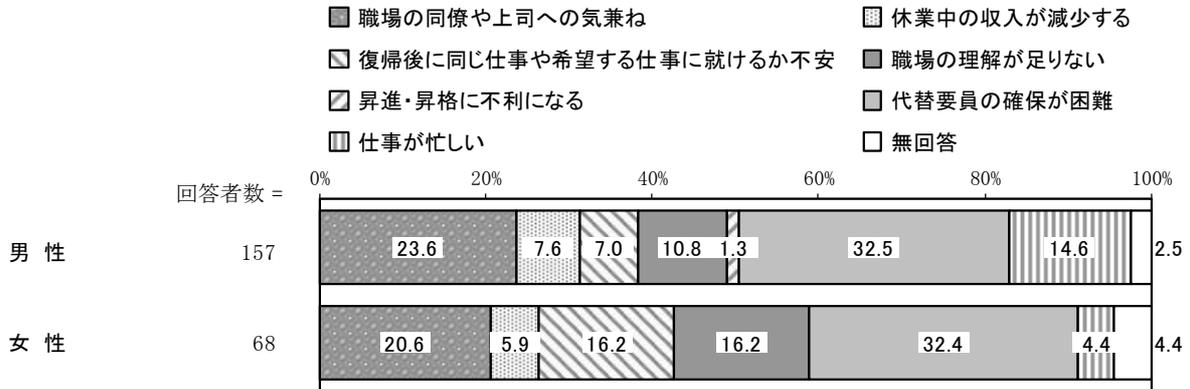
『②介護休業制度』では、「職場の同僚や上司への気兼ね」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「代替要員の確保が困難」の割合が 25.3%、「職場の理解が足りない」の割合が 13.0%となっています。



## ①育児休業制度

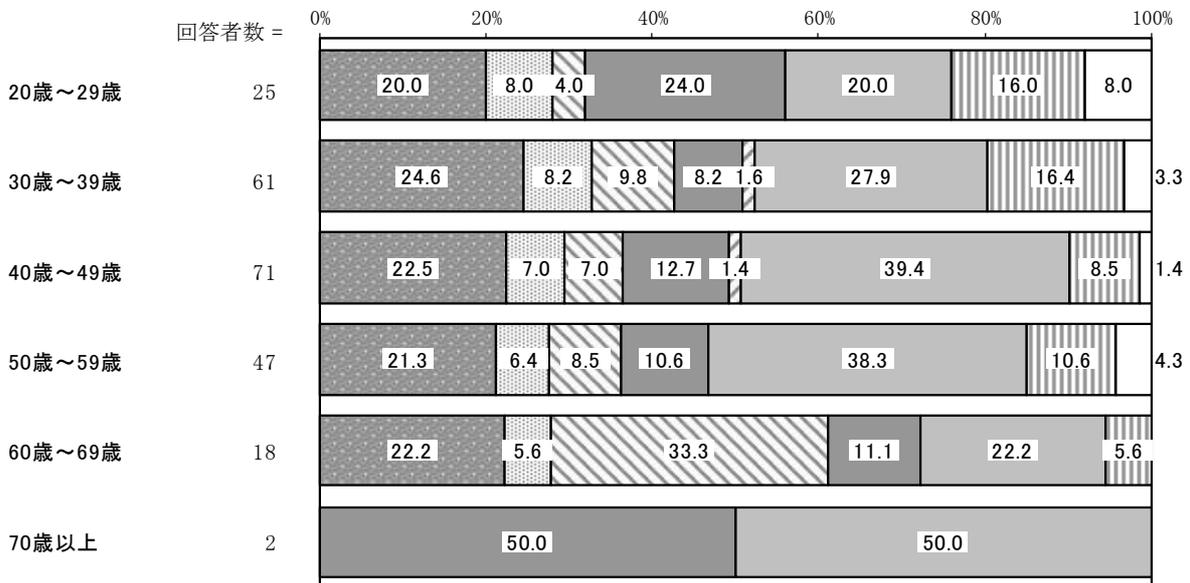
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「仕事が忙しい」の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「復帰後に同じ仕事や希望する仕事に就けるか不安」「職場の理解が足りない」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

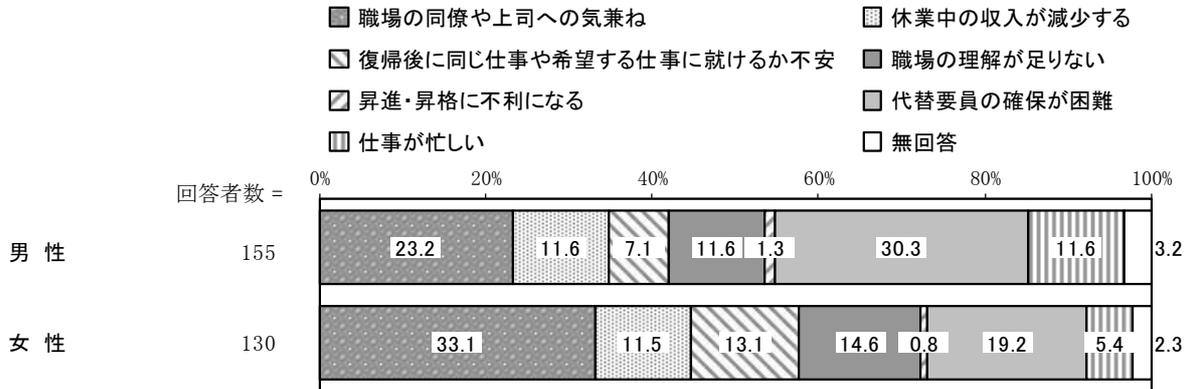
年齢別で見ると、他に比べ、40歳～49歳、50歳～59歳で「代替要員の確保が困難」の割合が高く、約4割となっています。また、60歳～69歳で「復帰後に同じ仕事や希望する仕事に就けるか不安」の割合が高く、約3割となっています。



## ②介護休業制度

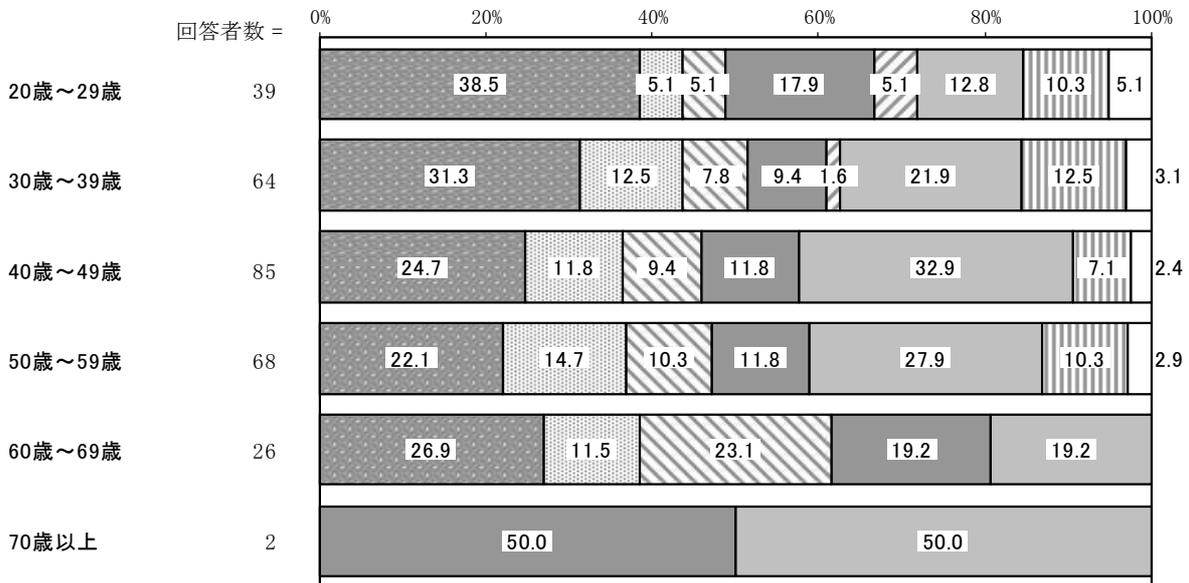
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「代替要員の確保が困難」「仕事が忙しい」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「職場の同僚や上司への気兼ね」「復帰後に同じ仕事や希望する仕事に就けるか不安」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、40歳～49歳、50歳～59歳で「代替要員の確保が困難」の割合が高く、約3割となっています。また、60歳～69歳で「復帰後に同じ仕事や希望する仕事に就けるか不安」の割合が高く、約2割となっています。

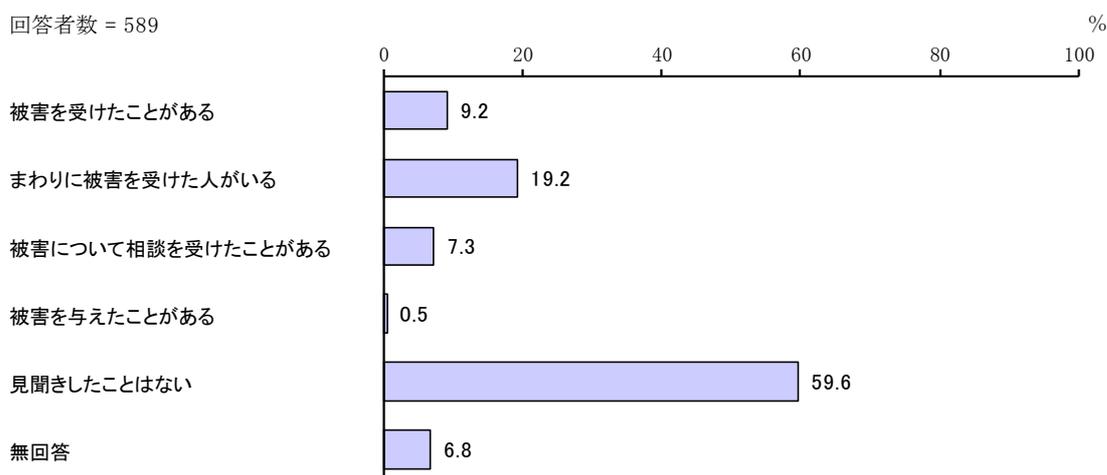


## (5) DV・ハラスメント行為について

問 24 あなたは、次の行為について経験したり、身近で見聞きしたことがありますか。  
(○はあてはまるもの全て)

### ①セクシャルハラスメント（セクハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「まわりに被害を受けた人がいる」の割合が 19.2%となっています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「被害を受けたことがある」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がいる | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答 |
|----|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|-----|
| 男性 | 294     | 1.0         | 20.4           | 7.5               | 1.0         | 65.3       | 5.1 |
| 女性 | 294     | 17.3        | 17.7           | 7.1               | —           | 54.1       | 8.5 |

【年齢別】

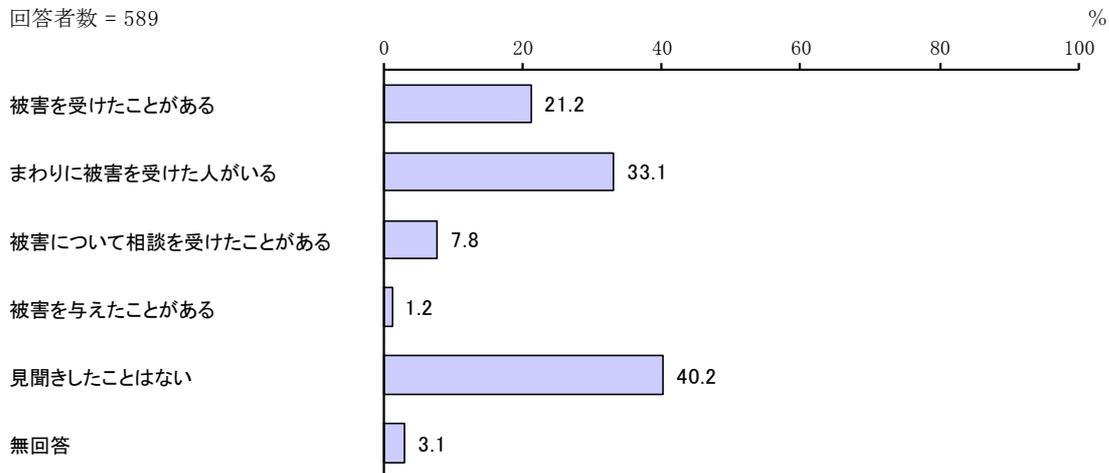
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約7割となっています。また、50歳～59歳で「まわりに被害を受けた人がある」の割合が高く、2割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 9.1         | 13.6           | 8.0               | —           | 69.3       | 4.5  |
| 30歳～39歳 | 124     | 10.5        | 17.7           | 6.5               | —           | 65.3       | 2.4  |
| 40歳～49歳 | 177     | 11.3        | 19.2           | 7.3               | 0.6         | 57.1       | 5.6  |
| 50歳～59歳 | 129     | 8.5         | 26.4           | 7.8               | —           | 50.4       | 10.9 |
| 60歳～69歳 | 58      | 3.4         | 19.0           | 8.6               | 3.4         | 56.9       | 10.3 |
| 70歳以上   | 8       | —           | —              | —                 | —           | 62.5       | 37.5 |

## ②パワーハラスメント（パワハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が40.2%と最も高く、次いで「まわりに被害を受けた人がいる」の割合が33.1%、「被害を受けたことがある」の割合が21.2%となっています。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「被害を受けたことがある」の割合が高く、2割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がいる | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答 |
|----|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|-----|
| 男性 | 294     | 17.3        | 35.0           | 6.1               | 1.7         | 41.8       | 2.7 |
| 女性 | 294     | 24.8        | 31.3           | 9.5               | 0.7         | 38.8       | 3.4 |

【年齢別】

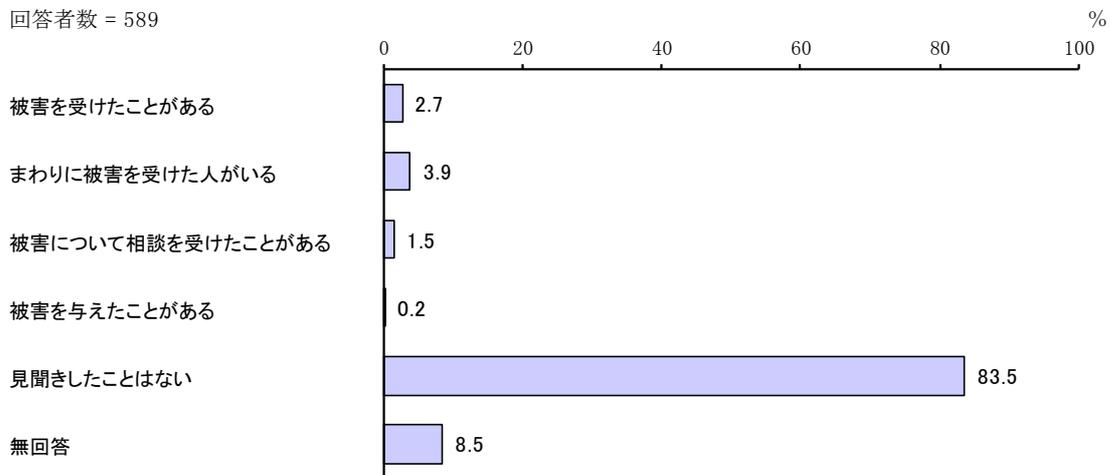
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約6割となっています。また、50歳～59歳で「被害を受けたことがある」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がいる | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 12.5        | 26.1           | 4.5               | 1.1         | 59.1       | 3.4  |
| 30歳～39歳 | 124     | 15.3        | 41.9           | 7.3               | 1.6         | 40.3       | 0.8  |
| 40歳～49歳 | 177     | 26.0        | 31.6           | 6.2               | 1.7         | 37.3       | 1.7  |
| 50歳～59歳 | 129     | 29.5        | 35.7           | 12.4              | —           | 27.9       | 3.9  |
| 60歳～69歳 | 58      | 19.0        | 27.6           | 10.3              | 1.7         | 41.4       | 6.9  |
| 70歳以上   | 8       | —           | 12.5           | —                 | —           | 62.5       | 25.0 |

### ③ マタニティハラスメント（マタハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が83.5%と最も高くなっています。



#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 男性 | 294     | 0.7         | 1.7            | 0.3               | —           | 91.2       | 6.1  |
| 女性 | 294     | 4.8         | 6.1            | 2.7               | 0.3         | 75.9       | 10.9 |

【年齢別】

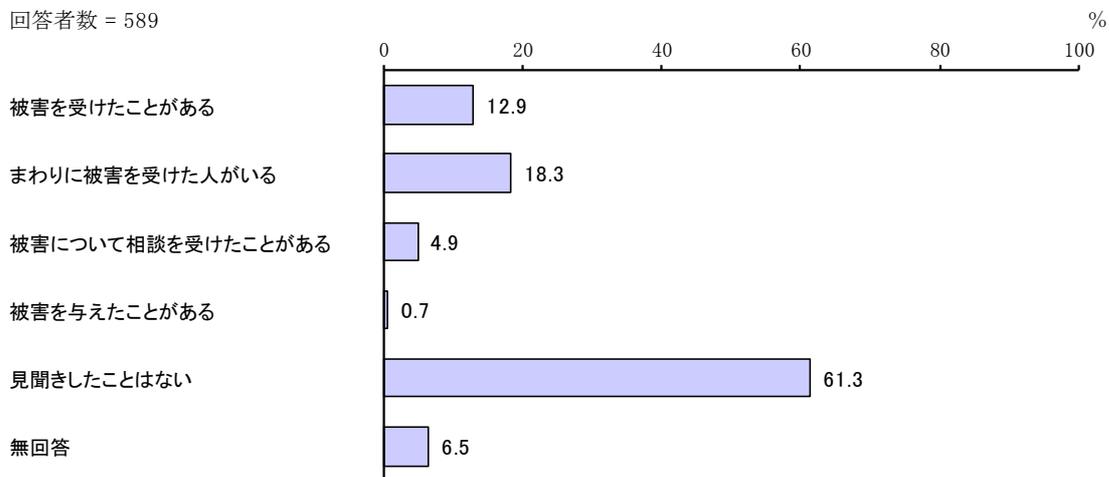
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 2.3         | 2.3            | 1.1               | 1.1         | 89.8       | 5.7  |
| 30歳～39歳 | 124     | 0.8         | 6.5            | 1.6               | —           | 87.9       | 3.2  |
| 40歳～49歳 | 177     | 6.8         | 1.7            | —                 | —           | 85.9       | 5.6  |
| 50歳～59歳 | 129     | 0.8         | 6.2            | 2.3               | —           | 74.4       | 16.3 |
| 60歳～69歳 | 58      | —           | 3.4            | 5.2               | —           | 79.3       | 12.1 |
| 70歳以上   | 8       | —           | —              | —                 | —           | 62.5       | 37.5 |

#### ④モラルハラスメント（モラハラ）

「見聞きしたことはない」の割合が61.3%と最も高く、次いで「まわりに被害を受けた人がいる」の割合が18.3%、「被害を受けたことがある」の割合が12.9%となっています。



#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「被害を受けたことがある」の割合が高く、1割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がいる | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答 |
|----|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|-----|
| 男性 | 294     | 10.2        | 17.0           | 5.4               | 0.7         | 65.6       | 4.8 |
| 女性 | 294     | 15.3        | 19.7           | 4.4               | 0.7         | 57.1       | 8.2 |

【年齢別】

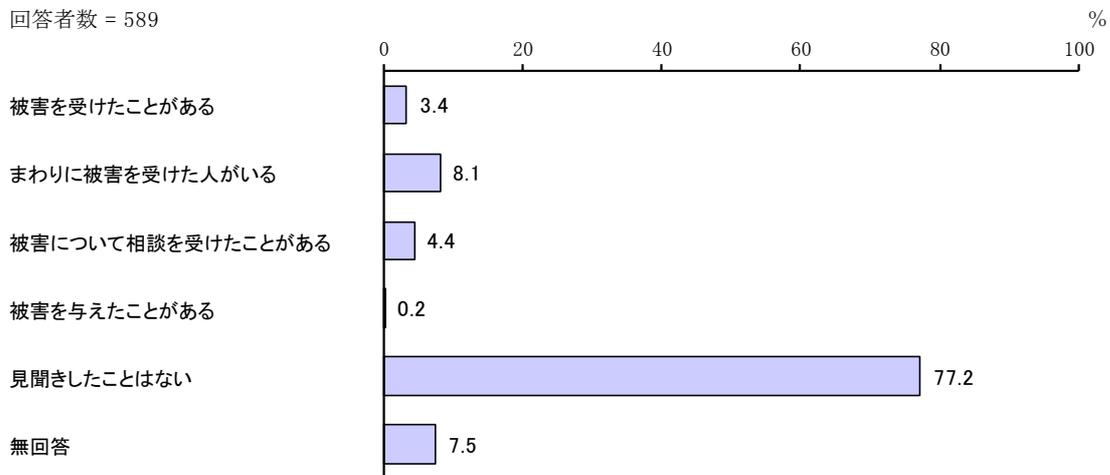
年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、約7割と  
なっています。また、50歳～59歳で「まわりに被害を受けた人がある」の割合が高く、2割台半  
ばとなっています。

単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 12.5        | 10.2           | 5.7               | 1.1         | 71.6       | 4.5  |
| 30歳～39歳 | 124     | 11.3        | 21.0           | 5.6               | 0.8         | 61.3       | 3.2  |
| 40歳～49歳 | 177     | 13.0        | 19.8           | 3.4               | 0.6         | 60.5       | 5.1  |
| 50歳～59歳 | 129     | 15.5        | 24.0           | 6.2               | —           | 51.9       | 10.9 |
| 60歳～69歳 | 58      | 13.8        | 12.1           | 3.4               | 1.7         | 65.5       | 8.6  |
| 70歳以上   | 8       | —           | —              | 12.5              | —           | 62.5       | 25.0 |

### ⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）

「見聞きしたことはない」の割合が77.2%と最も高くなっています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「見聞きしたことはない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|----|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 男性 | 294     | 1.0         | 6.1            | 2.7               | —           | 86.1       | 4.8  |
| 女性 | 294     | 5.8         | 10.2           | 6.1               | 0.3         | 68.4       | 10.2 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳、30歳～39歳で「見聞きしたことはない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。

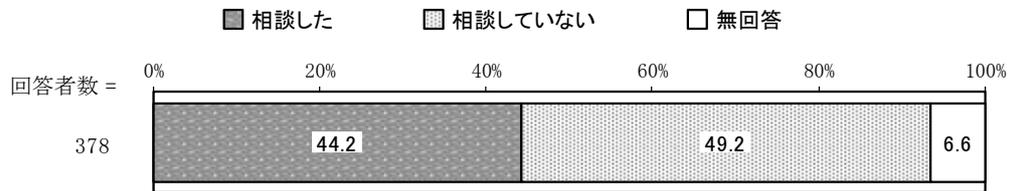
単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 被害を受けたことがある | まわりに被害を受けた人がある | 被害について相談を受けたことがある | 被害を与えたことがある | 見聞きしたことはない | 無回答  |
|---------|---------|-------------|----------------|-------------------|-------------|------------|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 1.1         | 5.7            | 5.7               | 1.1         | 84.1       | 4.5  |
| 30歳～39歳 | 124     | 1.6         | 8.9            | 4.0               | —           | 83.9       | 2.4  |
| 40歳～49歳 | 177     | 5.1         | 10.2           | 5.6               | —           | 74.6       | 5.1  |
| 50歳～59歳 | 129     | 3.9         | 9.3            | 4.7               | —           | 69.0       | 14.0 |
| 60歳～69歳 | 58      | 5.2         | 3.4            | —                 | —           | 79.3       | 12.1 |
| 70歳以上   | 8       | —           | —              | —                 | —           | 62.5       | 37.5 |

《問 24 で「被害を受けたことがある」～「被害について相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。》

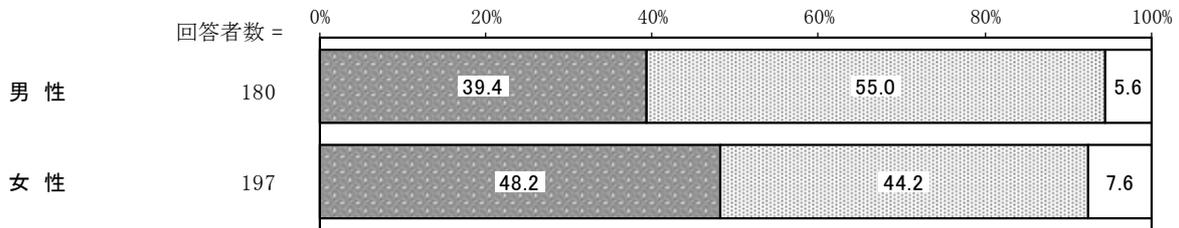
問 24-① あなたは、経験したこと見聞きしたことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

「相談した」の割合が 44.2%、「相談していない」の割合が 49.2%となっています。



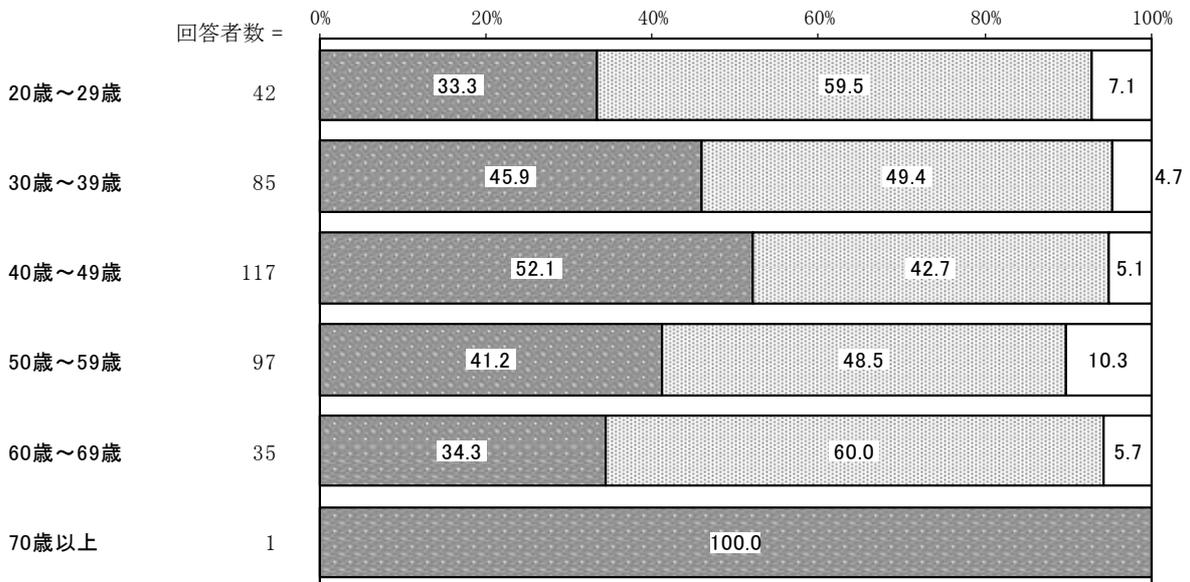
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「相談していない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「相談した」の割合が高く、約5割となっています。



【年齢別】

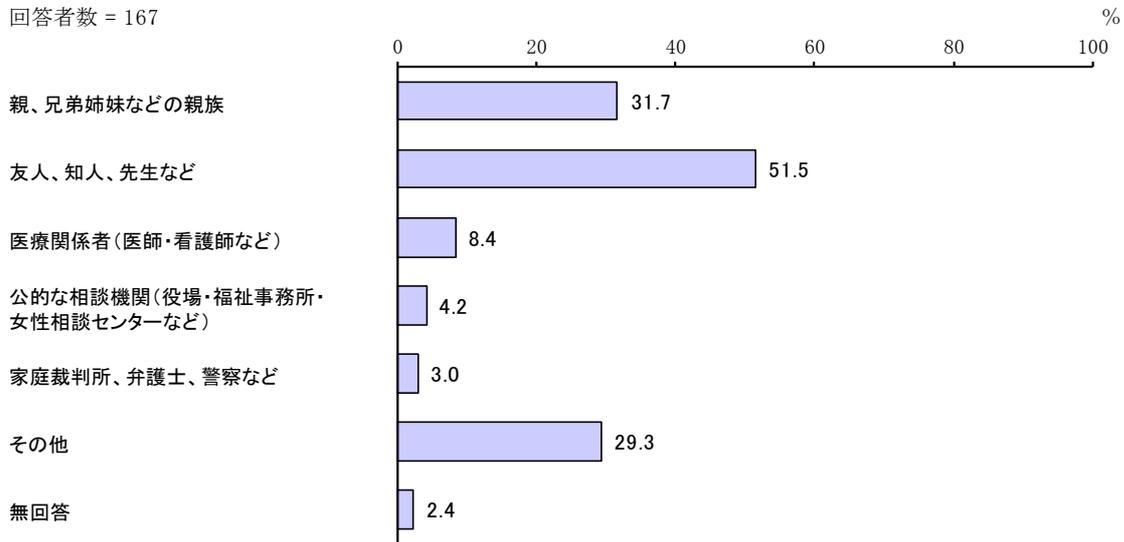
年齢別でみると、他に比べ、40歳～49歳で「相談した」の割合が高く、約5割となっています。また、60歳～69歳で「相談していない」の割合が高く、6割となっています。



《問 24-①で「相談した」と答えられた方にお聞きします。》

**問 24-② 誰（どこ）に相談しましたか。（○はあてはまるもの全て）**

「友人、知人、先生など」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「親、兄弟姉妹などの親族」の割合が 31.7%となっています。



**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「親、兄弟姉妹などの親族」「友人、知人、先生など」「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 親、兄弟姉妹などの親族 | 友人、知人、先生など | 医療関係者 (医師・看護師など) | 公的な相談機関 (役場・福祉事務所・女性相談センターなど) | 家庭裁判所、弁護士、警察など | その他  | 無回答 |
|----|----------|-------------|------------|------------------|-------------------------------|----------------|------|-----|
| 男性 | 71       | 18.3        | 45.1       | 4.2              | 4.2                           | 1.4            | 36.6 | 4.2 |
| 女性 | 95       | 42.1        | 55.8       | 11.6             | 4.2                           | 4.2            | 24.2 | 1.1 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「友人、知人、先生など」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

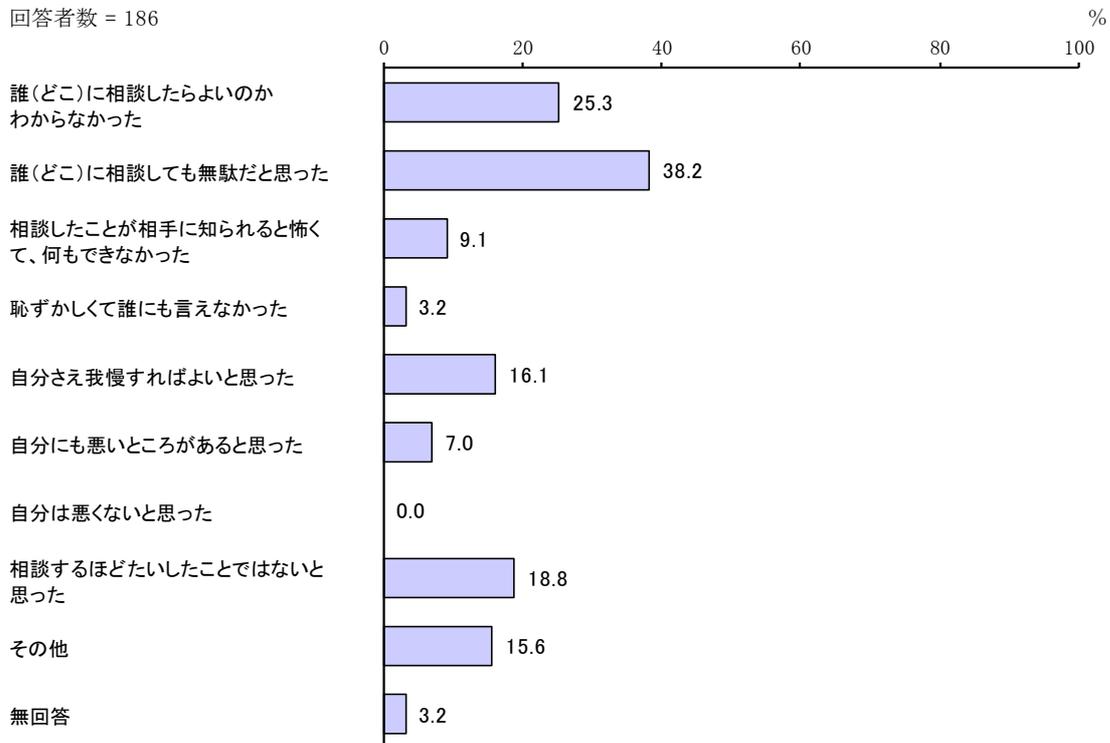
単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 親、兄弟姉妹などの親族 | 友人、知人、先生など | 医療関係者<br>(医師・看護師など) | 公的な相談機関<br>(役場・福祉事務所・女性<br>相談センターなど) | 家庭裁判所、弁護士、<br>警察など | その他  | 無回答 |
|---------|---------|-------------|------------|---------------------|--------------------------------------|--------------------|------|-----|
| 20歳～29歳 | 14      | 42.9        | 50.0       | 7.1                 | —                                    | 7.1                | 28.6 | 7.1 |
| 30歳～39歳 | 39      | 30.8        | 66.7       | 2.6                 | 2.6                                  | —                  | 25.6 | 2.6 |
| 40歳～49歳 | 61      | 32.8        | 52.5       | 14.8                | 6.6                                  | 3.3                | 26.2 | 1.6 |
| 50歳～59歳 | 40      | 30.0        | 35.0       | 7.5                 | 2.5                                  | 5.0                | 40.0 | —   |
| 60歳～69歳 | 12      | 25.0        | 50.0       | —                   | 8.3                                  | —                  | 25.0 | 8.3 |
| 70歳以上   | 1       | —           | 100.0      | —                   | —                                    | —                  | —    | —   |

《問 24-①で「相談していない」と答えられた方にお聞きします。》

**問 24-③ それはなぜですか。(〇はあてはまるもの全て)**

「誰（どこ）に相談しても無駄だと思った」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「誰（どこ）に相談したらよいのかわからなかった」の割合が 25.3%、「相談するほどたいしたことではないと思った」の割合が 18.8%となっています。



**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「誰（どこ）に相談しても無駄だと思った」「相談したことが相手に知られると怖くて、何もできなかった」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 誰（どこ）に相談したらよいのかわからなかった | 誰（どこ）に相談しても無駄だと思った | 相談したことが相手に知られると怖くて、何もできなかった | 恥ずかしくて誰にも言えなかった | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 自分は悪くないと思った | 相談するほどたいしたことではないと思った | その他  | 無回答 |
|----|----------|------------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------|----------------------|------|-----|
| 男性 | 99       | 23.2                   | 34.3               | 5.1                         | 2.0             | 18.2            | 7.1              | —           | 23.2                 | 18.2 | 1.0 |
| 女性 | 87       | 27.6                   | 42.5               | 13.8                        | 4.6             | 13.8            | 6.9              | —           | 13.8                 | 12.6 | 5.7 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳～59歳で「誰（どこ）に相談しても無駄だと思った」の割合が高く、約5割となっています。

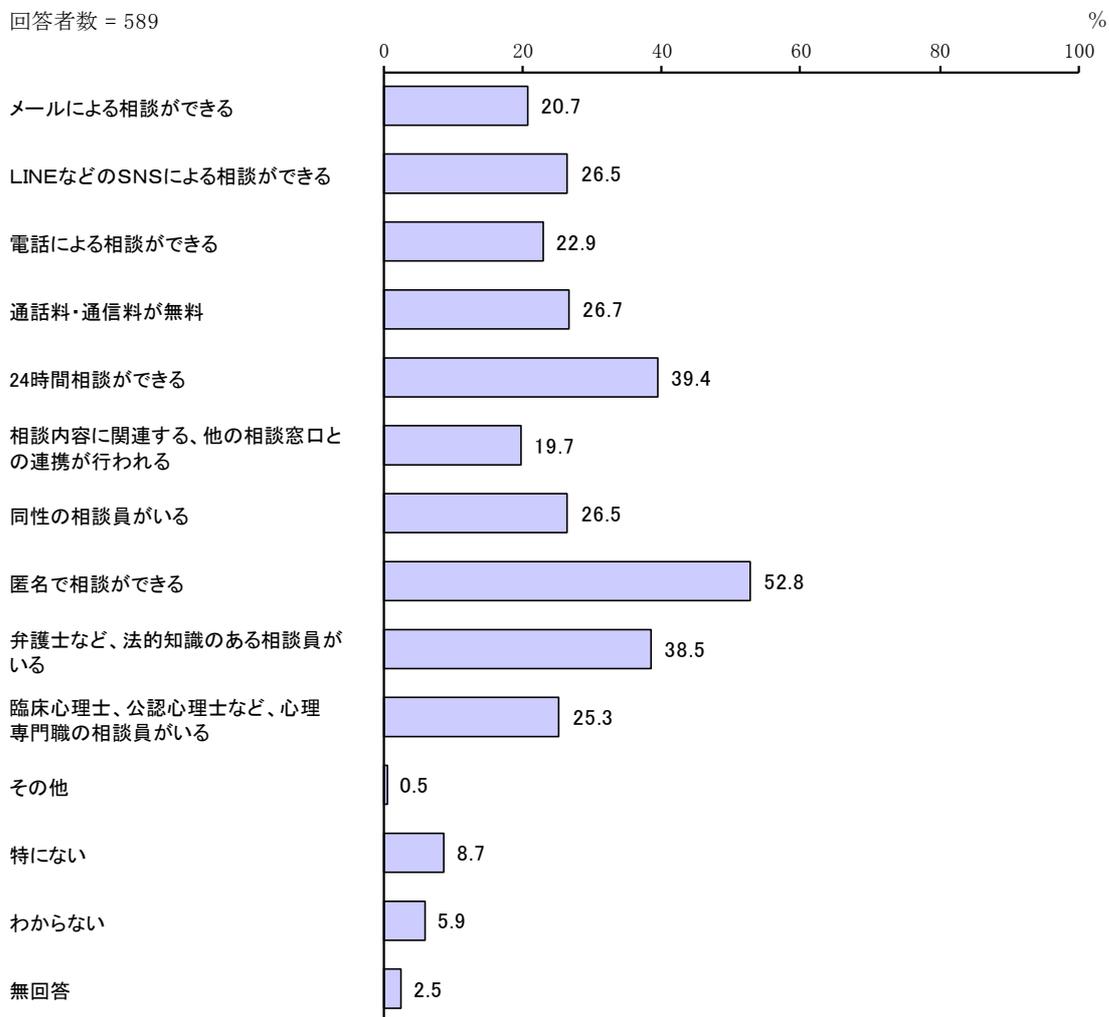
単位：％

| 区分      | 回答者数（件） | 誰（どこ）に相談したらよいのかわからなかった | 誰（どこ）に相談しても無駄だと思った | 相談したことが相手に知られると怖くて、何もできなかった | 恥ずかしくて誰にも言えなかった | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 自分は悪くないと思った | 相談するほどたいしたことではないと思った | その他  | 無回答 |
|---------|---------|------------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------|----------------------|------|-----|
| 20歳～29歳 | 25      | 36.0                   | 32.0               | 4.0                         | 4.0             | 20.0            | 12.0             | —           | 16.0                 | 8.0  | 4.0 |
| 30歳～39歳 | 42      | 23.8                   | 42.9               | 7.1                         | 4.8             | 14.3            | 4.8              | —           | 19.0                 | 16.7 | 2.4 |
| 40歳～49歳 | 50      | 24.0                   | 32.0               | 10.0                        | 4.0             | 18.0            | 6.0              | —           | 18.0                 | 20.0 | 2.0 |
| 50歳～59歳 | 47      | 25.5                   | 48.9               | 10.6                        | —               | 17.0            | 4.3              | —           | 19.1                 | 10.6 | 4.3 |
| 60歳～69歳 | 21      | 19.0                   | 28.6               | 14.3                        | 4.8             | 9.5             | 14.3             | —           | 19.0                 | 23.8 | 4.8 |
| 70歳以上   | —       | —                      | —                  | —                           | —               | —               | —                | —           | —                    | —    | —   |

問 25 あなたは、暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。（○はあてはまるもの全て）

「匿名で相談ができる」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「24 時間相談ができる」の割合が 39.4%、「弁護士など、法的知識のある相談員がいる」の割合が 38.5%となっています。

回答者数 = 589



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「メールによる相談ができる」「特にない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「通話料・通信料が無料」「24時間相談ができる」「相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる」「同性の相談員がいる」「匿名で相談ができる」「臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | メールによる相談ができる | LINEなどのSNSによる相談ができる | 電話による相談ができる | 通話料・通信料が無料 | 24時間相談ができる | 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる | 同性の相談員がいる |
|----|---------|--------------|---------------------|-------------|------------|------------|---------------------------|-----------|
| 男性 | 294     | 24.1         | 27.6                | 24.5        | 21.4       | 33.0       | 14.6                      | 11.2      |
| 女性 | 294     | 17.3         | 25.5                | 21.1        | 32.0       | 45.9       | 24.8                      | 41.8      |

| 区分 | 匿名で相談ができる | 弁護士など、法的知識のある相談員がいる | 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|----|-----------|---------------------|----------------------------|-----|------|-------|-----|
| 男性 | 48.3      | 36.4                | 20.7                       | 0.3 | 11.2 | 6.5   | 2.0 |
| 女性 | 57.1      | 40.5                | 29.9                       | 0.7 | 6.1  | 5.4   | 3.1 |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「LINEなどのSNSによる相談ができる」「24時間相談ができる」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、60歳～69歳で「相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | メールによる相談ができる | LINEなどのSNSによる相談ができる | 電話による相談ができる | 通話料・通信料が無料 | 24時間相談ができる | 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる | 同性の相談員がいる |
|---------|---------|--------------|---------------------|-------------|------------|------------|---------------------------|-----------|
| 20歳～29歳 | 88      | 20.5         | 44.3                | 18.2        | 25.0       | 46.6       | 12.5                      | 33.0      |
| 30歳～39歳 | 124     | 27.4         | 29.0                | 19.4        | 26.6       | 37.1       | 21.0                      | 30.6      |
| 40歳～49歳 | 177     | 20.9         | 29.9                | 24.9        | 29.4       | 41.2       | 18.6                      | 24.3      |
| 50歳～59歳 | 129     | 19.4         | 17.1                | 27.9        | 26.4       | 35.7       | 20.9                      | 23.3      |
| 60歳～69歳 | 58      | 12.1         | 10.3                | 22.4        | 24.1       | 43.1       | 32.8                      | 27.6      |
| 70歳以上   | 8       | —            | —                   | 12.5        | —          | —          | —                         | —         |

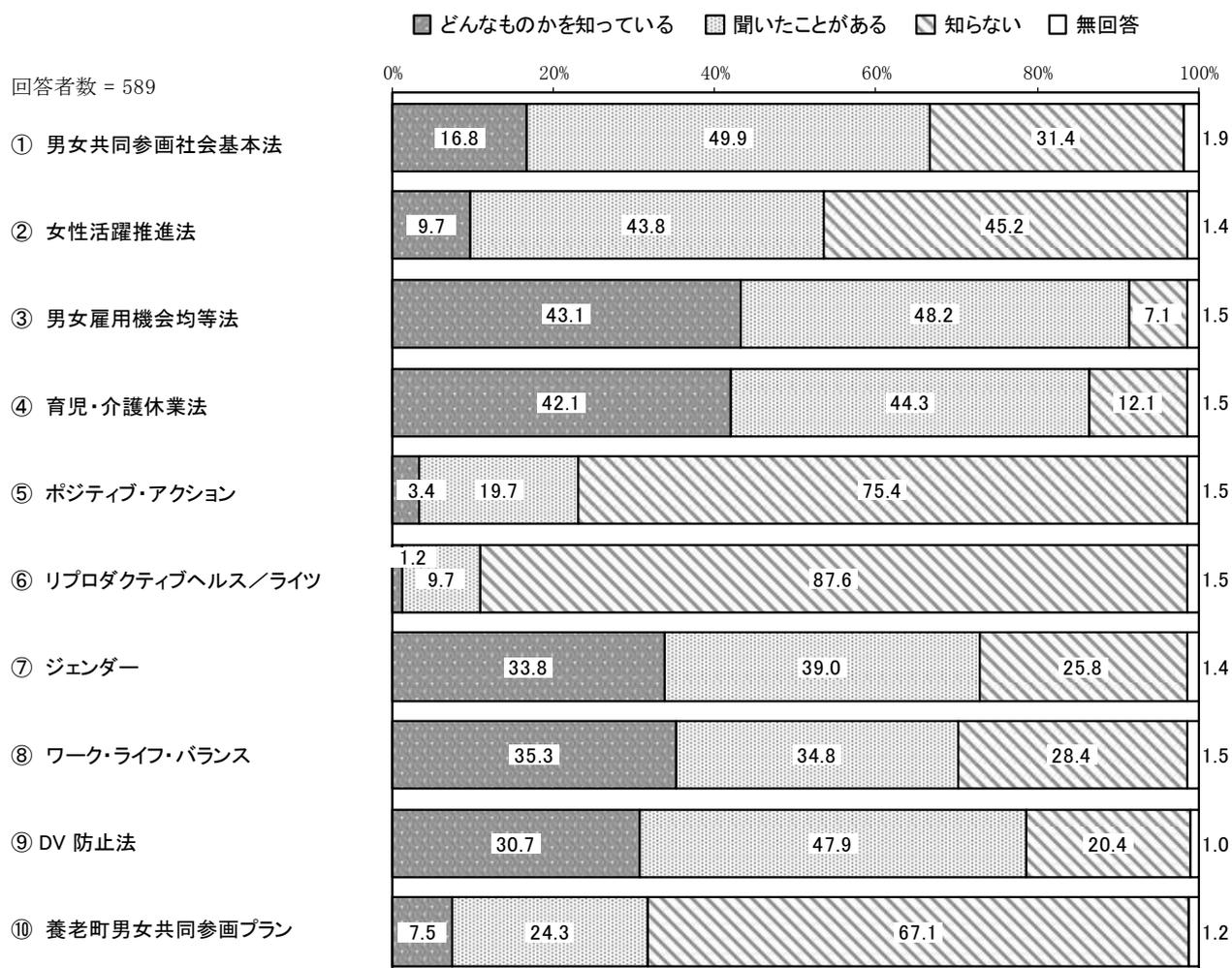
| 区分      | 匿名で相談ができる | 弁護士など、法的知識のある相談員がいる | 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる | その他 | 特にない | わからない | 無回答  |
|---------|-----------|---------------------|----------------------------|-----|------|-------|------|
| 20歳～29歳 | 56.8      | 29.5                | 21.6                       | 1.1 | 9.1  | 5.7   | —    |
| 30歳～39歳 | 54.8      | 38.7                | 30.6                       | —   | 8.1  | 4.0   | —    |
| 40歳～49歳 | 52.5      | 39.0                | 27.1                       | —   | 5.6  | 6.8   | 2.3  |
| 50歳～59歳 | 50.4      | 40.3                | 24.8                       | —   | 12.4 | 5.4   | 6.2  |
| 60歳～69歳 | 55.2      | 48.3                | 17.2                       | 3.4 | 5.2  | 8.6   | 1.7  |
| 70歳以上   | 12.5      | 37.5                | 12.5                       | —   | 25.0 | 12.5  | 25.0 |

## (6) 男女共同参画社会づくりについて

問 26 あなたは、次のことばを知っていますか。(それぞれ〇は1つ)

『③男女雇用機会均等法』『④育児・介護休業法』で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約4割となっています。また、『①男女共同参画社会基本法』『③男女雇用機会均等法』『⑨DV防止法』で「聞いたことがある」の割合が高く、約5割となっています。

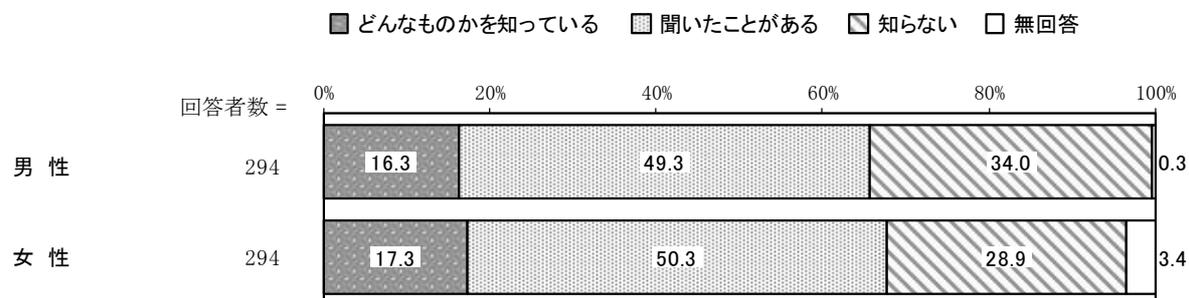
一方、『⑥リプロダクティブヘルス/ライツ』で「知らない」の割合が高く、約9割となっています。



## ①男女共同参画社会基本法

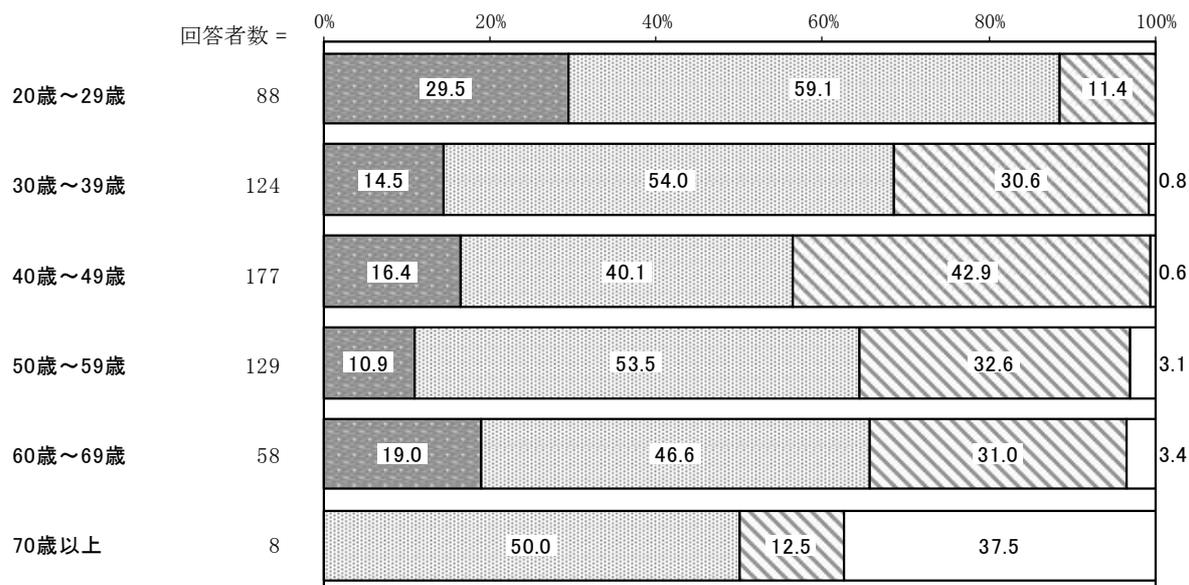
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

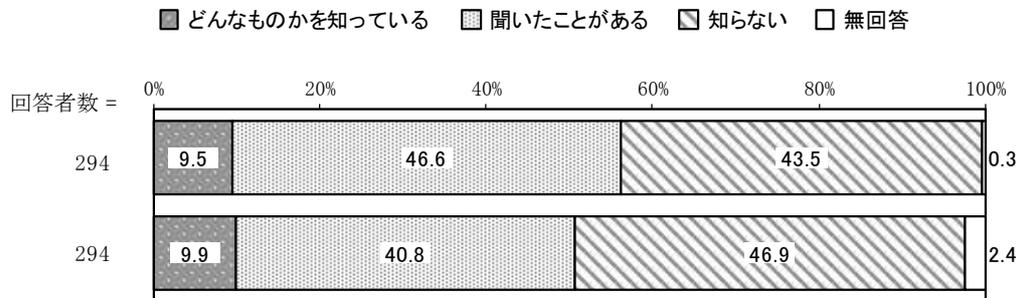
年齢別で見ると、他に比べ、20歳～29歳で「どんなものかを知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、40歳～49歳で「知らない」の割合が高く、約4割となっています。



## ②女性活躍推進法

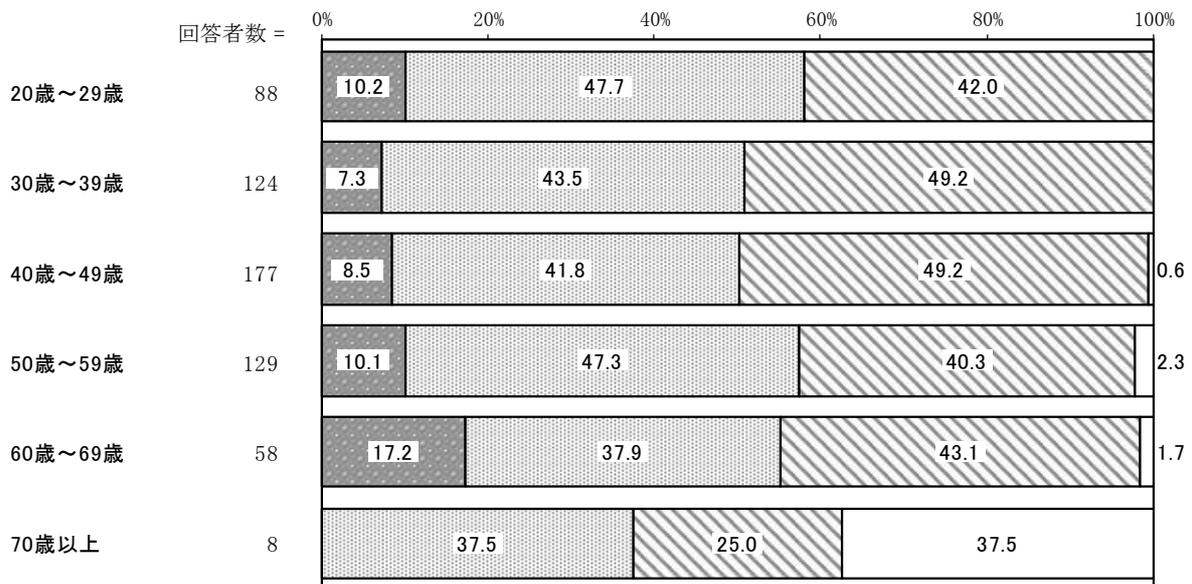
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「聞いたことがある」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

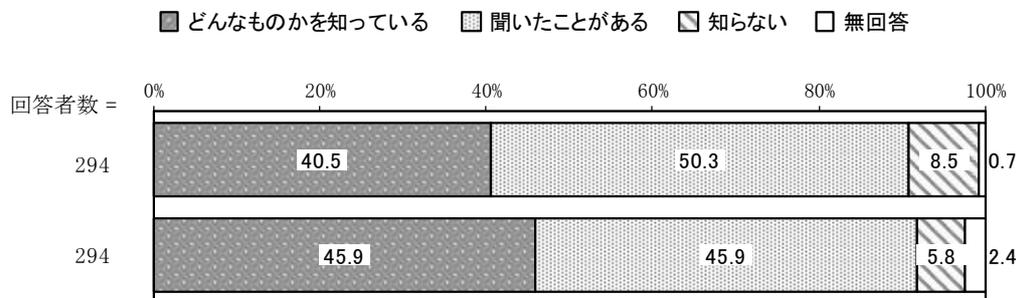
年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約2割となっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳で「知らない」の割合が高く、約5割となっています。



### ③男女雇用機会均等法

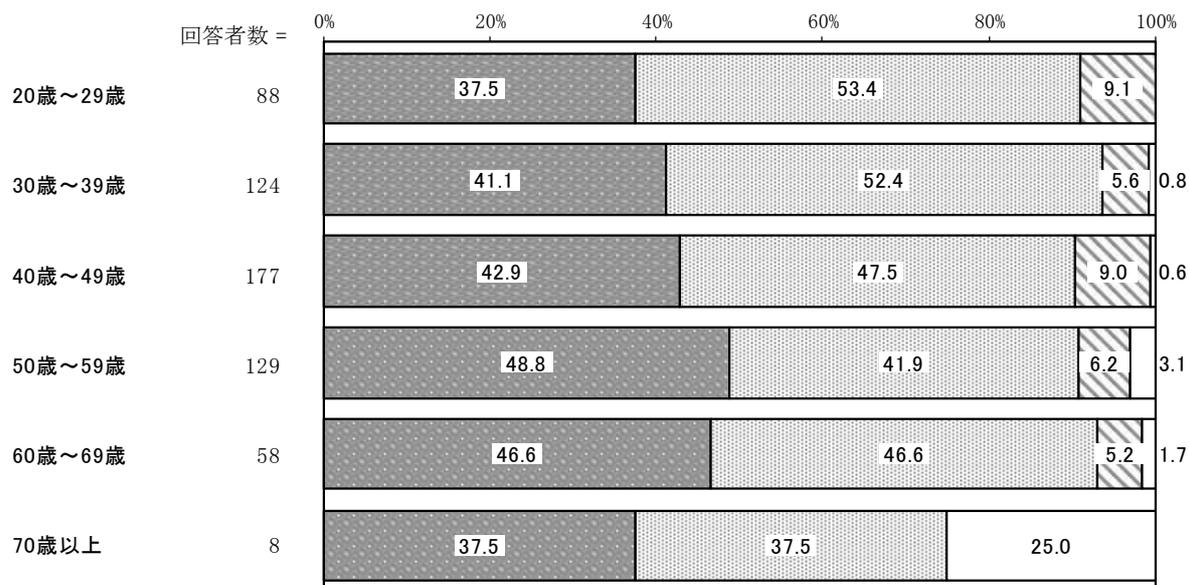
#### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



#### 【年齢別】

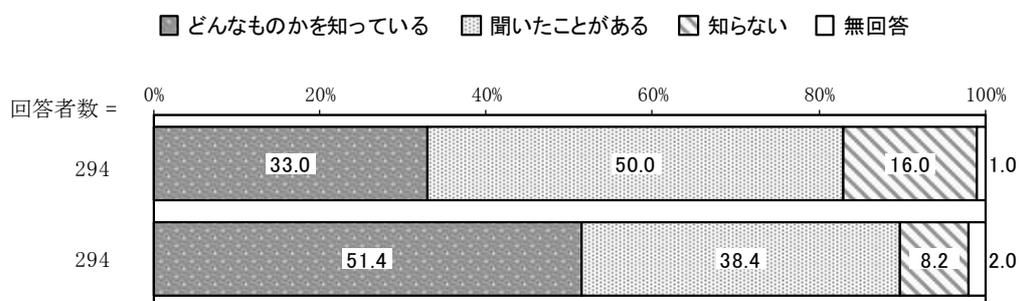
年齢別で見ると、他に比べ、50歳～59歳で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約5割となっています。



#### ④育児・介護休業法

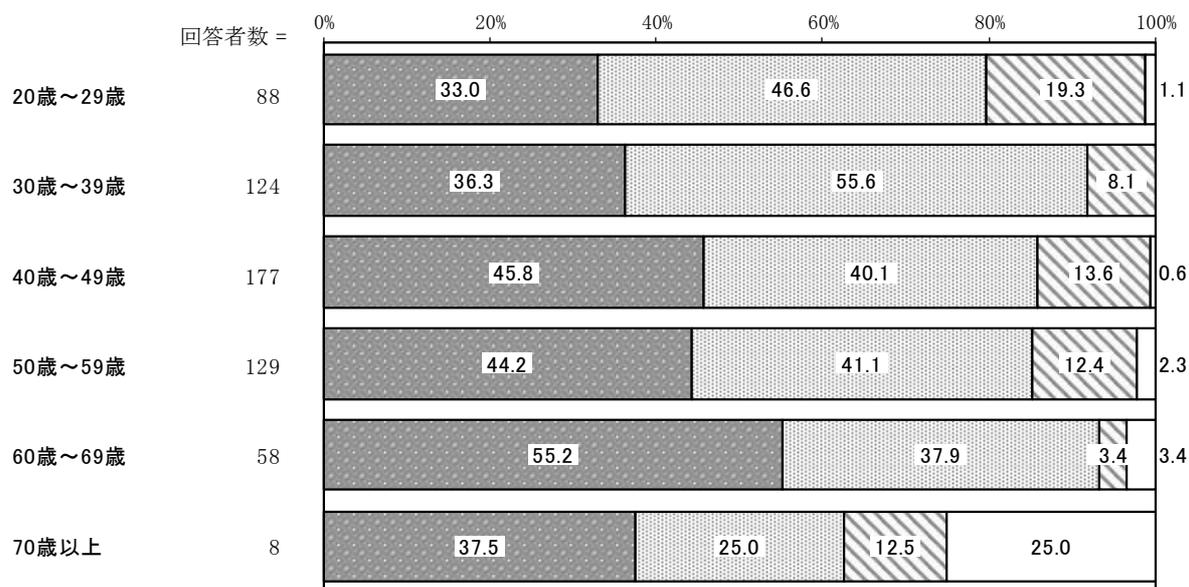
##### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「聞いたことがある」「知らない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約5割となっています。



##### 【年齢別】

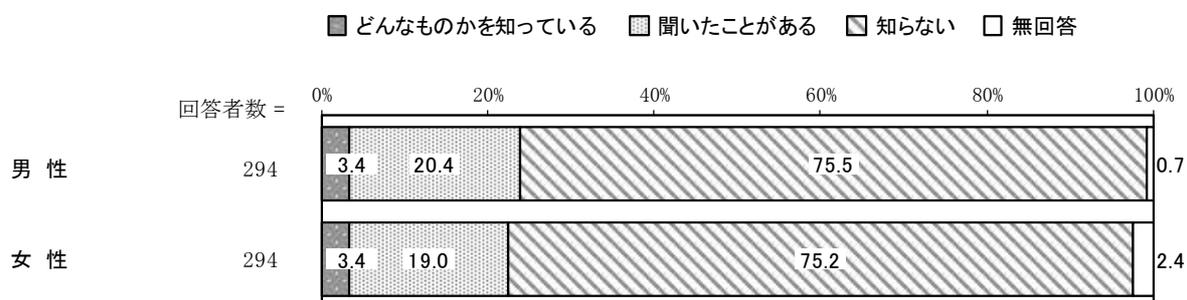
年齢別で見ると、他に比べ、60歳～69歳で「どんなものかを知っている」の割合が、30歳～39歳で「聞いたことがある」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、20歳～29歳で「知らない」の割合が高く、約2割となっています。



### ⑤ ポジティブ・アクション

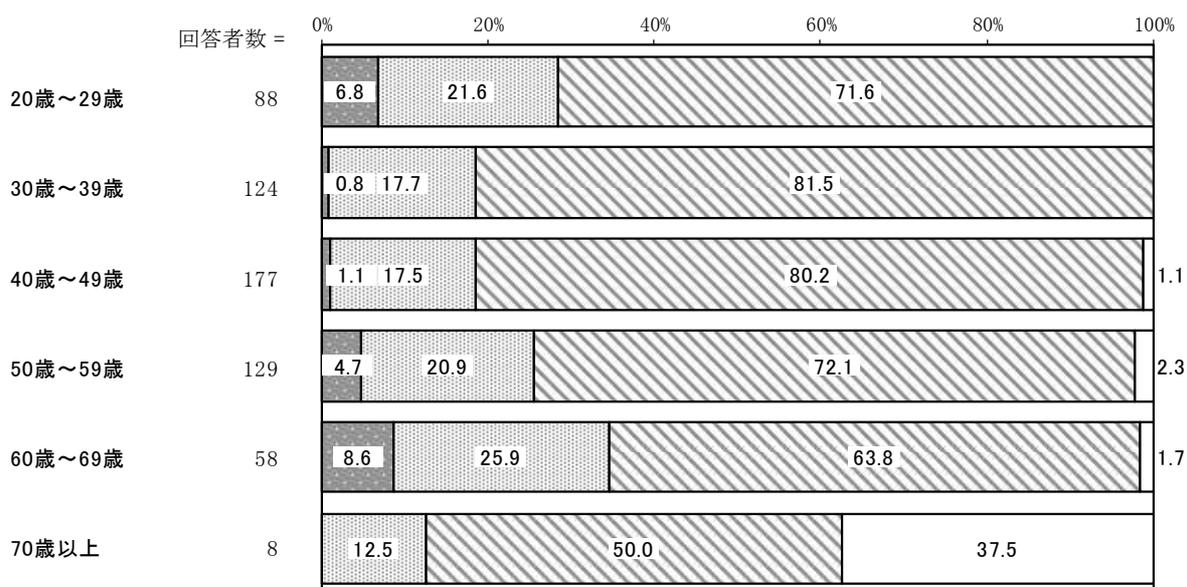
#### 【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



#### 【年齢別】

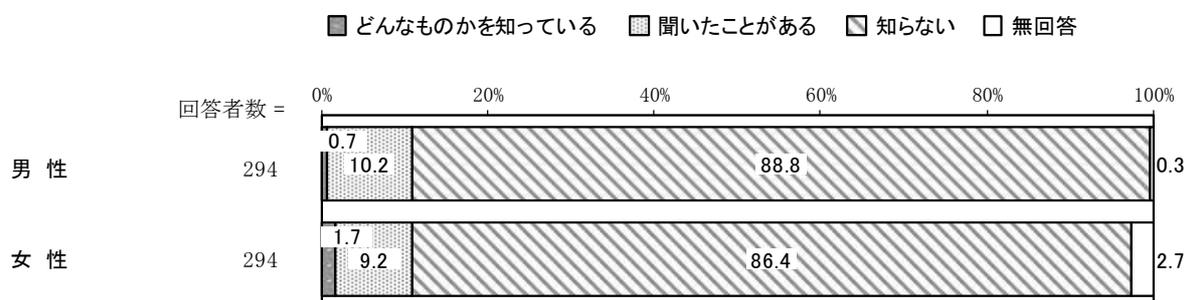
年齢別で見ると、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「知らない」の割合が高く、約8割となっています。



## ⑥リプロダクティブヘルス／ライツ

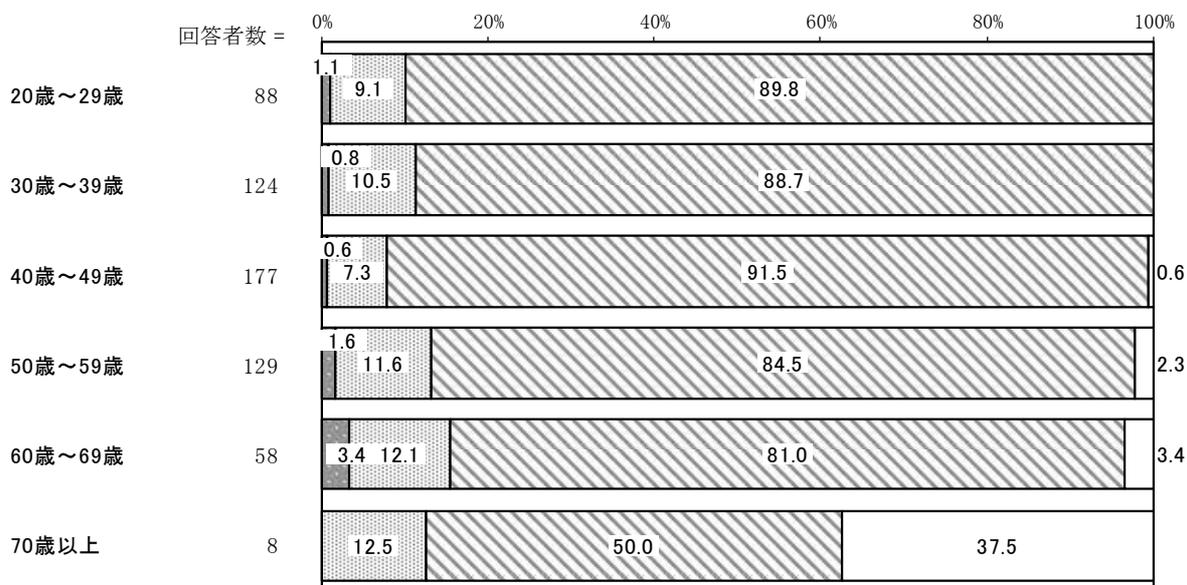
### 【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

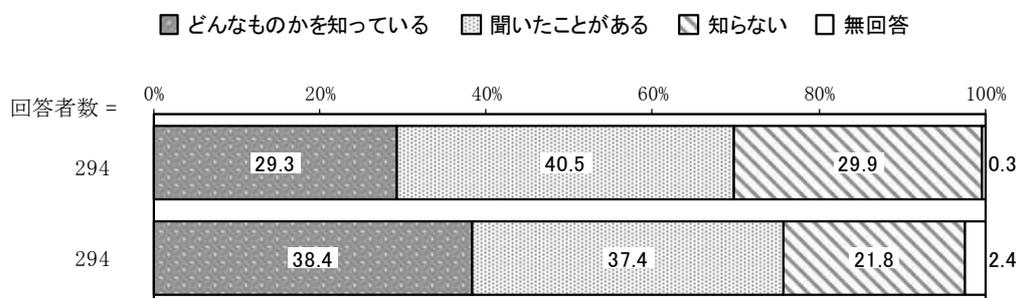
年齢別で見ると、50歳以上に比べ、49歳以下で「知らない」の割合が高く、約9割となっています。



## ⑦ジェンダー

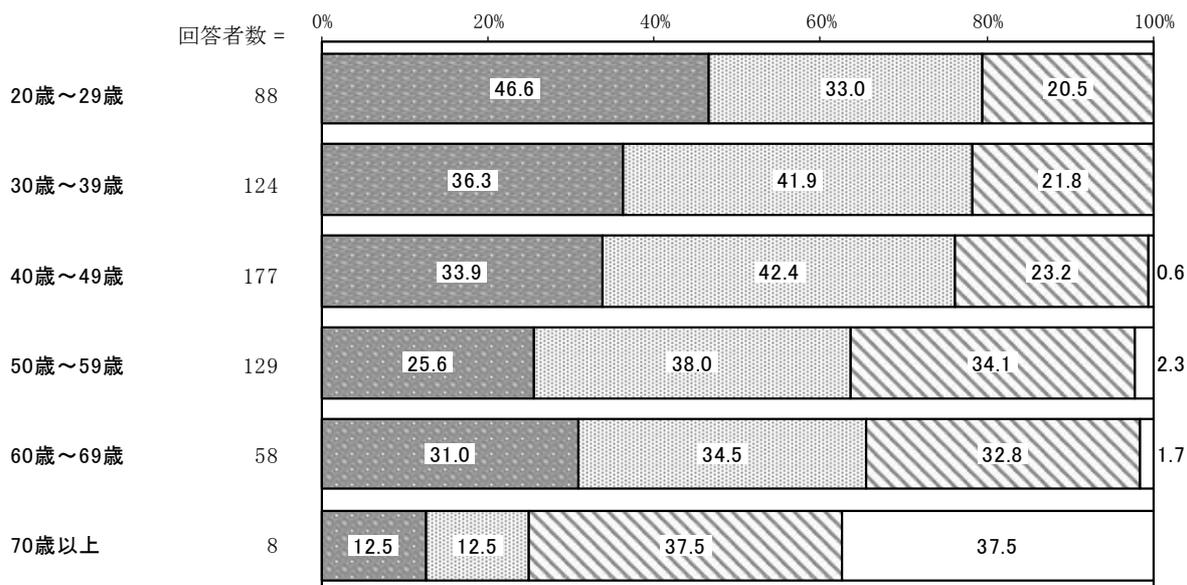
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約4割となっています。



### 【年齢別】

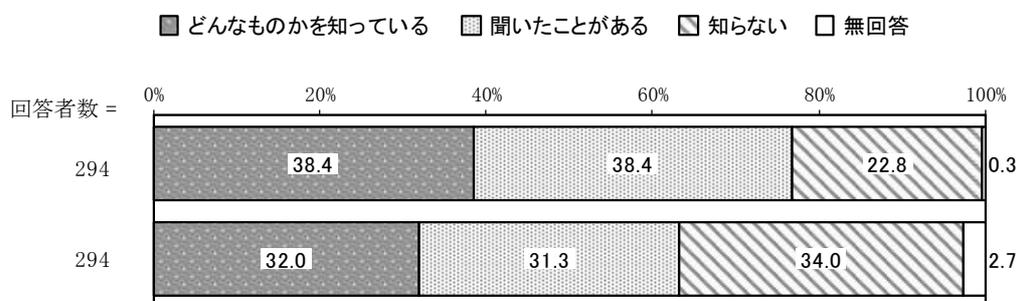
年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「どんなものかを知っている」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で4割台半ばとなっています。



## ⑧ワーク・ライフ・バランス

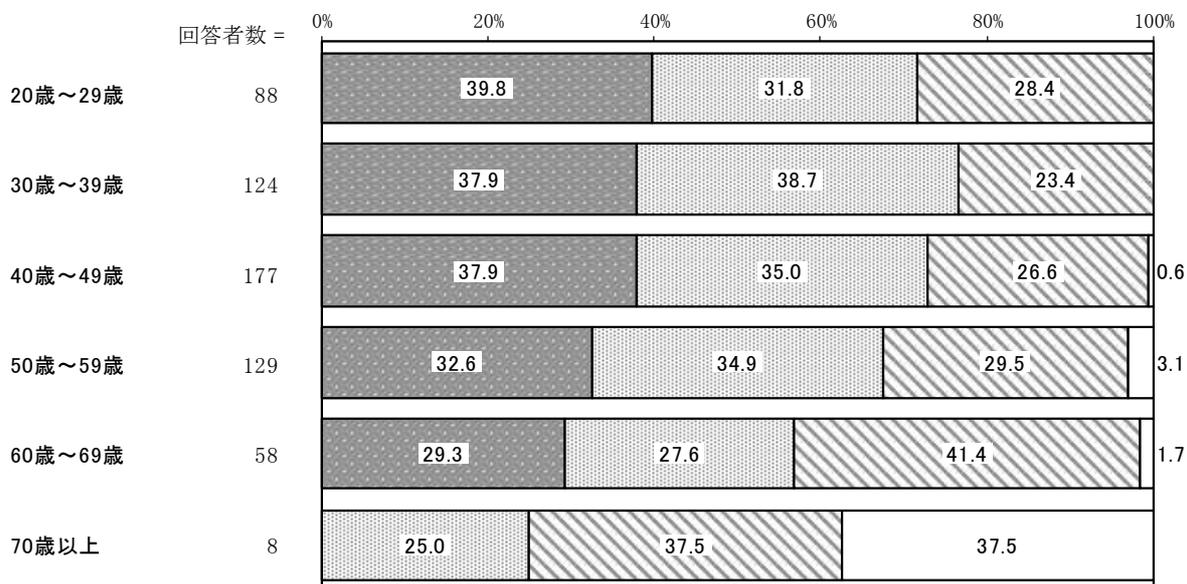
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どんなものかを知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

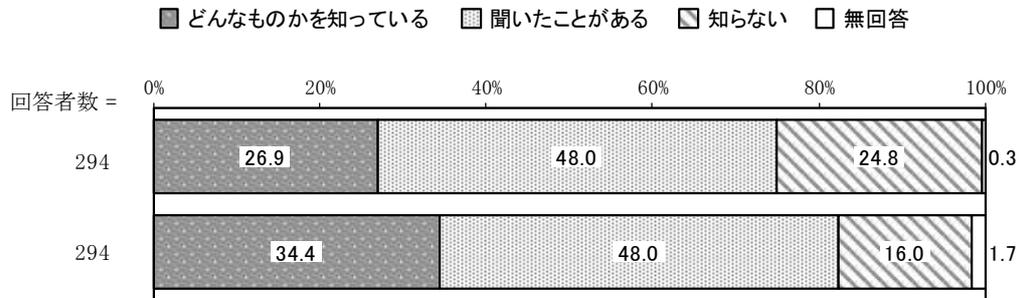
年齢別で見ると、他に比べ、年齢が低くなるにつれ「どんなものかを知っている」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳から40歳～49歳で約4割となっています。また、他に比べ、60歳～69歳で「知らない」の割合が高く、約4割となっています。



## ⑨DV防止法

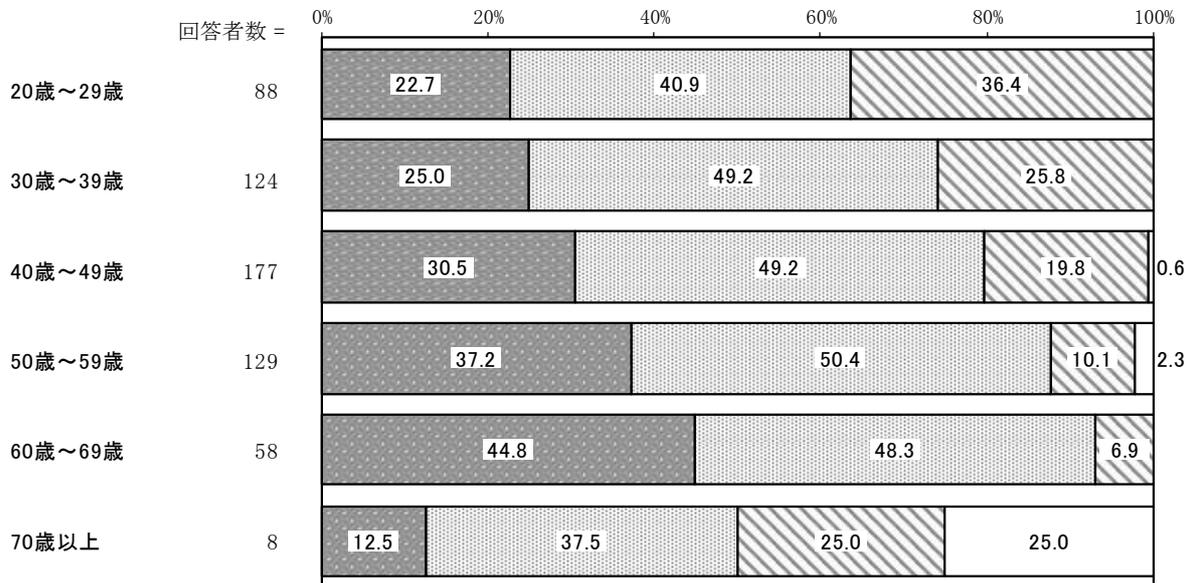
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



### 【年齢別】

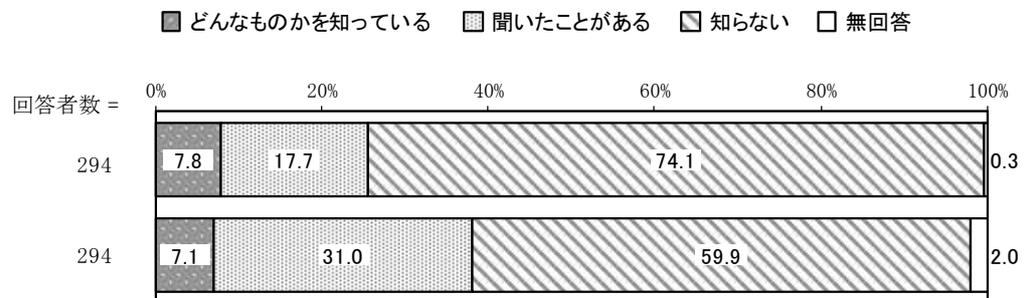
年齢別でみると、他に比べ、年齢が高くなるにつれ「どんなものかを知っている」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳～69歳で4割台半ばとなっています。また、年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で3割台半ばとなっています。



## ⑩養老町男女共同参画プラン

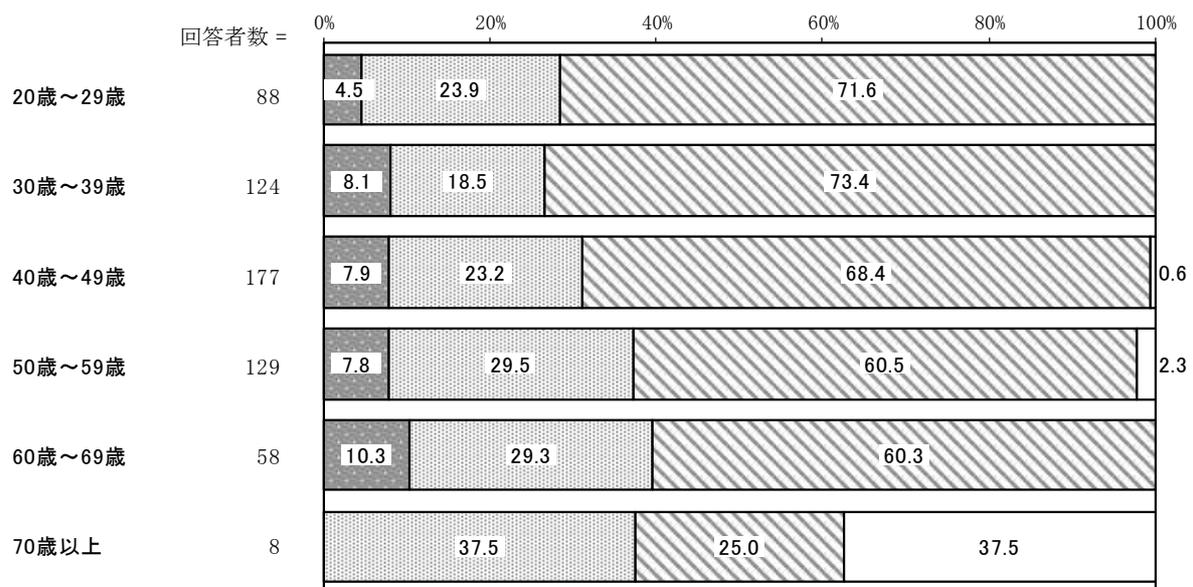
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「聞いたことがある」の割合が高く、約3割となっています。



### 【年齢別】

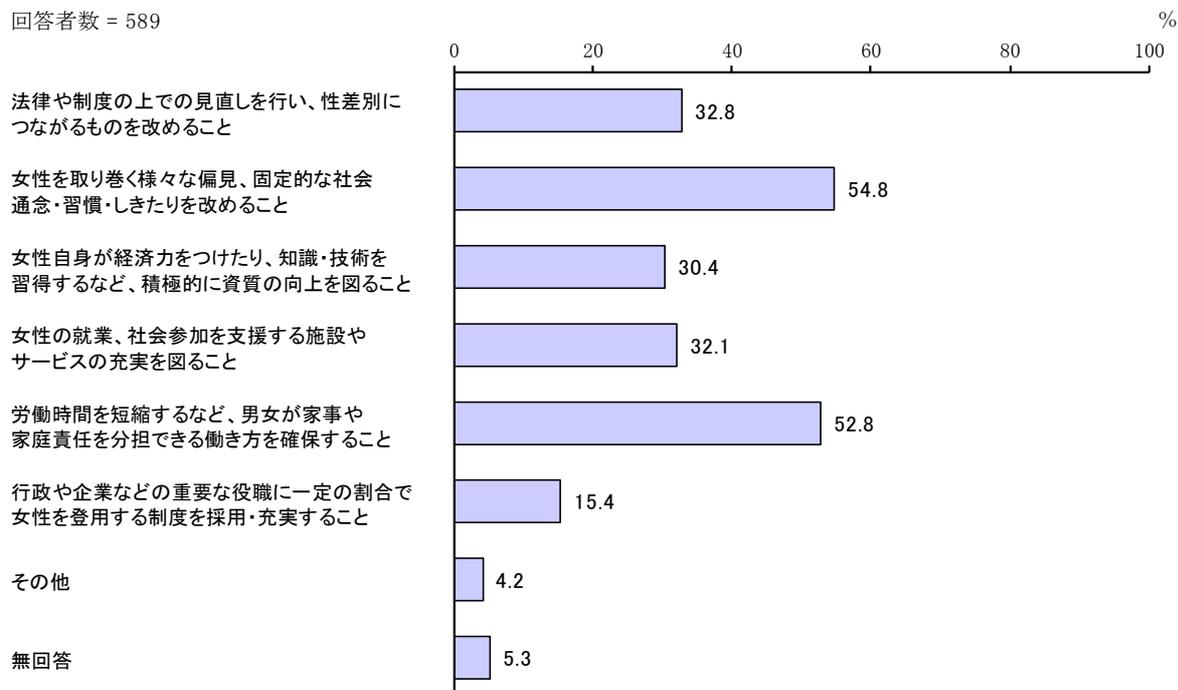
年齢別でみると、50歳以上に比べ、49歳以下で「知らない」の割合が高く、約7割となっています。



問 27 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（〇はあてはまるもの全て）

「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること」の割合が54.8%と最も高く、次いで「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が52.8%、「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」の割合が32.8%となっています。

回答者数 = 589



## 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること」「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質の向上を図ること」「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質の向上を図ること | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること | 労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること | 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | その他 | 無回答 |
|----|---------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 294     | 33.0                             | 49.7                                | 21.4                                      | 25.5                           | 46.6                                   | 14.6                                    | 6.1 | 5.4 |
| 女性 | 294     | 32.7                             | 59.9                                | 39.5                                      | 38.4                           | 59.2                                   | 16.0                                    | 2.4 | 5.1 |

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳～39歳で「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」の割合が高く、約6割となっています。

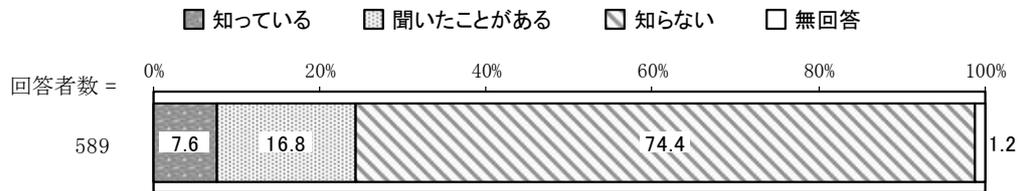
単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念・習慣・しきたりを改めること | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質の向上を図ること | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること | 労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること | 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | その他 | 無回答  |
|---------|---------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 43.2                             | 54.5                                | 19.3                                      | 25.0                           | 53.4                                   | 11.4                                    | 2.3 | 3.4  |
| 30歳～39歳 | 124     | 27.4                             | 50.0                                | 21.0                                      | 29.0                           | 60.5                                   | 11.3                                    | 6.5 | 4.0  |
| 40歳～49歳 | 177     | 25.4                             | 48.6                                | 33.3                                      | 30.5                           | 50.8                                   | 14.7                                    | 6.2 | 7.9  |
| 50歳～59歳 | 129     | 39.5                             | 62.0                                | 38.8                                      | 43.4                           | 51.9                                   | 20.9                                    | 2.3 | 3.9  |
| 60歳～69歳 | 58      | 36.2                             | 69.0                                | 41.4                                      | 32.8                           | 48.3                                   | 22.4                                    | 1.7 | 3.4  |
| 70歳以上   | 8       | —                                | 62.5                                | 25.0                                      | 12.5                           | 25.0                                   | —                                       | —   | 25.0 |

《養老町で取り組んでいる次の事業についてお聞きします。》

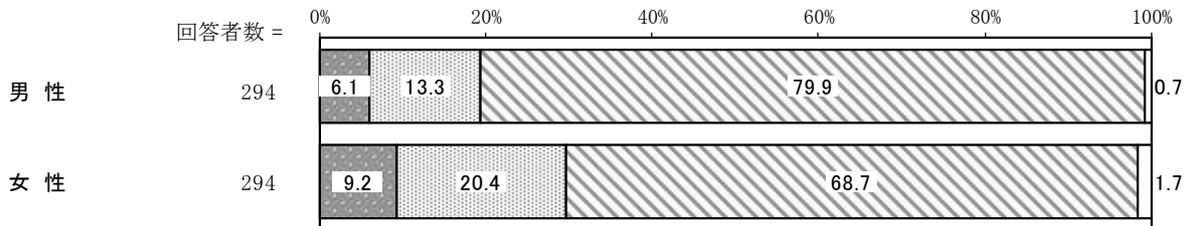
問 28(1) 一般住民・各種団体・企業などを対象とした男女共同参画に関する講演会(セミナー形式)についてご存じですか。(〇は1つ)

「知らない」の割合が74.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が16.8%となっています。



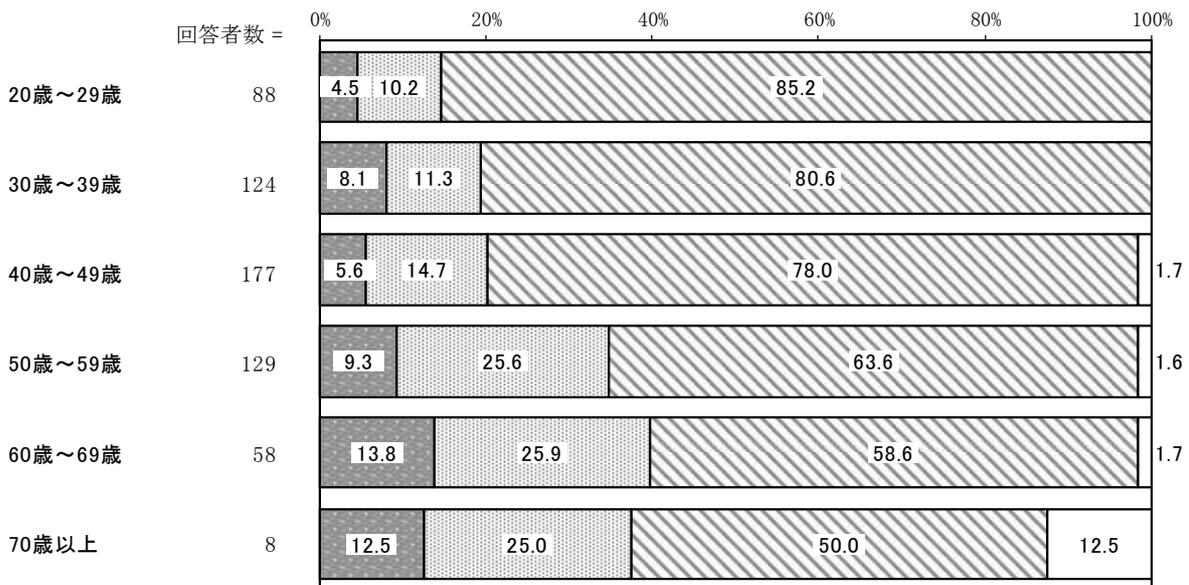
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約8割となっています。また、男性に比べ、女性で「聞いたことがある」の割合が高く、約2割となっています。



【年齢別】

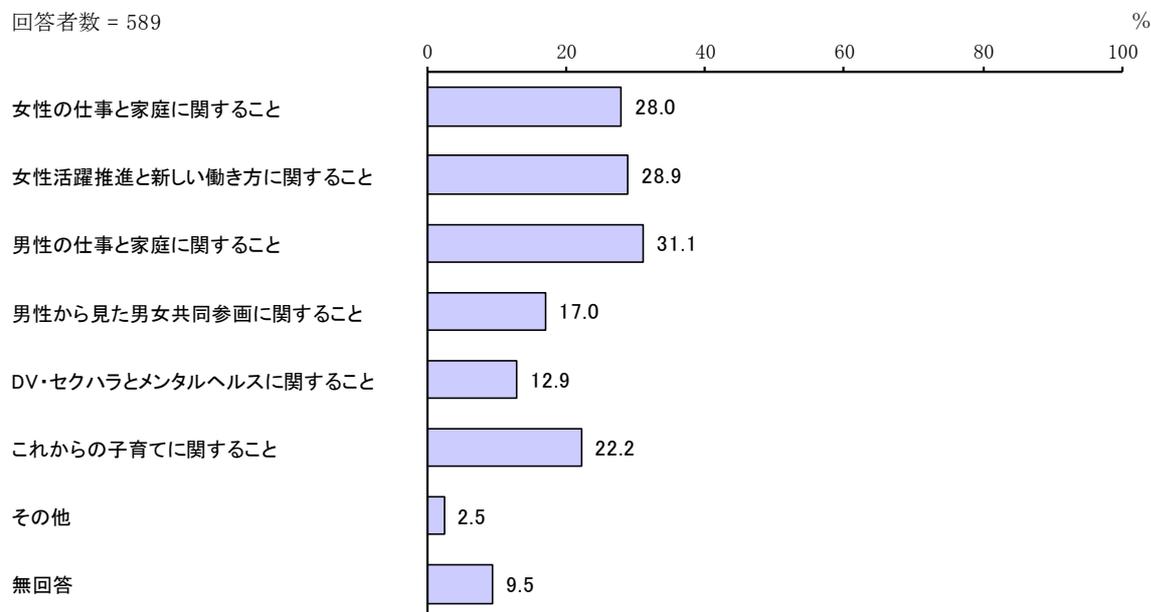
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で8割台半ばとなっています。また、他に比べ、50歳～59歳、60歳～69歳で「聞いたことがある」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



今後、この講演会にどのような内容の講話を取り入れるとよいと思われますか。  
(〇は2つまで)

「男性の仕事と家庭に関すること」の割合が31.1%と最も高く、次いで「女性活躍推進と新しい働き方に関すること」の割合が28.9%、「女性の仕事と家庭に関すること」の割合が28.0%となっています。

回答者数 = 589



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性の仕事と家庭に関すること」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「女性活躍推進と新しい働き方に関すること」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 女性の仕事と家庭に関すること | 女性活躍推進と新しい働き方に関すること | 男性の仕事と家庭に関すること | 男性から見た男女共同参画に関すること | DV・セクハラとメンタルヘルスに関すること | これからの子育てに関すること | その他 | 無回答 |
|----|---------|----------------|---------------------|----------------|--------------------|-----------------------|----------------|-----|-----|
| 男性 | 294     | 26.9           | 24.8                | 34.7           | 18.0               | 13.9                  | 20.1           | 1.4 | 9.5 |
| 女性 | 294     | 29.3           | 33.0                | 27.6           | 15.6               | 11.9                  | 24.5           | 3.7 | 9.5 |

【年齢別】

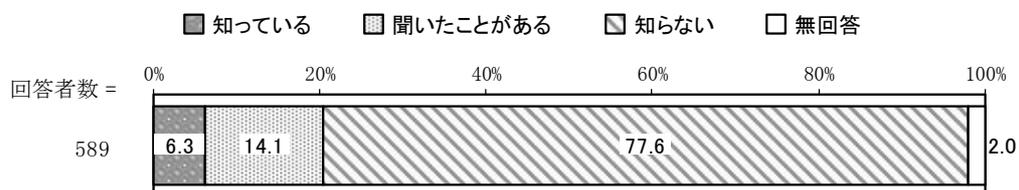
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「男性の仕事と家庭に関すること」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳～29歳で約4割となっています。また、他に比べ、50歳～59歳で「女性活躍推進と新しい働き方に関すること」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

| 区分      | 回答者数(件) | 女性の仕事と家庭に関すること | 女性活躍推進と新しい働き方に関すること | 男性の仕事と家庭に関すること | 男性から見た男女共同参画に関すること | DV・セクハラとメンタルヘルスに関すること | これからの子育てに関すること | その他 | 無回答  |
|---------|---------|----------------|---------------------|----------------|--------------------|-----------------------|----------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 34.1           | 15.9                | 43.2           | 12.5               | 14.8                  | 27.3           | 3.4 | 3.4  |
| 30歳～39歳 | 124     | 29.8           | 25.0                | 39.5           | 13.7               | 15.3                  | 30.6           | 1.6 | 6.5  |
| 40歳～49歳 | 177     | 24.9           | 29.4                | 31.1           | 16.9               | 13.6                  | 18.1           | 3.4 | 13.0 |
| 50歳～59歳 | 129     | 25.6           | 38.0                | 19.4           | 19.4               | 10.9                  | 16.3           | 1.6 | 12.4 |
| 60歳～69歳 | 58      | 31.0           | 36.2                | 22.4           | 27.6               | 10.3                  | 20.7           | 3.4 | 3.4  |
| 70歳以上   | 8       | 12.5           | 37.5                | 12.5           | 12.5               | —                     | 12.5           | —   | 37.5 |

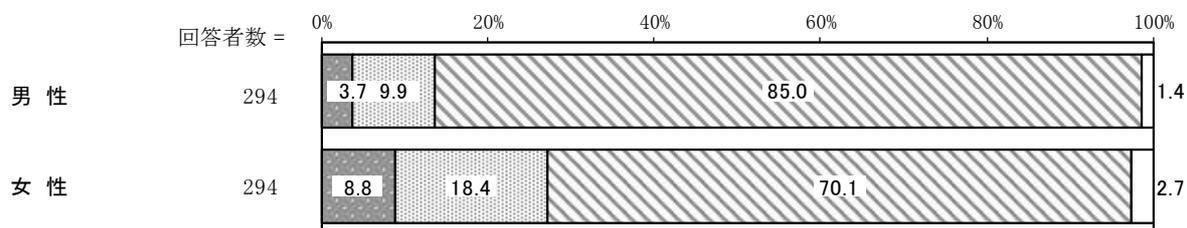
問 28(2) 地元の子育て支援団体と連携し、子育て世代を応援する「ようろうっこ応援事業（講座）」についてご存じですか。（○は1つ）

「知らない」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 14.1%となっています。



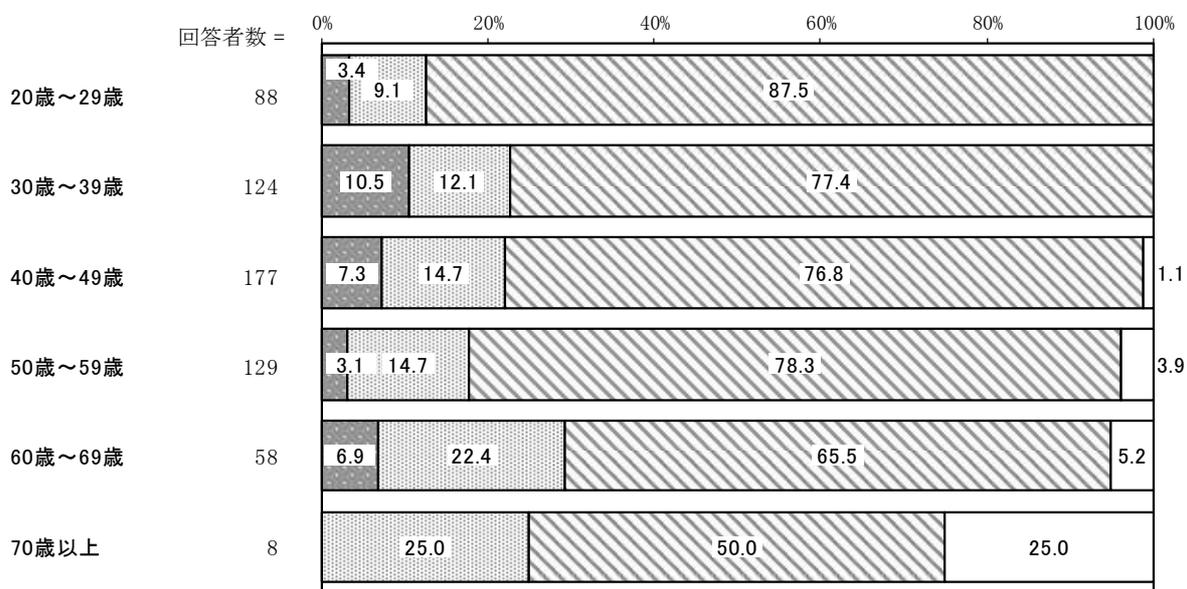
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



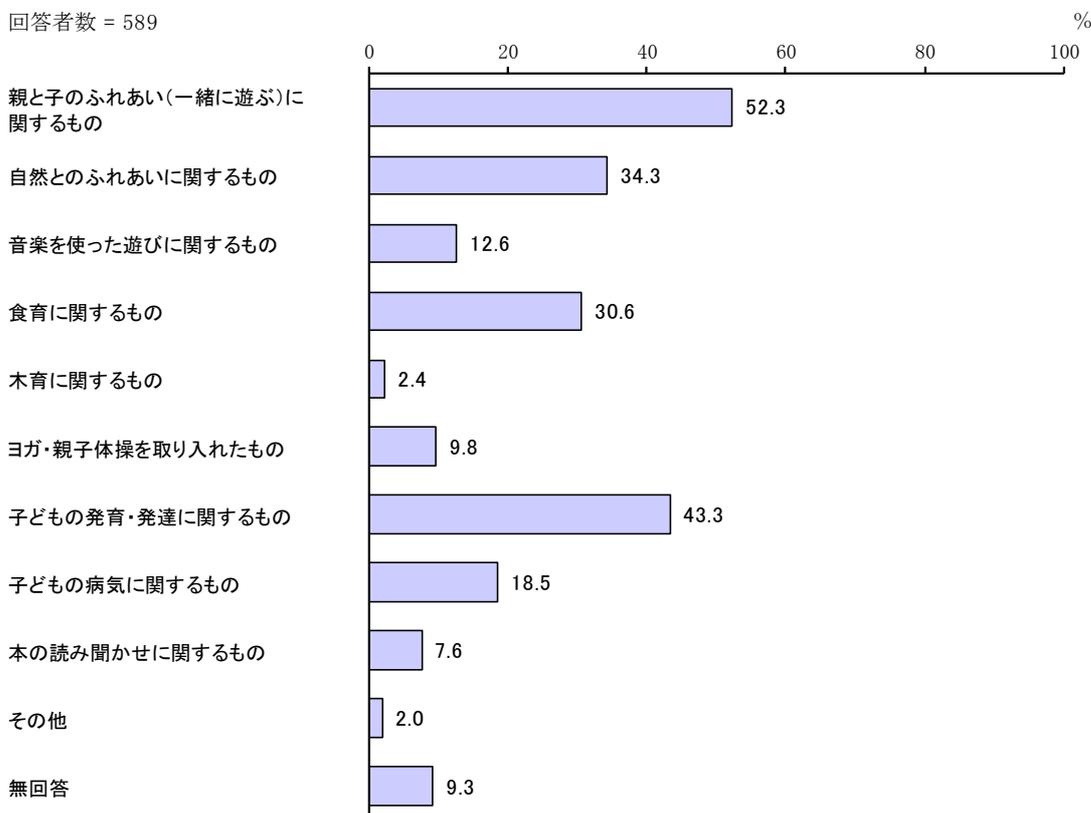
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「知らない」の割合が高く、約9割となっています。また、60歳～69歳で「聞いたことがある」の割合が高く、約2割となっています。



この事業は親子で参加する講座ですが、今後、この事業にどのような内容の講座を取り入れるとよいと思われますか。(〇は3つまで)

「親と子のふれあい（一緒に遊ぶ）に関するもの」の割合が52.3%と最も高く、次いで「子どもの発育・発達に関するもの」の割合が43.3%、「自然とのふれあいに関するもの」の割合が34.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「子どもの病気に関するもの」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「食育に関するもの」「ヨガ・親子体操を取り入れたもの」「本の読み聞かせに関するもの」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 親と子のふれあい(一緒に遊ぶ)に関するもの | 自然とのふれあいに関するもの | 音楽を使った遊びに関するもの | 食育に関するもの | 木育に関するもの | ヨガ・親子体操を取り入れたもの | 子どもの発育・発達に関するもの | 子どもの病気に関するもの | 本の読み聞かせに関するもの | その他 | 無回答  |
|----|---------|-----------------------|----------------|----------------|----------|----------|-----------------|-----------------|--------------|---------------|-----|------|
| 男性 | 294     | 53.7                  | 33.3           | 11.9           | 24.5     | 2.4      | 4.4             | 43.2            | 22.8         | 5.1           | 1.7 | 10.5 |
| 女性 | 294     | 50.7                  | 35.0           | 13.3           | 36.7     | 2.4      | 15.3            | 43.5            | 14.3         | 10.2          | 2.4 | 8.2  |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「親と子のふれあい（一緒に遊ぶ）に関するもの」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、60歳～69歳で「子どもの発育・発達に関するもの」の割合が高く、約6割となっています。

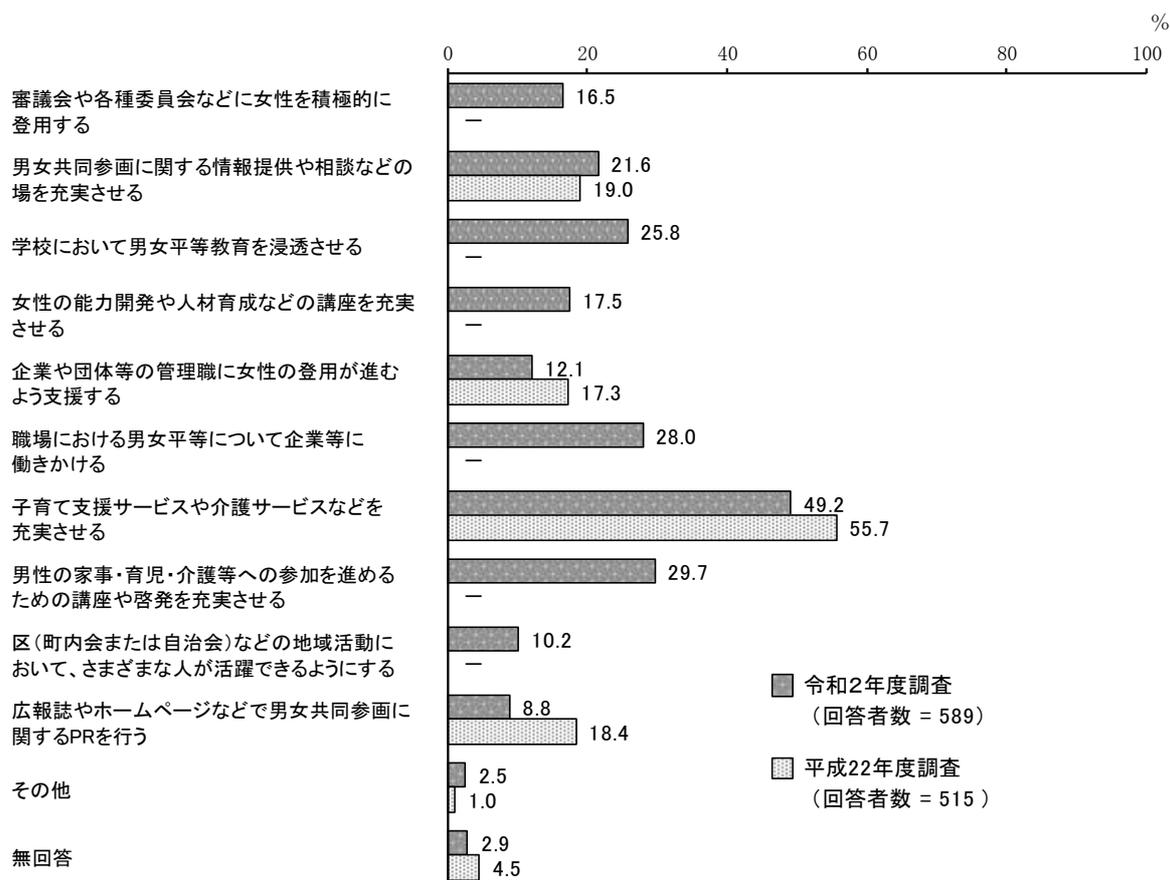
単位：％

| 区分      | 回答者数（件） | 親と子のふれあい（一緒に遊ぶ）に関するもの | 自然とのふれあいに関するもの | 音楽を使った遊びに関するもの | 食育に関するもの | 木育に関するもの | ヨガ・親子体操を取り入れたもの | 子どもの発育・発達に関するもの | 子どもの病気にに関するもの | 本の読み聞かせに関するもの | その他 | 無回答  |
|---------|---------|-----------------------|----------------|----------------|----------|----------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 88      | 65.9                  | 27.3           | 11.4           | 22.7     | 1.1      | 13.6            | 45.5            | 17.0          | 3.4           | 1.1 | 6.8  |
| 30歳～39歳 | 124     | 54.8                  | 32.3           | 14.5           | 34.7     | 4.8      | 14.5            | 51.6            | 18.5          | 9.7           | 1.6 | 4.0  |
| 40歳～49歳 | 177     | 44.1                  | 36.2           | 10.7           | 26.6     | 2.8      | 10.7            | 38.4            | 16.9          | 6.8           | 3.4 | 14.1 |
| 50歳～59歳 | 129     | 48.8                  | 37.2           | 13.2           | 38.8     | 1.6      | 5.4             | 34.9            | 21.7          | 7.8           | 2.3 | 9.3  |
| 60歳～69歳 | 58      | 58.6                  | 39.7           | 15.5           | 31.0     | —        | 3.4             | 58.6            | 20.7          | 10.3          | —   | 6.9  |
| 70歳以上   | 8       | 37.5                  | 25.0           | —              | 25.0     | —        | —               | 25.0            | 12.5          | —             | —   | 25.0 |

問 29 今後、男女共同参画を進めていくうえで、養老町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は主なもの3つまで)

「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が49.2%と最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」の割合が29.7%、「職場における男女平等について企業等に働きかける」の割合が28.0%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する」「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」「広報誌やホームページなどで男女共同参画に関するPRを行う」の割合が減少しています。



※平成22年度調査には、「審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する」「学校において男女平等教育を浸透させる」「女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる」「職場における男女平等について企業等に働きかける」「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」「区(町内会または自治会)などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする」の選択肢はありませんでした。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：%

|    |                          |                                    |                                           |                              |                         |                           |                         |
|----|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 区分 | 回答者数(件)                  | 審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する            | 男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる               | 学校において男女平等教育を浸透させる           | 女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる | 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する | 職場における男女平等について企業等に働きかける |
| 男性 | 294                      | 17.0                               | 22.8                                      | 26.2                         | 16.7                    | 13.3                      | 28.2                    |
| 女性 | 294                      | 15.6                               | 20.4                                      | 25.5                         | 18.4                    | 10.9                      | 27.9                    |
| 区分 | 子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる | 男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる | 区(町内会または自治会)などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする | 広報誌やホームページなどで男女共同参画に関するPRを行う | その他                     | 無回答                       |                         |
| 男性 | 40.1                     | 27.2                               | 11.6                                      | 7.8                          | 3.4                     | 3.1                       |                         |
| 女性 | 58.2                     | 32.3                               | 8.8                                       | 9.9                          | 1.7                     | 2.7                       |                         |

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が高く、約6割となっています。また、60歳～69歳で「女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

| 区分      | 回答者数(件) | 審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する | 男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる | 学校において男女平等教育を浸透させる | 女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる | 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する | 職場における男女平等について企業等に働きかける |
|---------|---------|-------------------------|-----------------------------|--------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 20歳～29歳 | 88      | 10.2                    | 23.9                        | 30.7               | 17.0                    | 13.6                      | 28.4                    |
| 30歳～39歳 | 124     | 12.1                    | 19.4                        | 26.6               | 15.3                    | 12.1                      | 33.9                    |
| 40歳～49歳 | 177     | 14.1                    | 18.1                        | 26.0               | 17.5                    | 10.2                      | 29.4                    |
| 50歳～59歳 | 129     | 22.5                    | 25.6                        | 24.0               | 13.2                    | 13.2                      | 22.5                    |
| 60歳～69歳 | 58      | 25.9                    | 29.3                        | 19.0               | 31.0                    | 10.3                      | 24.1                    |
| 70歳以上   | 8       | 12.5                    | —                           | 25.0               | 25.0                    | 25.0                      | 25.0                    |

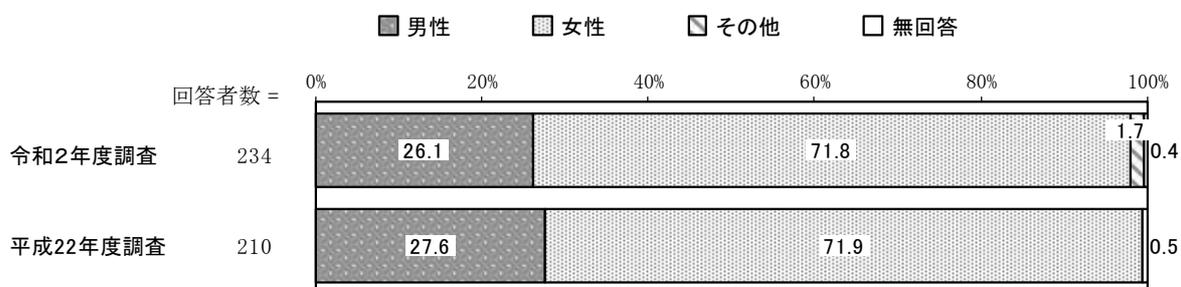
| 区分      | 子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる | 男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる | 区(町内会または自治会)などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする | 広報誌やホームページなどで男女共同参画に関する啓発を行う | その他 | 無回答  |
|---------|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------|-----|------|
| 20歳～29歳 | 47.7                     | 26.1                               | 6.8                                       | 6.8                          | 2.3 | 2.3  |
| 30歳～39歳 | 58.9                     | 36.3                               | 9.7                                       | 4.8                          | 4.0 | —    |
| 40歳～49歳 | 52.0                     | 32.2                               | 7.9                                       | 6.8                          | 2.8 | 4.0  |
| 50歳～59歳 | 41.9                     | 24.8                               | 13.2                                      | 12.4                         | 1.6 | 3.9  |
| 60歳～69歳 | 46.6                     | 31.0                               | 13.8                                      | 19.0                         | —   | 1.7  |
| 70歳以上   | 12.5                     | —                                  | 37.5                                      | —                            | —   | 25.0 |

### 3 高校生

#### (1) 回答者属性

##### 問1 あなたの性別はどれですか。(○は1つ)

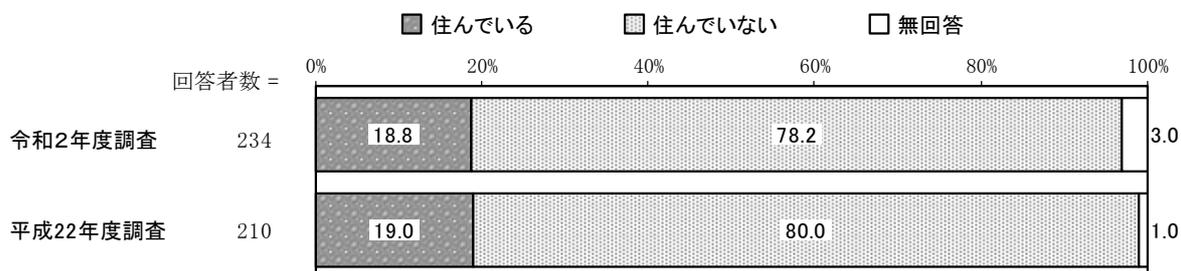
「男性」の割合が26.1%、「女性」の割合が71.8%となっています。  
平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成22年度調査には「その他」の選択肢はありません。

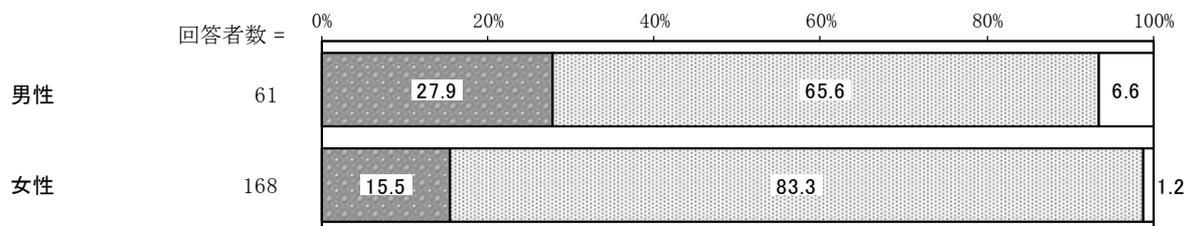
##### 問2 あなたは養老町に住んでいますか。(○は1つ)

「住んでいる」の割合が18.8%、「住んでいない」の割合が78.2%となっています。  
平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

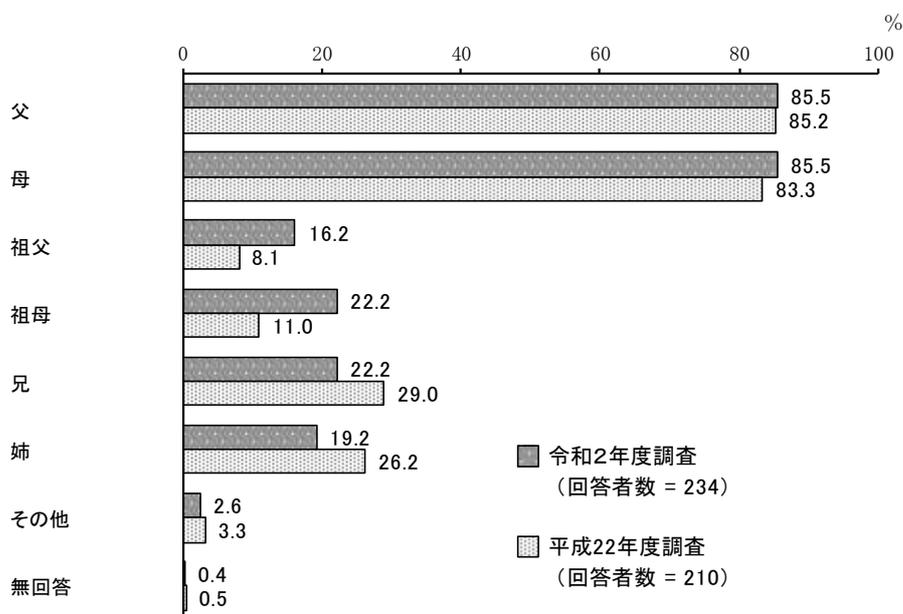
性別で見ると、女性に比べ、男性で「住んでいる」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で「住んでいない」の割合が高く、約8割となっています。



### 問3 あなたの家族で働いている方は誰ですか。(〇はあてはまるもの全て)

「父」、「母」の割合が85.5%と最も高く、次いで「祖母」、「兄」の割合が22.2%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「祖父」「祖母」の割合が増加し、「兄」「姉」の割合が減少しています。



#### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「父」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

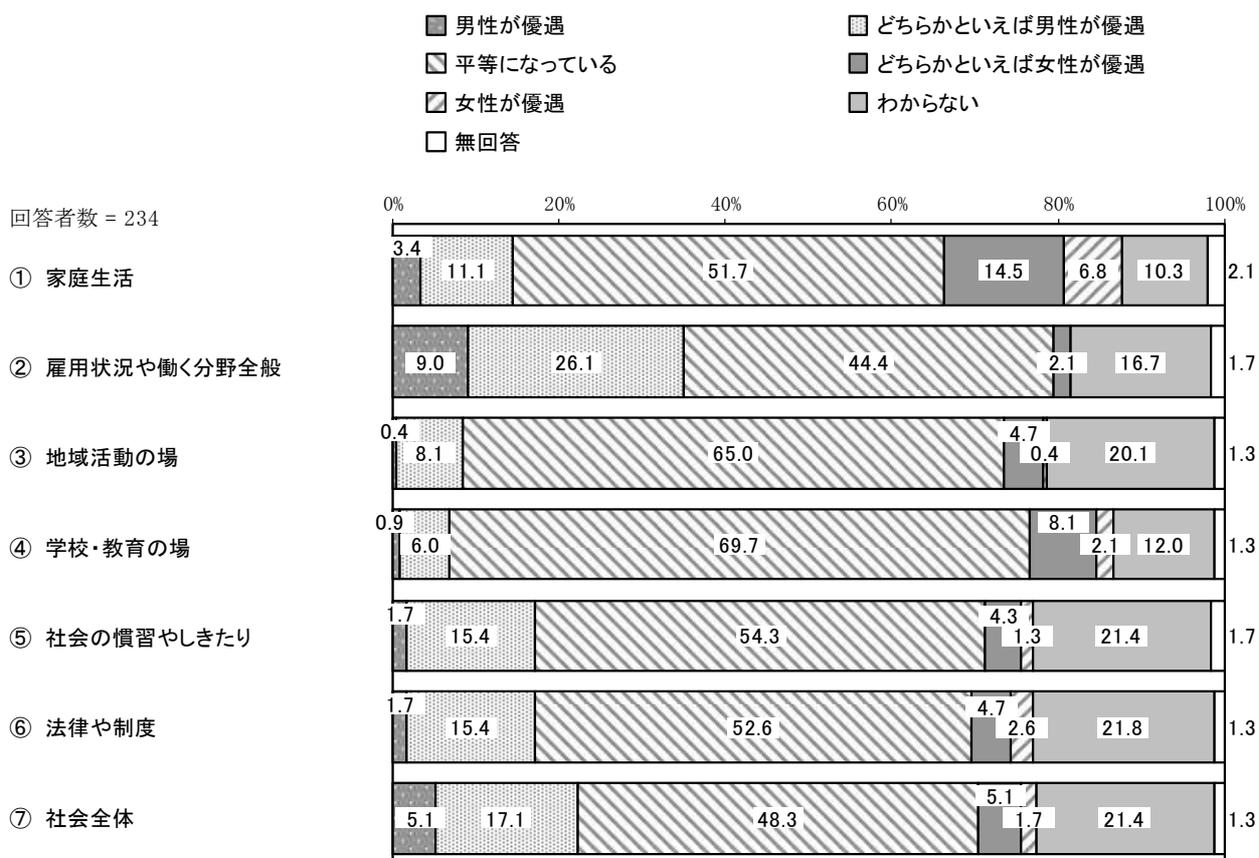
| 区分 | 回答者数 (件) | 父    | 母    | 祖父   | 祖母   | 兄    | 姉    | その他 | 無回答 |
|----|----------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 男性 | 61       | 78.7 | 85.2 | 18.0 | 24.6 | 23.0 | 19.7 | 4.9 | —   |
| 女性 | 168      | 88.7 | 86.3 | 14.9 | 21.4 | 22.6 | 19.0 | 1.2 | —   |

## (2) 性別役割分担について

問4 次の各分野における男女の地位について、男女がどの程度平等になっていると思われますか。(〇は各項目1つずつ)

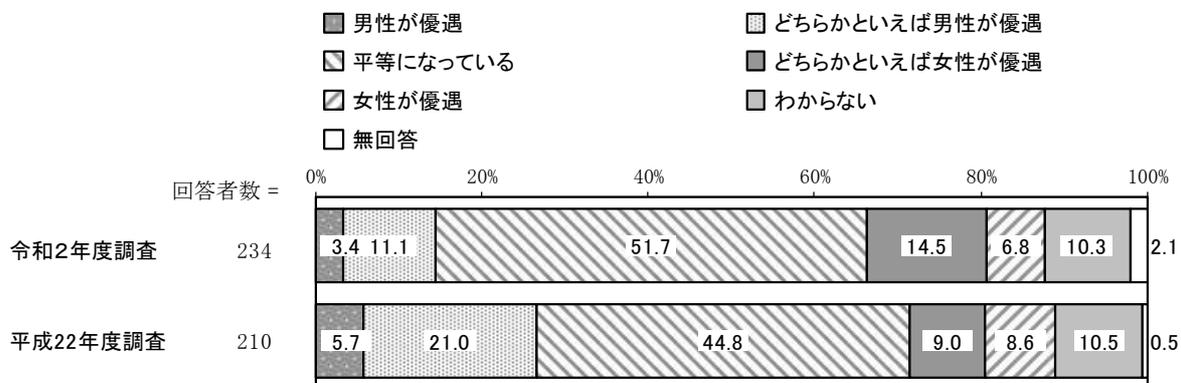
『②雇用状況や働く分野全般』で「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」をあわせた“男性が優遇”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、『①家庭生活』で「どちらかといえば女性が優遇」と「女性が優遇」をあわせた“女性が優遇”の割合が高く、約2割となっています。

一方、『③地域活動の場』『④学校・教育の場』で「平等になっている」の割合が高く、6割を超えています。



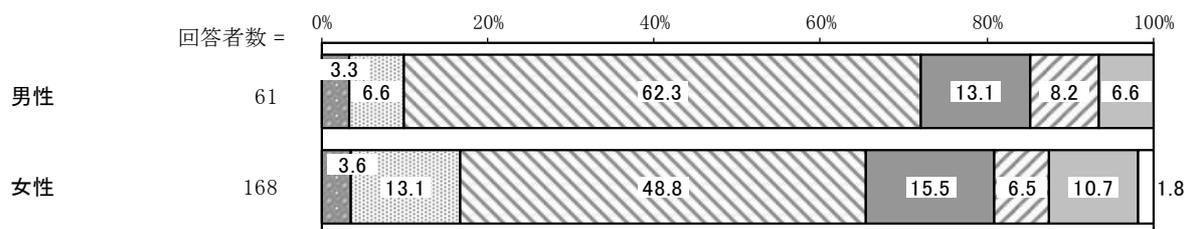
### ①家庭生活

平成22年度調査と比較すると、「男性が優遇」の割合が減少し、「平等になっている」の割合が増加しています。



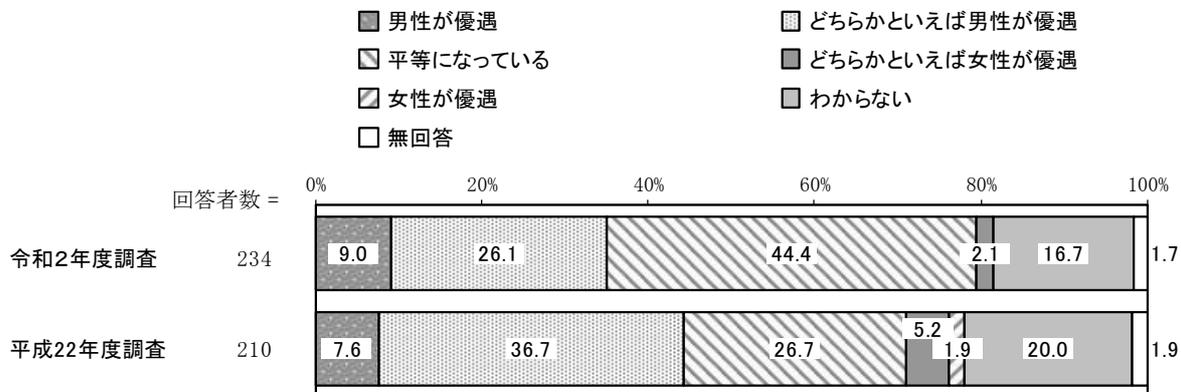
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約6割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



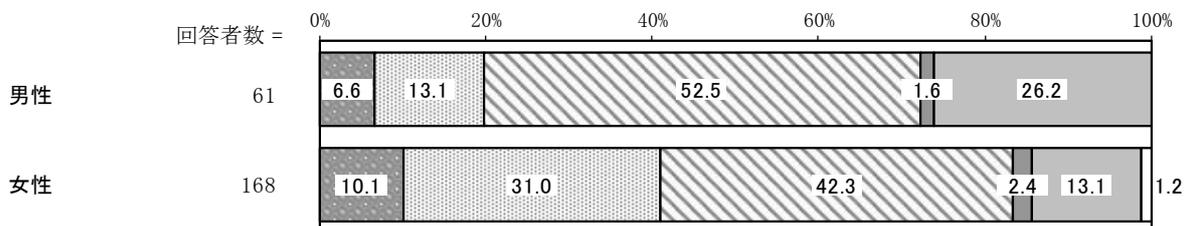
## ②雇用状況や働く分野全般

平成22年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が増加し、“男性が優遇”“女性が優遇”の割合が減少しています。



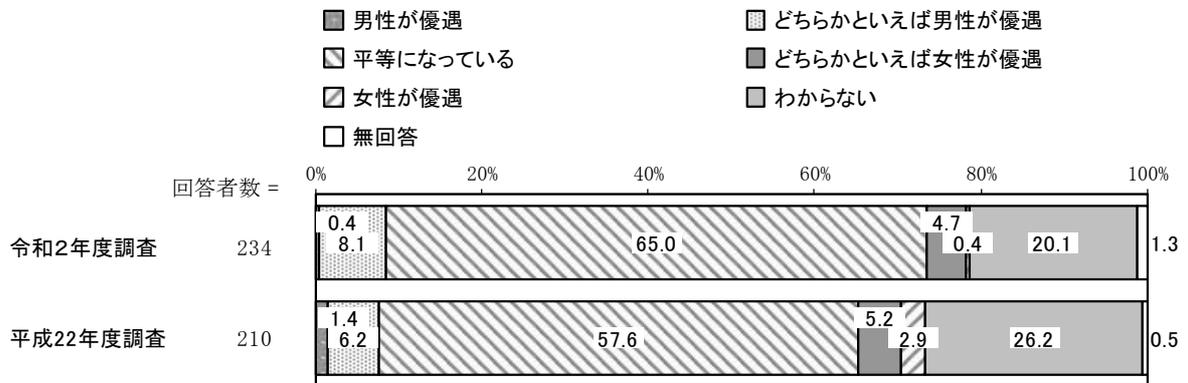
## 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約4割となっています。



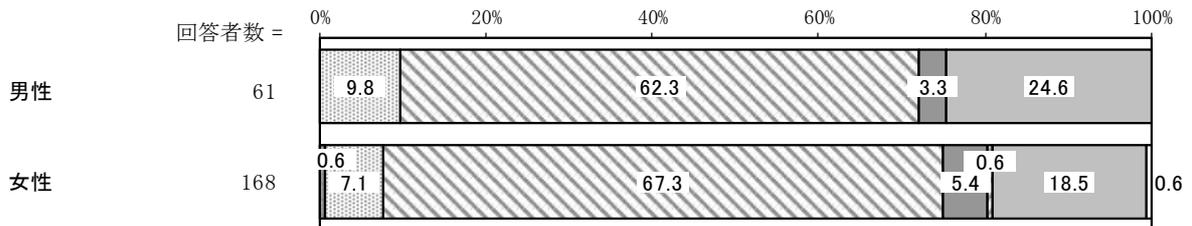
### ③地域活動の場

平成 22 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が増加しています。



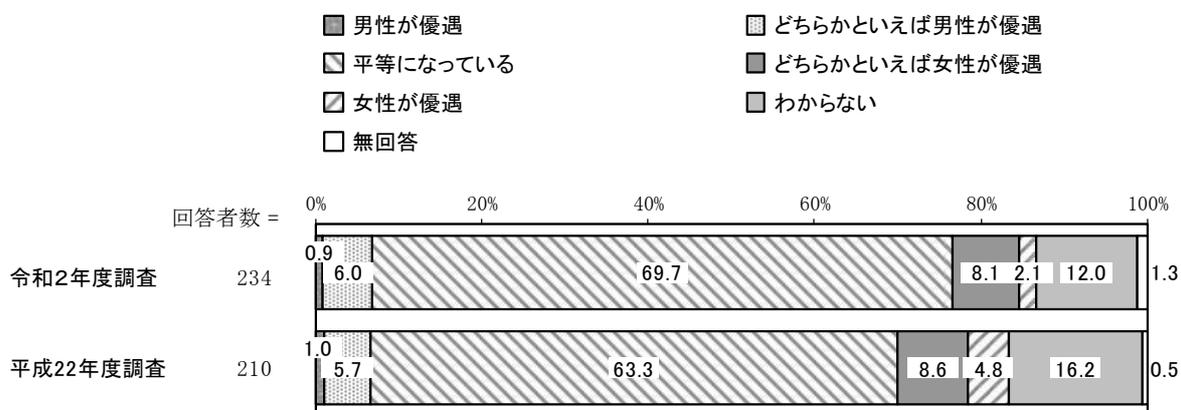
### 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「平等になっている」の割合が高く、約7割となっています。



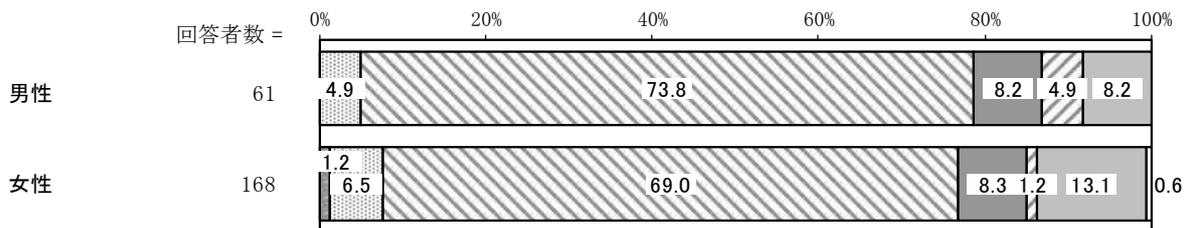
#### ④学校・教育の場

平成22年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が増加しています。



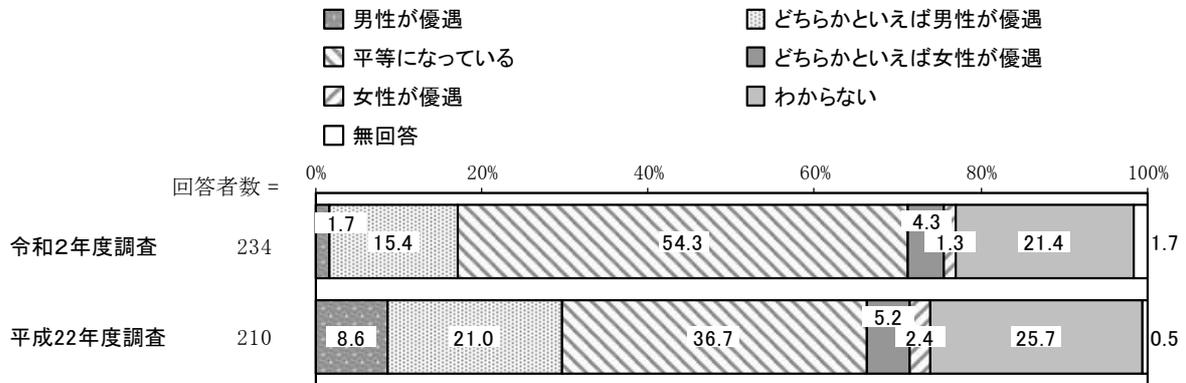
#### 【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



### ⑤社会の慣習やしきたり

平成22年度調査と比較すると、“男性が優遇”の割合が減少し、「平等になっている」の割合が増加しています。



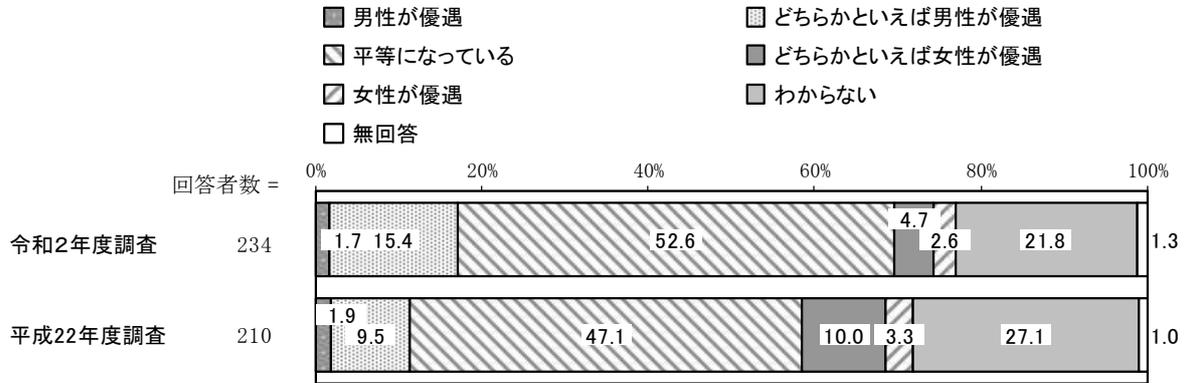
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約2割となっています。



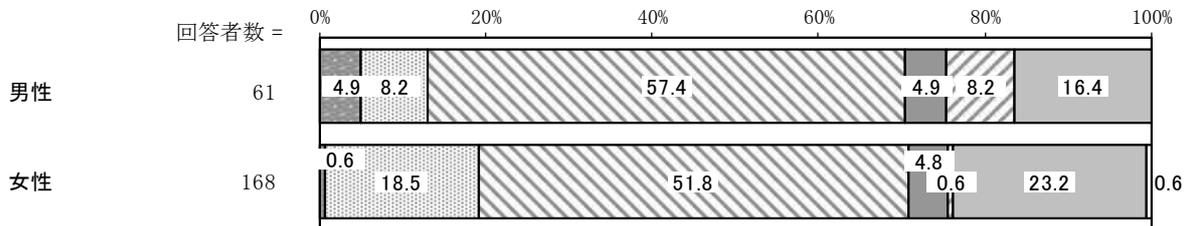
## ⑥法律や制度

平成 22 年度調査と比較すると、“男性が優遇”「平等になっている」の割合が増加し、“女性が優遇”の割合が減少しています。



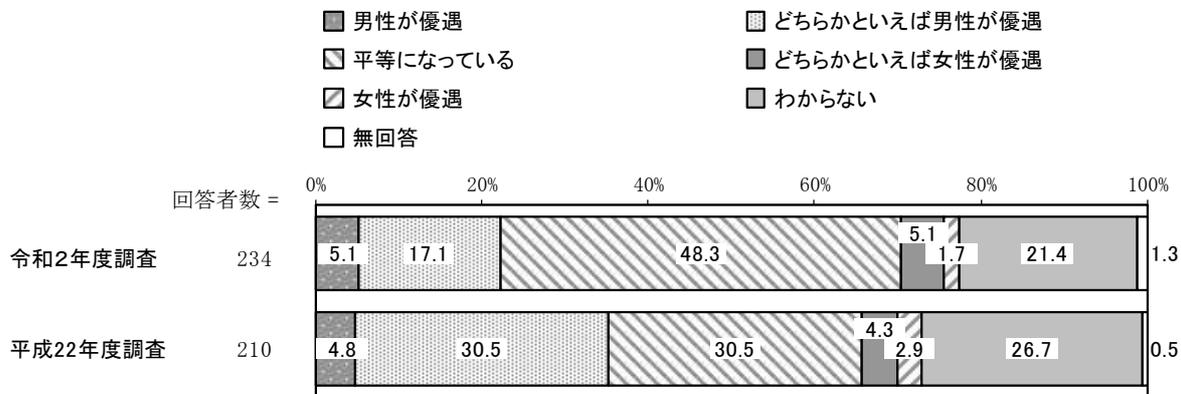
## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等になっている」「女性が優遇」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、約2割となっています。



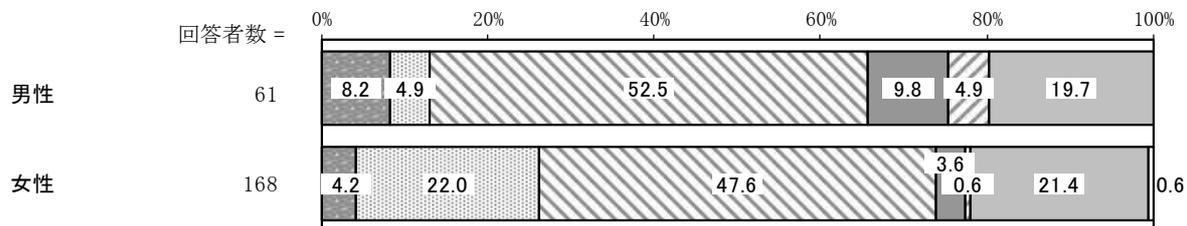
## ⑦社会全体

平成22年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が増加し、「男性が優遇」の割合が減少しています。



## 【性別】

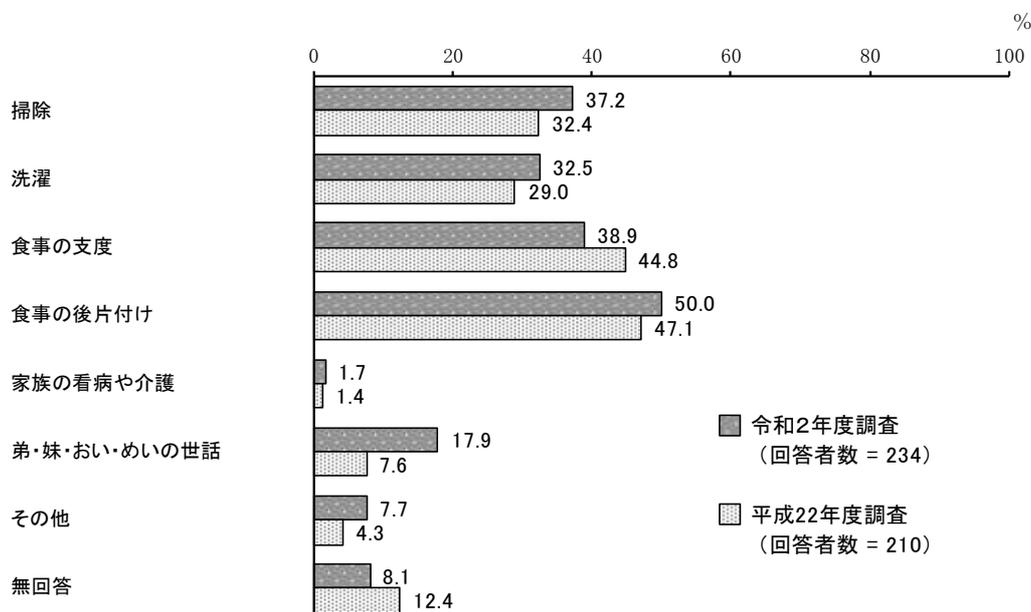
性別でみると、女性に比べ、男性で“女性が優遇”の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“男性が優遇”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



**問5 あなたは、日頃どのような家事を手伝っていますか。(〇はあてはまるもの全て)**

「食事の後片付け」の割合が50.0%と最も高く、次いで「食事の支度」の割合が38.9%、「掃除」の割合が37.2%となっています。

平成22年度調査と比較すると、「弟・妹・おい・めいの世話」の割合が増加しています。一方、「食事の支度」の割合が減少しています。



**【性別】**

性別でみると、男性に比べ、女性で「洗濯」「食事の支度」「食事の後片付け」の割合が高くなっています。

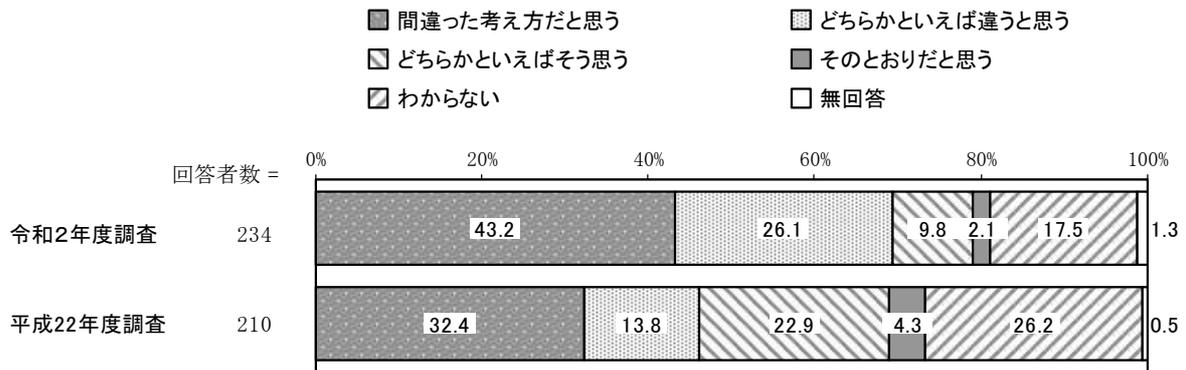
単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 掃除   | 洗濯   | 食事の支度 | 食事の後片付け | 家族の看病や介護 | 弟・妹・おい・めいの世話 | その他 | 無回答  |
|----|----------|------|------|-------|---------|----------|--------------|-----|------|
| 男性 | 61       | 39.3 | 23.0 | 29.5  | 31.1    | —        | 18.0         | 8.2 | 13.1 |
| 女性 | 168      | 36.9 | 36.9 | 42.9  | 57.7    | 2.4      | 17.3         | 7.1 | 5.4  |

**問6 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)**

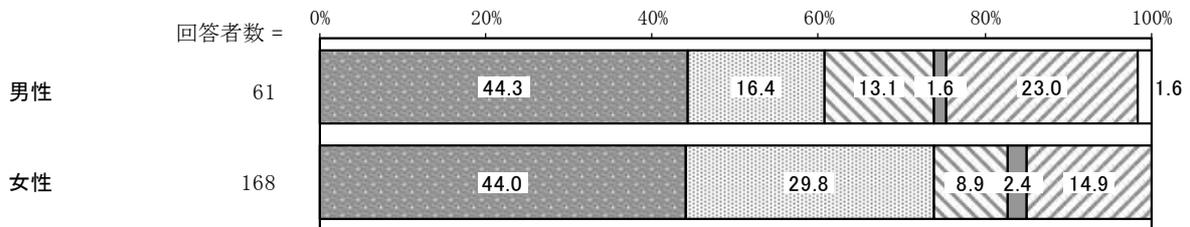
「間違った考え方だと思う」と「どちらかといえば違うと思う」をあわせた“間違った考え方だと思う”の割合が69.3%、「どちらかといえばそう思う」と「そのとおりだと思う」をあわせた“そのとおりだと思う”の割合が11.9%となっています。

平成22年度調査と比較すると、“間違った考え方だと思う”の割合が増加し、“そのとおりだと思う”の割合が減少しています。



**【性別】**

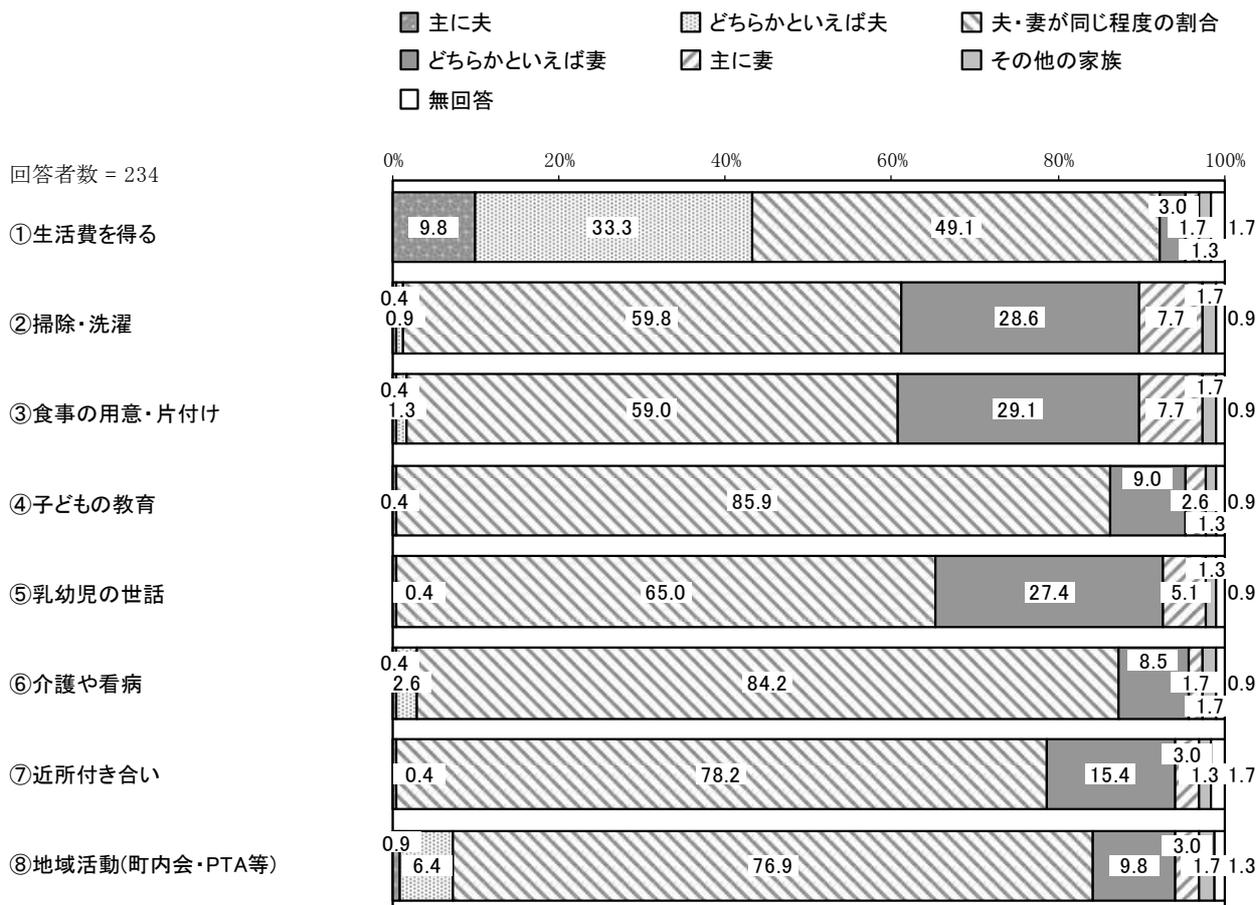
性別で見ると、男性に比べ、女性で“間違った考え方だと思う”の割合が高く、約7割となっています。



問7 あなたが、将来家庭を持った場合、次の事項については誰がすることが望ましいと思いますか。(〇は各項目1つずつ)

『①生活費を得る』で「主に夫」と「どちらかといえば夫」をあわせた“夫”の割合が高く、約4割となっています。また、『②掃除・洗濯』『③食事の用意・片付け』『⑤乳幼児の世話』で「どちらかといえば妻」と「主に妻」をあわせた“妻”の割合が高く、3割を超えています。

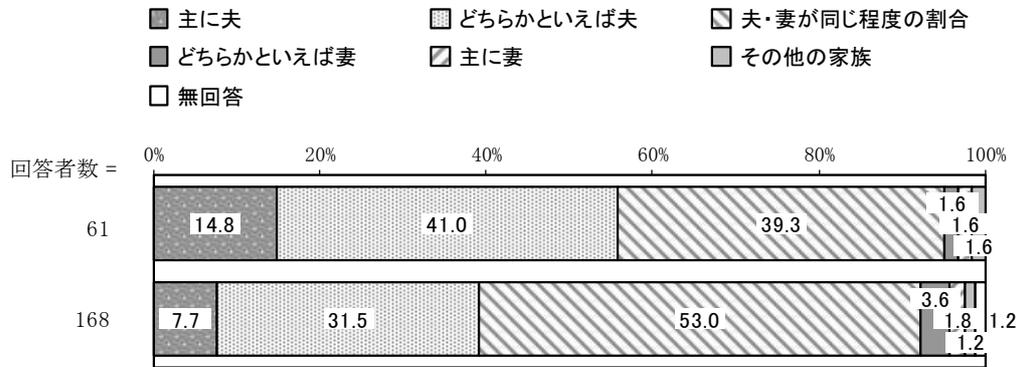
一方、『④子どもの教育』『⑥介護や看病』で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



### ①生活費を得る

#### 【性別】

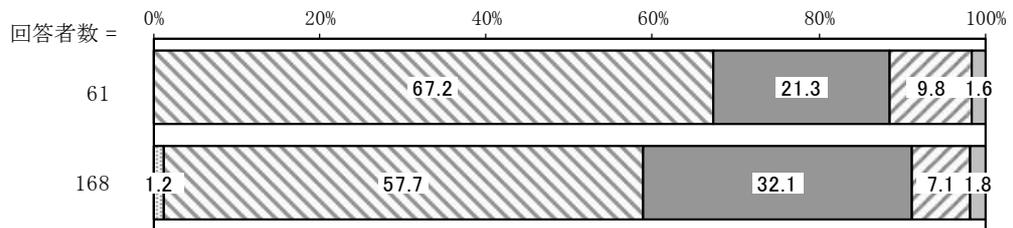
性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫”の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、約5割となっています。



### ②掃除・洗濯

#### 【性別】

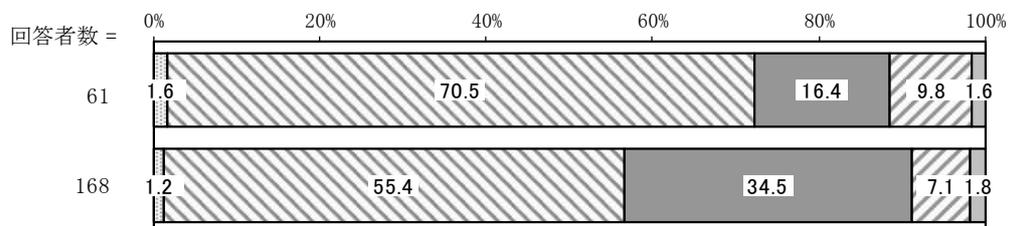
性別で見ると、女性に比べ、男性で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で“妻”の割合が高く、約4割となっています。



### ③食事の用意・片付け

#### 【性別】

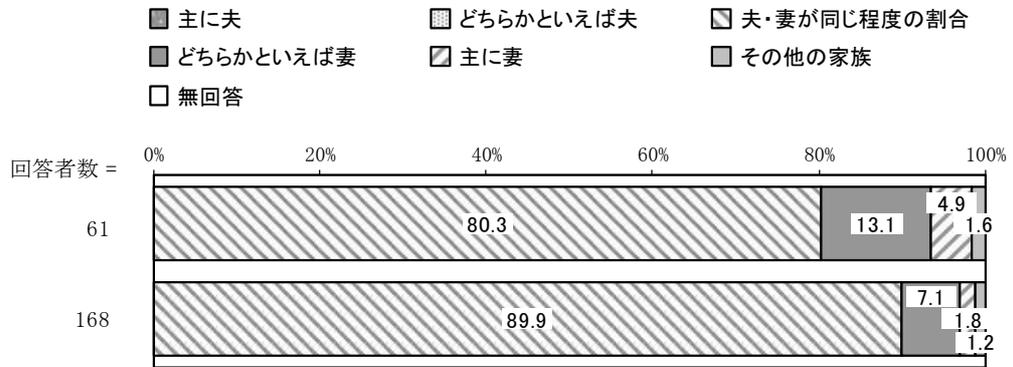
性別で見ると、女性に比べ、男性で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で“妻”の割合が高く、約4割となっています。



#### ④子どもの教育

##### 【性別】

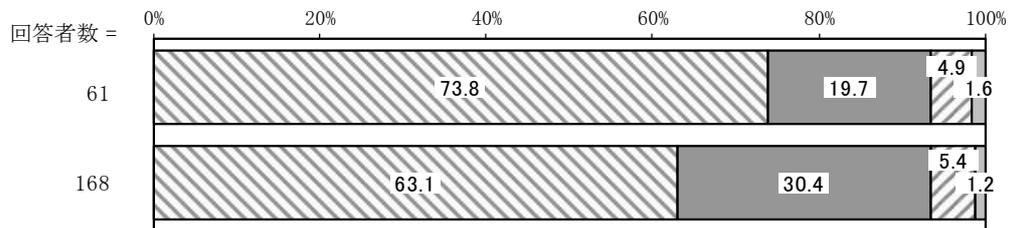
性別で見ると、女性に比べ、男性で“妻”の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、約9割となっています。



#### ⑤乳幼児の世話

##### 【性別】

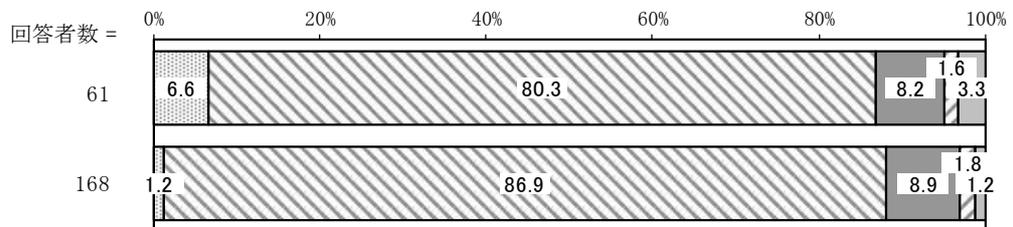
性別で見ると、女性に比べ、男性で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で“妻”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



#### ⑥介護や看病

##### 【性別】

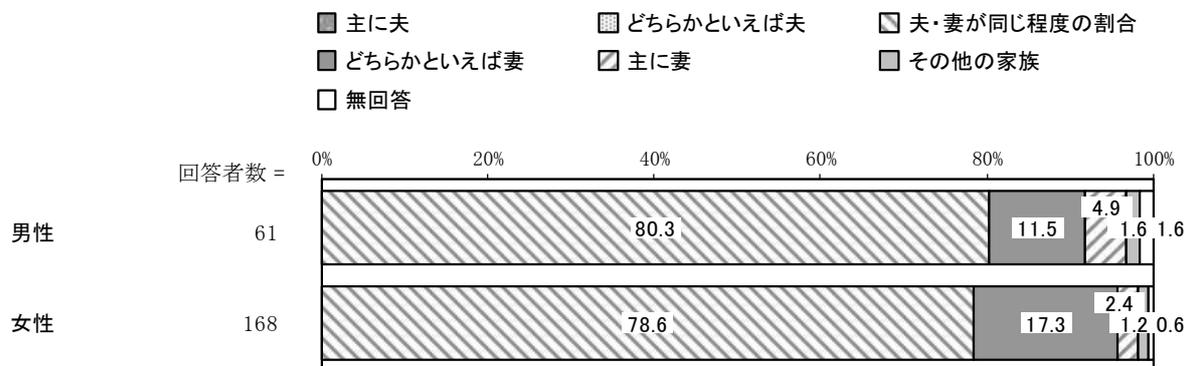
性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫”の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「夫・妻が同じ程度の割合」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



⑦近所付き合い

【性別】

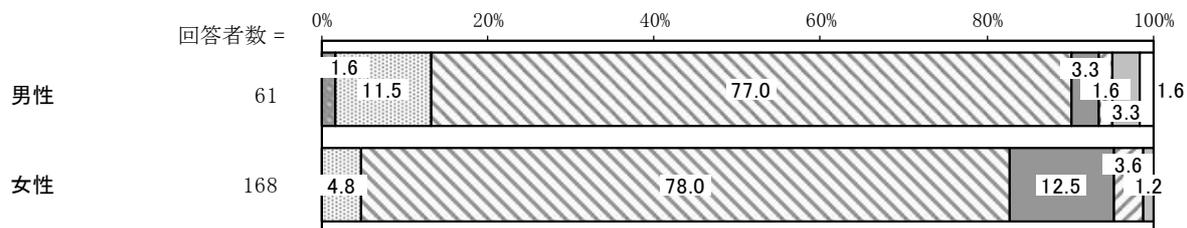
性別で見ると、大きな差異はみられません。



⑧地域活動(町内会・PTA等)

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“夫”の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で“妻”の割合が高く、1割台半ばとなっています。

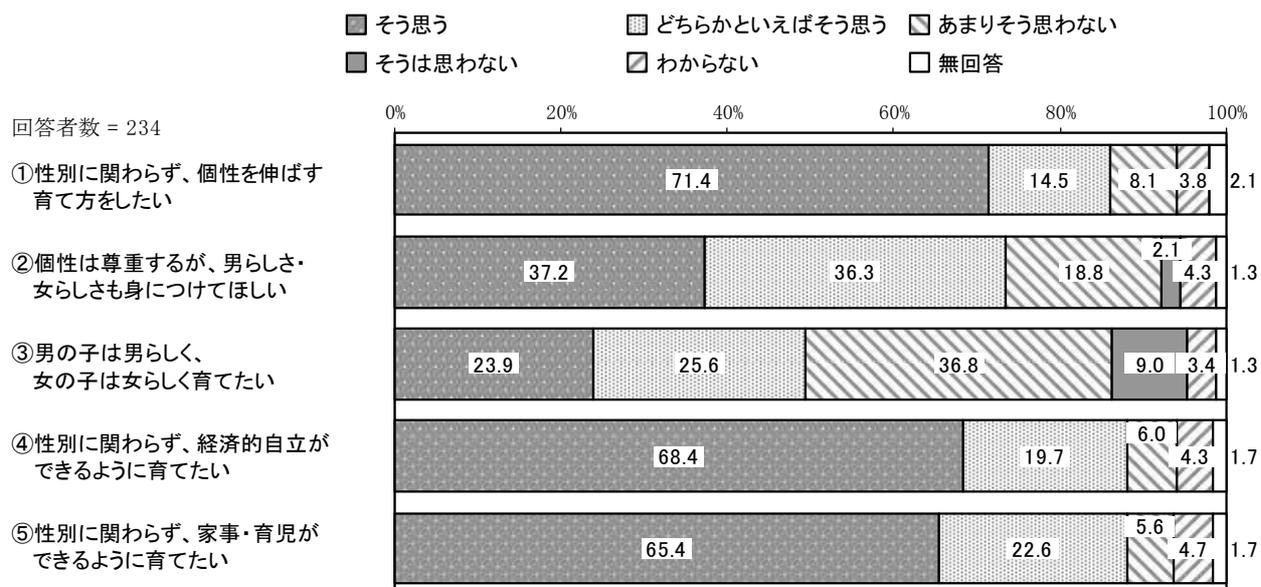


### (3) 子育てについて

#### 問8 子育てに対する考え方についてどう思いますか。(〇は各項目1つずつ)

『④性別に関わらず、経済的自立ができるように育てたい』『⑤性別に関わらず、家事・育児ができるように育てたい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、約9割となっています。

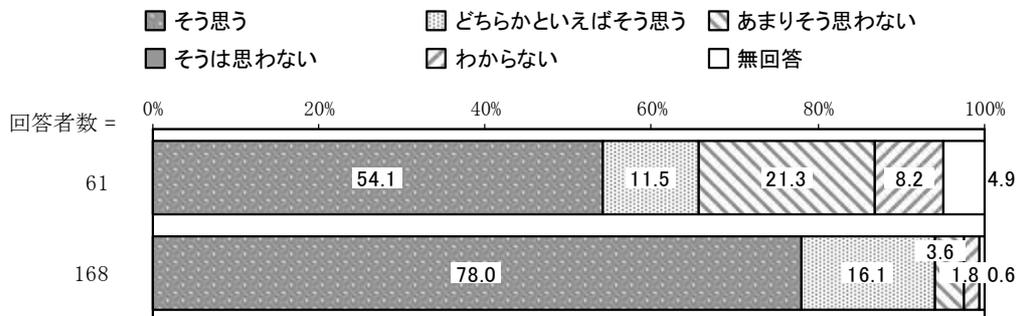
また、『③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたい』で「あまりそう思わない」と「そうは思わない」をあわせた“そうは思わない”の割合が高く、4割台半ばとなっています。



①性別に関わらず、個性を伸ばす育て方をしたい

【性別】

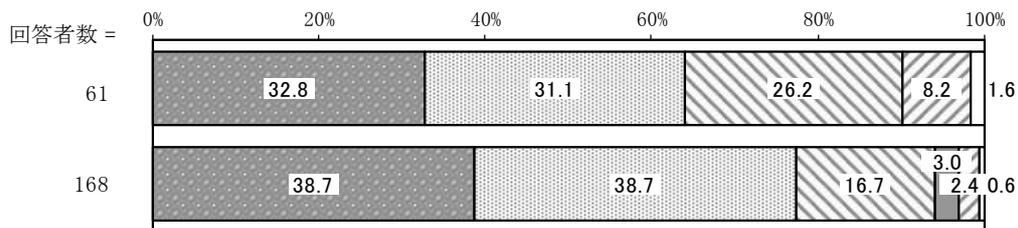
性別で見ると、女性に比べ、男性で“そうは思わない”の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、9割台半ばとなっています。



②個性は尊重するが、男らしさ・女らしさも身につけてほしい

【性別】

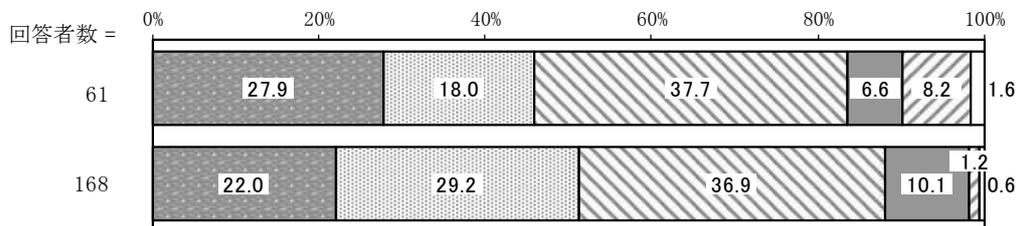
性別で見ると、女性に比べ、男性で“そうは思わない”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。



③男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたい

【性別】

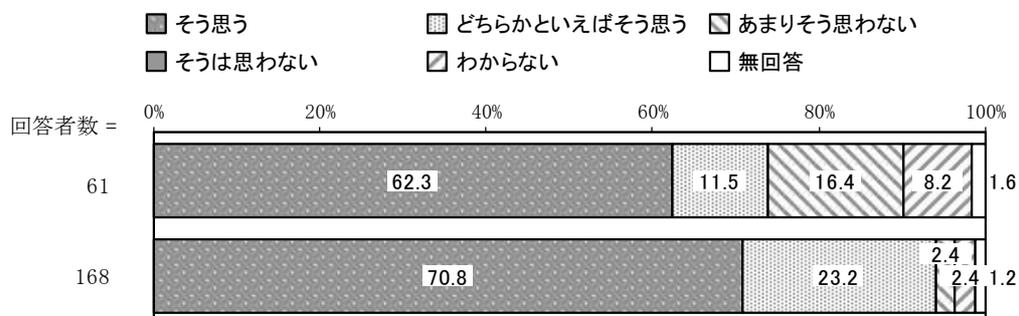
性別で見ると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。



④性別に関わらず、経済的自立ができるように育てたい

【性別】

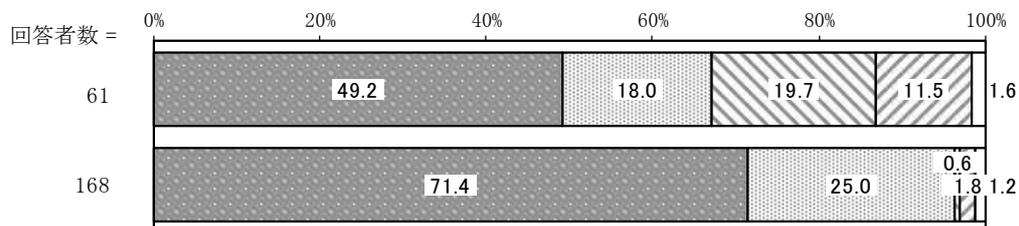
性別で見ると、女性に比べ、男性で“そうは思わない”の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、9割台半ばとなっています。



⑤性別に関わらず、家事・育児ができるように育てたい

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“そうは思わない”の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、9割台半ばとなっています。

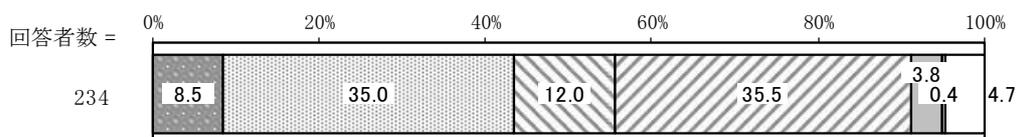


## (4) 就労について

### 問9 あなたは、女性が職業を持つことについてどう考えますか。(○は1つ)

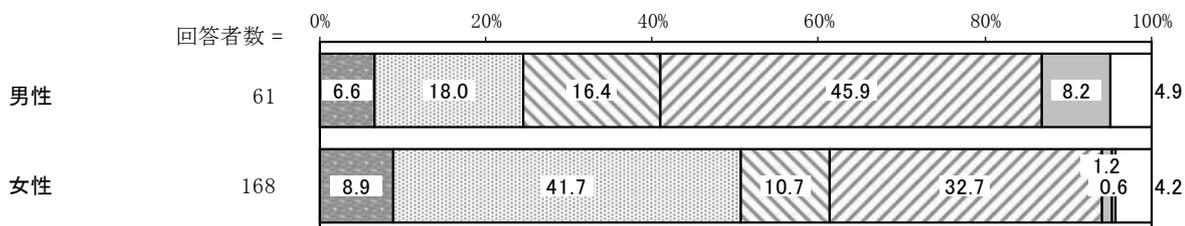
「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が35.5%と最も高く、次いで「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が35.0%、「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」の割合が12.0%となっています。

- ずっと職業を持ち続けるほうがよい
- 結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい
- 結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい
- 女性は職業を持たないほうがよい
- 女性本人の思うとおりにするのがよい
- わからない
- その他
- 無回答



### 【性別】

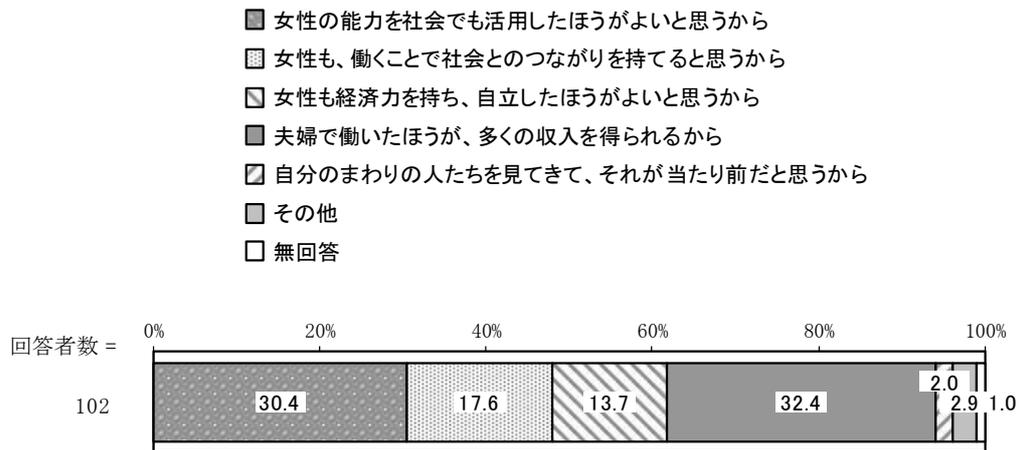
性別でみると、女性に比べ、男性で「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」「女性本人の思うとおりにするのがよい」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」の割合が高く、約4割となっています。



《問9で「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」か「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」と答えられた方にお聞きします。》

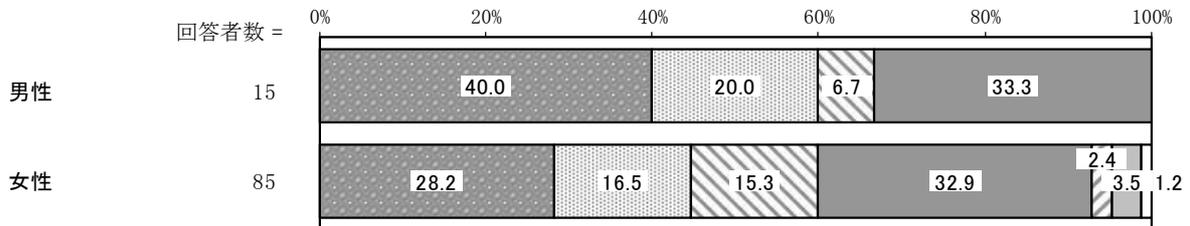
問9-① それはどのような理由からですか。(○は1つ)

「夫婦で働いたほうが、多くの収入を得られるから」の割合が32.4%と最も高く、次いで「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が30.4%、「女性も、働くことで社会とのつながりを持てると思うから」の割合が17.6%となっています。



【性別】

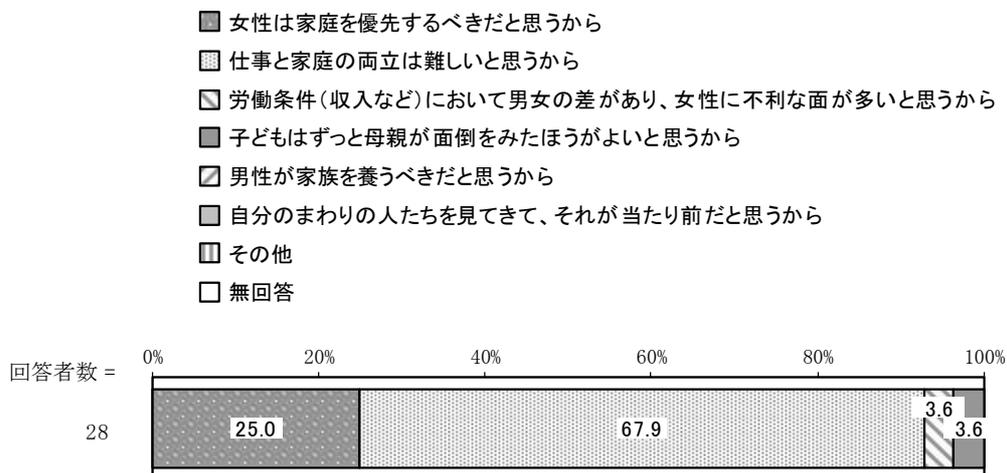
性別で見ると、女性に比べ、男性で「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が高く、4割となっています。また、男性に比べ、女性で「女性も経済力を持ち、自立したほうがよいと思うから」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



《問9で「結婚や出産するまでは、職業を持つほうがよい」か「女性は職業を持たないほうがよい」と答えられた方にお聞きします。》

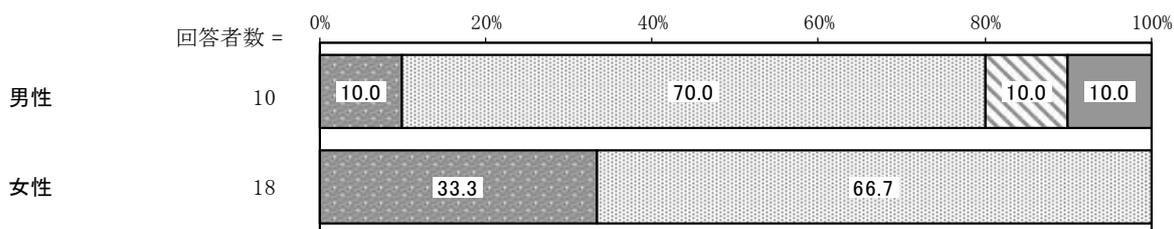
**問9-② それはどのような理由からですか。(○は1つ)**

「仕事と家庭の両立は難しいと思うから」の割合が67.9%と最も高く、次いで「女性は家庭を優先すべきだと思うから」の割合が25.0%となっています。



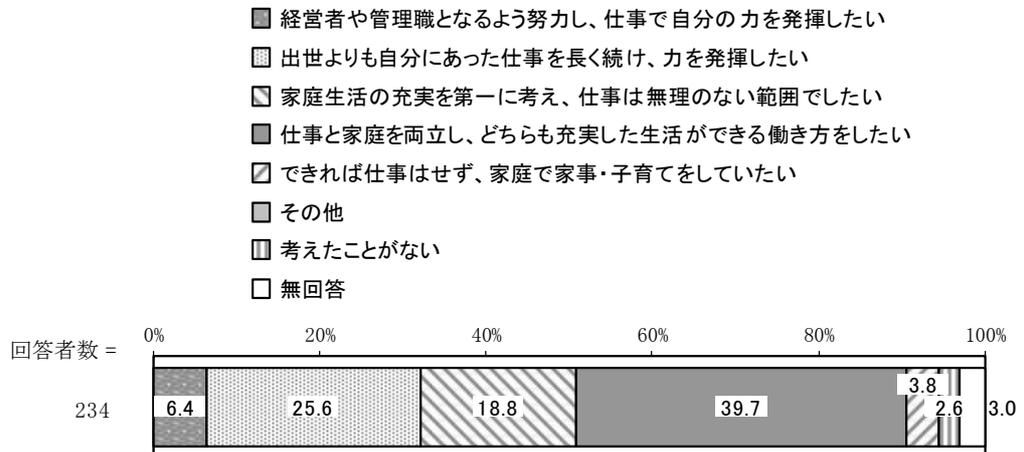
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「労働条件（収入など）において男女の差があり、女性に不利な面が多いと思うから」「子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから」の割合が高く、1割となっています。また、男性に比べ、女性で「女性は家庭を優先すべきだと思うから」の割合が高く、約3割となっています。



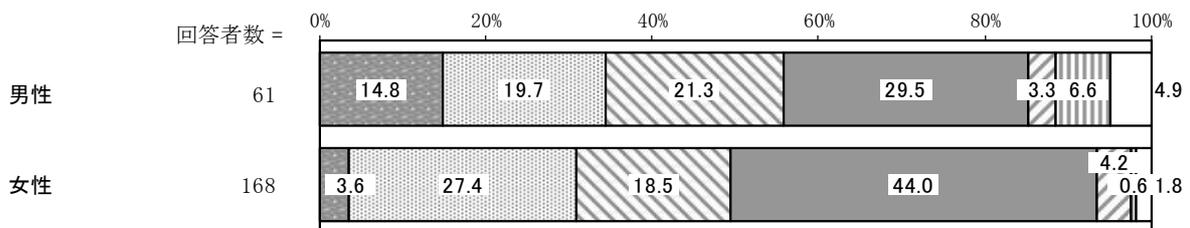
問 10 あなたが理想に思う将来の働き方について、近いものはどれですか。(○は1つ)

「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活ができる働き方をしたい」の割合が39.7%と最も高く、次いで「出世よりも自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい」の割合が25.6%、「家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい」の割合が18.8%となっています。



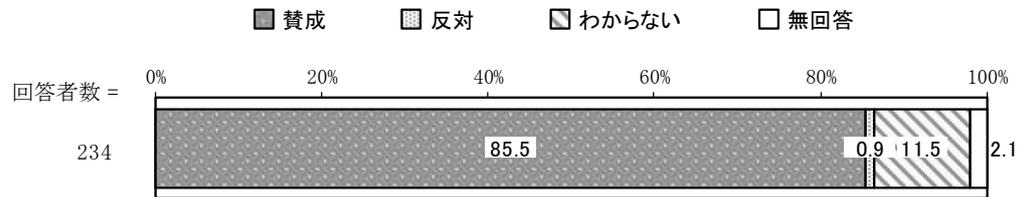
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「経営者や管理職となるよう努力し、仕事で自分の力を発揮したい」の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「出世よりも自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい」「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活ができる働き方をしたい」の割合が高くなっています。



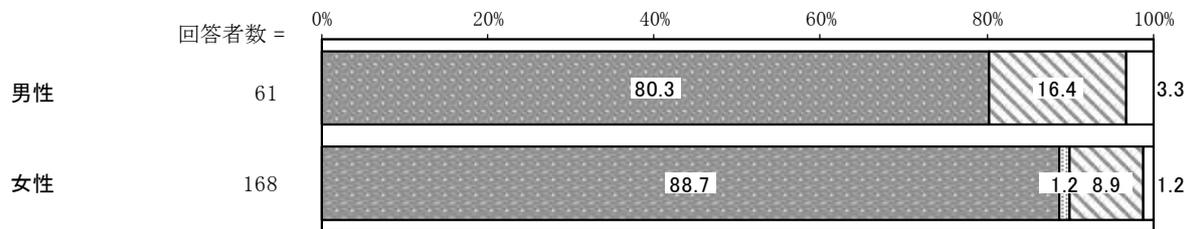
問 11 あなたは、夫婦共働きをすることについて、どのように考えていますか。  
(○は1つ)

「賛成」の割合が 85.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 11.5%となっています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「賛成」の割合が高く、約9割となっています。

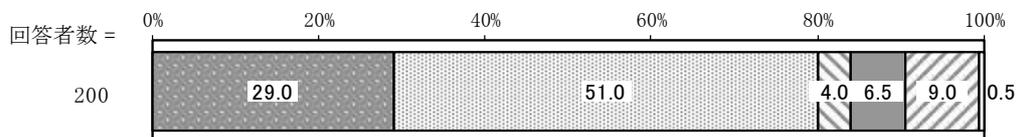


《問 11 で「賛成」と答えられた方にお聞きします。》

問 11-① もし、あなたが将来子どもを持ったら、子育てをどのように行いたいと思いますか。(〇は1つ)

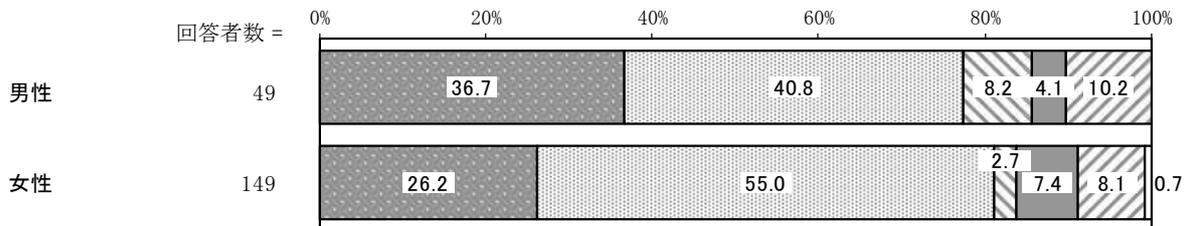
「どちらかが育児休業を取得して子どもを育てる(夫・妻)」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」の割合が 29.0%となっています。

- 夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる
- ▨ どちらかが育児休業を取得して子どもを育てる(夫・妻)
- ▩ 夫婦ともに育児休業を取得せず、保育所の利用や家族などの協力により子どもを育てる
- どちらかがいったん仕事を辞めて子育てに専念する(夫・妻)
- ▨ 考えたことがない
- 無回答



【性別】

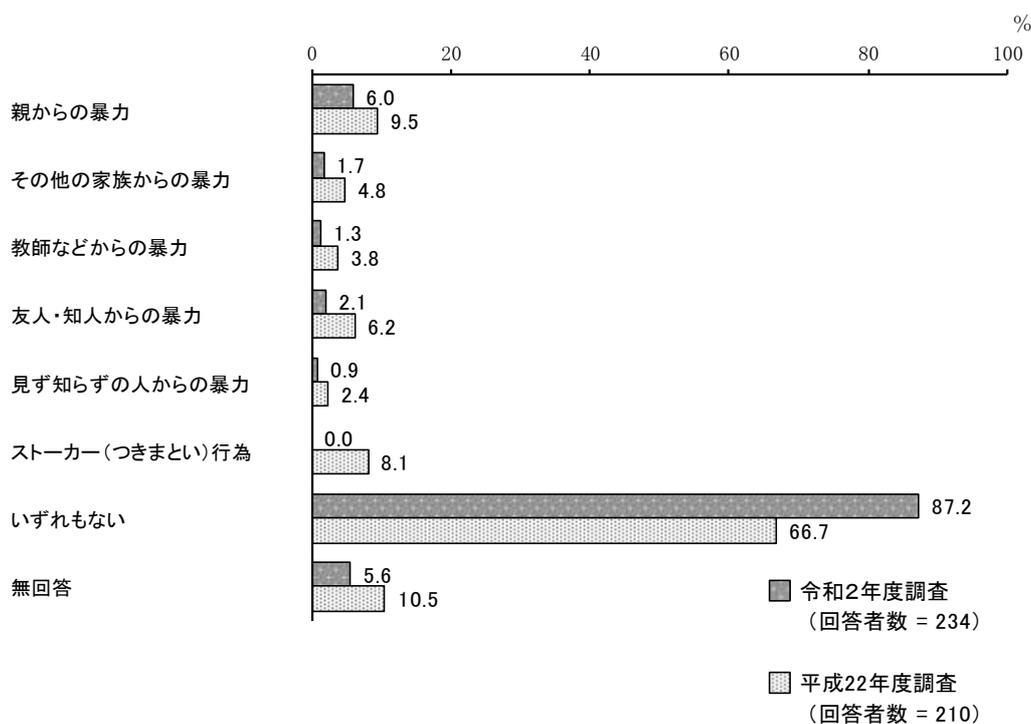
性別でみると、女性に比べ、男性で「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」「夫婦ともに育児休業を取得せず、保育所の利用や家族などの協力により子どもを育てる」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「どちらかが育児休業を取得して子どもを育てる(夫・妻)」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



## (5) 人権について

問12 あなたは、今までに次のような被害を受けたことがありますか。  
(○はあてはまるもの全て)

「いずれもない」の割合が87.2%と最も高くなっています。  
平成22年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「ストーカー(つきまとい)行為」の割合が減少しています。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「いずれもない」の割合が高く、約9割となっています。

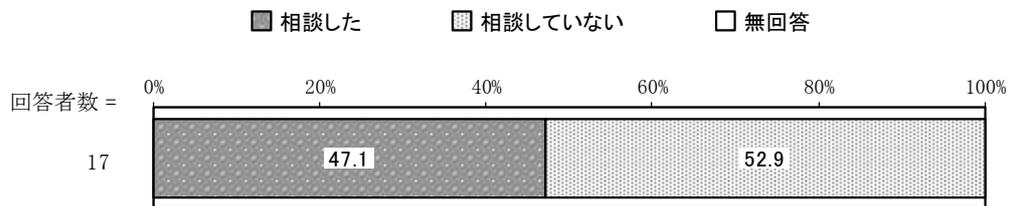
単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 親からの暴力 | その他の家族からの暴力 | 教師などからの暴力 | 友人・知人からの暴力 | 見ず知らずの人からの暴力 | ストーカー(つきまとい)行為 | いずれもない | 無回答  |
|----|---------|--------|-------------|-----------|------------|--------------|----------------|--------|------|
| 男性 | 61      | 8.2    | 1.6         | 1.6       | 4.9        | 1.6          | —              | 77.0   | 11.5 |
| 女性 | 168     | 5.4    | 1.8         | 1.2       | 1.2        | 0.6          | —              | 91.1   | 3.0  |

《問 12 で被害を受けたことがあると答えられた方にお聞きします。》

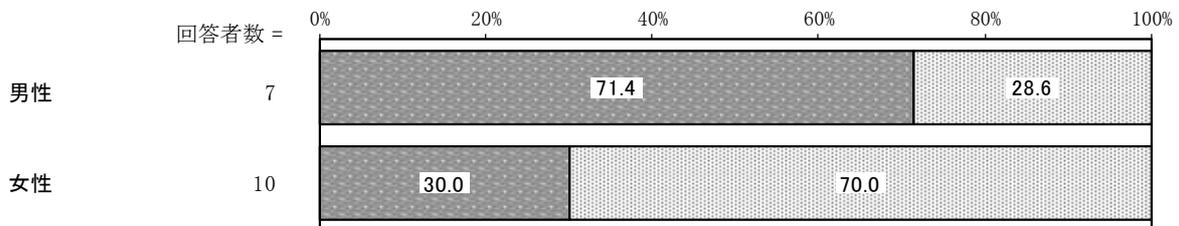
問 12-① 誰（どこ）かに相談しましたか。（○は1つ）

「相談した」の割合が 47.1%、「相談していない」の割合が 52.9%となっています。



【性別】

性別では、有効回答数が少ないため、コメントを控えます。



《問 12- ①で「相談した」と答えられた方にお聞きします。》

問 12-② 誰（どこ）かに相談しましたか。（○はあてはまるもの全て）

「親、兄弟姉妹などの親族」が 6 件、「友人、知人、先生など」が 4 件、「医療関係者（医師・カウンセラーなど）」が 2 件となっています。

《問 12-①で「相談していない」と答えられた方にお聞きします。》

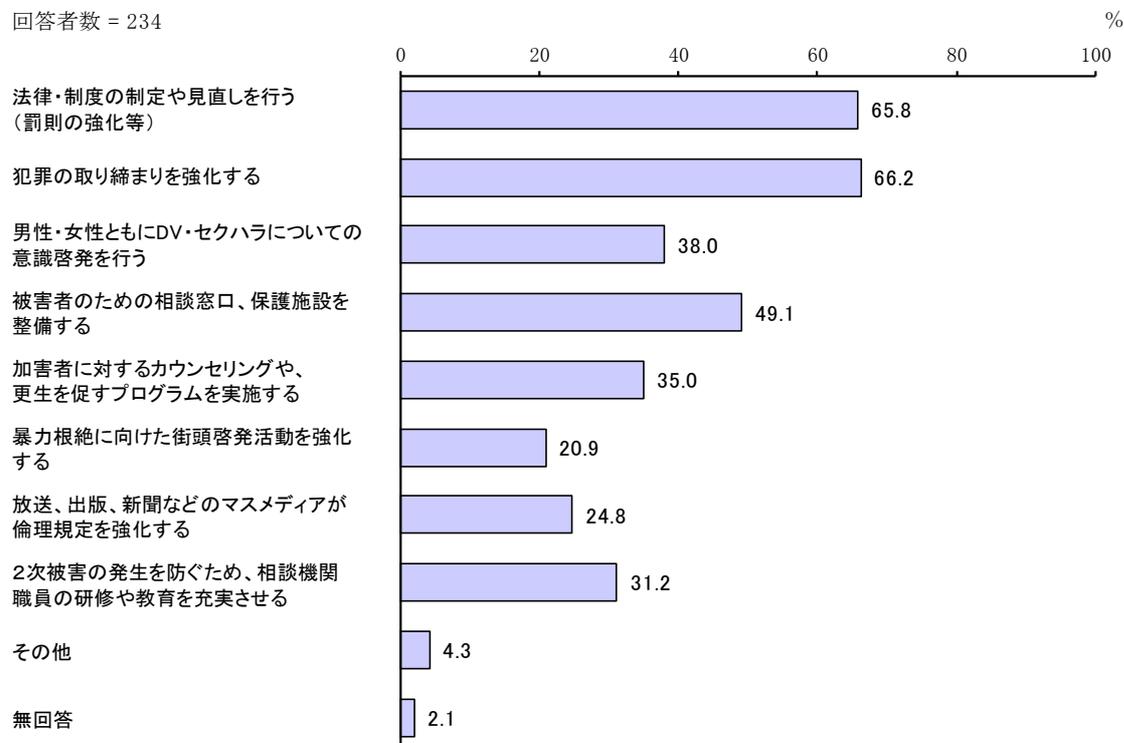
問 12-③ それはなぜですか。（○はあてはまるもの全て）

「誰（どこ）に相談しても無駄だと思った」、「相談するほどたいしたことではないと思った」が 5 件、「自分さえ我慢すればよいと思った」が 4 件となっています。

問 13 DV、セクハラ等の行為は社会問題になっています。これらの行為をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(〇はあてはまるもの全て)

「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が66.2%と最も高く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う(罰則の強化等)」の割合が65.8%、「被害者のための相談窓口、保護施設を整備する」の割合が49.1%となっています。

回答者数 = 234



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「放送、出版、新聞などのマスメディアが倫理規定を強化する」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で「法律・制度の制定や見直しを行う(罰則の強化等)」「犯罪の取り締まりを強化する」「男性・女性ともにDV・セクハラについての意識啓発を行う」「被害者のための相談窓口、保護施設を整備する」の割合が高くなっています。

単位：%

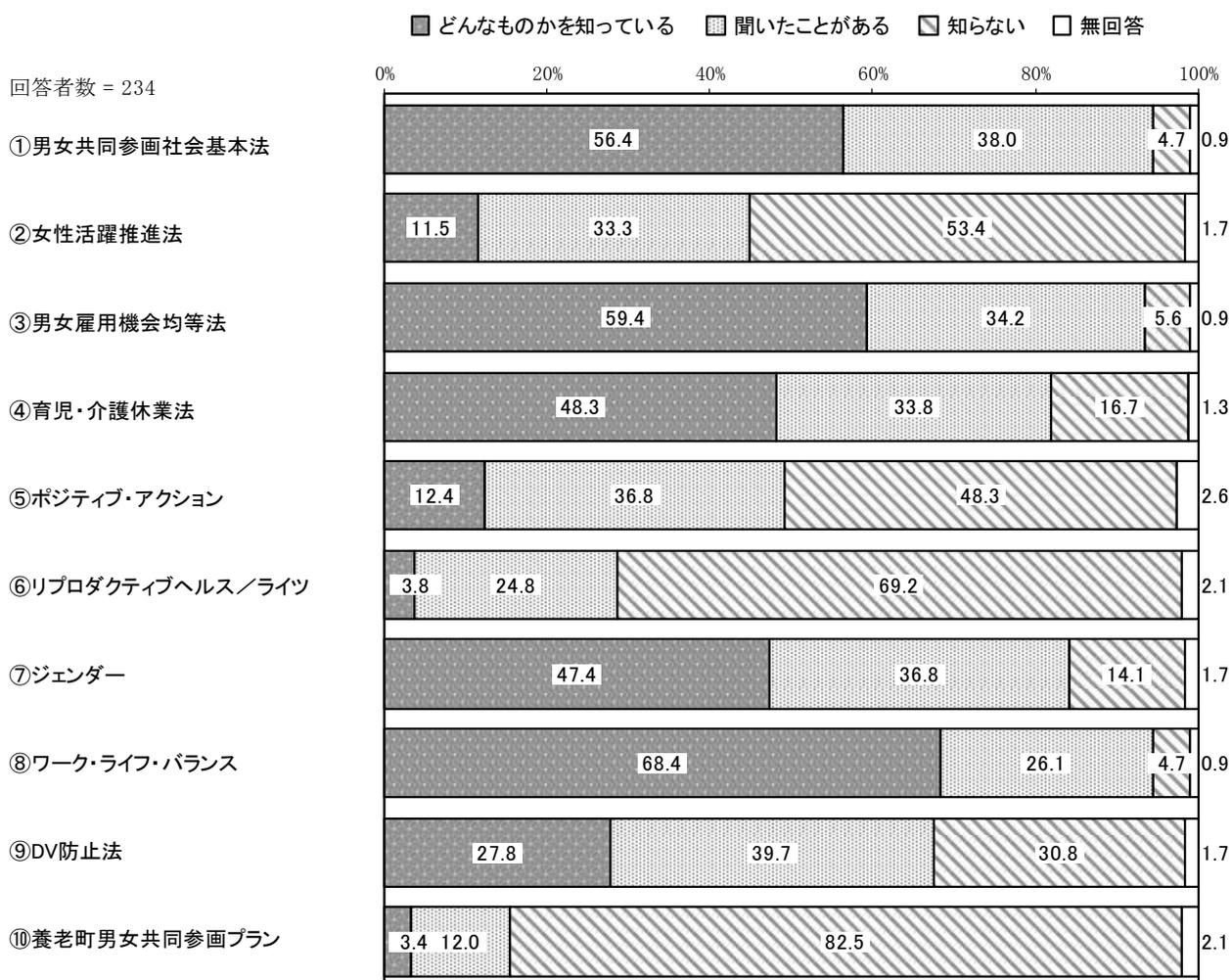
| 区分 | 回答者数(件) | 法律・制度の制定や見直しを行う(罰則の強化等) | 犯罪の取り締まりを強化する | 男性・女性ともにDV・セクハラについての意識啓発を行う | 被害者のための相談窓口、保護施設を整備する | 加害者に対するカウンセリングや、更生を促すプログラムを実施する | 暴力根絶に向けた街頭啓発活動を強化する | 放送、出版、新聞などのマスメディアが倫理規定を強化する | 2次被害の発生を防ぐため、相談機関職員の研修や教育を充実させる | その他 | 無回答 |
|----|---------|-------------------------|---------------|-----------------------------|-----------------------|---------------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 61      | 59.0                    | 47.5          | 32.8                        | 45.9                  | 34.4                            | 21.3                | 29.5                        | 31.1                            | 6.6 | 4.9 |
| 女性 | 168     | 69.0                    | 73.8          | 40.5                        | 51.8                  | 35.7                            | 21.4                | 23.8                        | 31.5                            | 3.0 | 0.6 |

## (6) 男女共同参画社会づくりについて

問 14 あなたは、次のことばを知っていますか。(○は各項目1つずつ)

『①男女共同参画社会基本法』『③男女雇用機会均等法』『⑧ワーク・ライフ・バランス』で「どんなものかを知っている」の割合が高く、5割を超えており、特に『⑧ワーク・ライフ・バランス』で約7割となっています。

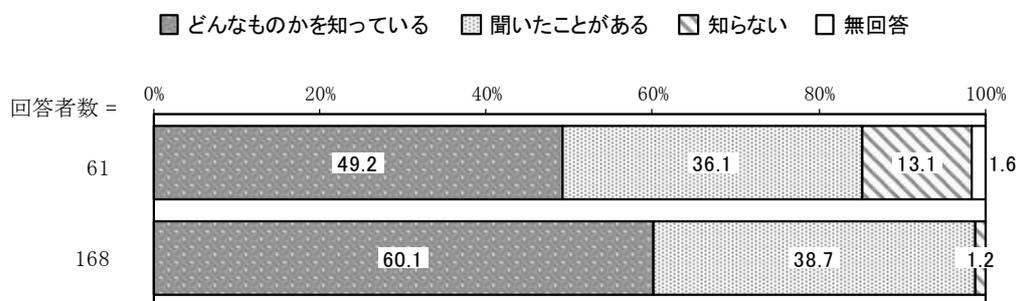
一方、『②女性活躍推進法』『⑥リプロダクティブヘルス/ライツ』『⑩養老町男女共同参画プラン』で「知らない」の割合が高く、5割を超えており、特に『⑩養老町男女共同参画プラン』で約8割となっています。



### ①男女共同参画社会基本法

#### 【性別】

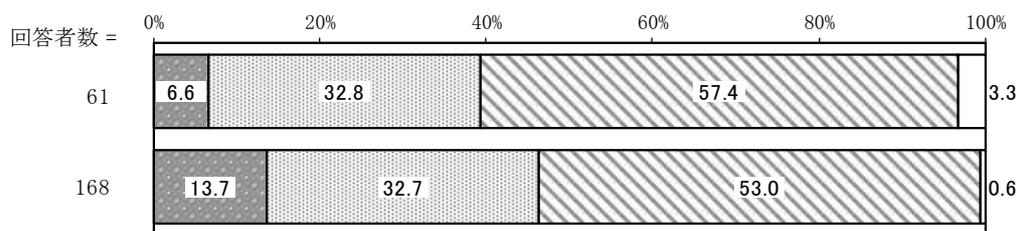
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約6割となっています。



### ②女性活躍推進法

#### 【性別】

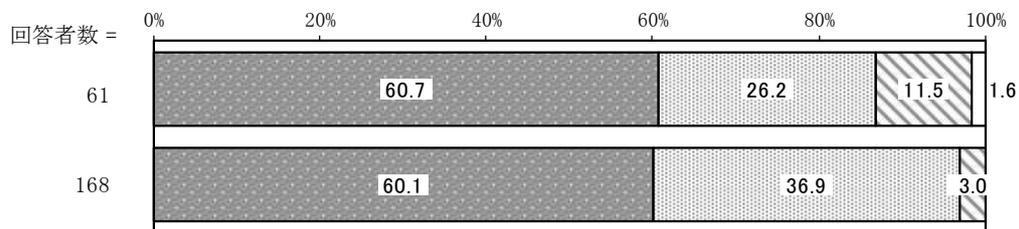
性別で見ると、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約1割となっています。



### ③男女雇用機会均等法

#### 【性別】

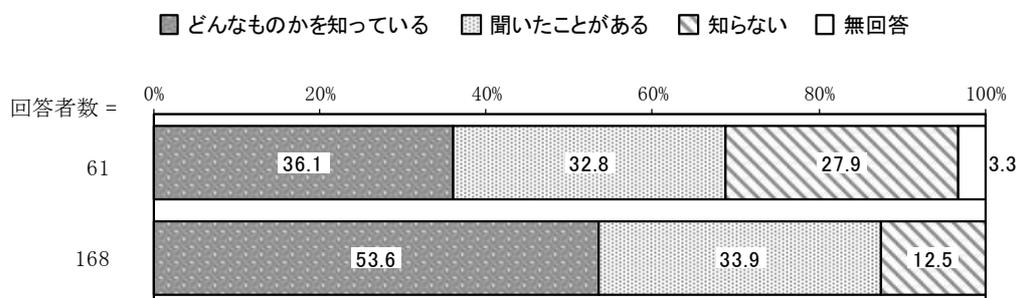
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「聞いたことがある」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



#### ④育児・介護休業法

##### 【性別】

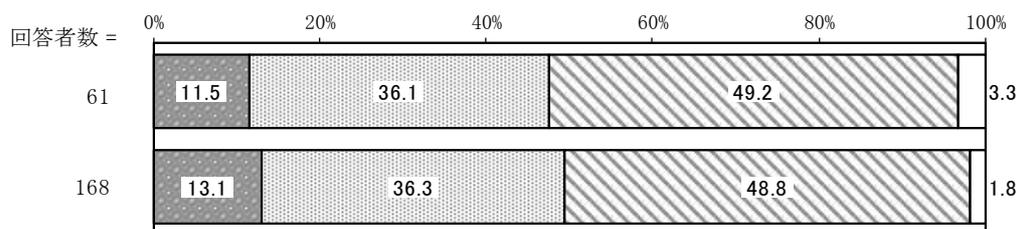
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約5割となっています。



#### ⑤ポジティブ・アクション

##### 【性別】

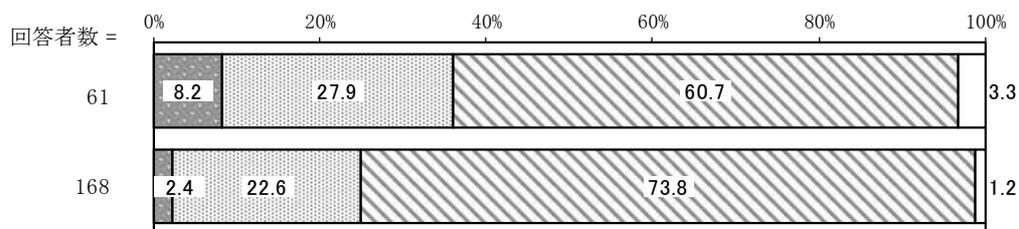
性別で見ると、大きな差異はみられません。



#### ⑥リプロダクティブヘルス/ライツ

##### 【性別】

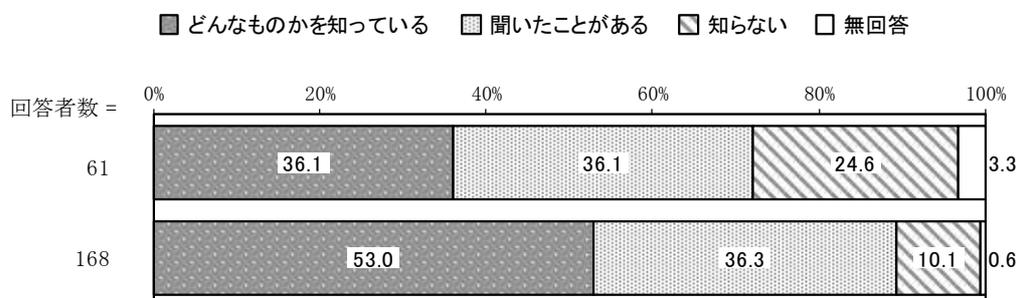
性別で見ると、女性に比べ、男性で「どんなものかを知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高く、約7割となっています。



## ⑦ジェンダー

### 【性別】

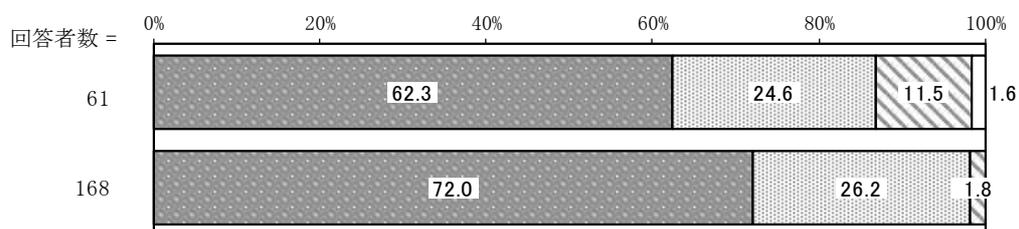
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約5割となっています。



## ⑧ワーク・ライフ・バランス

### 【性別】

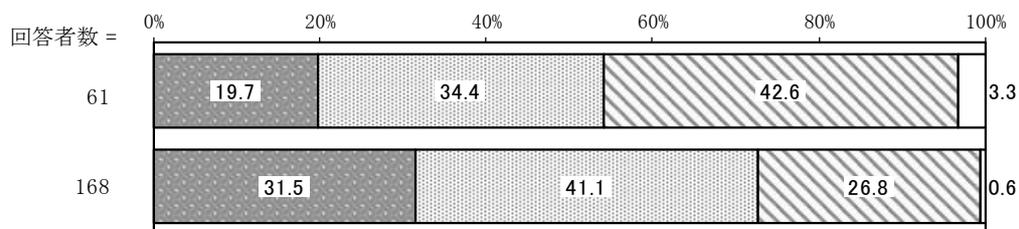
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」の割合が高く、約7割となっています。



## ⑨DV防止法

### 【性別】

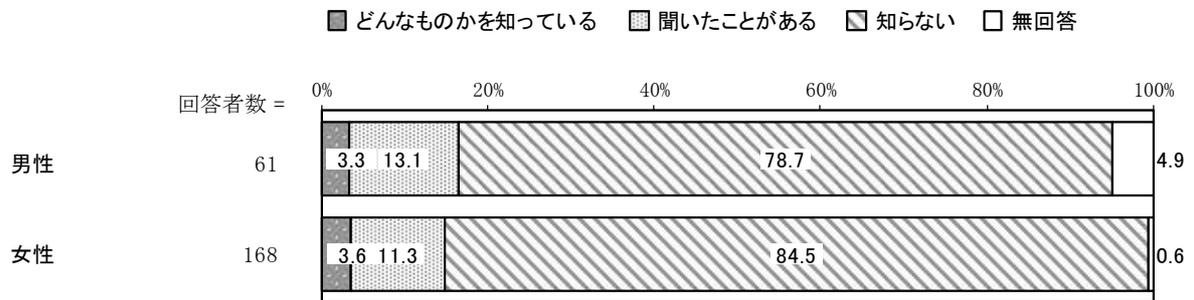
性別で見ると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「どんなものかを知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



# ⑩養老町男女共同参画プラン

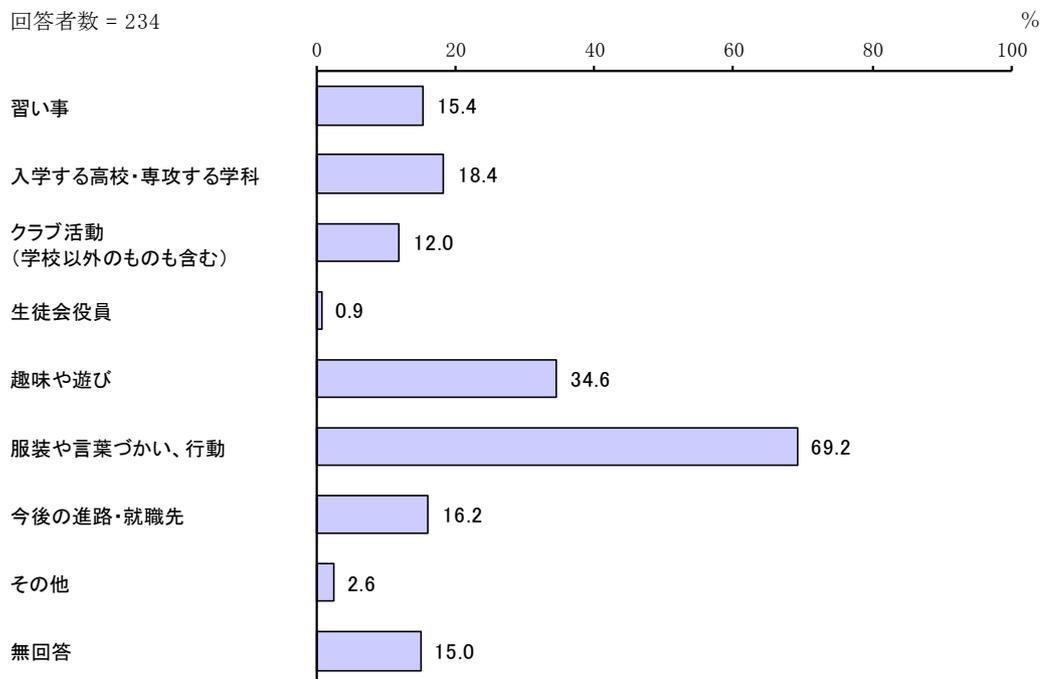
## 【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



問 15 あなたが次のことを考えるとき、「男だから」、「女だから」といった考え方が影響する（または影響した）と思いますか。（○はあてはまるもの全て）

「服装や言葉づかい、行動」の割合が69.2%と最も高く、次いで「趣味や遊び」の割合が34.6%、「入学する高校・専攻する学科」の割合が18.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「習い事」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「服装や言葉づかい、行動」の割合が高く、約8割となっています。

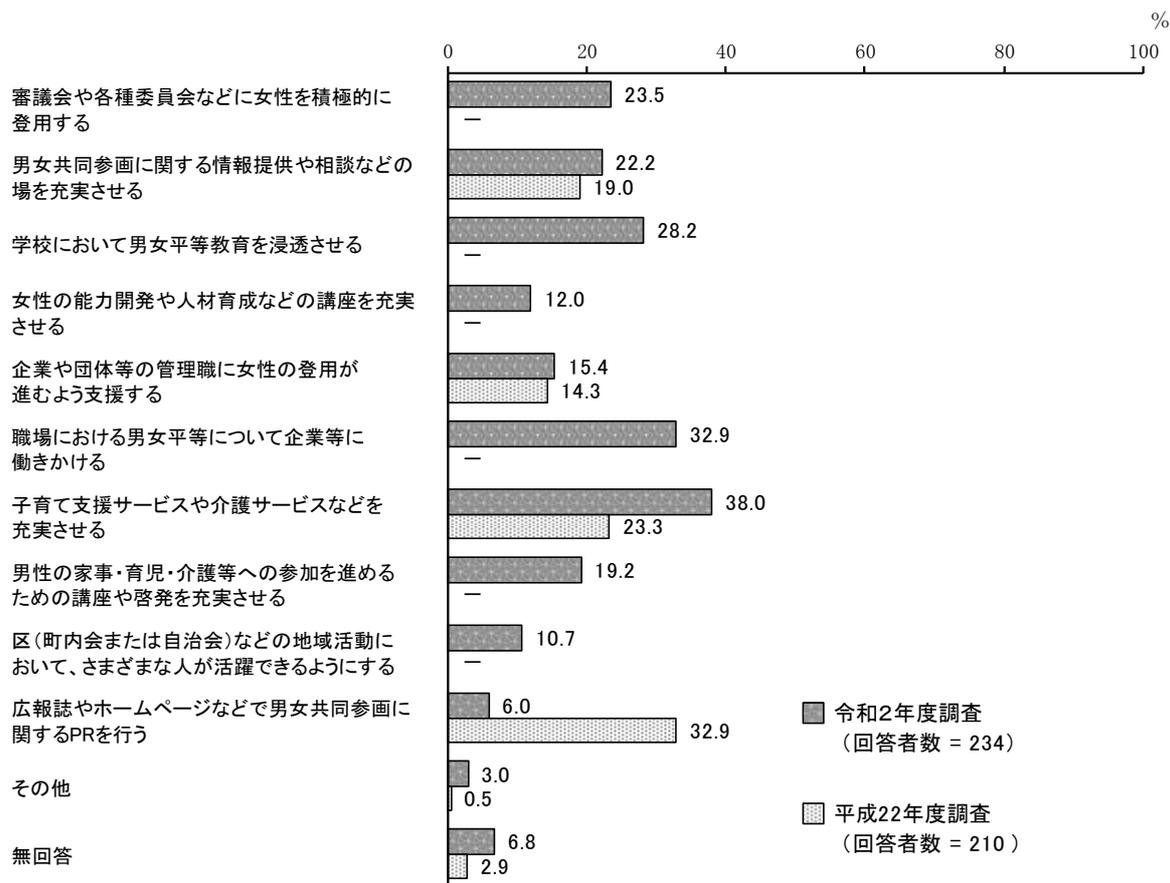
単位：%

| 区分 | 回答者数<br>(件) | 習い事  | 入学する高校・専攻する学科 | クラブ活動<br>(学校以外のものも含む) | 生徒会役員 | 趣味や遊び | 服装や言葉づかい、行動 | 今後の進路・就職先 | その他 | 無回答  |
|----|-------------|------|---------------|-----------------------|-------|-------|-------------|-----------|-----|------|
| 男性 | 61          | 21.3 | 16.4          | 9.8                   | —     | 32.8  | 42.6        | 19.7      | 4.9 | 26.2 |
| 女性 | 168         | 12.5 | 18.5          | 12.5                  | 1.2   | 35.7  | 79.8        | 14.9      | 1.8 | 10.7 |

**問 16 今後、男女共同参画を進めていくうえで、養老町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は主なもの3つまで）**

「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「職場における男女平等について企業等に働きかける」の割合が 32.9%、「学校において男女平等教育を浸透させる」の割合が 28.2%となっています。

平成 22 年度調査と比較すると、「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」の割合が増加し、「広報誌やホームページなどで男女共同参画に関する PR を行う」の割合が減少しています。



※平成 22 年度調査は「審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する」「学校において男女平等教育を浸透させる」「女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる」「職場における男女平等について企業等に働きかける」「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」「区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする」の選択肢はありません。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する」「企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する」「区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする」「広報誌やホームページなどで男女共同参画に関するPRを行う」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる」「職場における男女平等について企業等に働きかける」「子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる」「男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する | 男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実させる | 学校において男女平等教育を浸透させる | 女性の能力開発や人材育成などの講座を充実させる | 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する | 職場における男女平等について企業等に働きかける |
|----|---------|-------------------------|-----------------------------|--------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 男性 | 61      | 29.5                    | 19.7                        | 26.2               | 6.6                     | 19.7                      | 27.9                    |
| 女性 | 168     | 22.0                    | 23.8                        | 28.6               | 13.7                    | 13.1                      | 33.9                    |

| 区分 | 子育て支援サービスや介護サービスなどを充実させる | 男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実させる | 区（町内会または自治会）などの地域活動において、さまざまな人が活躍できるようにする | 広報誌やホームページなどで男女共同参画に関するPRを行う | その他 | 無回答 |
|----|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------|-----|-----|
| 男性 | 31.1                     | 11.5                               | 14.8                                      | 11.5                         | 4.9 | 8.2 |
| 女性 | 41.1                     | 22.0                               | 9.5                                       | 4.2                          | 2.4 | 6.0 |

## V 自由意見

### 1 一般町民

#### (1) 夫婦で仕事、家事、育児、介護などを両立させることについて

| 分類回答                            | 件数 |
|---------------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について               | 4  |
| 2. 男女の役割分担について                  | 24 |
| 3. 結婚・家庭生活について                  | 58 |
| 4. 子育て、子どもの教育について               | 6  |
| 5. 職場や就労について                    | 16 |
| 6. 地域での慣習や地域活動、社会活動について         | 4  |
| 7. 社会問題、政治について                  | 21 |
| 8. 高齢化社会、介護について                 | 9  |
| 9. 男女共同参画の意味を正しく理解できるように指導してほしい | 10 |
| 10. 男女それぞれの特性を生かした社会になればよい      | 1  |
| 11. 子育てしている女性が安心して働ける環境を整えてほしい  | 8  |
| 12. 子育てしながら、働くことができる職場があるとよい    | 1  |
| 13. 男女の差別がなく、働ける環境があると一番よい      | 4  |

#### (2) 職場で男女が対等に働くことについて

| 分類回答                            | 件数 |
|---------------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について               | 1  |
| 2. 男女の役割分担について                  | 2  |
| 3. 結婚・家庭生活について                  | 3  |
| 4. 子育て、子どもの教育について               | 3  |
| 5. 職場や就労について                    | 26 |
| 6. 地域での慣習や地域活動、社会活動について         | 1  |
| 7. 社会問題、政治について                  | 17 |
| 8. DVやセクハラについて                  | 3  |
| 9. 男女共同参画の意味を正しく理解できるように指導してほしい | 12 |
| 10. 時代とはいえ「男らしさ」「女らしさ」は必要である    | 1  |
| 11. 男女それぞれの特性を生かした社会になればよい      | 21 |
| 12. 男女共同参画を推進するには女性の意識改革も必要である  | 2  |
| 13. 世間一般ではあまり改善されない             | 1  |
| 14. 子育てしている女性が安心して働ける環境を整えてほしい  | 2  |
| 15. 子育てしながら、働くことのできる職場があるとよい    | 6  |
| 16. 男女の差別がなく、働ける環境があると一番よい      | 44 |

### (3) その他、男女共同参画に関することについて

| 分類回答                                | 件数 |
|-------------------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について                   | 25 |
| 2. 結婚・家庭生活について                      | 2  |
| 3. 子育て、子どもの教育について                   | 3  |
| 4. 職場や就労について                        | 2  |
| 5. 地域での慣習や地域活動、社会活動について             | 3  |
| 6. 社会問題、政治について                      | 17 |
| 7. 高齢化社会、介護について                     | 1  |
| 8. 男女共同参画の意味を正しく理解できるように指導してほしい     | 4  |
| 9. 養老町が男女共同参画への取り組みをしていたこと自体、知らなかった | 2  |
| 10. 男女それぞれの特性を生かした社会になればよい          | 4  |
| 11. 男女共同参画を推進するには女性の意識改革も必要である      | 1  |
| 12. 男女の差別がなく、働ける環境があると一番よい          | 1  |
| 13. このアンケート結果を有効に使ってほしい             | 5  |
| 14. アンケートの結果を広報で知らせてほしい             | 2  |

## 2 企業従業員

### (1) 夫婦で仕事、家事、育児、介護などを両立させることについて

| 分類回答                                                  | 件数 |
|-------------------------------------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について                                     | 5  |
| 2. 男女の役割分担について                                        | 11 |
| 3. 結婚・家庭生活について                                        | 49 |
| 4. 子育て、子どもの教育について                                     | 7  |
| 5. 職場や就労について                                          | 7  |
| 6. 社会問題、政治について                                        | 23 |
| 7. 女性が働きやすい社会・環境になるように考えてほしい                          | 2  |
| 8. 子育てや家事、介護を女性がするものという考えが根強く残っており、その考えはなかなか変わるものではない | 10 |

### (2) 職場で男女が対等に働くことについて

| 分類回答                                                  | 件数 |
|-------------------------------------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について                                     | 19 |
| 2. 男女の役割分担について                                        | 13 |
| 3. 結婚・家庭生活について                                        | 1  |
| 4. 子育て、子どもの教育について                                     | 2  |
| 5. 職場や就労について                                          | 42 |
| 6. 社会問題、政治について                                        | 7  |
| 7. DVやセクハラについて                                        | 2  |
| 8. 女性が働きやすい社会・環境になるように考えてほしい                          | 13 |
| 9. 子育てや家事、介護を女性がするものという考えが根強く残っており、その考えはなかなか変わるものではない | 3  |

### (3) その他、男女共同参画に関することについて

| 分類回答                    | 件数 |
|-------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について       | 18 |
| 2. 男女の役割分担について          | 1  |
| 3. 子育て、子どもの教育について       | 3  |
| 4. 職場や就労について            | 4  |
| 5. 地域での慣習や地域活動、社会活動について | 3  |
| 6. 社会問題、政治について          | 13 |

### 3 高校生

#### (1) 夫婦で仕事、家事、育児、介護などを両立させることについて

| 分類回答                    | 件数 |
|-------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について       | 14 |
| 2. 男女の役割分担について          | 27 |
| 3. 結婚・家庭生活について          | 30 |
| 4. 子育て、子どもの教育について       | 6  |
| 5. 職場や就労について            | 1  |
| 6. 地域での慣習や地域活動、社会活動について | 1  |

#### (2) 職場で男女が対等に働くことについて

| 分類回答                       | 件数 |
|----------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について          | 29 |
| 2. 男女の役割分担について             | 1  |
| 3. 職場や就労について               | 28 |
| 4. 地域での慣習や地域活動、社会活動について    | 2  |
| 5. 社会問題、政治について             | 7  |
| 6. DVやセクハラについて             | 1  |
| 7. すべてにおいて、男女平等が望ましいとは思わない | 2  |

#### (3) その他、男女共同参画に関することについて

| 分類回答                    | 件数 |
|-------------------------|----|
| 1. 男女共同参画の考え方について       | 13 |
| 2. 職場や就労について            | 1  |
| 3. 地域での慣習や地域活動、社会活動について | 1  |
| 4. 社会問題、政治について          | 6  |